



ISF / IS350 / IS 250
HDDナビゲーションシステム取扱説明書



目次

1	HDD ナビゲーションシステムの操作	5
2	GPS ボイスナビゲーション	37
3	オーディオ&ビジュアル	179
4	エアコン・デフォッガー	283
5	音声操作システム	295
6	情報	337
7	周辺監視	355
8	ETC システム	397
9	ハンズフリー	411
10	G-Link サービス	469
	索引	611

知っておいていただきたいこと

GPS ボイスナビゲーションについて

GPS ボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを行くときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

本書の内容について

- 本書は、HDD ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（ディーラーオプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱書をお読みください。
- 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 1章の「HDD ナビゲーションシステムの操作」には、本機について知っておいていただきたいこと、および各機能共通の操作内容がまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。

お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかったときや損失したときのデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機で購入された曲の取り扱いについて

お車を乗り換える場合、この車両で購入された曲（G-SOUND および AUTOLIVE）は、新しい車両で利用することはできません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、ナビゲーションはそのハードディスク内に、回転数や冷却水温度等の故障診断に有用な情報を常時記録します。

バッテリーの取りはずしについて

本機は“エンジンスタートストップ”スイッチを OFF するごとに、各種データをハードディスクに保存しています。各種データの保存が終わる前にバッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、レクサス販売店にお問い合わせください。

本書の中の表示について

本書でのスイッチ表示について

- 画面外のスイッチは、 ・  などでスイッチ名称を表示しています。
- 画面外のスイッチは、日本語表記 * と英語表記があります。
- 画面のスイッチ（タッチスイッチ）は、【○○○】でスイッチ名称を表示しています。

*: IS350/IS250 のみ

警告、注意について

警告

ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

セーフティシンボル



“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味を表しています。

MEMO

HDD ナビゲーションシステムの操作

1 HDDナビゲーションシステムの操作		画面モードを切り替える	27
1. HDDナビゲーションシステムで できること	6	タッチスイッチの色を切り替える....	28
各モードとおもな機能	6	操作画面継続表示の設定をする.....	29
2. 作動条件.....	7	8. 音声の調整	30
各モードの作動条件	7	起動音を選択する	30
3. 各部の名称とおもな働き	8	起動音の音量を調整する	30
ディスプレイ	8	応答音を切り替える	31
エアコン・オーディオ	9	音像制御を切り替える	31
タッチスイッチでの操作について ...	10	9. 個人情報を消去する	33
ステアリングスイッチ	11	個人情報の消去	33
4. 説明機能.....	12	10.アンテナ	35
説明機能について	12	アンテナの位置と取り扱い	35
操作ガイドを使う	12		
ヒント機能を使う	13		
5. ソフトウェアキーボード	14		
入力画面の各スイッチの使い方	14		
定型文の編集をする	17		
入力履歴を削除する	18		
予測変換をする	19		
単語を登録する	19		
6. リスト画面の切り替え	22		
リスト画面の切り替え方	22		
文字の表示範囲の変更	24		
7. 画面を調整・設定する	25		
画質調整画面を表示する	25		
画質を調整する	25		
ライト点灯時に昼画表示にする	26		
画面を消す	26		

1. HDD ナビゲーションシステムでできること

各モードとおもな機能

モード	主な機能	記載場所
GPS ボイス ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在地の表示 ● 目的地への案内 ● メモリ地点の登録 ● VICS 情報の地図への表示 	37 ~ 177
情報	<ul style="list-style-type: none"> ● FM 多重放送の受信 ● メンテナンス機能の設定 ● カレンダー機能 ● 施設の情報の検索 	337 ~ 353
	<ul style="list-style-type: none"> ● ETC ● ハンズフリー ● G-Link サービス 	397 ~ 610
オーディオ & ビジュアル	<ul style="list-style-type: none"> ● AM・FM 放送の受信 ● MD プレーヤーの操作 ● CD プレーヤーの操作 ● DVD チェンジャーの操作* ● サウンドライブラリの操作 ● テレビ放送の受信（ワイド画面放送対応） ● ステアリングスイッチの操作 	179 ~ 281
エアコン	<ul style="list-style-type: none"> ● オートエアコンの操作 ● プラズマクラスター®の操作 	283 ~ 294
周辺監視	<ul style="list-style-type: none"> ● バックガイドモニターの表示 ● クリアランスソナーの表示* 	355 ~ 394

* : 車両型式などで異なる装備やオプション装備

2. 作動条件

各モードの作動条件

HDD ナビゲーションシステムの機能は、以下の条件により操作できるときと、できないときがあります。

- ：操作できる
- ×：操作できない

“エンジンスタート ストップ” スイッチ モード	OFF	アクセサリモード	イグニッション ON モード	エンジン回転中
GPS ボイス ナビゲーション ／情報	×	○	○	○ 走行中は安全上の 配慮などから、操作 できなくなる機能 があります。
オーディオ & ビジュアル	×	○ 映像はパーキング ブレーキがかかっ ているときのみ。	○ 映像はパーキング ブレーキがかかっ ているときのみ。	○ 走行中は安全上の 配慮などから、音声 だけになります。
エアコン	×	×	○	○
バックガイド モニター	×	×	○ シフトレバーがRの ときのみ。	○ シフトレバーがRの ときのみ。
クリアランス ソナー	×	×	○ シフトレバーがP以 外のときのみ。	○ シフトレバーがP以 外のときのみ。

- -20℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、ハードディスクへの書き込みができなくなります。

3. 各部の名称とおもな働き

ディスプレイ

本書では日本語表記のディスプレイ部イラストを使用して説明しています。

■ 日本語表記 (IS350/IS250 のみ)



■ 英語表記



名称	機能
1 現在地 / MAP スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示するなど (→ P.53)。
2 目的地設定 / DEST スイッチ	目的地を設定する (→ P.96)。
3 メニュー / MENU スイッチ	ナビゲーションの設定をする (→ P.50)。
4 エアコン / CLIMATE スイッチ	エアコン操作画面を表示する (→ P.284)。
5 オーディオ / AUDIO スイッチ	オーディオの操作画面を表示する (→ P.191)。
6 画質・消 / DISP スイッチ	画質の調整をする、画面を消すなど (→ P.25)。
7 情報・G / INFO スイッチ	情報画面を表示する (→ P.338)。

- 液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの明るい光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

⚠ 注意

画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

エアコン・オーディオ



名称	機能
1 エアコン操作スイッチ	エアコン操作画面以外の画面を表示させているときも、エアコンを操作することが可能（→ P.284）。
2 オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面以外の画面を表示させているときも、オーディオを操作することが可能（→ P.190）。

タッチスイッチでの操作について

HDD ナビゲーションシステムは、おもに画面のタッチスイッチに直接タッチして操作します。

- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- タッチスイッチにタッチしても反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。

1 つ前の画面に戻すときは、【**戻る**】にタッチします。タッチした画面の操作はキャンセルされます。一部の機能は、キャンセルされないものもあります。スイッチの機能が働いているときは、以下のようになります。

- タッチスイッチの色が明るくなる。
- タッチスイッチに作動表示灯があるものは、作動表示灯が点灯する。

警告

■ 運転者は走行中に極力操作をしないでください。

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときには、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートが表示されることがあります。

注意

バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

ステアリングスイッチ



N01LV01

名 称	機 能
1 音量調整スイッチ	オーディオやハンズフリーなどの音量を調整する。
2 チューニングスイッチ	テレビやラジオの放送局（周波数）を選ぶ（→ P.280）。
3 トラック・ディスク 切り替えスイッチ	DVD、CD、MD、サウンドライブラリの各モードを再生中に曲を選ぶ、チェンジャーのディスクを切り替えるなど（→ P.280）。
4 モード切り替えスイッチ	オーディオの電源を ON・OFF する、モードを切り替える（→ P.279）。
5 電話スイッチ	ハンズフリーを使用して電話をかける、受けるなど（→ P.423）。
6 トークスイッチ	音声操作システムで、音声認識コマンドを発声するときに使用する（→ P.296）。

4. 説明機能

説明機能について

説明機能は操作方法やスイッチの機能を説明する機能です。

説明機能は、以下の 2 つの機能があります。

- 操作ガイド 画像と音声で各アプリケーションの説明をします。
- ヒント機能 表示中のスイッチの機能を説明します。

操作ガイドを使う

画像と音声を使って操作を説明します。走行中は音声だけで説明します。

情報・G または INFO

操作ガイド

タイトル選択

操作説明の開始

- 1 、または を押す。

- 2 [操作ガイド] にタッチする。



- 3 操作説明が見たいタイトルにタッチする。



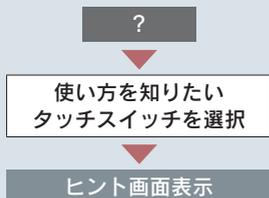
- 4 操作説明の開始。



- ◀、または ▶ にタッチすると、ページを手動で切り替えることができます。
- 画像はパーキングブレーキをかけたときだけ表示されます。
- 操作ガイドで表示される画面は装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

ヒント機能を使う

表示されているスイッチの機能がわからないときは、[?] にタッチすると説明が表示されます。



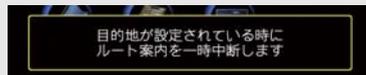
- 1 [?] にタッチすると、ヒントモードに切り替わる。



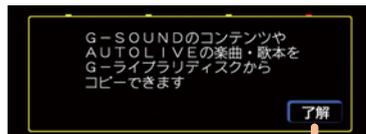
- 2 使い方を知りたいスイッチにタッチする。



- 3 ヒント画面表示。



- ヒント内容が 3 行以下のときは画面にタッチする、または約 6 秒以上操作しないとヒント画面が解除されます。
- ヒント内容が 4 行のときは、[了解] にタッチするとヒント画面が解除されます。



- ▶ ヒントモードを解除するには
→ [?戻る] にタッチ



1

HDDナビゲーションシステムの操作

5. ソフトウェアキーボード

入力画面の各スイッチの使い方

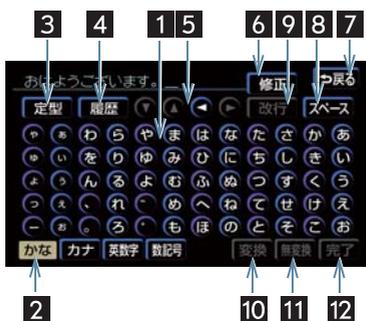
基本的な文字入力方法を説明します。

文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ソフトウェアキーボードは、表示される状況によりスイッチ配列などが変わります。

画面によって入力できる文字数は異なります。また、表示できる文字数には制限があり、画面によって異なります。

ここでは G-Link サービスのソフトウェアキーボードを例としています。

〈かな・漢字入力〉



〈カタカナ入力〉



〈数字・記号入力〉



〈英字・数字入力〉



〈定型文入力時／履歴入力〉



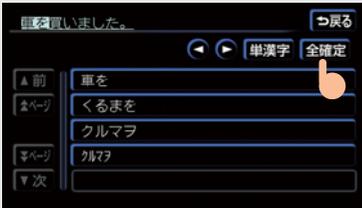
名 称	機 能
1 文字入力スイッチ	各種文字の入力
2 入力モード切り替えスイッチ	文字の入力モードの切り替え [かな] ひらがな、漢字の入力 [カナ] カタカナの入力 [英数字] アルファベット、数字の入力 [数記号] 数字、記号の入力
3 定型スイッチ	定型文を入力するときに使い、定型入力画面を表示
4 履歴スイッチ	前回までに入力した文字列の履歴を表示
5 カーソル移動スイッチ	タッチすると、カーソルが移動し、タッチし続けると、連続してカーソルが移動 <ul style="list-style-type: none"> ● 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入 ● 未確定のときは、未確定の範囲内でカーソルを移動
6 修正スイッチ	スイッチにタッチすると、1文字消去され、タッチし続けると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去 <ul style="list-style-type: none"> ● カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去 ● カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去
7 戻るスイッチ	入力した文字を入力しないで、前の画面に戻る
8 スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力
9 改行スイッチ	改行
10 変換スイッチ	漢字で入力するとき、かな文字入力後にタッチ
11 無変換スイッチ	ひらがなで入力するとき、かな文字入力後にタッチ
12 完了スイッチ	すべての文字を入力後にタッチ <ul style="list-style-type: none"> ● 前の画面に戻る
13 全角/半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替え
14 大文字/小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替え
15 ページ切り替えスイッチ	ページの切り替え
16 定型文字入力スイッチ/ 履歴入力スイッチ	各文字列の入力

漢字に変換する

- 1 かなモードで入力し、[変換]にタッチする。

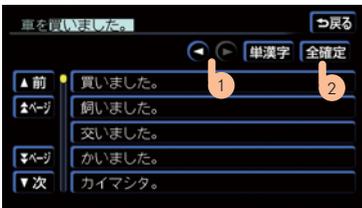


- 2 変換されたすべての文字がそのままであれば、[全確定]にタッチする。



- ▶ 文字（文節）を変換したいときは

- ◀▶にタッチして文節を切り替え、表示されたリストから希望する文節を選択してください。変換がすべて終了したら、[全確定]にタッチします。



- ▶ 表示されたリストに希望する漢字（単語）がなかったときは

- [単漢字]にタッチし、◀▶で単語を切り替えます。表示された音読み・訓読みのリストから希望する漢字を選択してください。変換がすべて終了したら、[全確定]にタッチします。



定型文の編集をする

定型文の内容を変更することができます。ただし、追加することはできません。

情報・G または INFO

メインメニュー

各種設定

編集する

定型文の編集

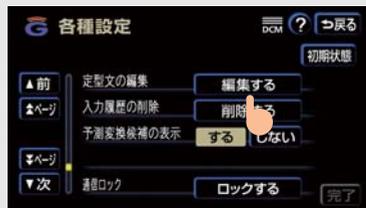
1 [メインメニュー] にタッチする。



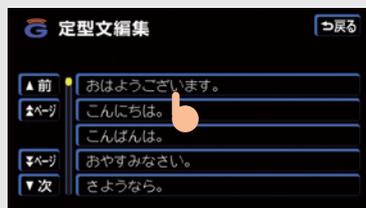
2 [各種設定] にタッチする。



3 [編集する] にタッチする。



4 編集したい定型文にタッチする。



5 定型文を編集する (→ P.14)。



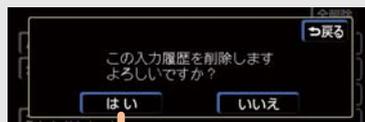
- 全角で 17 文字まで入力できます。

入力履歴を削除する

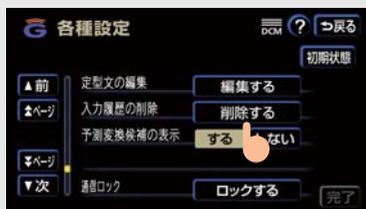
入力履歴を削除することができます。



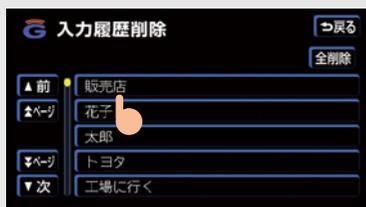
- 3 [はい] にタッチすると、入力履歴が削除される。



- 1 [削除する] にタッチする。



- 2 削除したい履歴にタッチする。



- [全削除] にタッチすると、すべての履歴が削除されます。



予測変換をする

- 1 かな入力の状態で、文字を 1 文字以上入力すると、左下に予測変換候補が表示される。



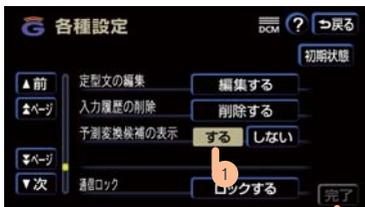
- 2 表示された内容でよければ、左下の予測変換候補にタッチする。



- [V] にタッチすると、次の予測変換候補が表示されます。
- 予測変換候補は、5 個まで表示されます。

▶ 予測変換候補の表示設定をするには

- ➡ 各種設定画面で [する]、[しない] を選び [完了] にタッチする。



単語を登録する

単語と読み方を指定し、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を登録できます。

情報・G または INFO

メインメニュー

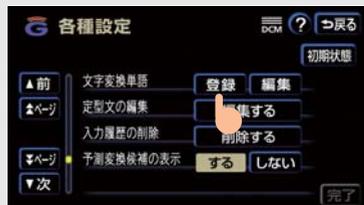
各種設定

登録

単語とその読みを入力する

完了

- 1 [登録] にタッチする。



- 2 [読み]、および[単語]にタッチし、それぞれ入力する。



- 読みは、半角カタカナで、16文字まで入力できます。
- 単語は、全角で16文字(半角32文字)まで入力できます。



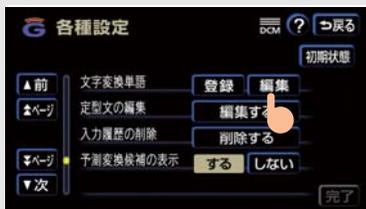
- 3 入力が終わったら、[完了]にタッチする。



- 単語は100個まで登録することができます。

単語の編集をする

- 1 [編集]にタッチする。



- 2 編集したい単語の右側にある[編集]にタッチする。



- 3 [読み]、または[単語]にタッチし、単語を編集する。



- 4 編集が終わったら、[完了]にタッチする。



単語を削除する

- 1 削除したい単語の右側にある【編集】にタッチする。



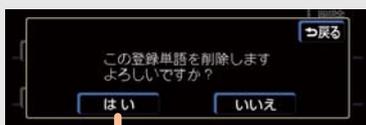
- すべての単語を削除するときは、【全削除】にタッチします。



- 2 【削除】にタッチする。



- 3 【はい】にタッチする。



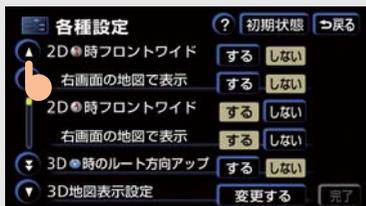
6. リスト画面の切り替え

リスト画面の切り替え方

地図を呼び出すときなど選択項目が複数あるときは、リスト画面が表示されます。

▲・▼での表示切り替え

▲、または▼にタッチする。



- リストを1つ上、または下にスクロールします。

前・次での表示切り替え

【▲前】、または【▼次】にタッチする。



- リストを1つ上、または下にスクロールします。

50音順での表示切り替え

【▲50音】、または【▼50音】にタッチする。



- 50音のかなの順番でジャンプします。

行での表示切り替え

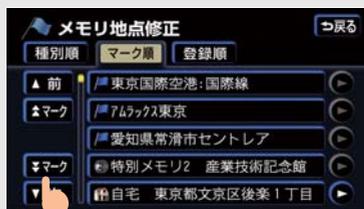
【あ行】・【か行】・【さ行】・【た行】・【な行】・【は行】・【ま行】・【や行】・【ら行】・【わ行】のいずれかにタッチする。



- 選択した行までジャンプします。

マークでの表示切り替え

【▲マーク】、または【▼マーク】にタッチする。



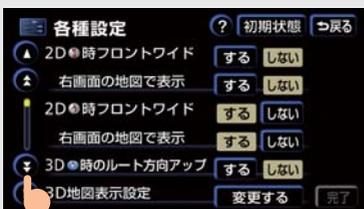
- 前、または次のマークまでジャンプします。

ページでの表示切り替え

【▲ページ】、または【▼ページ】にタッチする。



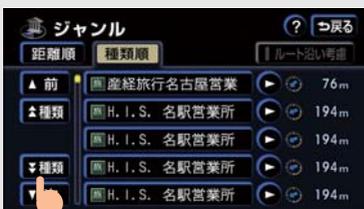
▲、または▼にタッチする。



- 1 ページごとにジャンプします。

種類での表示切り替え

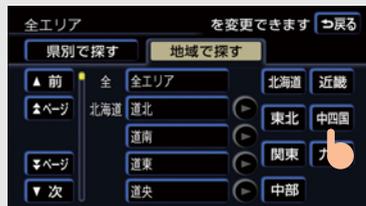
【▲種類】、または【▼種類】にタッチする。



- 前、または次の種類までジャンプします。

地域での表示切り替え

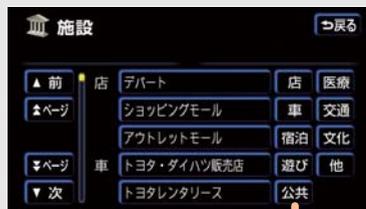
【北海道】・【東北】・【関東】・【中部】・【近畿】・【中四国】・【九州】のいずれかにタッチする。



- タッチした地域にジャンプします。

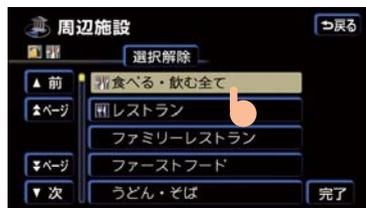
施設項目での表示切り替え

【店】・【車】・【宿泊】・【遊び】・【公共】・【医療】・【交通】・【文化】・【他】のいずれかにタッチする。



- タッチした施設項目ごとにジャンプします。

▶【○○全て】にタッチすると、その項目のすべての施設が選ばれます。



文字の表示範囲の変更

リストに表示されている名称が、すべて表示されないことがあります。名称をすべて確認したいときは、以下の操作をしてください。

▶、または◀にタッチする。



7. 画面を調整・設定する

画質調整画面を表示する

画質・消または DISP

画質調整画面表示

1 画質・消、または DISP を押す。



2 画質調整画面の表示。

<ナビゲーション画面表示例>



<テレビ画面表示例>



- 【調整完了】 にタッチすると、画質調整画面が解除されます。
- 約 20 秒以上操作しなかったとき、自動で解除されます。

画質を調整する

画質調整画面では、コントラストや明るさなどの画質を調整することができます。



- 色合い (テレビ・DVD 映像のみ)
 - ・ 緑色を強くする → 【緑】 にタッチ
 - ・ 赤色を強くする → 【赤】 にタッチ
- 色の濃さ (テレビ・DVD 映像のみ)
 - ・ 色を濃くする → 【濃】 にタッチ
 - ・ 色を淡くする → 【淡】 にタッチ
- コントラスト
 - ・ 強くする → 【強】 にタッチ
 - ・ 弱くする → 【弱】 にタッチ
- 明るさ
 - ・ 明るくする → 【明】 にタッチ
 - ・ 暗くする → 【暗】 にタッチ
- 液晶ディスプレイが冷えているときは、設定した明るさよりも明るくなる場合があります。

ライト点灯時に昼画表示にする

ライト（車幅灯・尾灯・番号灯）を点灯すると、自動的に夜画表示に切り替わります。画質調整画面で、昼画表示に切り替えることができます。

〈ライト点灯時昼画表示例〉



〈ライト点灯時夜画表示例〉



夜画表示のとき、[昼画面] にタッチする。



- タッチするごとに、昼画と夜画表示が切り替わります。
- メーター照度スイッチを右いっぱいまでまわすと、つねに昼画表示にしておくことができます。
- 周囲が明るいときにライトを点灯しても、夜画表示に切り替わらないことがあります。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

[画面消] にタッチする。



- 再度、画面を表示したいときは、各モードのスイッチを押します。

画面モードを切り替える

DVD ビデオ・テレビの映像は、通常映像とワイド映像に切り替えることができます。

WIDE MODE

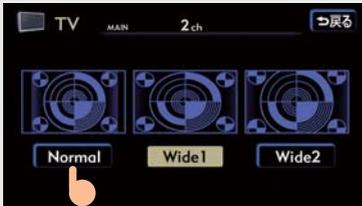
画面モードを選ぶ

画面表示

- それぞれの操作画面で [WIDE MODE] にタッチする。



- [Normal]・[Wide1]・[Wide2] のいずれかにタッチする。



- お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面の圧縮・引き伸ばしなどをおこなうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

標準画モード (Normal)

画面の映像を、たて 3 : よこ 4 の比率で表示します。



ワイド 1 画モード (Wide1)

標準画モード (Normal) を、左右方向に拡大して表示します。



ワイド 2 画モード (Wide2)

標準画モード (Normal) を、上下左右方向に拡大して表示します。ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



1

HDDナビゲーションシステムの操作

タッチスイッチの色を切り替える

タッチスイッチの表示色をかえることができます。

情報・G または INFO

設定

表示色を選ぶ

設定完了

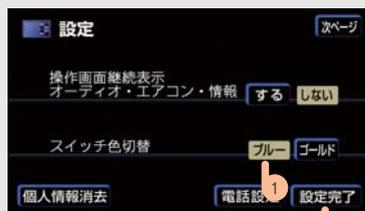
1 情報・G、または INFO を押す。



2 [設定] にタッチする。



3 [ブルー]・[ゴールド] を選び、[設定完了] にタッチする。



〈ブルー〉



〈ゴールド〉



- 本書では、タッチスイッチの表示色にブルーを使用しています。

操作画面継続表示の設定をする

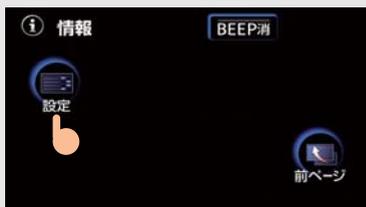
情報・オーディオ操作画面・エアコン操作画面の継続表示を設定することができます。



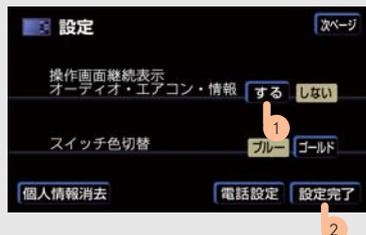
1 情報・G、または INFO を押す。



2 [設定] にタッチする。



3 操作画面継続表示の [する]、[しない] を選び、[設定完了] にタッチする。



- [する] を選択していても、バックガイドモニターなどの割り込み画面が表示されたときは、継続表示されないことがあります。
- [しない] を選択したときは、情報画面・オーディオ操作画面・エアコン操作画面で 20 秒以上操作しないと、もとの画面に戻ります。

1

HDDナビゲーションシステムの操作

8. 音声の調整

起動音を選択する

HDDナビゲーションシステムの起動音を選ぶことができます。

情報・G または INFO

設定

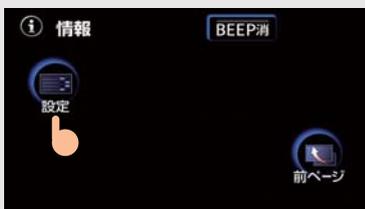
起動音を選ぶ

設定完了

1 情報・G、または INFO を押す。



2 [設定] にタッチする。



3 起動音を選び、[設定完了] にタッチする。



- 起動音選択スイッチにタッチすると、選んだ起動音が再生されます。

起動音の音量を調整する

起動音の音量を調整することができます。

情報・G または INFO

設定

音量を選ぶ

設定完了

1 情報・G、または INFO を押す。



2 [設定] にタッチする。



3 起動音の音量を選び、[設定完了] にタッチする。



応答音を切り替える

タッチスイッチにタッチしたときの応答音を出力する、しないを選ぶことができます。

情報・G または INFO

BEEP 消

1 情報・G、または INFO を押す。



2 [BEEP 消] にタッチする。

作動表示灯



- 作動表示灯が点灯しているときは、応答音は出力されません。

音像制御を切り替える

案内音声やクリアランスソナーの音声など、割込み音声が車両中央あたりから聴こえるように調整されます。オーディオの音場を乱さずに割込み音声を出力させることができます。

情報・G または INFO

設定

音像制御する、しないを選ぶ

設定完了

1 情報・G、または INFO を押す。



2 [設定] にタッチする。



- 3** 音像制御 [する]、[しない] を選び、[設定完了] にタッチする。



- 音像制御をしないときは、割込み音声はフロントスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーの受話音声は音像制御されません。

9. 個人情報情報を消去する

個人情報情報の消去



以下の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
GPS ボイスナビゲーション	ルート学習結果
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	目的地履歴
	走行軌跡
	ユーザーカスタマイズ
	NAVI・AI-SHIFT の設定
オーディオ & ビジュアル	サウンドライブラリに録音している音楽
情報	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス案内の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ロック No.

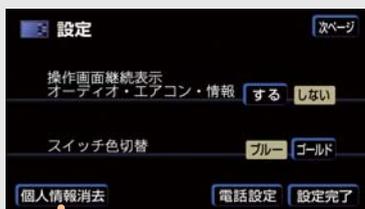
1 情報・G、または INFO を押す。



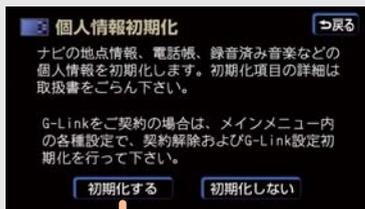
2 [設定] にタッチする。



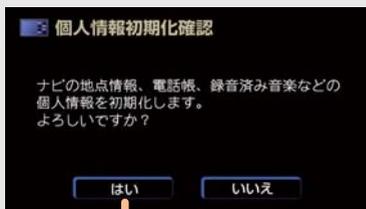
3 [個人情報消去] にタッチする。



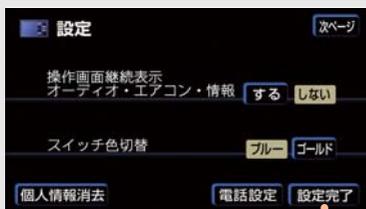
4 [初期化する] にタッチする。



5 [はい] にタッチする。



6 [設定完了] にタッチする。



- G-Link の設定を初期化する (→ P.519)。

10. アンテナ

アンテナの位置と取り扱い

ナビゲーション用 (GPS アンテナ)

インストルメントパネルに内蔵されています。

注意

インストルメントパネル上やウィンドウガラス面には、以下のものを設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。

- 金属を含有するウィンドウフィルム
- その他の金属物 (レクサス純正品以外の電子機器やアンテナなど)

ラジオ・テレビ用

リヤガラスに埋め込まれています。

注意

- アンテナ入りガラス (室内側) の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- リヤガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ (雑音) がはいるおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウィンドウフィルム
 - ・ その他の金属物 (レクサス純正品以外のアンテナなど)

G-Link 用 (通信アンテナ)

ルーフ後端とインストルメントパネルに内蔵されています。

GPS ボイスナビゲーション

1 お使いになる前に	
1. はじめに.....	40
知っておいていただきたいこと	40
2 ここからはじめましょう	
1. 地図を操作してみましょう	41
地図に現在の車の位置を 表示するには	41
地図を動かすには	41
地図を拡大／縮小するには	41
2. 自宅を登録してみましょう	42
自宅を登録するには	42
3. ルート案内をさせて みましょう	45
目的地を決めましょう	45
ルート案内を中止したいときは	47
目的地を消去したいときは	47
4. GPSボイスナビゲーション とは?	48
ナビゲーション画面の見方	48
音声案内について	49
3 地図の操作	
1. メニュー画面について	50
メニュー画面	50
2. 地図の表示	53
現在地の表示	53
タッチスイッチの表示	54
地図の移動 (ワンタッチスクロール)	55
地図縮尺の切り替え	56
地図向きの切り替え	56
フロントワイド表示	57
2画面表示	57
3D表示	59
地図の表示色の切り替え	62
地図の文字サイズの切り替え	64
市街図表示	64
駐車場マップ表示	65
3. 地図表示画面の設定	66
施設の表示	66
周辺施設走行中呼び出し ジャンルの変更	69
ビジュアルシティマップ表示	70
立体ランドマークの表示	70
道路形状警告	71
交通事故多発区間警告	72
季節規制区間の表示	72
走行軌跡の表示	73
シーズンレジャーランドマークの 表示	74
県境案内表示	74
画面切り替え時の動画表現	74
4. 高速道路・都市高速道路表示	75
ハイウェイモード	75
高速路線マップ	76
高速分岐案内	78
都市高速マップ	79
5. 音声の設定	80
音量設定	80
操作説明音声	80
ハートフル音声	80

6. 地図の呼び出し方法	81
地図の呼び出し方法	81
名称で地図を呼び出す	83
施設で地図を呼び出す	85
住所で地図を呼び出す	87
電話番号で地図を呼び出す	88
郵便番号で地図を呼び出す	89
ジャンルで地図を呼び出す	90
履歴で地図を呼び出す	91
マップコードで地図を呼び出す	92
7. 呼び出した地図の操作	93
呼び出した地図の操作	93

4 目的地案内

1. 目的地案内の方法	95
目的地案内の方法	95
2. 目的地の設定・ルート探索	96
目的地の設定	96
ルート探索.....	97
全ルート図表示.....	99
3. 目的地案内の開始	103
目的地案内の開始	103
4. 目的地への案内	104
音声案内	104
交差点案内.....	105
到着予想時刻の表示	109
料金案内	110
フェリー航路の案内	111
5. 案内中の操作	112
オンルートスクロール	112
全ルート図を表示させるには	114
残距離表示を切り替える	115
6. ルートの再探索・表示	116
自動再探索.....	116
ルートの再探索.....	116

ルート変更.....	118
7. 目的地履歴の消去	126
目的地履歴の消去	126

5 地点の登録

1. メモリ地点の登録	127
メモリ地点について	127
メモリ地点の登録	127
メモリ地点の修正・入力.....	129
メモリ地点の消去	135
2. 迂回メモリ地点の登録	136
迂回メモリ地点の登録	136
迂回メモリ地点の修正・入力.....	137
迂回メモリ地点の消去	138

6 ナビを使いこなすために

1. 補正が必要なとき	139
現在地の修正	139
距離の補正.....	140
2. ナビの設定を記憶したいとき	142
記憶することのできる設定項目	142
各種ナビ設定の記憶	142
記憶の呼び出し	143
名称の変更.....	144
各種ナビ設定の記憶の消去.....	144
3. 各種設定機能一覧	145
各種設定.....	145
4. NAVI・AI-SHIFTについて	152
NAVI・AI-SHIFT	152
5. GPSについて	153
GPS とは.....	153
GPS 情報を利用できないとき.....	153

6. 地図について	154
システムの特性上、避けられない ズレ	154
知っておいていただきたいこと	154
地図データの情報を見るには	154
地図データベースについて	155
地図のスケール表示について	156
地図記号・表示について	156
7. 知っておいていただきたい こと	158
こんなメッセージが表示された ときは	158
故障とお考えになる前に	160
精度について	161

7 VICS

1. VICS情報を表示する	163
表示させたい VICS 情報の決定	163
VICS 情報の表示	164
2. VICS情報の活用	166
渋滞・規制音声案内	166
VICS 図形情報の表示	166
VICS 文字情報の表示	167
割り込み情報（ビーコン即時案内）の 表示	168
渋滞考慮探索	170
3. VICS放送局の選択	171
放送局の選択	171
4. VICSの概要	173
VICS とは	173
VICS について	174
知っておいていただきたいこと	175
VICS 記号・表示について	177

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

1. はじめに

知っておいていただきたいこと

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行中は操作できない機能があります。操作できないタッチスイッチは、灰色になり、タッチしても操作できません。
- 目的地案内で表示されるルートは、目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行くことのできるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正をしてください（→ P.140）。このシステムは、タイヤの回転などをもとに作動しているため、タイヤを交換すると、精度が悪くなる場合があります。
- 自転車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示をしています。ただし、人工衛星からの電波の精度が悪いときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか受信できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は補正などによってなくすことはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている（自転車位置マークがずれている）ことがあります。
 - ・ 人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自転車位置マークがずれることがあります。
 - ・ 新しい道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マークがずれることがあります。
 - ・ 地図の自転車位置マークがずれても、しばらく走行するとマップマッチングや GPS 情報が利用され、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては数分かかることもあります）。マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自転車位置マークを表示させるシステムです。「精度について」もあわせてご覧ください（→ P.161）。
 - ・ GPS 情報が利用できず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正をしてください（→ P.139）。

1. 地図を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示するには

現在地、または MAP を押すと、現在の車の位置  が表示されます。



地図の表示について

表示された地図には、いろいろな表示のしかたがあります。

地図の表示	ページ
タッチスイッチを消す	54
地図の向きをかえる	56
進行方向の地図を広く表示	57
左右2画面で表示	57
地図を立体的に表示	59
地図の表示色をかえる	62
市街図を表示	64

地図を動かすには

地図にタッチすると、タッチしたところが画面の中心になります。



地図を拡大／縮小するには

拡大するには **詳細**、縮小するには **広域** にタッチする。



2. ここからはじめましょう

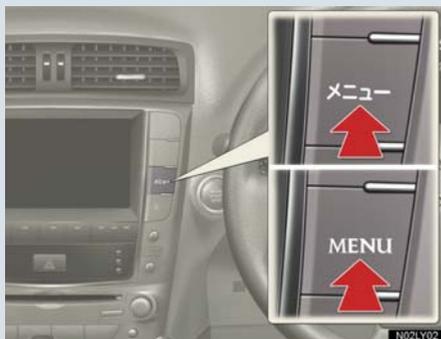
2. 自宅を登録してみましょう

自宅を登録するには

自宅を登録しておく、目的地設定で **自宅に帰る** にタッチするだけで自宅までのルート探索ができます。

(例) 自宅「東京都文京区後楽 1丁目 4-18」の登録

1 **メニュー**、または **MENU** を押す。



4 地図を呼び出す方法を選ぶ。ここでは、**住所** にタッチする。



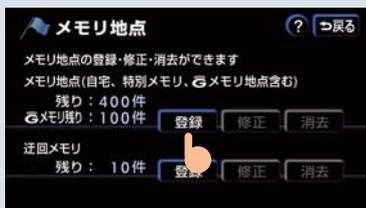
2 **メモリ地点** にタッチする。



5-1 自宅の住所を選びます。
まず **東京 23 区** にタッチする。



3 **メモリ地点の登録** にタッチする。



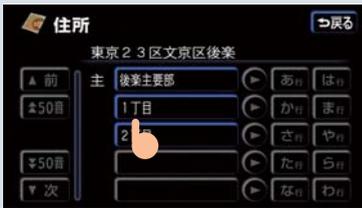
5-2 **文京区** にタッチする。



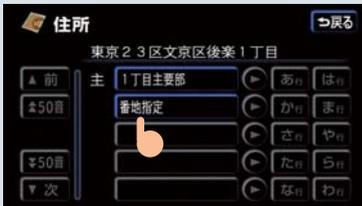
5-3 後楽 にタッチする。



5-4 1丁目 にタッチする。



5-5 番地指定 にタッチする。



5-6 番地を入力する。



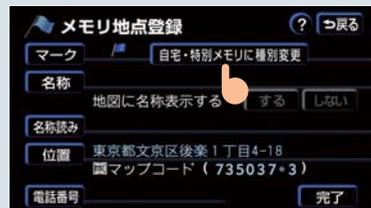
6 完了 にタッチする。

7 ↑ にタッチして、自宅の位置に
📍 を合わせる。

8 セット にタッチする。



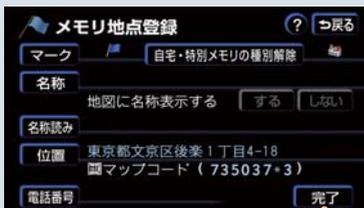
9 自宅・特別メモリに種別変更 にタッチする。



10 自宅の **未登録** にタッチする。



11 **完了** にタッチする。



3. ルート案内をさせてみましょう

目的地を決めましょう

(例)「名称」から「上野動物園」を探し、目的地に設定する

1 目的地設定、または DEST を押す。



2 名称 にタッチする。



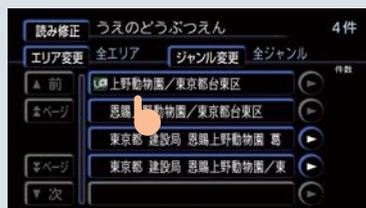
3 「うえのどうぶつえん」と入力する。



4 完了 にタッチする。



5 上野動物園 にタッチする。



6 上野動物園 にタッチして、目的地に設定したい場所にマーカーを合わせる。



7 目的地セット にタッチする。



8 案内開始 にタッチする。



▶ 目的地セット が表示されないときは

➔ 新規目的地 にタッチ



● 追加目的地 の使い方 (→ P.96)。

検索方法について

目的地は、名称から検索する以外にもさまざまな方法があります。

検索方法	ページ
施設から検索	85
住所から検索	87
電話番号で検索	88
郵便番号で検索	89
ジャンルから検索	90
マップコードで検索	92
Gで設定	605

全ルート図について

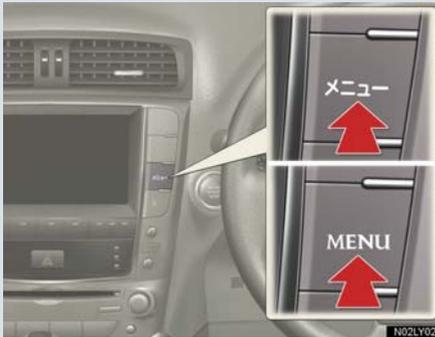
案内を始める前に、全ルート図から以下のことができます。

項目	ページ
ルート情報を表示	101
別のルートを表示	101
探索条件を変更	118
目的地の追加	118
目的地の並び替え	120
目的地の消去	120
出入口 IC の指定・解除	122
通過道路の指定	123
通過道路の修正	124
通過道路指定の解除	125
季節規制区間を迂回するルートの探索	125
G ルート探索	599

ルート案内を中止したいときは

ルート案内中に、寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

- 1 メニュー、または MENU を押す。



- 2 案内中止 にタッチする。



- 案内を再開したいときは、案内再開 にタッチします。

目的地を消去したいときは

目的地までの道のりがわかったときなど、ルート案内が必要でなくなったときに目的地を消去することができます。

- 1 目的地設定、または DEST を押す。



- 2 目的地消去 にタッチする。



- 3 はい にタッチする。



4. GPS ボイスナビゲーションとは？

ナビゲーション画面の見方

目的地を設定すると、ルートを探査し、音声と画面表示により目的地案内を行います。

目的地案内中の現在地画面



Gスイッチ

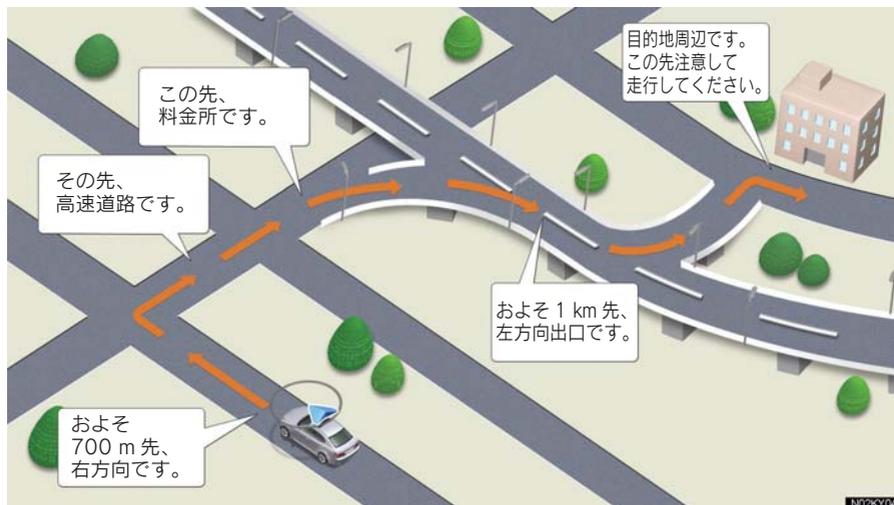
表示	内容
1 方位マーク (ヘディングアップ時は )	地図の方角を表示 (→ P.56)
2 自車位置マーク	現在位置・車両進行方向を表示
3 レーン (車線) 表示	通過・分岐する交差点の車線を表示 (→ P.105)
4 ルート表示	目的地までのルートを表示 (→ P.99)
5 名称表示	通過・分岐する交差点の名称を表示
	走行している道路の名称を表示
	通過する IC・SA・PA の名称を表示 (高速道路走行中)
6 案内ポイント	分岐する IC・JCT の方面を表示 (高速道路走行中)
	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示 (→ P.105)
7 残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示 (→ P.115)
8 到着予想時刻表示/ 目的地方向マーク	<ul style="list-style-type: none"> ●到着予想時刻表示 目的地への到着予想時刻を表示 (→ P.109) ●到着予想時刻表示を切り替える (→ P.115)
	<ul style="list-style-type: none"> ●目的地方向マーク 案内中のルートからはずれたとき、目的地の方向を表示
9 VICS タイムスタンプ	VICS 情報が提供された時刻を表示 (→ P.165)

表示	内容
10 GPS マーク	人工衛星から有効な位置データを受信しているときに表示 (→ P.153)
11 スケール表示	地図の縮尺を表示 (→ P.56、P.156)

- Gスイッチは、G-Link 利用契約をしているときに使うことができます。なお、G-Link 利用契約をされていない場合、[G] は表示されません。
Gスイッチの操作のしかた (→ P.527)。

音声案内について

目的地案内中に、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声を出力します (→ P.104)。



1. メニュー画面について

メニュー画面

メニュー画面から、以下の操作ができます。
各種設定項目の設定のしかた（→ P.145）。

メニューまたは MENU

メニュー画面表示



、または  を押すと、メニュー画面が表示される。

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
案内中止／案内再開※ 1	目的地案内の中止・再開	103
音量設定	音声案内の音量設定	80
VICS	VICS 図形情報・文字情報の表示	166、167
	割り込み情報の表示の設定	168
	VICS 提供放送局の選択	171
渋滞予測※ 2	渋滞予測情報の表示	596
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	127～135
	Gメモリ地点の修正・消去※ 2	129～135
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	136～138
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去	142～144
各種設定	フロントワイド表示の ON・OFF	57
	3D 時ルート方向アップ表示 ON・OFF	61
	3D 表示の角度の調整	59
	地図の表示色の切り替え	62

項目 (タッチスイッチ)	機能	ページ
各種設定	ビジュアルシティマップ表示の ON・OFF	70
	地図の文字サイズ変更	64
	立体ランドマーク表示の ON・OFF	70
	シーズンレジャーランドマーク表示の ON・OFF	74
	地図スクロール時の地名表示の ON・OFF	55
	交差点拡大図自動表示の ON・OFF	105
	高速分岐模式図自動表示の ON・OFF	78
	レーンリスト自動表示の ON・OFF	105
	ターンリスト自動表示の ON・OFF	107
	都市高速マップ自動表示の ON・OFF	79
	高速路線マップ自動表示の ON・OFF	76
	駐車場マップ自動表示の ON・OFF	65
	縮尺切替メッセージ表示の ON・OFF	56
	道路形状警告の ON・OFF	71
	交通事故多発区間警告の ON・OFF	72
	料金案内の ON・OFF	110
	県境案内の ON・OFF	74
	3D 交差点拡大図の ON・OFF	106
	平均車速の設定	109
	G 情報マーク連動サービスの ON・OFF ※ 2	604
	VICS 渋滞・規制音声自動発声の ON・OFF	166
	自動音声案内の ON・OFF	104
	他モードでの案内の ON・OFF	104
	操作説明音声の ON・OFF	80
	ハートフル音声の ON・OFF	80
	音声認識モードの切り替え	304
	音声認識ガイド音声の ON・OFF	304

項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
各種設定	自動再探索の ON・OFF	116
	ルート学習の ON・OFF	98
	ルート学習結果の消去	98
	季節規制区間メッセージの ON・OFF	72
	渋滞考慮探索の ON・OFF	170
	G ルート探索情報自動取得の ON・OFF ※ ²	600
	スイッチ表示の設定	54
	周辺施設の走行中呼出ジャンルの変更	69
	車両情報の設定 ※ ³	111
	目的地履歴の消去	126
	画面切り替え時の動画表現の ON・OFF	74
	NAVI・AI-SHIFT の ON・OFF	152
	現在地の修正・距離の補正	139 ~ 140
? (ヒント機能)	スイッチの機能説明	13
使用データ	地図データの情報の表示	154

※¹ 目的地が設定されていないときは、操作できません。

※² G-Link 利用契約をされているときのみ操作できます。

※³ 目的地が設定されているときは、操作できません。

2. 地図の表示

現在地の表示

地図に現在の車の位置（自車位置）を表示することができます。

現在地または MAP

現在地画面表示

現在地（自車位置）または MAP（自車位置）を押すと、現在地画面が表示される。



- 走行中は表示される道路が制限されます。
- 以下のとき、実際の現在地と自車位置マークがずれることがあります。ただし、しばらくすると現在地は自動的に修正されます。
 - ・ 新車時
 - ・ バッテリーターミナルを取りはずしたのち、取り付けたと
- 現在地が自動的に修正されないときは
 - ➔ 安全な場所に車をとめて現在地の修正をしてください（→ P.139）。

▶ 現在地画面で、現在地（自車位置）または MAP（自車位置）を押すと

➔ 現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



- 以下のとき路線名・路線番号は表示されません。
 - ・ 地図データに情報がないとき
 - ・ 200 m 図より広域な地図を表示させているとき
- 高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

タッチスイッチの表示

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

◀Off

スイッチ表示が少なくなる

[[◀Off] にタッチする。



- 表示させたいタッチスイッチの設定をかえることができます。設定のしかたは、「スイッチ表示設定」をご覧ください。

▶ もう一度タッチスイッチを表示させたいときは

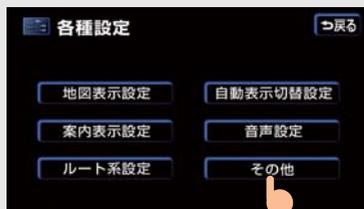
→ [[▶On] にタッチ



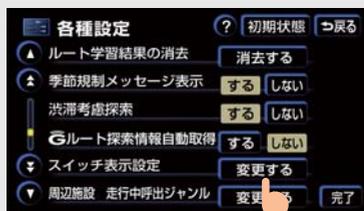
スイッチ表示設定

- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。

- 2 [その他] にタッチする。



- 3 スイッチ表示設定の [変更する] にタッチする。



- 4 表示設定をかえたいタッチスイッチにタッチし、[完了] にタッチする。



- 灰色にかわったタッチスイッチは、地図上に表示されなくなります。
- [初期状態] にタッチすると
 - ▶ スイッチ表示設定は初期状態に戻ります。
- G-Link利用契約をされていない場合も[G]について選択できますが、現在地画面には表示されません。

地図の移動 (ワンタッチスクロール)

地図に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かす(スクロール)ことができます。

地図にタッチする

地図が動く(スクロール)

地図のタッチスイッチ以外の場所にタッチする。



- タッチし続けると
➡ 地図が早くスクロールします。
- 地図の左下に現在地からの直線距離が表示されます。
- 走行中は安全のため、一定の距離しかスクロールしません。
- 以下のとき、走行中に地図をスクロールさせることはできません。
 - ・市街図を表示しているとき(→ P.64)
 - ・駐車場マップを表示しているとき(→ P.65)
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。このとき、、または  を押し、現在地の表示にすると地図が動きます。

▶ スクロールしているときは

- ➡  付近の地名・路線名・路線番号が表示されます。



- スクロール時の地名の表示・非表示が設定できます(→ P.145)。
- 以下のとき路線名・路線番号は表示されません。
 - ・地図データに情報がないとき
 - ・200 m 図より広域な地図を表示させているとき
- 高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

地図縮尺の切り替え

地図を希望の縮尺に切り替えることができます。

広域または詳細

地図の縮尺が切り替わる

地図の縮尺を大きくしたいときは〔広域〕、小さくしたいときは〔詳細〕にタッチする。



- 地図の縮尺は、1/2048万図～1/5千図の間で切り替わります。
- タッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- 走行していないとき、スケールバーの数字にタッチすると
➡ 数字の縮尺に切り替わります。
- 走行していないとき、約1秒以上タッチすると
➡ 縮尺は無段階に切り替わります。
- 最大範囲にすると〔広域〕、最小範囲にすると〔詳細〕は表示されません。

▶ 縮尺の切り替え中に、『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。



- 縮尺切り替えメッセージの表示・非表示が設定できます (→ P.148)。

地図向きの切り替え

表示している地図の向きをつねに北（ノースアップ）、または車の進行方向が つねに上向き（ヘディングアップ）に切り替えることができます。

📍 または 📍

地図向き切り替え

📍 または 📍 にタッチする。

〈ノースアップ表示〉



〈ヘディングアップ表示〉



- 📍 または 📍 の縁取りが、黒色のときに操作できます。
- 現在地画面以外の画面（目的地設定など）にすると、ノースアップ表示になることがありますが、現在地画面にするとヘディングアップに戻ります。
- 3D表示にしているときは、つねにヘディングアップ表示になります。

フロントワイド表示

進行方向の地図を広く表示させる（フロントワイド表示）ことができます。



- フロントワイド表示のする、しないを設定できます（→ P.145）。

2画面表示

画面を左右2分割して表示させ、左右に以下のような画面を表示できます。

- 左右異なる縮尺で表示
- ヘディングアップ表示とノースアップ表示
- 施設表示のON・OFF
- 3D表示のON・OFF



地図表示中

表示変更

地図表示

2D ツインまたは 3D ツイン

通常の 2 画面、
または 2 画面 3D 表示

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2 [地図表示] にタッチする。



- 3** [2D ツイン] (通常の2画面)、または [3D ツイン] (2画面3D) にタッチする。



- 左画面の操作は、1画面表示と同じです。
- 左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- 現在画面以外 (目的地設定など) では、2画面表示は解除されますが現在画面にすると2画面表示に戻ります。

右画面の操作

- 1** 右画面にタッチする。



- 2** 右画面の設定をする。



- 地図の縮尺をかえる。
➔ [詳細]、または [広域] にタッチ
- 地図の向きをかえる。
➔ または にタッチ

- [3D表示] にタッチすると
➔ 3D表示になります (→ P.59)。
- [周辺施設表示] にタッチすると
➔ 左画面と同じ施設が表示されます (→ P.66)。
- [VICS表示] にタッチすると
➔ 左画面と同じVICS情報が表示されます (→ P.164)。

2画面表示の解除

- 1** 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2** [地図表示] にタッチする。



- 3** [2D] (通常の表示)、または [3D] (通常の3D) にタッチする。



- 再度、2画面表示させたときは、前回、2画面表示にさせていたときの縮尺で地図が表示されます。

3D 表示

地図を立体的（3D 表示）に表示させることができます。



地図表示中

表示変更

地図表示

3D または 3D ツイン

通常の 3D 表示、
または 2 画面 3D 表示

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。

- 2 [地図表示] にタッチする。



- 3 [3D]（通常の 3D）、または [3D ツイン]（2 画面 3D）にタッチする。

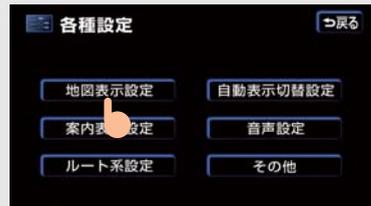


- 3D 表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。
- 現在地画面以外（目的地設定など）では 3D 表示が解除されますが、現在地画面にすると 3D 表示に戻ります。

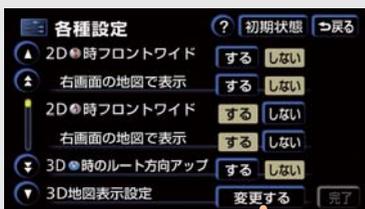
3D 表示の角度設定

- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする（→ P.50）。

- 2 [地図表示設定] にタッチする。



- 3** 3D 地図表示設定の【変更する】にタッチする。



- 【初期状態】にタッチすると
➔ 角度が初期設定に戻ります。

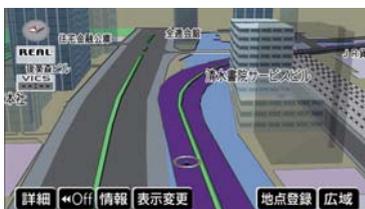


- 4** 角度を上げるときは、下げるときはにタッチし、【セット】にタッチする。



リアル市街図表示

3D 表示のとき、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。



視点の調整のしかた

視点を上げるときは【広域】、下げるときは【詳細】にタッチする。



- タッチするごとに3段階切り替わります。
- 約1秒以上タッチし続けると
➔ 9段階切り替わります。
- 【広域】、または【詳細】にタッチしたあと、スケールバーにタッチしても切り替えることができます。
- 最高角度のとき、【広域】にタッチすると
➔ リアル市街図表示は解除されます。
- 最低角度にすると、【詳細】は表示されません。

地図の回転

- 1** 地図にタッチする。



- 2** にタッチすると時計回り、にタッチすると半時計回りに回転する。



- 現在地画面にすると、回転前の画面に戻ります。

3D 時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。



- ルート方向アップ表示が ON のときは、方位マークが青色になります。
- 3D 時ルート方向アップ表示のする、しないを設定できます (→ P.145)。

3D 表示の解除

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2 [地図表示] にタッチする。



- 3 [2D] (通常の表示)、または [2Dツイン] (通常の2画面) にタッチする。



地図の表示色の切り替え

地図の表示色をかえることができます。表示色は、ノーマル画の他に昼画・夜画それぞれ4種類あります。

メニューまたは MENU

各種設定

地図表示設定

地図表示色の選択

完了

地図の表示色変更

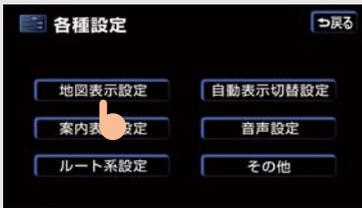
モード	昼画	夜画
フレッシュ		
クール		
シック		



- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。



- 2 [地図表示設定] にタッチする。



- 3 昼の地図色・夜の地図色の、[ノーマル]・[フレッシュ]・[クール]・[シック]・[ウォーム] のいずれかにタッチし、[完了] にタッチする。



- 本書の地図画面は、ノーマル画を使っています。

地図の文字サイズの切り替え

地図上に表示される文字の大きさをかえることができます。

メニューまたは MENU

各種設定

地図表示設定

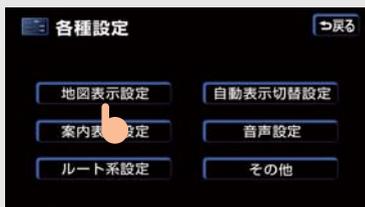
文字サイズ選択

完了

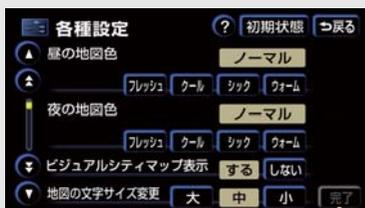
- 1 メニュー画面で[各種設定]にタッチする(→ P.50)。



- 2 [地図表示設定]にタッチする。

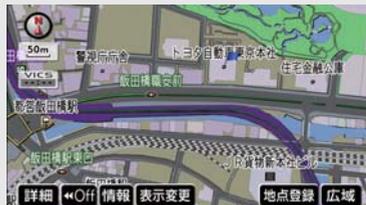


- 3 [大]・[中]・[小]のいずれかにタッチし、[完了]にタッチする。



市街図表示

市街図がある地域は、市街図表示に切り替えることができます。



- 市街図表示は、1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。

- ▶ 1/5 千図を表示中に、[市街図]にタッチすると

→ 1/5 千市街図が表示されます。



- [広域]、または[詳細]にタッチして、1/5 千市街図と 1/2500 市街図を切り替えます。
- [市街図]はデータのある地域のみ表示されます。
- 市街図がない地域に移動すると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 3D 表示中に、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります(→ P.60)。

市街図表示の解除

1/5 千市街図の表示中に、[広域]にタッチする。

施設の内容の表示

- 1 市街図の表示中に、[情報] にタッチする。



- 2 ↑ にタッチして、📍 を内容表示させたい建物に動かし、[施設情報] にタッチする。



- 情報のない建物もあります。
- 建物にひとつしか施設がないときに [施設情報] にタッチすると
➔ 施設の内容が表示されます。

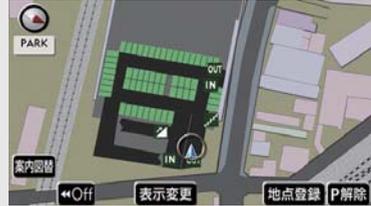


- 3 施設を選ぶ。



駐車場マップ表示

駐車場の見取り図を表示させることができます。



駐車場マップ表示について

- 駐車場マップの情報がある駐車場のみ表示されます。
- 駐車場マップの自動表示する、しないを設定できます (→ P.147)。
- 駐車場マップの自動表示が解除されていても、[案内図替] にタッチすると、駐車場マップが表示されます。

駐車場マップの解除

[P 解除] にタッチする。

- [案内図替] にタッチするごとに、通常の地図と駐車場マップを切り替えることができます。

3. 地図表示画面の設定

施設の表示

地図に施設の記号を表示させることができます。



地図表示中

表示変更

周辺施設

施設のジャンルを選択

地図に施設記号表示

- 1 地図表示中に、「表示変更」にタッチする。



- 2 「周辺施設」にタッチする。



- 3 表示したい施設のジャンルにタッチすると、選んだジャンル記号が地図上に表示されます。



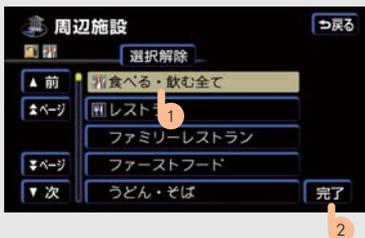
- 複数（5 つまで）選択したいときは ➔ **1**～**3** の手順を繰り返します。
- すでに表示されている施設のジャンルにタッチすると、そのジャンルが解除されます。
- [G 情報マーク表示] は G-Link 利用契約をされているときに使うことができます (➔ P.603)。
- 表示されている以外のジャンルを表示させたいときは ➔ **[全ジャンル]** にタッチ
- 施設の記号は、1/8 万図より詳細な地図で表示させることができます (全ルート画面を除く)。
- 表示させることのできる施設は、 または から半径約 10 km 以内にある施設のみです (200 件まで)。
- 以下の画面表示中は、施設情報を表示することができません。
 - ・ 高速路線マップ
 - ・ 駐車場マップ

▶ [全ジャンル] にタッチしたときは

- 表示したい施設のジャンルにタッチする。



- ジャンルを選び、[完了] にタッチする。



- 間違えたとき、施設のジャンルを解除したいときは → [選択解除] にタッチ

- [選択完了] にタッチすると、選んだジャンル記号が地図上に表示されます。



- 複数選ぶときは → [選択する] にタッチ

施設表示の消去

- 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- [周辺施設] にタッチする。

- [表示解除] にタッチする。



近くの施設の検索

Ⓛ または Ⓜ の近くにある施設の名称・直線距離・方向を表示させることができます。

- 検索させることができる施設は、Ⓛ または Ⓜ から半径 10 km 以内にある施設のみです (200 件まで)。

- 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。

2 [周辺施設] にタッチする。



3 [施設検索] にタッチする。



4 施設名称にタッチする。



- または から近い順に並びかえる
➔ [距離順] にタッチ
- 施設の記号別に並びかえる
➔ [種類別] にタッチ
- 目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示と連動させる
➔ [ルート沿い考慮] にタッチ
 - ・ 設定されているルートに沿った距離と、ルートに対して左右・後ろのいずれかの方向を表示します。
 - ・ 表示される施設はルート沿いにある施設のみです。

- 表示されている矢印は、現在の進行方向から見てどの方向にその施設があるかを示しています。
- ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。



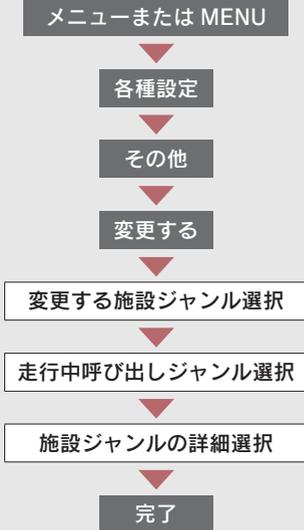
5 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示される。



- [情報] にタッチすると
➔ 施設の内容が表示されますが、表示されない施設もあります。

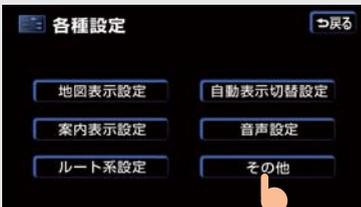
周辺施設走行中呼び出し ジャンルの変更

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

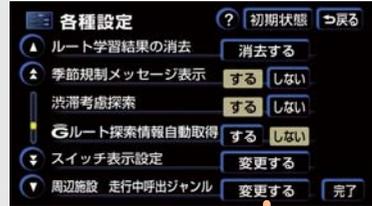


- 1 メニュー画面で【各種設定】にタッチする (→ P.50)。

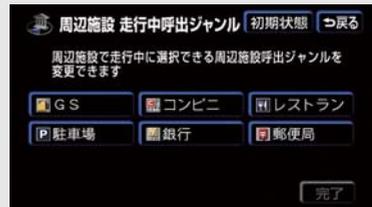
- 2 【その他】にタッチする。



- 3 周辺施設 走行中呼び出しジャンルの【変更する】にタッチする。

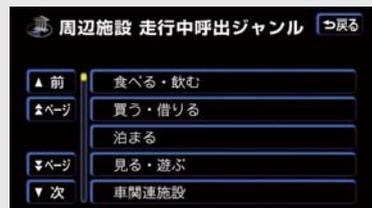


- 4 変更したい施設のジャンルにタッチする。

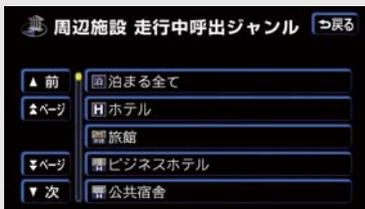


- 【初期状態】にタッチすると
→ すべての周辺施設走行呼び出しジャンルの項目が初期設定の状態に戻ります。

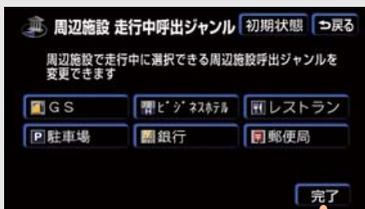
- 5 登録したい施設のジャンルにタッチする。



6 施設ジャンルの詳細にタッチする。



7 [完了] にタッチする。



ビジュアルシティマップ表示

ビジュアルシティマップは、地図上の道幅を、実際の道路幅と比率を同じように表示します。また、地図記号は立体的に表示されます。



- ビジュアルシティマップの表示、非表示を設定できます (→ P.145)。

立体ランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。

立体ランドマーク



- 立体ランドマークの表示、非表示を設定できます (→ P.145)。
- 立体ランドマークの表示は、1/8 万図より詳細な地図で表示させることができます (全ルート図表示画面、リアル市街図を除く)。

立体ランドマークの内容の表示

立体ランドマークにタッチし、[情報] にタッチする。



- 立体ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 情報付き施設が検索されたときの操作のしかた (→ P.350)。

道路形状警告

道路形状警告地点（踏切・合流道路・急カーブ・レーン減少）付近では、地図上および地図右上に警告マークが表示されます。

- レーン減少は、都市高速道路走行中のみ案内されます。



- 表示される警告マーク
 - ・ 踏切 ……………
 - ・ 合流道路 ………
 - ・ 急カーブ ………
 - ・ レーン数減少 …
 - ・ 右左折専用レーン … なし
- 道路形状警告の表示、非表示を設定できません（→ P.148）。
- 状況によって、道路形状警告は行われなことがあります。
- 道路形状警告は、遅れたり、早くなったりすることがあります。
- 地図データに情報のない地点では、道路形状警告は行われません。

直進する交差点付近に右左折専用レーンがあるときの音声案内の例

「この先、右折（左折）専用レーンがあります。」



- 目的地案内中で、右左折する交差点では右折（左折）専用案内はされません。このとき「ポーン、まもなく右方向（左方向）です。」と音声案内されます。

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

〈一般道路上の警告〉



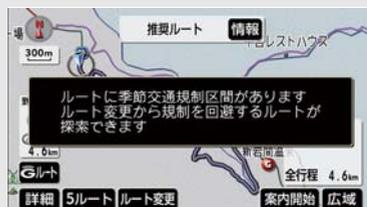
〈高速道路上の警告〉



- 警告マーク
 - ・ 一般道路上…… 
 - ・ 高速道路上…… 
- 高速道路上の交通事故が多発している地点付近では、音声案内もされます。
- 交通事故多発区間警告の表示、非表示を設定できます（→ P.148）。
- 交通事故多発区間警告は、全ルート図を除く、1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示させることができます。

季節規制区間の表示

冬季通行止めなど、長期間規制される区間を含むルートが探索されたとき、全ルート図画面に  が表示されます。このとき、メッセージも表示させることができます。



- 季節規制区間メッセージの表示、非表示を設定できます（→ P.150）。
- 季節規制区間を迂回するルートを探したいとき（→ P.125）。

走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡を表示することができます。保存される走行軌跡は約 1000 km 分です。

走行軌跡



地図表示中

表示変更

走行軌跡表示

走行軌跡の表示

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。

- 2 [走行軌跡表示] にタッチする。



走行軌跡の消去

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2 [走行軌跡解除] にタッチする。



- 3 [はい] にタッチする。



- 地図上、および保存してある走行軌跡の情報が消去されます。
- [いいえ] にタッチすると
→ 地図上から走行軌跡は消去されますが、保存してある走行軌跡の情報は消去されません。
- もう一度表示させたいときは
→ [走行軌跡表示] にタッチ

走行軌跡について

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 走行軌跡は、1/2500図～1/512万図で表示させることができます。
- 走行軌跡は以下のとき、表示できません。
 - ・リアル市街図
 - ・高速路線マップ

シーズンレジャーランド マークの表示

桜や紅葉の名所（シーズンレジャーランドマーク）を時期に合わせて表示させることができます。



- 桜の名所………🌸
- 紅葉の名所………🍁
- シーズンレジャーランドマークの表示、非表示を設定できます（→ P.145）。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示させることができます（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）。

県境案内表示

都道府県境を通過したとき、その都道府県のマークを表示させることができます。このとき、音声案内も出力されます。



- 県境案内をする、しないを設定できます（→ P.148）。
- 県境を通過するとき、案内が遅れたり、早くなったりすることがあります。

画面切り替え時の動画表現

画面が切り替わるタッチスイッチにタッチしたときなどに、画面を動画（アニメーション表現）のように表示させることができます。

- 画面切り替え時の動画表現する、しないを設定できます（→ P.151）。
- 動画表現させることができない画面もあります。

4. 高速道路・都市高速道路表示

ハイウェイモード

高速道路にはいると、画面はハイウェイモードに切り替わります。

- 都市高速では切り替わりません（目的地案内中は除く）。



名称	機能
1 道路名称表示	最寄り、または選んだ施設の道路の名称を表示
2 距離表示	現在地からの距離を表示
3 施設名称表示	施設名称を表示
4 通過予想時刻表示	選んだ施設を通過する予想時刻表示
5 設備マーク表示	SA・PAにある設備を6つまで表示（ガソリンスタンド※は除く）
6 VICS 記号・表示	VICS 情報を受信したときに表示

- ▲・▼、または施設名称（IC・SA・PA）にタッチすると ➡ 施設を選択できます。
- [現区間] にタッチすると ➡ 現在地から最寄りの施設が選択されます。

記号	内容	記号	内容
—	レストラン※		FAX サービス
—	ドラッグストア※		ショッピングコーナー
	仮眠休憩施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便ポスト		スマートIC(ETC専用インターチェンジ)

※ガソリンスタンド・レストラン・ドラッグストアは固有のロゴマークが表示されます。

ハイウェイモードの解除

1 [案内図替] にタッチする。



- もう一度表示させたいときは
➔ [案内図替] にタッチ



2 分岐点 (出口 IC, JCT) が近いときや目的地案内中は、案内図替画面が表示される。



- [地図] にタッチすると
➔ 地図のみ表示
- [分岐図] にタッチすると
➔ 高速分岐案内表示
- [ターンリスト] にタッチすると
➔ ターンリスト図表示

▶ 再度、ハイウェイモードを表示させるときは

- ➔ [高速略図] にタッチ



ハイウェイモードについて

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は、設定した平均車速から計算しているため、走行条件などにより多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときはハイウェイモードが解除されることがあります。

高速路線マップ

高速道路にはいると、左画面に高速路線マップが表示されます。一般道路路上でも表示できます。

〈高速道路走行中〉



〈一般道路走行中〉



高速路線マップの表示・解除

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



2 [地図表示] にタッチする。



3 高速道路走行時は [高速路線マップ表示] にタッチする。



- 解除するときは
 - ➔ 同じ画面で [高速路線マップ解除] にタッチ
- 高速路線マップを 1 画面で表示したいときは
 - ➔ [案内図替] にタッチ
 - ➔ 目的地案内中は [案内図替] にタッチし、次画面で [地図] にタッチ

- ▶ 一般道路を走行しているときは
 - ➔ [高速路線マップ] にタッチ



- 解除するときは
 - ➔ 高速路線マップ画面で [戻る] にタッチする、または 、または  を押します。

高速路線マップの縮尺の切り替え

表示範囲を広くするときは [広域]、狭くするときは [詳細] にタッチする。



- スケールバーの数字にタッチしても縮尺を切り替えることができます。

高速路線マップについて

- 高速路線マップの自動表示、非表示を設定できます (→ P.147)。
- 高速路線マップ表示中は、つねにノースアップ表示されるため3D表示に切り替えることはできません。
- 目的地案内中のとき、出口ICまたは分岐する JCT の手前では、地図の右側に高速分岐案内画面が表示されます (→ P.78)。
- 高速路線マップ自動表示が [しない] に設定されていても、[表示変更] から高速路線マップを表示することができます。
- 高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。

高速分岐案内

現在地が案内中のルート上にあるとき、高速道路走行中に分岐点（出口 IC・JCT）が近づくと、高速分岐案内を表示させることができます。

〈高速分岐案内表示〉



1 分岐点名称表示

IC の出口名称、または JCT の方面名称が表示されます。

2 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。

高速分岐案内画面の解除

〔拡大解除〕にタッチする。



● もう一度表示させたいときは

→ 、または を押す。

高速分岐案内画面の切り替え

1 〔案内図替〕にタッチする。



2 以下にタッチすると、以下のように切り替わる。

- 〔地図〕 地図のみ表示
- 〔高速略図〕 ハイウェイモード
- 〔ターンリスト〕 ターンリスト図



▶ もう一度、高速分岐案内画面を表示させるときは

→ 〔分岐図〕にタッチ、または 、または を押す。



高速分岐案内について

- 高速分岐案内の自動表示、非表示を設定できます（→ P.147）。
- 目的地案内開始直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われないことがあります。
- 高速分岐モード図自動表示が〔しない〕に設定されていても、〔案内図替〕から高速分岐案内画面を表示することができます。
- 高速分岐案内は、遅れたり早くなる場合があります。
- 地図データに情報のない分岐点は表示されません。
- 分岐点名称表示、車線数は実際の分岐点と異なる場合があります。

都市高速マップ

現在地が案内中のルート上にあるときに、都市高速にはいると、都市高速マップを表示させることができます。



都市高速マップについて

- 1/2万図～1/16万図の地図で表示させることができます。
- 都市高マップ自動表示が[しない]に設定されていても、[表示変更]から都市高速マップを表示することができます。
- 都市高速マップの自動表示の表示・非表示を設定できます(→P.147)。
- PAにはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 高速路線マップと都市高マップの自動表示を[する]に設定しているときは、高速路線マップが優先されて表示されます。

都市高速マップの表示・解除

- 1 地図表示中に、[表示変更]にタッチする。



- 2 [地図表示]にタッチする。



- 3 [都市高マップ表示]にタッチする。



- 解除するときは
➔ [都市高マップ解除]にタッチ

5. 音声の設定

音量設定

音声案内の音量をかえることができます。

メニューまたは MENU

音量設定

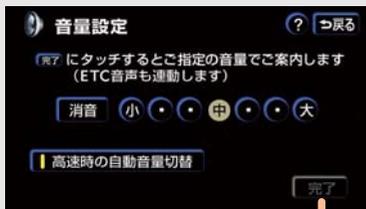
音量の選択

完了

- 1 メニュー画面で、[音量設定]にタッチする (→ P.50)。



- 2 いずれかの音量を選び、[完了]にタッチする。

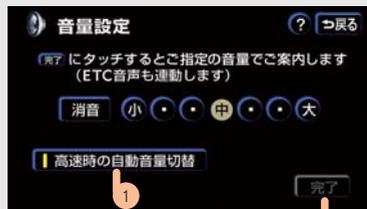


- [消音] にタッチすると
➡ 音声 OFF になります。
- 音声 ON にするときは
➡ いずれかの音量タッチスイッチにタッチ

高速時の自動音量切り替え

車速が約 80 km/h 以上になったとき、設定した音量が自動的に 1 段階上がります。

[高速時の自動音量切替] にタッチし、[完了] にタッチする。



- 車速が約 70 km/h 以下になると
➡ もとの音量に復帰します。

操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

- 操作説明音声の発声する、しないを設定できます (→ P.149)。

ハートフル音声

音声案内などとは別のハートフルな音声を出力させることができます。

- ハートフル音声の例
 - ・ 自宅を目的地にして、自宅に到着したとき……「お疲れさまでした」
 - ・ ナビゲーション画面が表示されるとき……「今日は○月○日、○曜日です」
- ハートフル音声の発声する、しないを設定できます (→ P.149)。
- ハートフル音声は状況により出力されないことがあります。

6. 地図の呼び出し方法

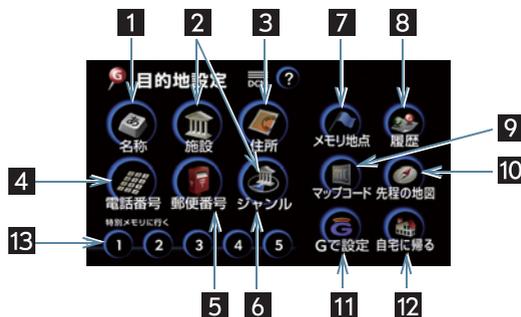
地図の呼び出し方法

以下のときに地図を呼び出し、表示させることができます。

- 目的地の設定のとき
- 目的地の追加のとき
- メモリ地点の登録のとき
- 迂回メモリ地点の登録のとき
- 販売店の設定のとき

地図を呼び出し、表示させるには、さまざまな方法があります。

■ 例：目的地の設定のとき



- **11**は目的地の設定のときだけ表示されます。
- **12**は状況によって以下のようにかわります。
 - ・ 目的地追加のとき ➔ **[自宅周辺]**
 - ・ メモリ地点の登録、迂回メモリ地点登録または販売店の設定のとき ➔ **[現在地周辺]**

地図の呼び出し方法		画面上のボタン	ページ
施設を指定する	施設を名称から検索する	1	83
	施設をジャンルから検索する	2	85
	現在地周辺の施設から検索する	6	90
	目的地周辺の施設から検索する	6	90
地名を指定する		1	83
住所を指定する		3	87
電話番号を指定する		4	88
郵便番号を指定する		5	89

地図の呼び出し方法	画面上のボタン	ページ
メモリ地点を指定する	7	—
特別メモリ地点を指定する	13	—
以前設定したことのある目的地を指定する	8	91
前回目的地案内を行ったときの出発地点周辺の地図を呼び出す	8	91
マップコードを指定する	9	92
先程表示されていた地図を呼び出す	10	—
現在地周辺地図を呼び出す	12	—
自宅周辺地図を呼び出す	12	—
G-Link から目的地を設定する [※]	11	605

[※] G-Link 利用契約をされているときに使用することができます。

名称で地図を呼び出す

施設名称や地名から、その地点の周辺地図を表示させることができます。

施設名称や地名を入力する

完了

施設名称や地名を選択する

周辺地図表示

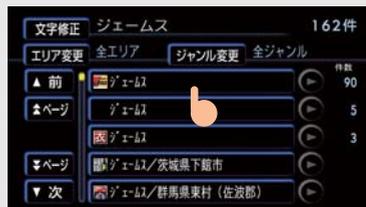
- 1 施設名称や地名を入力し、[完了]にタッチする。



- 間違えたときは
➔ [修正] にタッチ
- 漢字・カタカナ・英数字で入力したいときは
➔ [漢字入力] にタッチ (→ P.14)
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは灰色になり、タッチしても入力できません。
- 名称の候補が5件以下になってから、約10秒以上操作しないと、全国施設リスト画面が表示されます。



- 2 全国施設リストから施設名称や地名を選ぶ。



- リストの候補数が多いときは
➔ [エリア変更] にタッチして、県名や地域で絞り込みます (→ P.84)。
➔ [ジャンル変更] にタッチして、施設の種類の絞り込みます (→ P.84)。
- 施設名称や地名の入力をやり直したいときは
➔ [読み修正]、または [文字修正] にタッチ
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗(チェーン店など)があるときは
➔ 施設がまとめて表示されます。
・施設名称の右側にその施設の件数が表示されます。

▶ まとめて表示された施設のリスト



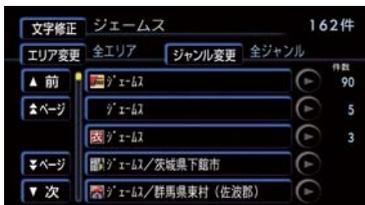
- リストの順番を並べかえたいときは
➔ [名称順] にタッチすると、50音順に並びかわる
➔ [距離順] にタッチすると、現在地から近い順に並びかわる
- 検索された施設名称(または地名)の件数が多いときは、距離順に並びかえられないことがあります。



3 周辺地図表示 (→ P.93)。

- 施設によっては、正しく所在地を検索できないことがあります。

エリア変更



1 都道府県名を選ぶ。



- [全エリア] にタッチすると
→ リスト画面に戻ります。

2 市区町村名を選ぶ。



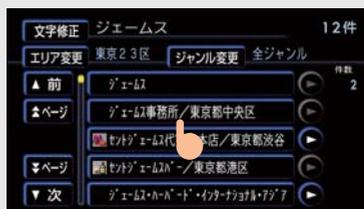
- [〇〇全域] にタッチすると
→ 指定した都道府県別リスト画面が表示されます。

- ▶ 都道府県名がわからないときは
→ [地域で探す] にタッチ



- [県別で探す] にタッチすると
→ 都道府県リスト画面に戻ります。

3 施設名称や地名を選ぶ。

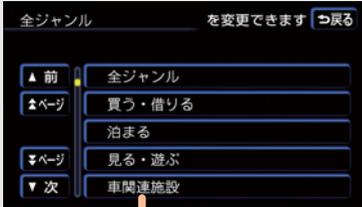


4 周辺地図表示 (→ P.93)。

ジャンル変更



1 ジャンルを選ぶ。



- [全ジャンル] にタッチすると
➡ リスト画面に戻ります。
- [その他] → [住所] の順にタッチすると
➡ 地名のリストが表示されます。



2 ジャンルの詳細を選ぶ。



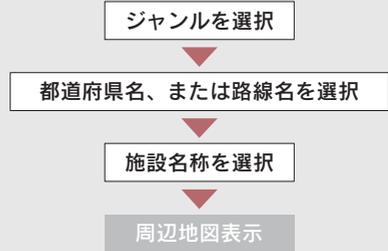
3 施設名称や地名を選ぶ。



4 周辺地図の表示 (→ P.93)。

施設で地図を呼び出す

施設のジャンルから地図を呼び出すことができます。



項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
車	レクサス販売店
	トヨタ・ダイハツ販売店
	トヨタレンタリース
	ジェームス
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
遊び	マリーナ
	競技場
	公営娯楽

項目	ジャンル
公 共	役所
	警察署
	公園
医 療	病院
交 通	駅
	空港
	高速 IC・SA・PA
	有料 IC
	道の駅
	交差点
文 化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
	国際展示場
その他	式場
	トヨタホーム
	ハートフルプラザ

※ ジャンルは地図データの更新により変更されることがあります。

1 ジャンルを選ぶ。



- 表示されている以外のジャンルを選びたいときは
➡【その他】にタッチ

- ▶【その他】にタッチしたときは
➡施設のジャンルにタッチ



- 高速 IC・SA・PA は、路線別のリストがあります。
- 高速 IC・SA・PA 以外は、都道府県別のリストがあります。



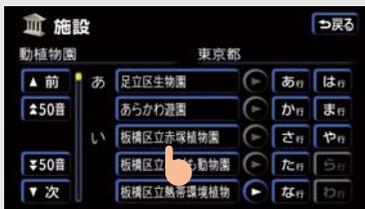
2 都道府県名、または路線名を選ぶ。



- 【全国の〇〇】にタッチすると
➡ 全国施設リスト画面が表示されます。
- 都道府県名のリストの次に市区町村名、路線名または販売会社名が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名、路線名または販売会社名にタッチします。
- トヨタ・ダイハツ販売店、トヨタレンタリースは、都道府県別のリストのあとに、販売会社別のリストがあります。
- 駅、有料 IC は、都道府県別のリストのあとに、路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストのあとに、市区町村別のリストがあります。



3 施設名称を選ぶ。



4 周辺地図表示 (→ P.93)。

住所で地図を呼び出す

住所を入力する

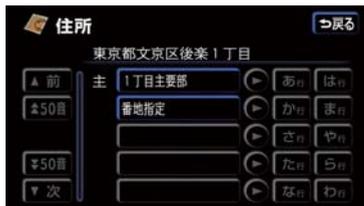
周辺地図表示

- 1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目(字)の順でタッチして住所を入力する。



▶ 地名を選んだあと、詳細がわからないときは

→ [〇〇主要部] にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。



2

GPSボイスナビゲーション

▶ 丁目にタッチしたあと、[番地指定]にタッチすると

➡ 番地・号数を入力できます。



- 入力が終わったら ➡ [完了] にタッチ
- 間違えたときは ➡ [修正] にタッチ
- 入力した番地に該当する住所がないときは
➡ その丁目（字）の広域図が表示されます。



2 周辺地図表示 (→ P.93)。

電話番号で地図を呼び出す

電話番号を入力する

完了

周辺地図表示

1 市外局番から電話番号を入力し、[完了] にタッチする。



- 間違えたときは ➡ [修正] にタッチ
- 入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは
➡ 入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

▶ 同じ番号で複数の地点があるときは
➡ 施設名称にタッチ



2 周辺地図表示 (→ P.93)。

- 同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させ目的地設定した地図の地点は、100カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号を入力する

完了

周辺地図表示

- 1 郵便番号を7桁入力し、[完了]にタッチする。



- 間違えたときは
→ [修正] にタッチ



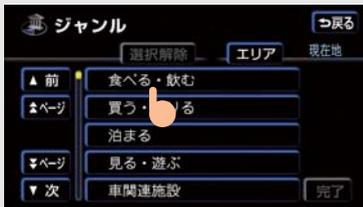
- 2 周辺地図表示 (→ P.93)。

ジャンルで地図を呼び出す

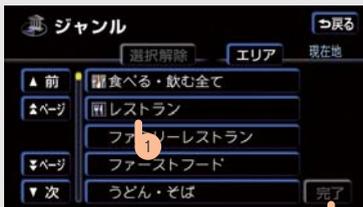
選択したエリア周辺の施設を検索することができます。



1 ジャンルを選ぶ。



2 ジャンルの詳細を選び、[完了]にタッチする。



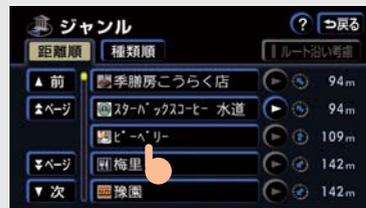
- 間違えたときは
→ [選択解除] にタッチ、またはすでに選んだ施設のジャンルにタッチ
- 現在地周辺以外のエリアから施設を検索したいときは
→ [エリア] にタッチ (→ P.91)

3 [選択完了] にタッチする。



- 続けて施設のジャンルを選択したいときは → [選択する] にタッチ

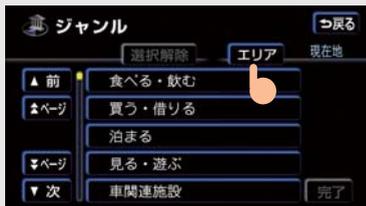
4 リストから施設名称を選ぶ。



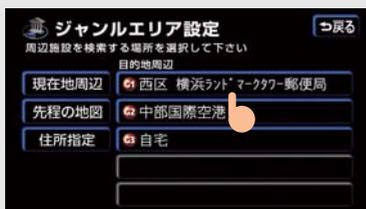
5 周辺地図表示 (→ P.93)。

エリア変更

1 [エリア] にタッチする。



2 周辺施設を表示させたい地域にタッチする。



- 住所から周辺施設を表示させたい地域を選びたいときは
→ [住所指定] にタッチ
- 地域の選び方 (→ P.87)。



3 地点に📍を合せて、[セット] にタッチする。



履歴で地図を呼び出す

過去の目的地履歴から選択する

周辺地図表示

1 過去に案内させたときの目的地履歴から地点を選ぶ。



- 前回、目的地案内させたときの出発地点の地図を呼び出すときは
→ [前回出発地] にタッチ



2 周辺地図表示 (→ P.93)。

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

マップコード※で地図を呼び出す

マップコードとは、地図上の位置を1～13桁の番号で示すコードです。住所では特定できない場所も特定することができます。

マップコードを入力する

完了

周辺地図表示

※「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

- 1 マップコードを入力し、[完了] にタッチする。



- 間違えたときは
→ [修正] にタッチ
- マップコードを調べたいときは
→ 以下のホームページをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com>
- マップコードは、メモリ地点、迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
 - ・メモリ地点 (→ P.127)
 - ・迂回メモリ地点 (→ P.136)



- 2 周辺地図表示 (→ P.93)。

7. 呼び出した地図の操作

呼び出した地図の操作

呼び出した地図は、検索された地点とその周辺地域が表示されます。



- ▶ 位置を修正したいときは
➔ 8方向矢印にタッチ



- ▶ 施設の内容を表示するには
➔ [情報] にタッチ



- 検索された施設に詳細な位置の情報があるときは、 で表示されます。
- 情報付き施設画面の操作のしかた (→ P.350)。
- 地図データに情報のない施設は、内容が表示されません。

提携駐車場の検索

検索された施設 (デパート・ホテルなど) と提携している駐車場を表示させることができます。

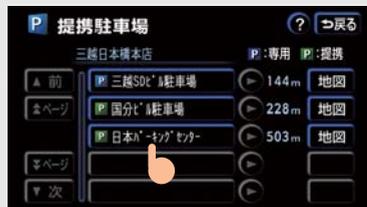
- 1 [提携 P] にタッチする。



- 車両情報 (→ P.111) が入力されていると
➔ 車両寸法を考慮して駐車場が検索されます。
- 地図データに駐車場情報のない施設は、[提携 P] が表示されません。また、[提携 P] にタッチしても、検索されない駐車場があります。



- 2 駐車場名称にタッチする。



- [地図] にタッチすると
➔ 駐車場周辺の地図が表示されます。

住所の検索

以下のときに、検索させることができます。

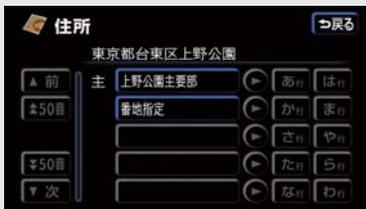
- 「名称で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたときは
➡ 住所一覧検索
- 「郵便番号で地図を呼び出す」ときは
➡ 住所一覧検索
- 「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったときは
➡ 住所一覧検索
- 「住所で地図を呼び出す」で、番地を指定できなかったときは ➡ 周辺住所検索
- 「住所一覧検索」で番地を指定できなかったときは ➡ 周辺住所検索

▶ 住所一覧検索

1 [住所一覧] にタッチする。



2 住所を選ぶ。



- [〇〇主要部] にタッチすると
➡ タッチした地名の広域図が表示されます。



3 周辺地図表示。

▶ 周辺住所検索

1 [周辺住所] にタッチする。



2 番地を選ぶ。



3 周辺地図表示。

1. 目的地案内の方法

目的地案内の方法

以下の手順で目的地案内をすることができます。



目的地案内の方法		ページ
目的地を設定して、ルートを探索させるには		96
目的地案内を開始するには		103
案内画面の見方		48
探索されたルートが希望のルートでなかったときは	出入口 IC を指定する	122
	通過道路を指定する	123
	その他のルート指定方法	101
目的地をもう 1 ヶ所追加したいときは		118

2. 目的地の設定・ルート探索

目的地の設定

1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

目的地設定または DEST

地図を呼び出す

目的地セット

1 目的地設定、または DEST を押す。

2 地図を呼び出す (→ P.81)。



3 [目的地セット] にタッチする。



- 目的地が設定されると
→ 位置に目的地を表す **G** が表示され、ルート探索が始まります (→ P.97)。

- 目的地に設定した地図の地点は、100カ所まで記憶されます。
・ 記憶された地点は地図を呼び出すときに [履歴] から呼び出すことができます (→ P.91)。
・ 記憶された地点を、消すことができます (→ P.126)。

▶ すでに目的地が設定されているときは

- [新規目的地] にタッチすると
→ 新しく目的地が設定されます。設定されていた目的地は消されます。
- [追加目的地] にタッチすると
→ 設定されていた目的地が追加されます (→ P.118)。



▶ 道路の種類を選ぶ画面が表示されたときは

- [設定する] にタッチすると
→ 高速道路に目的地を設定します。
- [他の道路] にタッチすると
→ 一般道路に目的地を設定します。



ワンタッチ設定

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図にタッチする。



2 【目的地セット】にタッチする。



3 ↑にタッチして位置を修正し、【目的地セット】にタッチする。



- ワンタッチ設定した目的地は、一番初めての目的地になります。

ルート探索

目的地の設定が終わると、ルート探索が始まります。



ルート探索について

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります (→ P.99)。
- 幅が 5.5 m 未満の道路は探索されません (現在地・目的地周辺は除く)。
- 高速道路や有料 IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートを再探索させてください (→ P.116)。

ルート学習

案内されるルートと異なる道路を、何度か同じように走行すると、ルートを学習します。ルート探索のときに、学習したルートで案内させることができます。



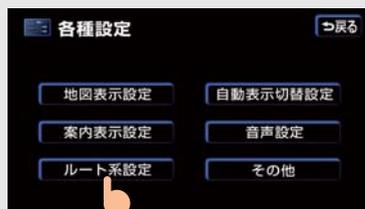
- ルート学習する、しないを設定できます (→ P.150)。
- 学習するルートの中に、幅 5.5 m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。自宅登録時の自宅周辺だけは幅 5.5 m 未満の道路でもルートを学習することができます。
- 学習した道路が案内されないときもあります。
- 高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路があるときなど、自車位置マーク  が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができませんことがあります。
- ルート学習されると、いつも通る道で案内されるため、5 ルート表示 (→ P.101) のとき、**【距離優先】** を選択しても短いルートでないことや、**【一般優先】** を選択しても有料道路を利用するルートが探索されることなどがあります。
- 地図データを更新したとき、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されないことがあります。

▶ ルート学習の結果を消したいときは

- 1 メニュー画面で、**【各種設定】** にタッチする (→ P.50)。



- 2 **【ルート系設定】** にタッチする。



- 3 ルート学習結果の消去の、**【消去する】** にタッチする。



- 4 **【はい】** にタッチする。



- **【いいえ】** にタッチすると
➡ もとの画面に戻ります。

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。



2

GPSボイスナビゲーション

名称	機能
1 ICマーク	一番最初に一般道から有料道路に入るICと、一番最後に有料道路から一般道に出るICの位置に表示される。
2 [情報]	案内道路情報を表示させることができる(→P.101)。
3 IC名称表示	下に一番最初に一般道から有料道路に入るICの名称、上に一番最後に有料道路から一般道に出るICの名称が表示される。 <ul style="list-style-type: none"> IC名称表示にタッチすると、表示されている出入口ICを指定できます(→P.122)。
4 有料道路距離表示	目的地までに通る有料道路の距離の合計が表示される。
5 料金案内	目的地までに通る有料道路の料金の合計が表示される。 <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示させたときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金も表示されます。 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。
6 距離表示	目的地までの距離が表示される。
7 [案内開始] [案内に戻る]	目的地案内、またはデモンストレーションを始める(→P.103)。 <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内中は、現在地画面に戻ります。
8 [ルート変更]	ルート変更画面を表示させる(→P.118)。
9 [5ルート]	別のルートを表示させ、選ぶことができる。 <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内開始後には表示されません(→P.101)。
10 [Gルート] [元ルート]	G-Link 利用契約をされているときに使用することができる(→P.599)。

名称	機能
11 残距離表示	<p>自転車位置から目的地までのルート上の距離が表示される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内中でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。 目的地が2カ所以上設定されているとき、残距離表示にタッチすると、各目的地までの残距離に切り替えることができます(→ P.115)。
12 到着予想時刻表示	<p>目的地への到着予想時刻が表示される(→ P.109)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内中でルートからはずれたときは、目的地方向マークが表示されます。 目的地が2カ所以上設定されているとき、到着予想時刻表示にタッチすると、各目的地までの到着予想時刻に切り替えることができます。

ルートの表示色

青色 ()	目的地が一つするとき、または複数設定されているときは次の目的地までの表示
白色 ()	目的地が複数設定されているときの次の目的地まで以外の表示
水色 ()	幅 5.5 m 未満の道路表示
橙色 ()	季節規制区間表示 (→ P.72)

全ルート図表示について

- 以下のとき、自動的に目的地案内が始まります(→ P.103)。
 - ・ 全ルート図が表示されたあと、、または  を押したとき
 - ・ 走行を開始して約 3 秒以上経過したとき
- 幅 5.5 m 未満の道路では、音声案内や交差点案内などの目的地案内は行われません。
- 一方通行などの交通規制により、通行できないルートが表示されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。
- 表示されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は車両情報(→ P.111)から計算されています。通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は平均車速(→ P.109)から計算されています。走行条件などにより、誤差が生じることがあります。
- 常時進入禁止、時間による進入禁止などの交通規制区間を通らないと目的地に行けないときは、ルート上の規制箇所に  が表示されることがあります。
- 地図データに中央分離帯の情報が収録されていないときは、中央分離帯が考慮されないルートが表示されることがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます(→ P.114)。

ルート情報（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 [情報] にタッチする。



2 ルート情報画面表示。



- ルート情報は、入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種類がかわる地点で分割されて表示されます。
- [地図] にタッチすると
 - ➔ それぞれの地点の地図が表示されます。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に  が表示されます。
- 現在地がルートからはずれたときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は車両情報（→ P.111）から計算されています。通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は平均車速（→ P.109）から計算されています。走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

5 ルート表示

5 つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

1 [5 ルート] にタッチする。



2 ルート名称にタッチする。

- [推奨] 一般的なルートで案内
- [有料優先] 有料道路を優先して案内
- [一般優先] 一般道路を優先して案内
- [距離優先] 距離の短いルートで案内
- [別ルート] 上記の 4 つのルートとは別のルートで案内



- 5 ルートの詳しい内容が知りたいときは
 - ➔ [全行程一覧] にタッチ
- 以下のときは、5 ルートを表示させることはできません。
 - ・目的地が 2 か所以上設定されている
 - ・通過する地点（IC・通過道路）が指定されている
 - ・目的地案内開始後

▶ [全行程一覧] にタッチしたときは

➡ 全行程一覧表画面の表示

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	484km	402km	9450円	6時間38分
有料優先	484km	402km	9450円	6時間38分
一般優先	502km	0km		15時間32分
距離優先	462km	169km	4650円	11時間53分
別ルート	538km	506km	11400円	7時間32分

- ルート名称にタッチすると
 - ➡ タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。
- 料金は車両情報 (→ P.111) から計算されています。通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は平均車速 (→ P.109) から計算されています。走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

3. 目的地案内の開始

目的地案内の開始

全ルート図表示画面でルート探索が終わると、目的地案内を始めることができます。

全ルート図表示画面

案内開始

目的地案内の開始

1 [案内開始] にタッチする。



2 目的地案内の開始。

- 以下のようなとき、自動的に目的地案内が始まります。

・ 全ルート図が表示されたあと、



または  を押したとき

・ 走行を開始して約 3 秒以上経過したとき

- ▶ 目的地案内を中止するためには
 - ➔ メニュー画面で、[案内中止] にタッチ (→ P.50)

- 目的地案内を中止しても、目的地は消えません。目的地の消去のしかた (→ P.120)。
- 中止した目的地案内を再開させるときは
 - ➔ メニュー画面で、[案内再開] にタッチ

デモンストレーション (デモ)

ルート探索終了後、目的地案内が始まる前に、目的地案内のデモを見ることができます。

1 [案内開始] に約 3 秒以上タッチする。



2 デモ画面表示。



- 以下のようなときは、デモを終了します。

・ 、、、または

、、 を押したとき

・ 走行を開始したとき

- ルート探索終了後、目的地案内が開始されたあとは、デモを見ることはできません。
- オンルートスクロールを使っても、探索されたルートの確認ができます (→ P.112)。

4. 目的地への案内

音声案内

目的地案内中に分岐交差点手前、有料道路入口の手前または目的地の手前などを通ると、音声による案内が行われます。



ポーンまもなく、
右方向です。

音声案内の例

■ 分岐交差点手前では

700 m 手前：「ポーンおよそ 700 m 先、右方向です。」

300 m 手前：「ポーンおよそ 300 m 先、右方向です。」

100 m 手前：「ポーンまもなく、右方向です。」

交差点直前：「ポーンポン。」

■ 有料道路への進入時には

「ポーンまもなく右方向です。その先、高速道路です。」

「ポーンこの先、料金所です。」

■ 目的地手前では

「ポーン目的地周辺です。この先注意して走行してください。」

● 音声案内はあくまでも参考としてください。

● 、または  を押すと

➔ 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。音声案内を OFF にしていても出力されます。

音声案内について

- 音声案内する、しないを設定できます (→ P.149)。
- 「音声案内の例」は一般的なものであり、道路の接続状況などによっては、異なった音声案内が出力されます。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 音声案内の音量は調節できます (→ P.80)。
- 目的地直前のルート表示色 (→ P.100) が、水色 (幅 5.5 m 未満の道路) のときは、自車位置マーク  が水色のルートに差し掛かる手前で、目的地に到着したときの音声案内が出力されます。

他モードでの案内

ナビゲーション画面から情報画面などの他モードに切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

- 他モードに切り替えたときに音声案内する、しないを設定できます (→ P.149)。
- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続されます。

交差点案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図、または交差点拡大図に切り替わります。また、ターンリスト図を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前(約 700 m 以内)では、レーンリスト図を 4 つまで表示させることができます。



- レーンリスト図表示を解除したいときは
➔ **[案内図替]** にタッチ (→ P.107)
- レーンリスト図の自動表示する、しないを設定できます (→ P.147)。
- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300 m 手前では、交差点拡大図が自動的に表示されます。
- レーンリスト自動表示が **[しない]** に設定されていても、**[案内図替]** からレーンリスト図を表示することができます。

交差点拡大図表示

分岐する交差点に近づいたときに、(約 300 m 以内) 交差点拡大図を表示させることができます。

<分岐しない交差点案内>



<分岐する交差点>



1 レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。走行を推奨する車線が青色で表示されます。
2 交差点名称表示	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3 残距離表示	交差点までの距離が表示されます。交差点に近づくとともに [] が短くなります。
4 案内ポイント	通過・分岐する交差点に表示されます。

- 交差点拡大図表示を解除したいときは
➔ **[拡大解除]**、または **[案内図替]** にタッチ (→ P.107)
- 交差点拡大図自動表示が **[しない]** に設定されていても、**[案内図替]** から交差点拡大図を表示することができます。
- 交差点拡大図の自動表示する、しないを設定できます (→ P.147)。

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 以下のときは、交差点案内されないことがあります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 目的地周辺
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなる場合があります。

3D 交差点拡大図表示

交差点拡大図を立体的（3D）に表示させることができます。

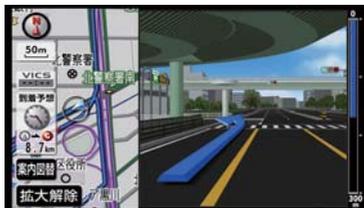


- 3D 交差点拡大図表示を解除したいときは
 ➔ [拡大解除]、または [案内図替] にタッチ (→ P.107)
- 3D 交差点拡大図表示する、しないを設定できます (→ P.148)。

立体的な拡大図表示

分岐がわかりにくい交差点などでは、景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

〈都市高速 IC 入口〉



〈立体交差点〉



〈リアル交差点〉



〈側道案内〉



- 拡大図表示を解除したいときは
 ➔ [拡大解除]、または [案内図替] にタッチ (→ P.107)
- 立体的な拡大図は地図データに情報が収録されている地点だけ表示されます。
- リアル交差点は分岐がわかりにくい都市部の交差点で表示されます。

ターンリスト図表示

分岐する交差点・IC・JCTなどの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。



1 案内ポイント	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。現在地から次に分岐する交差点・IC・JCTまでは、現在走行中の路線名が表示されます。
2 距離表示	案内ポイントの区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3 案内方向	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

- ターンリスト図表示を解除したいときは → **【案内図替】** にタッチ
- ターンリスト自動表示が **【しない】** に設定されていても、**【案内図替】** からターンリスト図を表示することができます。
- ターンリスト図の自動表示する、しないを設定できます (→ P.147)。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

表示の解除

交差点拡大図、3D 交差点拡大図、または立体的な拡大図を解除することができます。

【拡大解除】 にタッチする。



- 再度、交差点拡大図を表示させるには



表示の切り替え

案内の表示を切り替えることができます。

1 **【案内図替】** にタッチする。



2 案内図を選ぶ。

〈一般道路走行中〉



〈高速道路走行中〉



- [地図] にタッチすると
 - ➡ 左画面に表示されている地図が 1 画面で表示されます。
- [拡大図] にタッチすると
 - ➡ 交差点拡大図に切り替わります (→ P.106)。
 - ・ [拡大図] は分岐する交差点 (300 m 以内) に近づくと表示されます。
- [レーンリスト] にタッチすると
 - ➡ レーンリスト図に切り替わります (→ P.105)。
 - ・ [レーンリスト] は分岐する交差点 (700 m 以内) に近づくと表示されません。
- [分岐図] にタッチすると
 - ➡ 高速分岐案内画面に切り替わります (→ P.78)。
 - ・ [分岐図] は高速道路の分岐点 (出口 IC・JCT) が近いときに表示されます。
- [高速略図] にタッチすると
 - ➡ ハイウェイモードに切り替わります (→ P.75)。

▶ もう一度ターンリストを表示させたいときは

➡ 以下の画面で [ターンリスト] にタッチ

〈一般道路走行中〉



〈高速道路走行中〉



到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻

平均车速の設定

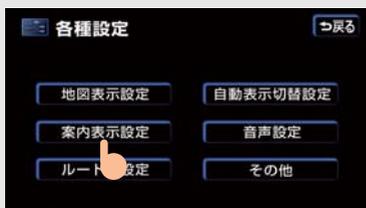
設定した平均车速は、以下の時刻・時間を計算する基準になります。

- 現在地画面の到着予想時刻
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻 (→ P.99)
- ハイウェイモード通過予想時刻 (→ P.75)
- ルート情報の通過予想時刻 (→ P.101)
- 全行程一覧表の所要時間 (→ P.101)

- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。



- 2 [案内表示設定] にタッチする。



- 3 到着予想時刻表示の [変更する] にタッチする。



- 4 それぞれの道路の設定速度を入力し、[完了] にタッチする。



- 速度を上げるときは▶、下げるときは◀にタッチします。
 - ・タッチするたびに、5 km/h ずつかわります。
- [初期状態] にタッチすると
 - ➔ 初期設定 (高速道 80 km/h・有料道 60 km/h・一般道 30 km/h) に戻ります。
- [VICS 情報考慮] にタッチすると
 - ➔ VICS情報をもとに到着予想時刻を表示させることができます。
- Gルート探索 (→ P.599) で利用する広域の渋滞予測情報をもとに、到着予想時刻を表示させることができます。
 - ・Gルート探索はG-Link 利用契約をされているときに使うことができます。

到着予想時刻について

- 到着予想時刻は設定した平均車速から計算されています。走行条件などにより、誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マークになります。

料金案内

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、料金所付近になると、画面表示と音声によって料金を知ることができます。

料金案内



料金案内について

- 料金案内する、しないを設定できます（→ P.148）。
- 料金は設定した車両情報のナンバープレートの分類番号から計算されています。通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 有料道路と一般道が並行しているときなどは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金を案内されることがあります。
- 有料道路内で再探索をしたときなど出発した地点がわからないとき、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。
- ETC ゲート通過時に料金案内されます（→ P.408）。

車両情報の設定

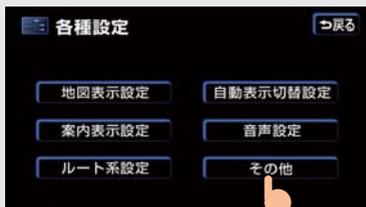
以下のとき、設定した車両情報は、料金計算、および提携駐車場を検索させる基準になります。

- 現在地画面の料金案内
- 全ルート図表示画面の料金案内 (→ P.99)
- ルート情報の料金案内 (→ P.101)
- 全行程一覧表の料金案内 (→ P.101)
- 提携駐車場の検索 (→ P.93)

- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。



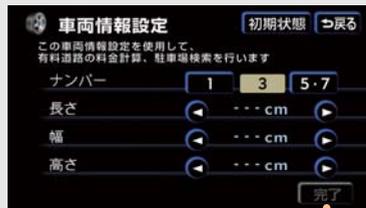
- 2 [その他] にタッチする。



- 3 車両情報設定の [変更する] にタッチする。



- 4 車両情報を入力し、[完了] にタッチする。



- お客様の車のナンバープレートの分類番号を選ぶ
→ [1]・[3]・[5・7] のいずれかにタッチ
- [初期状態] にタッチすると
→ 車両寸法が入力されていない状態に戻ります。
- 寸法を大きくするときは▶、寸法を小さくするときは◀にタッチします。
・タッチするたびに、10 cm、または5 cm ずつかわります。
- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定できません。
- 車両寸法は、車検証をご覧ください。

フェリー航路の案内

フェリー航路は、 (破線) で表示されます。



- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

5. 案内中の操作

オンルートスクロール

出発した地点、または目的地までルートにそって地図を自動で動かし、ルート沿いにある施設やルートのVICS情報を確かめることができます。



以下のとき、オンルートスクロールはできません。

- 表示させている地図にルートが表示されていないとき
- 高速路線マップを表示しているとき (→ P.76)

- 1 地図表示中に [表示変更] にタッチする。



- 2 [オンルートスクロール] にタッチする。



- 3 スクロールの項目の [▶◀] [◀▶] にタッチすると、オンルートスクロールが始まる。



- スクロールの条件 (次の目的地まで/次の施設まで)、または施設を設定するときは ▶ [設定] にタッチ

- ▶ [設定] にタッチしたときは
- ▶ スクロールの条件や施設を選び、[完了] にタッチすると手順 3 の画面に戻ります。



条件の選択

- [次の目的地まで] 選択時

- ▶ [次の目的地まで] オンルートスクロールします。
- ▶ [出発地まで] オンルートスクロールします。
- ▶ (次の) 目的地の地図が表示されます。
- ▶ 出発地 (前の目的地) の地図が表示されます。

■ [次の施設まで] 選択時

- ▶ 目的地方向で最寄の施設までオンルートスクロールします。
- ▶ 出発地方向で最寄の施設までオンルートスクロールします。
- ▶ 目的地方向で最寄の施設の地図が表示されます。
- ▶ 出発地方向で最寄の施設の地図が表示されます。
- 1/8 万図より広域地図でスクロールはできません。

施設の選択

1 施設を選び、[完了] にタッチする。



- もう一度タッチする、または [表示解除] にタッチすると ➔ 選択を解除できます。
- 表示以外のジャンルを表示するには ➔ [全ジャンル] にタッチ
- 施設は5つまで選ぶことができます。

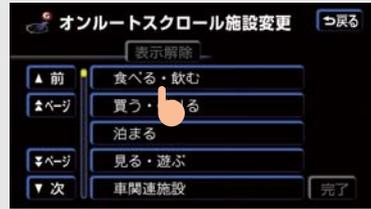
2 スクロール項目を選ぶ。



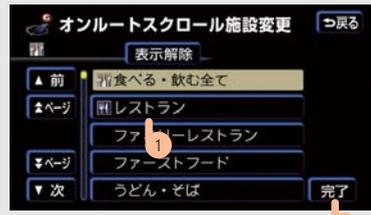
- オンルートスクロール設定で施設を変更しても、通常の地図画面の設定に影響はありません。

▶ [全ジャンル] にタッチしたときは

1 表示したい施設のジャンルにタッチする。



2 ジャンルを選び、[完了] にタッチする。



- もう一度タッチする、または [表示解除] にタッチすると ➔ 選択を解除できます。

3 [選択完了] にタッチする。



- 続けてジャンルを選ぶときは ➔ [選択する] にタッチ

4 スクロールの項目を選ぶ。



スクロール画面の操作



- スクロールの早戻し
- スクロールの早送り
- スクロールの一時停止

全ルート図を表示させるには

地図表示中

表示変更

全ルート

全ルートの表示

- 1 地図表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2 [全ルート] にタッチする。



- 全ルート図表示画面の操作のしかた (→ P.99)。

全ルート図の縮尺切り替え

現在地から目的地までの全ルートを表示し、現在地を中心にした縮尺に切り替えることができます。

[広域]、または[詳細]にタッチし、 にタッチする。



- 現在地と目的地の位置によっては、全ルート図を表示できないことがあります。
- 走行中は全ルート図表示縮尺に切り替えることはできません。

残距離表示を切り替える

目的地が複数設定されているとき、次の目的地までの残距離表示以外の目的地までの表示に切り替えることができます。



1 残距離表示にタッチする。



- 目的地の設定が2カ所のときは、残距離表示にタッチするごとに切り替わります。



2 表示させたい目的地までの残距離表示にタッチする。



- 現在地がルートからはずれているときの残距離は直線距離で表します。

6. ルートの再探索・表示

自動再探索

以下のとき、ルートを再探索させることができます。

- 探索されたルートを変更する。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）。
- 自動再探索する・しないを設定できます（→ P.150）。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたとき、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。
- 現在地と次の目的地の間にIC・通過道路が指定されているときは、その間でルートが探索されます。
- 再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

ルートの再探索

目的地案内中にルートを再探索することができます。

再探索

再探索項目選択

ルート再探索

- 1 現在地画面で [再探索] にタッチする。



- 2 再探索項目にタッチし、再探索させる。



探索条件 (タッチスイッチ)	機能
推奨	現在地から次の目的地の間で、一般的なルートを探査する。※ ¹
有料優先	現在地から次の目的地の間で、有料道路を優先してルートを探査する。※ ¹
一般優先	現在地から次の目的地の間で、一般道路を優先してルートを探査する。※ ¹
距離優先	現在地から次の目的地の間で、距離の短いルートを探査する。※ ¹
別ルート	現在地から次の目的地の間で、現在選ばれているルートとは別のルートを探査する。※ ¹
次の  消去	次の目的地を消去して、再探索する。
次の  解除	次の通過道路の指定を解除してルートを再探索する。
 指定解除	ICの指定を解除してルートを再探索する。
周辺迂回	現在地周辺で、現在探索されているルートの迂回路を探査する。 <ul style="list-style-type: none"> 案内可能な別ルートがある場合のみ表示されます。 目的地案内開始前、ルートからはずれているときは表示されません。
別道路探索※ ² (有料道路から探索/ 一般道から探索)	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートが探索される。 <ul style="list-style-type: none"> 目的地案内開始前にはできません。
ルート変更	ルート変更画面が表示される (→ P.118)。
G ルート探索/ 取得中止	G-Link 利用契約をしているときに使用できます (→ P.599)。

※¹ 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定してあるときは、その間のルート探索をします。

※² 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

ルートの再探索について

- 「    優先」は、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**【有料優先】** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**【一般優先】** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定されている目的地 (IC・通過道路) に向かうルートが再探索されます。

ルート変更

ルート変更画面から以下のことができます。

- 探索条件の変更
- 出入口 IC の指定・解除
- 目的地の追加
- 目的地の並び替え
- 目的地の消去
- 通過道路の指定
- 通過道路の修正
- 通過道路の指定の解除
- 季節規制区間の迂回ルート探索



再探索画面、
または全ルート表示画面

ルート変更

ルート変更画面表示

ルート変更画面の表示のしかた

再探索画面 (→ P.116)、または全ルート表示画面 (→ P.99) で【ルート変更】にタッチする。

探索条件の変更

目的地が設定されている、または通過道路が指定されているときは、それぞれの区間で条件を選ぶことができます。

- 1 ルート変更画面で、【探索条件変更】にタッチする。



- 2 探索条件を変更したい区間の探索条件を選び、【探索開始】にタッチする。



目的地の追加

- 目的地が5カ所設定されているときは、それ以上追加はできません。消去してから追加してください (→ P.120)。
- IC・通過道路が指定されているときに目的地の追加を行うと、IC・通過道路の指定が解除されたり、不適切なルートが探索されたりすることがあります。
- 手順 **1** から **3** までの操作は、目的地の設定時と同じ方法で行うこともできます (→ P.96)。

- 1 ルート変更画面で、目的地・通過目的地の【追加】にタッチする。



- 2 追加する目的地の地図を呼び出す
(→P.81)。



- 3 [目的地セット] にタッチする。

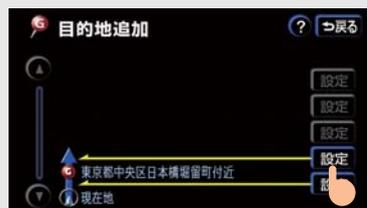


- ▶ 道路の種類を選ぶ画面が表示されたときは

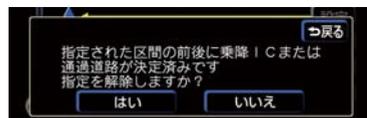
- [設定する] にタッチすると
→ 高速道路に目的地を設定します。
- [他の道路] にタッチすると
→ 一般道路に目的地を設定します。



- 4 目的地を追加する区間の[設定]にタッチする。



- ▶ IC・通過道路が指定されているときは
→ 表示された画面の指示にしたがい、[はい]、または [いいえ] にタッチします。



- 5 ルート変更画面に戻ったときは、[探索開始] にタッチする。

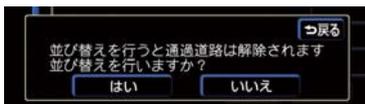


- さらに目的地を追加したいときは
→ [追加] にタッチすると、2の手順の画面が表示されます。

目的地の並び替え

- 1 ルート変更画面で、目的地・通過目的地の【並び替え】にタッチする（→ P.118）。

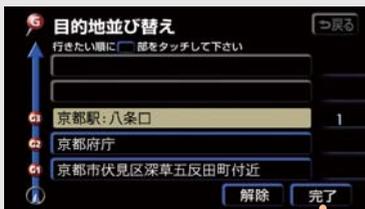
- ▶ IC・通過道路が指定されているときは
 ➔ 表示された画面の指示にしたがい、【はい】、または【いいえ】にタッチ



- IC・通過道路が指定されているときに並び替えを行うと、IC・通過道路の指定が解除されたり、不適切なルートが探索されたりすることがあります。



- 2 目的地に設定したい順にタッチし、希望順になったら【完了】にタッチする。



- 間違えたときは ➔ 【解除】にタッチ
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。
- 目的地名称の右に並び替え後の順番が表示されます。



- 3 【探索開始】にタッチすると、ルート探索が始まる。



目的地の消去

- 1 ルート変更画面で、目的地・通過目的地の【消去】にタッチする（→ P.118）。

- 目的地が1カ所の場合は、3の手順の画面が表示されます。



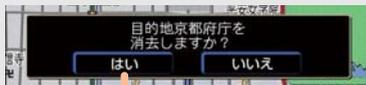
- 2 消去したい目的地の名称にタッチする。



- 【全消去】にタッチすると
 ➔ すべての目的地が消去されます。



3 [はい] にタッチする。



- 目的地がすべて消去されたとき・1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面が表示されます。



4 [探索開始] にタッチすると、ルート探索が始まる。



目的地設定画面から目的地消去する

1 目的地設定、または DEST を押す。



2 [目的地消去] にタッチする。



- 「目的地の消去」3の手順の画面が表示されます (→ P.120)。

現在地画面から目的地消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチする。



2 [情報] にタッチする。



3 [消去] にタッチする。



- 「目的地の消去」3の手順の画面が表示されます (→ P.120)。

出入口 IC の指定

目的地設定後、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面 (→ P.99) または、ルート変更画面 (→ P.118) で変更する IC 名称にタッチする。



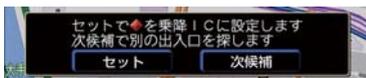
- 2 ▲・▼・[次路線] にタッチして、IC を切り替え、指定したい IC 名称を選び [探索開始] にタッチする。



- 左画面で指定したい IC 付近に地図を動かして、IC を切り替えることができます。
- [次路線] は、JCT があり分岐するときに表示されます。
- スマート IC (ETC 専用インターチェンジ) を選択することもできます。
このとき、ETC 車載機の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

▶ 指定した IC の出口、または入口が 2カ所以上あるときは

- ➡ 表示された画面の指示にしたがい、[セット]、または [次候補] にタッチ



- 3 ルート変更画面に戻ったときは、[探索開始] にタッチする。



IC 指定の解除

手順 2 で表示された画面で、[出口解除]・[入口解除] にタッチする。



通過道路の指定

目的地設定後、通過する道路を指定することができます。

- 通過道路が2カ所指定されているときは、それ以上指定はできません。解除してから指定しなおしてください (→ P.125)。
- IC が指定されているときに通過道路の指定を行うと、IC 指定が解除されたり、不適切なルートが探索されることがあります。

- 1 ルート変更画面で、通過点の【指定】にタッチする (→ P.118)。



- 2 通過道路を指定する位置に地図を動かす。



- 3 【通過道路セット】にタッチする。



- 1/8 万図より広域地図を表示していたときは、1/8 万図に切り替わります。



- 4 【セット】にタッチする。



- 通過道路に  が表示されます。
- 希望の通過道路でないときは **→ 【次候補】にタッチし、通過道路を選びます。**ただし、表示されている地図に道路情報が少ないときは選択できないことがあります。



- 5 目的地が2カ所以上設定されているときや IC・通過道路が指定されているときは、指定する区間の【設定】にタッチする。



- 6 ルート変更画面に戻ったときは、【探索開始】にタッチするとルート探索が始まる。



ワンタッチ指定

- 1 全ルート図表示画面 (→ P.99) で地図にタッチし、通過道路を指定する位置に地図を動かす。



- 2 [通過道路指定] にタッチする。



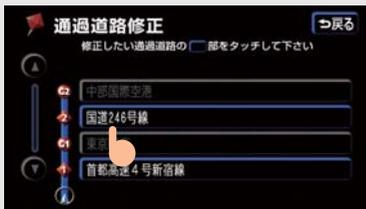
- 以降の手順は「通過道路の指定」**4**～**5**の手順をご覧ください (→ P.123)。

通過道路の修正

- 1 ルート変更画面で、通過点の[修正]にタッチする (→ P.118)。



- 2 道路名称にタッチする。



- 1カ所のみ指定されている場合は、**3**の手順の画面が表示されます。



- 3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、[通過道路セット]にタッチする。



- 道路の種類変更のときは、地図を動かす必要はありません。



- 4 [セット] にタッチする。



- 通過道路に◆が表示されます。
- 希望の通過道路でないときは
→ [次候補] にタッチし、通過道路を選びます。ただし、表示されている地図に道路情報が少ないときは選択できないことがあります。



- 5 [探索開始] にタッチすると、ルート探索が始まる。



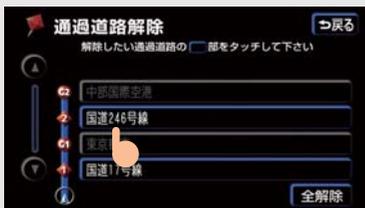
通過道路指定の解除

1 ルート変更画面で、通過点の【解除】にタッチする（→ P.118）。

- 1カ所のみ指定されているときは、3の手順の画面が表示されます。



2 解除したい道路名称にタッチする。



- 【全解除】にタッチすると
→ すべての通過道路の指定が解除されます。



3 【はい】にタッチする。



4 【探索開始】にタッチするとルート探索が始まる。



季節規制区間の迂回ルートの探索

【季節規制回避】にタッチするとルート探索が始まります。



- 再度、季節規制区間を通るルートを探そうときは → 【季節規制通過】にタッチ
- 季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ【季節規制回避】、または【季節規制通過】が表示されます。
- 季節規制区間を通らないと目的地へ行けないとき、【季節規制回避】を選択しても規制区間を通るルートが探索されることがあります。

7. 目的地履歴の消去

目的地履歴の消去

不要な目的地履歴は、消去することができます。

メニューまたは MENU

各種設定

その他

消去する

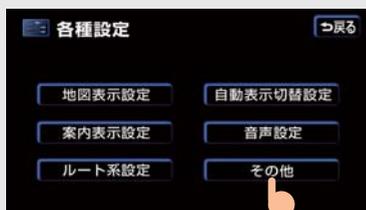
消去したい目的地履歴選択

はい

- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。



- 2 [その他] にタッチする。



- 3 目的地履歴の消去の [消去する] にタッチする。



- 4 消去したい目的地履歴にタッチする。



- すべての目的地履歴を消去するときは → [全消去] にタッチ



- 5 [はい] にタッチする。



目的地履歴の消去について

目的地を設定した地図の地点は、100カ所まで記憶されますが、これをこえたときは自動的に消去されます。

1. メモリ地点の登録

メモリ地点について

メモリ地点は、合計で 500カ所 {メモリ地点 400カ所 (自宅 1、特別メモリ 5カ所含む) と G メモリ地点 100カ所} まで登録できます。

- G メモリ地点とは (→ P.601)。

メモリ地点を登録しておく、

- 地図に記号で表示させることができます。
- 近づいたときに音が鳴るように設定できます (→ P.130)。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます (→ P.81)。

メモリ地点の登録

メモリ地点は、1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。ただし、現在地画面のワンタッチ登録は除きます。

メニューまたは MENU

メモリ地点

登録

地図の呼び出し

セット

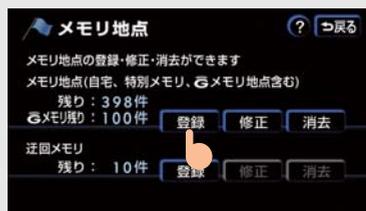
項目の入力・修正

完了

- 1 メニュー画面で、[メモリ地点] にタッチする (→ P.50)。



- 2 メモリ地点の [登録] にタッチする。



- 3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させる (→ P.81 ~ 93)。



- 4 [セット] にタッチする。



- 5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチする。入力・修正が終わったら[完了]にタッチする。

- [マーク] (→ P.130)
- [自宅・特別メモリに種別変更] (→ P.131)
- [名称] (→ P.132)
- 地図上の名称表示 (→ P.133)
- [名称読み] (→ P.134)
- [位置] (→ P.134)
- [電話番号] (→ P.134)



ワンタッチ登録

表示させている地図にメモリ地点を登録できます。

- 1 地図にタッチし、メモリ地点として登録したい位置に地図を動かす。

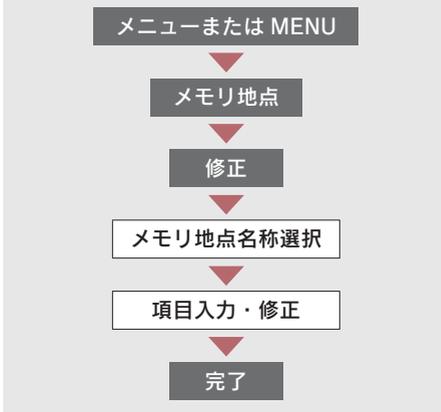


- 2 [地点登録] にタッチする。



- (または) の位置に が表示され、メモリ地点として登録されます。
- 高速道路走行中に現在地を登録したときは、方向付きメモリ で表示されます。

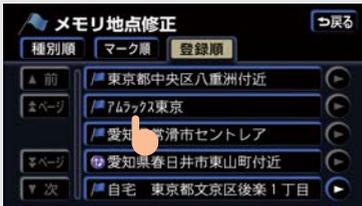
メモリ地点の修正・入力



- 1 メモリ地点画面で、メモリ地点の [修正] にタッチする (→ P.127)。



- 2 修正・入力したいメモリ地点の名称にタッチする。



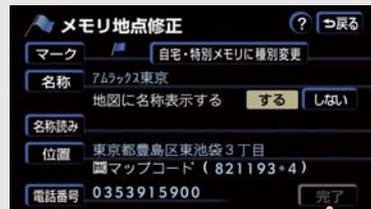
- [種別順] にタッチすると
 - ➡ 自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
- [マーク順] にタッチすると
 - ➡ 記号の種類別に並びかわります。
- [登録順] にタッチすると
 - ➡ メモリ地点の登録順に並びかわります。



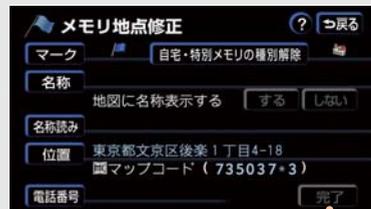
- 3 修正・入力する項目にタッチし、修正・入力が終わったら、[完了] にタッチする。

- [自宅・特別メモリに種別変更] (→ P.131)
- [自宅・特別メモリの種別解除] (→ P.132)
- [マーク] (→ P.130)
- [名称] (→ P.132)
- 地図上の名称表示 (→ P.133)
- [名称読み] (→ P.134)
- [位置] (→ P.134)
- [電話番号] (→ P.134)

〈メモリ地点を選択したとき〉



〈自宅、特別メモリを選択したとき〉



地図画面からの修正方法

- 1 地図上の修正・入力したいメモリ地点にタッチし、[情報] にタッチする。



- 2 [修正] にタッチする。



- 3 メモリ地点の修正・入力をする (→ P.129)。

- [目的地セット] にタッチすると
➔ 目的地に設定できます (→ P.96)。

メモリ地点マークの変更

- 1 メモリ地点修正画面で、[マーク] にタッチする (→ P.129)。



- 2 [マーク 1]・[マーク 2]・[マーク 3]・[音声付き] のいずれかを選び希望のマークにタッチする。



〈マーク 3〉



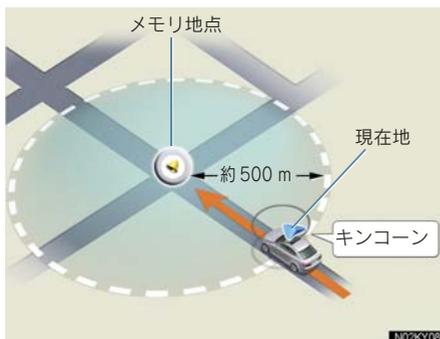
- [マーク無し] にタッチすると
➔ そのメモリ地点のマークは表示されません。

〈音声付き・方向付きメモリ〉

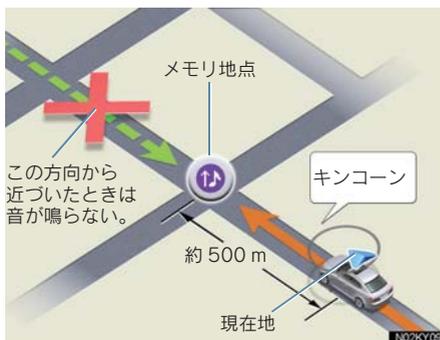


- 鳴る音を確かめたいときは
➔ [音確認] にタッチ

- 音声付きのマークを選ぶと
 - ➔ そのメモリ地点に近づいたとき（約500m）音が鳴ります。



- [方向付きメモリ] を選ぶと
 - ➔ そのメモリ地点に設定した方向から近づいたとき（約500m）のみ音が鳴ります。



- ▶ 方向付きメモリの方向設定のしかた
 - ➔ 方向設定マークにタッチし、方向を合わせ、[セット] にタッチする。



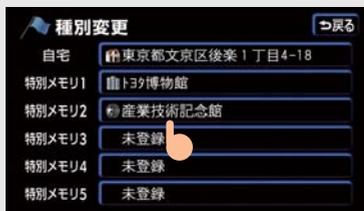
自宅・特別メモリに種別変更/ 種別解除

自宅・特別メモリ地点に種別変更

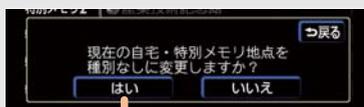
- 1 メモリ地点修正画面で、[自宅・特別メモリ地点に種別変更] にタッチする（→ P.129）。



- 2 自宅・特別メモリ地点 1～5 のいずれかにタッチする。



- 3 すでに自宅または、特別メモリ地点 1～5 に登録されているときは、[はい] にタッチする。



- [はい] にタッチすると
 - ➔ 登録されていた地点は、メモリ地点になります。

自宅・特別メモリ地点の種別解除

- 1 メモリ地点修正画面で、[自宅・特別メモリ地点の種別解除]にタッチする (→ P.129)。



- 2 [はい] にタッチする。



メモリ地点の名称入力

- 1 メモリ地点修正画面で、[名称] にタッチする (→ P.129)。



- 2 名称を入力する。

- すでに名称が入力されているとき、間違えたときは → [修正] にタッチ



- 3 入力が終わったら、[完了] にタッチする。

漢字・ひらがなの入力方法

- 1 [かな] にタッチし、1文字ずつタッチし、入力する。入力が終わったら、[変換] にタッチする。



- ひらがなのままで確定したいときは → [無変換] にタッチ



- 2 変換候補から入力する語句にタッチします。



- 変換する範囲を変更するときは → ◀▶ にタッチ
- すべてを変換し終わったら → [全確定] にタッチ

カタカナの入力方法

[カナ] にタッチし、1文字ずつタッチし入力する。



- [半角] / [全角] にタッチし、文字の種類を切り替えます。

数記号の入力方法

[数記号] にタッチし、1文字ずつタッチし入力する。



- [半角] / [全角] にタッチし、文字の大きさを切り替えます。

英数字の入力方法

[英数字] にタッチし、1文字ずつタッチし入力する。



- [半角] / [全角]、[大文字] / [小文字] にタッチし、文字の書体を切り替えます。

メモリ地点の名称表示

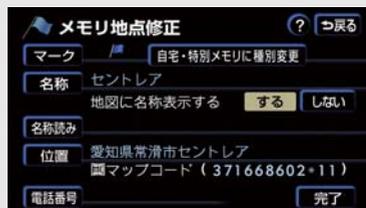
地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。



- 名称は、1/8万図より詳細な地図で表示させることができます。

名称表示の設定のしかた

地図に名称表示するの [する]、または [しない] にタッチする (→ P.129)。



メモリ地点の名称読み入力

- 1 メモリ地点修正画面で、[名称読み] にタッチする (→ P.129)。

- 名称読みを入力しておく、音声操作で呼び出し、表示させることができます (→ P.310)。



- 2 名称読みを入力し、入力が終わったら [完了] にタッチする。



- 間違えたときは → [修正] にタッチ

メモリ地点の位置修正

- 1 メモリ地点修正画面で、[位置] にタッチする (→ P.129)。



- 2 ↑ にタッチして位置を修正し、[セット] にタッチする。



メモリ地点の電話番号入力

- 1 メモリ地点修正画面で、[電話番号] にタッチする (→ P.129)。

- 電話番号を入力しておく、電話番号で地図を呼び出すことができます (→ P.88)。

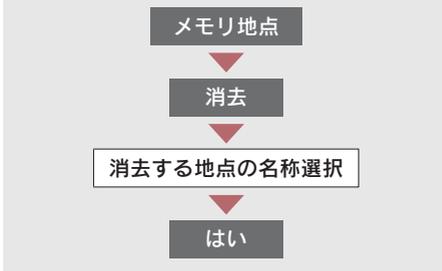


- 2 市外局番から順に 1 番号ずつタッチし入力する。入力が終わったら [完了] にタッチする。



- 間違えたときは → [修正] にタッチ

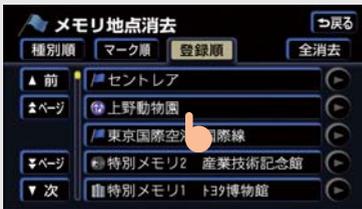
メモリ地点の消去



- 1 メモリ地点画面で、[消去] にタッチする (→ P.127)。



- 2 消去したい地点名称にタッチする。



- [全消去] にタッチすると
 - ➡ すべてのメモリ地点 (自宅、特別メモリ、G メモリ地点を含む) を消去できます。



- 3 [はい] にタッチする。



地図画面からの消去方法

- 1 地図上の消去したいメモリ地点にタッチする。



- 2 [情報] にタッチする。



- 3 [消去] にタッチする。



- 4 [はい] にタッチする。



2. 迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点の登録しておくこと、ルート探索時にその地点(エリア)を迂回するルートを探します。

メニューまたは MENU

メモリ地点

登録

地図の呼び出し

セット

迂回範囲の設定

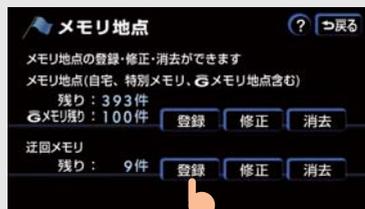
セット

完了

- 迂回メモリ地点は 10カ所まで登録できます。
- 1/8 万図より詳細な地図で登録できます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。

1 メニュー画面で、[メモリ地点] にタッチする (→ P.50)。

2 迂回メモリの [登録] にタッチする。



3 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する (→ P.81)。



4 [セット] にタッチする。



5 ▲・▼にタッチして迂回範囲を設定し、[セット]にタッチする。



- ▲・▼間に表示される数値は迂回範囲の一边の距離を示します。
- 迂回させる範囲を最も狭くすると、迂回地点になります。
- 高速道路（都市高速、有料道路を含む）、フェリー航路は迂回メモリ範囲に入れても迂回させることはできません。迂回させるときは、迂回地点を道路上に設定します。



6 [完了]にタッチする。



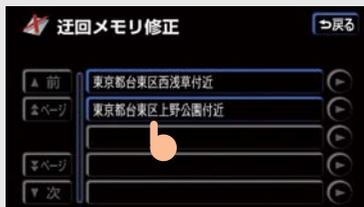
迂回メモリ地点の修正・入力



- 1 メモリ地点画面で、迂回メモリの [修正] にタッチする (→ P.136)。



- 2 修正、入力する地点名称にタッチする。



- 3** 修正、入力する項目にタッチする。
修正、入力が終わったら [完了] に
タッチする。



- 修正、入力方法は以下をご覧ください。
 - ・ 名称 (→ P.132)
 - ・ 地図上の名称表示 (→ P.133)
 - ・ 位置 (→ P.134)
- 範囲をかえるときは、[迂回エリア変更] にタッチすると、「迂回メモリ地点の登録」**5** の手順の画面が表示されます (→ P.136)。
- 迂回メモリ地点を無効にするときは
➔ [無効] にタッチ
- 迂回メモリ地点は専用の記号で表示され、記号はかえることができません。

迂回メモリ地点の消去

消去

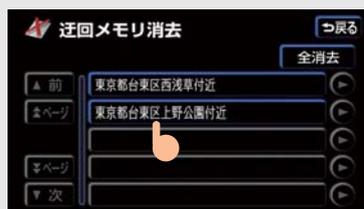
地点名称選択

完了

- 1** メモリ地点画面で、迂回メモリの [消去] にタッチする (→ P.136)。



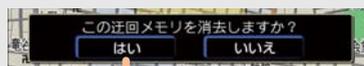
- 2** 消去する地点名称にタッチする。



- [全消去] にタッチすると
➔ すべての迂回メモリを消去できます。



- 3** [はい] にタッチする。



1. 補正が必要なとき

現在地の修正

GPS 情報が利用できず、自転車位置マークがずれたままのときは、正しい位置に修正してください。

メニューまたは MENU

各種設定

その他

補正する

現在地修正

現在地の修正

セット

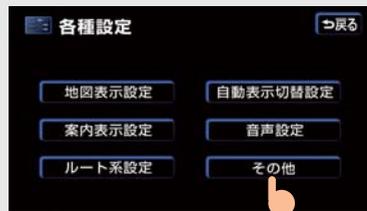
方位の修正

セット

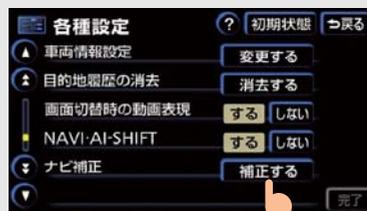
- 自転車位置マークの位置と向きを補正します。
- 1/8 万図より詳細な地図で修正できます。

1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。

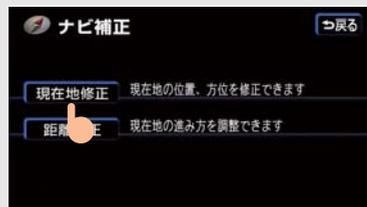
2 [その他] にタッチする。



3 ナビ補正の [補正する] にタッチする。



4 [現在地修正] にタッチする。



- 5  にタッチして、正しい現在地に修正し、[セット] にタッチする。



- 6  にタッチして、正しい方位に修正し、[セット] にタッチする。



距離の補正

実際の車と自車位置マーク  の進み方が全く違うとき、自車位置マーク  の進み方を補正することができます。

メニューまたは MENU

▼
各種設定

▼
その他

▼
補正する

▼
距離補正

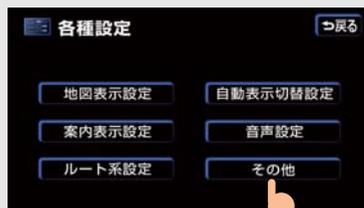
▼
補正値の設定

▼
完了

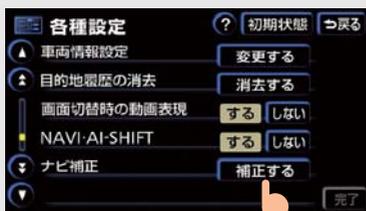
- 1 メニュー画面で、[各種設定] にタッチする (→ P.50)。



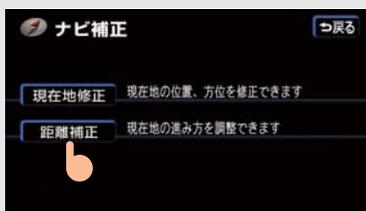
- 2 [その他] にタッチする。



- 3 ナビ補正の【補正する】にタッチする。



- 4 【距離補正】にタッチする。



- 5 補正し、【完了】にタッチする。



- 自転車位置マーク  の進み方が実際より遅いときは▶(進める)、早いときは◀(遅らせる)にタッチします。
- 【初期状態】にタッチすると
➡ 補正値が0に戻ります。

自動補正

タイヤを交換したときは、自動補正をしてください。

【自動補正】にタッチする。



- しばらく走行すると GPS 情報を利用して自動補正します。

距離の補正について

- 新車時は自動補正モードになっています。
- 自動補正モード中は、補正することはできません。
- 自動補正モード中でないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マーク  の進み方が走行状態により変化することがあります。

2. ナビの設定を記憶したいとき

記憶することのできる設定項目

各種ナビ設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。お使いになられる方ごとに、好みのナビ設定を記憶させておくのが便利です。

項目	ページ
地図向きの設定	56
地図表示モードの設定	57、59
地図表示縮尺の設定	56
2画面時の右画面設定	57
音量設定	80
メンテナンス自動通知の設定	346
メニュー画面の各種設定項目の設定※	50
VICS 地図表示の設定	164
VICS 道路表示内容の設定	163
VICS 割り込み設定	168
ETCの設定	407

※車両情報設定は記憶することができません。

各種ナビ設定の記憶



1 各種ナビ設定を記憶させたい状態に設定する。

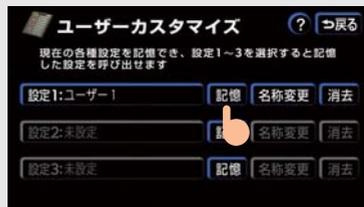
- 現在の設定をそのまま記憶するときは、かえる必要はありません。



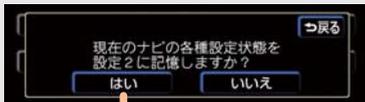
2 メニュー画面で、[ユーザーカスタマイズ] にタッチする (→ P.50)。



3 いずれかの [記憶] にタッチする。



4 [はい] にタッチする。



- 記憶済みの設定を選んだときは、上書きして記憶されます。



5 新しく記憶するときは、以下の画面で名称を入力する。



- 入力のしかた (→ P.14)。

記憶の呼び出し

記憶した各種ナビ設定パターンを選ぶことができます。

メニューまたは MENU



ユーザーカスタマイズ

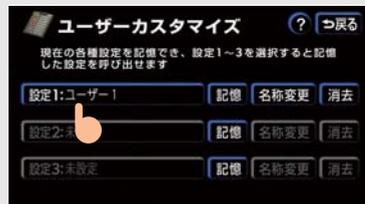


[設定 1]・[設定 2]・[設定 3]

- 1 メニュー画面で [ユーザーカスタマイズ] にタッチする (→ P.50)。



- 2 呼び出したい設定 [設定 1] ~ [設定 3] のいずれかにタッチする。



名称の変更

設定 1～3 のユーザー名称をかえることができます。

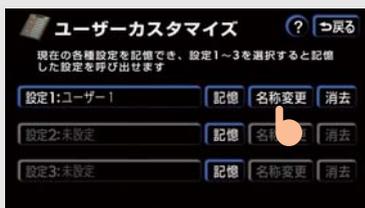
メニューまたは MENU

ユーザーカスタマイズ

名称変更

名称修正・入力

- 1 設定 1～3 のいずれかの [名称変更] にタッチする。



- 2 ユーザー名称を修正、入力する。



- 入力のしかた (→ P.14)。

各種ナビ設定の記憶の消去

各種ナビ設定の記憶を消去することができます。

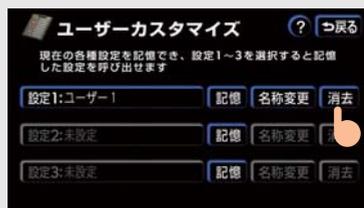
メニューまたは MENU

ユーザーカスタマイズ

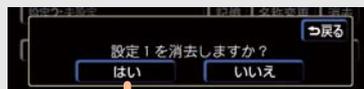
消去

はい

- 1 設定 1～3 のいずれかの [消去] にタッチする。



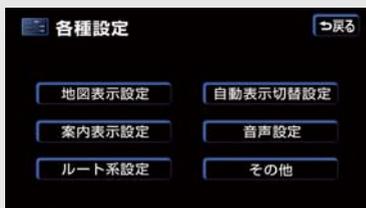
- 2 [はい] にタッチする。



3. 各種設定機能一覧

各種設定

各種設定から、ナビゲーションシステムのいろいろな設定をかえることができます。

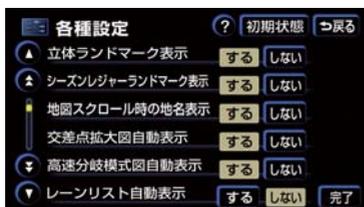
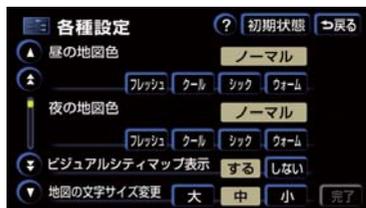
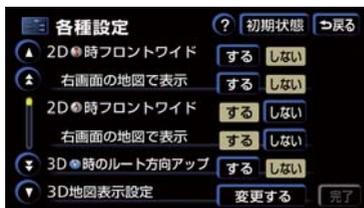


メニュー画面で【各種設定】にタッチする
(→ P.50)。

- それぞれの設定画面に表示される【初期状態】にタッチすると
➔ すべての設定が初期設定に戻ります。

※ 以下の表の設定値の太字は、初期状態の設定です。

地図表示設定



項目名	設定値	ページ
フロントワイド表示 (ノースアップ時)	「 する 」 : 進行方向の地図が広く表示される。 「 しない 」 : 地図の中心に自転車位置マーク  が表示される。	57
右画面の地図で表示 (ノースアップ時)	「 する 」 : 進行方向の地図が広く表示される。 「 しない 」 : 地図の中心に自転車位置マーク  が表示される。	57

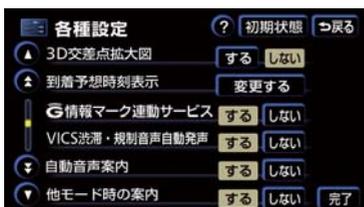
項目名	設定値	ページ
フロントワイド表示 (ヘディングアップ時)	<p>「する」 : 進行方向の地図が広く表示される。</p> <p>「しない」 : 地図の中心に自車位置マークが表示される。</p>	57
右画面の地図で表示 (ヘディングアップ時)	<p>「する」 : 進行方向の地図が広く表示される。</p> <p>「しない」 : 地図の中心に自車位置マークが表示される。</p>	57
3D 時のルート方向 アップ	<p>「する」 : ルートが表示されている方向の地図が広く表示される。</p> <p>「しない」 : 自車位置マークの向きが画面上向きになるように表示される。</p>	61
3D 地図表示設定	「変更する」: 3D 表示にしたときの視点をかえる。	59
昼画の表示色の 切り替え	<p>昼画の地図表示色をかえる。</p> <p>「ノーマル」「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」</p>	62
夜画の表示色の 切り替え	<p>夜画の地図表示色をかえる。</p> <p>「ノーマル」「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」</p>	62
ビジュアルシティマッ プ表示	<p>「する」 : ビジュアルシティマップ表示される。</p> <p>「しない」 : ビジュアルシティマップ表示されない。</p>	70
地図の文字サイズ変更	地図に表示される文字の大きさをかえる。	64
立体ランドマーク表示	<p>「する」 : 立体ランドマークが表示される。</p> <p>「しない」 : 立体ランドマークは表示されない。</p>	70
シーズンレジャー ランドマーク表示	<p>「する」 : シーズンレジャーランドマークが表示される。</p> <p>「しない」 : シーズンレジャーランドマークは表示されない。</p>	74
地図スクロール時の 地名表示	<p>「する」 : 地名などが表示される。</p> <p>「しない」 : 地名などは表示されない。</p>	55

自動表示切替設定



項目名	設定値	ページ
交差点拡大図自動表示	「する」 : 交差点拡大図が自動的に表示される。 「しない」 : 交差点拡大図は自動的に表示されない。	105
高速分岐模式図自動表示	「する」 : 高速分岐模式図が自動的に表示される。 「しない」 : 高速分岐模式図は自動的に表示されない。	78
レーンリスト自動表示	「する」 : レーンリスト図が自動的に表示される。 「しない」 : レーンリスト図は自動的に表示されない。	105
ターンリスト自動表示	「する」 : ターンリスト図が自動的に表示される。 「しない」 : ターンリスト図は自動的に表示されない。	107
都市高マップ自動表示	「する」 : 都市高速マップが自動的に表示される。 「しない」 : 都市高速マップは自動的に表示されない。	79
高速路線マップ自動表示	「する」 : 高速路線マップが自動的に表示される。 「しない」 : 高速路線マップは自動的に表示されない。	77
駐車場マップ自動表示	「する」 : 駐車場マップが自動的に表示される。 「しない」 : 駐車場マップは自動的に表示されない。	65

案内表示設定



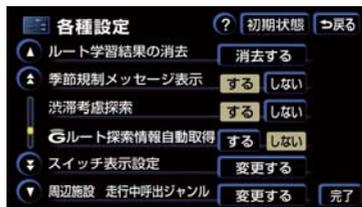
項目名	設定値	ページ
縮尺切替メッセージ表示	「する」 : 縮尺切替メッセージが表示される。 「しない」 : 縮尺切替メッセージは表示されない。	56
踏切警告	「する」 : 踏切警告が行われる。 「しない」 : 踏切警告は行われない。	71
合流警告	「する」 : 合流警告が行われる。 「しない」 : 合流警告は行われない。	71
カーブ警告	「する」 : カーブ警告が行われる。 「しない」 : カーブ警告は行われない。	71
交通事故多発区間警告	「する」 : 交通事故多発区間警告が行われる。 「しない」 : 交通事故多発区間警告は行われない。	72
レーン警告	「する」 : レーン警告が行われる。 「しない」 : レーン警告は行われない。	71
料金案内	「する」 : 料金案内される。 「しない」 : 料金案内されない。	110
県境案内	「する」 : 県境案内される。 「しない」 : 県境案内されない。	74
3D 交差点拡大図	「する」 : 交差点拡大図が立体的 (3D) に表示される。 「しない」 : 交差点拡大図は立体的 (3D) に表示されない。	106
到着予想時刻表示	「変更する」 : 所要時間を計算する基準である平均車速をかえる。	109
G 情報マーク連動サービス	「する」 : サービスが利用できる。 「しない」 : サービスが利用できない。	604

音声設定



項目名	設定値	ページ
VICS 渋滞・規制音声自動発声	「する」 : VICS 情報が音声案内される。 「しない」 : VICS 情報は音声案内されない。	166
自動音声案内	「する」 : 音声で案内される。 「しない」 : 音声で案内されない。	104
他モード時の案内	「する」 : ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 「しない」 : 他モードに切り替えたとき、音声案内されない。	104
操作説明音声	「する」 : 操作説明音声が出力される。 「しない」 : 操作説明音声は出力されない。	80
ハートフル音声	「する」 : ハートフル音声が出力される。 「しない」 : ハートフル音声は出力されない。	80
音声認識モード切替	「標準」 : 使用できるコマンドがよく使うコマンドに限定される。 「拡張」 : すべてのコマンドが使用できる。	304
音声認識ガイド音声	「する」 : 音声認識ガイドが出力される。 「しない」 : 音声認識ガイドは出力されない。	304

ルート系設定



項目名	設定値	ページ
自動再探索	「する」 : 自動的に再探索される。 「しない」 : 自動的に再探索されない。	116
ルート学習	「する」 : ルート学習される。 「しない」 : ルート学習されない。	98
ルート学習結果の消去	「消去する」 : ルート学習していたルートが消去される。	98
季節規制メッセージ表示	「する」 : メッセージが表示される。 「しない」 : メッセージは表示されない。	72
渋滞考慮探索	「する」 : 渋滞・規制情報が考慮されたルートが探索される。 「しない」 : 渋滞・規制情報が考慮されたルートは探索されない。	170
G ルート探索情報自動取得	「する」 : G ルート探索情報が自動取得される。 「しない」 : G ルート探索情報は自動取得されない。	600

その他



項目名	設定値	ページ
スイッチ表示設定	「変更する」：[◀◀Off] にタッチしたときに表示させたいタッチスイッチをかえる。	54
周辺施設 走行中呼出ジャンル	「変更する」：走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルをかえる。	69
車両情報設定	「変更する」：料金の計算、および提携駐車場を検索させるときの基準である車両情報をかえる。	111
目的地履歴の消去	「消去する」：目的地履歴を消去する。	126
画面切替時の動画表現	「する」：アニメーションのように表現されて画面が表示される。 「しない」：画面切り替え時のアニメーション表現をしない。	74
NAVI・AI-SHIFT	「する」：NAVI・AI-SHIFT が作動する。 「しない」：NAVI・AI-SHIFT の作動を解除する。	152
ナビ補正	「補正する」：現在地、距離の補正をする。	139、140

4. NAVI・AI-SHIFT について

NAVI・AI-SHIFT

NAVI・AI-SHIFT が作動すると、以下の情報をもとにオートマチックトランスミッションのギヤを6速※¹または8速※²から3速の間でより最適なギヤに切り替えます。

※¹: IS350/IS250

※²: IS F

- ナビゲーションの道路形状（コーナー・交差点）情報
- 道路勾配
- 運転者のアクセル・ブレーキ操作

NAVI・AI-SHIFT の ON・OFF のしかた

- 1 メニュー画面で、各種設定にタッチする（→ P.50）。



- 2 NAVI・AI-SHIFT の [する]（作動可能状態）、または [しない] にタッチし、[完了] にタッチする。



警告

- NAVI・AI-SHIFT を過信しないでください。

- NAVI・AI-SHIFT は状況により作動しないときがあるため、つねに道路状況に気を付け、安全な速度で走行してください。
- 応急用タイヤを取り付けているときは、設定を [しない] にしてください。

NAVI・AI-SHIFT が作動するとき

NAVI・AI-SHIFT は、シフトレバーが D の位置で車の速度が 15～100 km/h のとき作動します。

- 以下のときは作動しません。
 - ・ NAVI・AI-SHIFT を [しない] に設定している。
 - ・ レーダークルーズコントロール・クルーズコントロールの制御により走行している。
 - ・ スノーモード走行時。
 - ・ シフトレバーが D 以外の位置にある。
 - ・ シフトレバーが D の位置でパドルシフトスイッチ操作時。*
 - ・ 車の速度が約 15 km/h 以下、または約 100 km/h 以上。
 - ・ 地図の道路上に自車位置マークがのっていない。
 - ・ 目的地案内していないときの交差点走行時。ただし、走行状況により作動することもあります。

*: ISF

5. GPS について

GPS とは

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星からの電波を受信して、利用者の現在位置 (緯度・経度など) を知ることができるシステムです。GPS は、米国が開発・運用しています。

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



GPS 情報を利用できないとき

以下のようなとき、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断される時
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断される時
- 人工衛星が電波を出していないとき (米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まる場合があります)。
- デジタル式携帯電話 (1.5 GHz) を GPS アンテナ付近で使用したとき

6. 地図について

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置を表示しています。人工衛星からの電波の精度状態がわるいときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどは誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによりなくすことはできません。

知っておいていただきたいこと

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なります。

最新の地図データに更新されるかたは、レクサス販売店にご相談ください。ただし地図データの最新版の発行は、予告なく終了することがあります。

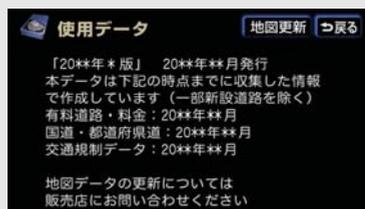
なお、この GPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などをしております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全になくすことはできません。この点に留意してお使いください。

- 幅が 3 m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3 m 未満の区間を含むと判断された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの情報を見るには

ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を見ることができます。



メニューまたは MENU

使用データ

メニュー画面で、[使用データ] にタッチする (→ P.50)。

- [地図更新] は、地図データを更新するときに使います。
- 画面は表示例です。地図データの作成時期・種類等によって表示内容がかわります。
- 地図データの更新は、レクサス販売店にご相談ください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省 国土地理院発行の2.5万分の1地形図、および5万分の1地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省 国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

© 財団法人 日本デジタル道路地図協会

© 株式会社 ゼンリン&株式会社 トヨタ マップマスター&株式会社 昭文社

■ 交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■ 交通事故多発区間警告について

地図データに収録されている事故多発区間警告データは、警察庁及び国土交通省のデータをもとに作成してあります。

■ 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

道路交通センサスと株式会社 昭文社提供データを基にして作成したデータを使用しています。

地図のスケール表示について

100m の  が、約 100 m を示しており、縮尺が 1/1 万図であることを表しています。



- 縮尺の切り替えのしかた (→ P.56)。
- 1/2500 図は市街図表示に切り替えたとき、表示させることができます (→ P.64)。

スケール表示	縮 尺
	1/2500
	1/5 千
	1/1 万
	1/2 万
	1/4 万
	1/8 万
	1/16 万
	1/32 万
	1/64 万
	1/128 万
	1/256 万
	1/512 万
	1/1024 万
	1/2048 万

地図記号・表示について

表 示	内 容
	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
	国道
	主要道
	都道府県道
	その他の道路 (幅 5.5 m 以上)
	その他の道路 (幅 3.0 m 以上)
	トンネル、または整備計画区間 (各道路で表示色は異なります)。
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

- VICS 情報を表示しているときは、道路の表示色は異なります (→ P.177)。

記 号	内 容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC (インターチェンジ)

記号	内容
	SA (サービスエリア)
	PA (パーキングエリア)
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場

記号	内容
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリナー・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り※
	レクサス販売店

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。
- 複数の施設が代表として 1 つのマークで表示されることがあります。
- 右側の表示・記号は、ビジュアルシティマップ表示にしたときのもので(→ P.70)。
 - ※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。
 - ・ 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。

7. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、【自宅に帰る】または【自宅周辺】にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください（→P.127）。
特別メモリ地点が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺【1】～【5】または特別メモリに行く【1】～【5】にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください（→P.127）。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8万図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため（現在地画面のワンタッチメモリ地点登録のときを除く）。	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を動かして、道路付近に通過道路を指定してください。

メッセージ	原因	処置
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	【はい】にタッチしたあと、地図を動かして、道路付近に目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、【いいえ】にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください（→ P.127）。
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400カ所・Gメモリ地点 100カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください（→ P.135）。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表を参考に、まず確認してください。処置をしてもなおらないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症 状	考えられること	処 置
走行しても地図が動かない。 自車位置マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください (→ P.53)。
GPS マークが表示されない	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動する、または GPS アンテナ上部に物が置いてあるときは、取り除いてください (→ P.35)。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください (→ P.103)。
	案内の音量が小さく (音声 OFF に) になっていませんか。	音量を大きくしてください (→ P.80)。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
“エンジンスタートストップ”スイッチをイグニッション ON モードの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まると、数分後に解消します。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調節は適正ですか。	コントラスト、明るさを調節してください (→ P.25)。
実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク  が表示されている。(自車位置マーク  がずれている。)	新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行したとき、人工衛星の状態、車両の状態 (走行場所や運転条件) などにより、自車位置マーク  がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(数分かかることもあります。)自動的に修正されないときは、安全な場所に停車し、現在地の修正を行ってください (→ P.139)。
リストの中に目的の名称がない。	リストをページごと、または 50 音ごとに飛ばして動かしていませんか。	1 項目ずつ動かしてください (→ P.22)。

精度について

以下のようなときは、故障ではありません。

このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

タイヤを交換したときは、自動補正をしてください（→ P.141）。

以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- バッテリーターミナルを取りはずして、取り付けたあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が4輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- ルーフキャリアを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。場合によっては、数分かかることもあります。

探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点を曲がる時、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- Uターン禁止の場所で、Uターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。

ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- ルートの表示が、次の右左折までに間に合わない。
- 高速走行時の再探索時間が長い。
- ルートが遠まわり（大まわり）になる。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示される。
- ルートがかわらない。
- ルートが探索されない。

1. VICS 情報を表示する

表示させたい VICS 情報の決定



- 1 地図表示中に「表示変更」にタッチする。



- 2 「VICS」にタッチする。



- 3 「表示設定」にタッチする。



- 4 表示させたい VICS 情報の項目を選び、「完了」にタッチする。

- [渋滞・混雑] 渋滞・混雑している道路の表示
- [空き道] 空いている道路の表示
- [規制情報] 事象・規制のある道路の表示
- [駐車場] 駐車場情報の表示



- 地図に VICS 情報が表示されないときは (→ P.164)。

VICS 情報の表示

地図にVICS情報を表示させることができます。

- VICS 記号・表示について (→ P.177)



地図上の VICS 情報

〈通常の地図〉



〈ハイウェイモード〉



〈高速路線マップ〉



- 1/16 万図より詳細な地図で表示させることができますが、VICS 記号によっては、1/16 万図では表示されない記号もあります。
- 駐車場マップを表示させているときは、VICS 情報を表示させることはできません (→ P.65)。

VICS 情報の表示のしかた

- 1 地図の表示中に [表示変更] にタッチする。



- 2 [VICS] にタッチする。



- 3 VICS 情報を表示させたい道路を選ぶ。

- [全て] 一般道路・高速道路の両方
- [高速道のみ] 高速道路のみ
- [一般道のみ] 一般道路のみ。ハイウェイモードでも VICS 情報が表示されません。



- 4 選択した道路のVICS情報が表示される。



タイムスタンプ

- VICS情報が表示されたときは、タイムスタンプが表示されます。

タイムスタンプについて

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を表しています。VICS情報が受信された時刻ではありません。
- タイムスタンプの色について
 - ・ 目的地案内中で現在地がルート上にあり、ルート上（約10 km以内）にVICS情報があるとき
 - ➔ 赤色（8:00）…渋滞情報
 - 橙色（8:00）…混雑情報
 - 黄色（8:00）…交通規制情報
 - ・ 文字が灰色
 - ➔ FM多重放送が受信されていません。
 - ・ タイムスタンプが黒色
 - ➔ タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内をします（→ P.166）。

-  の表示について
 - ・ VICS情報が継続して受信されないと、約30分後に消去され、この表示になります。
 - ・ VICS情報は受信されているが、地図に表示する情報がないときも表示されます。

VICS記号の内容の表示

規制情報、または駐車場情報の記号にタッチすると、VICS記号の内容が表示されます。



- 内容が表示されないVICS記号もあります。

VICS情報の消去

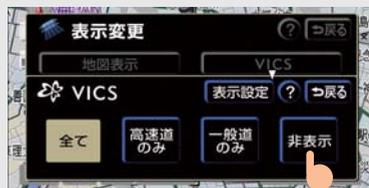
- 1 地図の表示中に、[表示変更] にタッチする。



- 2 [VICS] にタッチする。



- 3 [非表示] にタッチする。



- タイムスタンプも表示されなくなります。

2. VICS 情報の活用

渋滞・規制音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10 km 以内）の VICS 情報の案内が自動発声されます。

- 渋滞・規制音声自動発声する、しないを設定できます（→ P.149）。

音声案内の例

■ VICS 表示がある地点では
「およそ 1 km 先、渋滞があります。」

■ VICS 記号のある地点では
「およそ 5 km 先、電気工事のため、車線規制中です。」

- 音声案内の例は、あくまで参考としてください。
- 音声案内は状況により以下のようなことがあります。
 - ・ 音声案内が出力されない
 - ・ 音声案内が遅れる
 - ・ 誤った音声案内をする

渋滞・規制音声案内の再出力

地図の表示中、タイムスタンプ（黒色時）にタッチすると、一度発声された渋滞・規制音声案内をもう一度聞くことができます。

タイムスタンプ



VICS 図形情報の表示

メニューまたは MENU

VICS

FM 図形

図形情報の番号選択

▲・▼または自動送り

- 1 メニュー画面で、[VICS] にタッチする（→ P.50）。



- 2 [FM 図形] にタッチする。



- 3 図形情報の番号（ [1]・[2]・[3] … ）にタッチする。



- [文字] にタッチすると
→ VICS 文字情報が表示されます（→ P.167）。



- 4 ▲・▼にタッチすると図形情報のページを1ページずつ送ることができ、[自動送り]にタッチすると図形情報が自動で送られます。



- 走行中は自動送りできません。
- 図形情報の自動送りを中止するときは
➔ [停止]にタッチ
- 自動送りに▲・▼にタッチして、図形情報を送ったときは
➔ 自動送りは中止されます。
- [目次]にタッチすると
➔ 3の手順の画面が表示されます。

VICS 文字情報の表示

メニューまたは MENU

VICS

FM 文字

文字情報の番号選択

▲・▼または自動送り

- 1 メニュー画面で、[VICS]にタッチする (→ P.50)。



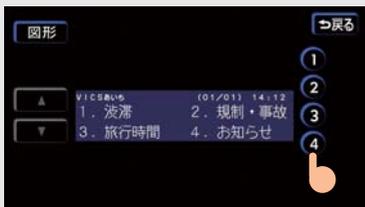
- 2 [FM 文字]にタッチする。



2

GPSボイスナビゲーション

- 3** 文字情報の番号（ [1]・[2]・[3] …）にタッチする。



- [図形] にタッチすると
 - ➔ VICS 図形情報が表示されます（→ P.166）。



- 4** ▲・▼にタッチすると文字情報のページを 1 ページずつ送ることができます。[自動送り] にタッチすると文字情報が自動で送られます。



- 走行中は自動送りできません。
- 文字情報の自動送りを中止するときは
 - ➔ [停止] にタッチ
- 自動送りに ▲・▼ にタッチして、文字情報を送ったときは
 - ➔ 自動送りは中止されます。
- [目次] にタッチすると
 - ➔ **3** の手順の画面が表示されます。

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからのVICS情報が受信されたとき、VICS 文字情報（または図形情報）を自動的に表示させることができます。

割り込み情報の表示

▲・▼にタッチして、割り込み情報を切り替える。



- 文字・図形両方の割り込み情報があるときは
 - ➔ [図形] または [文字] にタッチして、情報を切り替えます。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
- 割り込み情報の表示時間は調整できます。
- 表示されている画面により、割り込み情報が表示されないことがあります。

割り込み情報の表示の ON・OFF

割り込み情報の表示・非表示を選ぶことができます。

- 1** メニュー画面で、[VICS] にタッチする（→ P.50）。



2 [割込設定] にタッチする。



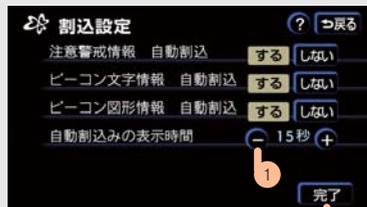
3 各表示項目の [する]、または [しない] にタッチし、[完了] にタッチする。



- 割り込み情報が [しない] に設定されていても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

割り込み情報の表示時間調整

[+]（長くする）、または [-]（短くする）にタッチし、[完了] にタッチする。



- 表示時間は5秒毎に、5秒から30秒の間で設定できます。

割り込み情報の呼び出し

割り込み情報の表示をしないに設定しているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

- 1 メニュー画面で、[VICS] にタッチする（→ P.50）。



2 [割込情報] にタッチする。



- 3 ▲・▼にタッチして割り込み情報を切り替える。



- 文字・図形両方の割り込み情報があるときは
→ [図形] または [文字] にタッチして、
情報を切り替えます。

渋滞考慮探索

ビーコンユニットからVICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索させることができます（現在地から約10 km 以内）。

- G-Linkサービスを利用しているとき
渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索させることができます。

渋滞考慮探索について

- 渋滞考慮探索をする、しないを設定できます（→ P.150）。
- 現在地から約10 km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。



3. VICS 放送局の選択

放送局の選択

VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

メニューまたは MENU

VICS

VICS 選曲

オート (通常使用)

- 1 メニュー画面で、[VICS] にタッチする (→ P.50)。



- 2 [VICS 選局] にタッチする。



- 3 前回選択していた画面 (自動選択、または手動選択) が表示される。

〈自動選択時〉



〈手動選択時〉



- 通常は [オート] (自動選択) でお使いください。[オート] に設定しておく、現在地がある都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信され自動的に放送局が切り替わります。
- 「オート」で受信されないときのみ、[マニュアル] (手動選択) で放送局 (または放送エリア) を選択してください。
- 新規エリアは、手動で周波数を選択しないと受信できないことがあります。

手動選択（エリア選択）

選んだ都道府県のVICS 情報提供FM 放送局が受信されます。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

- 1 「放送局選択」で表示された自動選択時の画面で、[マニュアル]にタッチする（→ P.171）。



- 2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチし、[完了]にタッチする。



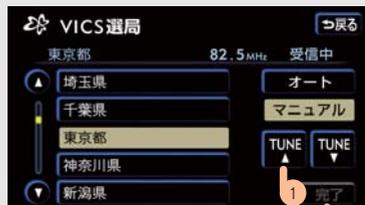
手動選択（周波数選択）

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても放送局は自動的に切り替わりません。

- 1 「放送局選択」で表示された自動選択時の画面で、[マニュアル]にタッチする（→ P.171）。



- 2 [TUNE ▲・TUNE ▼] にタッチして、放送局の周波数を選び、[完了]にタッチする。



4. VICS の概要

VICS とは

VICS (Vehicle information and Communication System : 道路交通情報通信システム) は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS サービスの仕組み

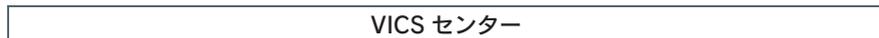
VICS は大きく分けて「情報収集」、「情報処理・編集」、「情報提供」、「情報活用」の4つのブロックから成り立っています。

情報収集
(管理者システム)



(財) 日本道路交通情報センター

情報処理・編集
(センターシステム)



情報提供
(サブシステム)



情報活用
(ユーザーシステム)



VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会・財団法人 日本交通管理技術協会 (TMT) が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された  のロゴマークは財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS について

VICS のメディア

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン・光ビーコンの 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。

FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報を提供します。

電波ビーコン

電波ビーコンは、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に VICS 情報を提供します。

光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報を提供します。

VICS の運用時間

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1、第 3 月曜日の AM1:00 ~ 5:00 の間はメンテナンスのため休止することがあります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

この HDD ナビゲーションシステムは、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送以外の FM 多重放送をご覧になっている
- TV 映像をご覧になっている（TV 映像以外で TV 音声をお聞きになっているときは、VICS FM 多重放送を受信できます。）

※VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示できる地図画面、VICS 図形情報、VICS 文字情報を表示させようとしたとき、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されない状態になります。

知っておいていただきたいこと

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。提供される VICS 情報は、最新でないことがあります。
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがあります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
 - ・ トンネルの中にいる
 - ・ 高層ビルの谷間にいる
 - ・ 高架道路の下にいる
 - ・ 盆地にいる
 - ・ 大型車とすれちがった

電波ビーコン特有の事項

- 電波ビーコンは、直接的にしか電波が届きません。
- 以下のようなとき、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
 - ・ 電波ビーコンを発信する路側に街路樹が茂っている
 - ・ トンネルの中にいる
 - ・ 高架道路の下にいる
 - ・ 大型車と並んで走行している
 - ・ アンテナ付近に障害物がある
 - ・ 高速道路の下的一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコンが受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項

- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
- 太陽と重なった
 - 雪が積もっているときやフロントガラスが汚れている
 - アンテナ付近に障害物がある

VICS の用語

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS の問い合わせ先

以下の内容は、レクサス販売店にご相談ください。

- VICS 車載機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

以下の内容は、VICS センター※にご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

※ VICS センター

- ・ 電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
0570-00-8831（全国共通）（PHS を除く）
03-3592-2033（東京）（PHS 専用）
06-6209-2033（大阪）（PHS 専用）
- ・ FAX 番号（受け付け時間…24 時間）
03-3592-5494

VICS 記号・表示について

表示	道路の種類	表示	道路の種類
	VICS 対象道		渋滞している道路
	VICS 非対象道		混雑している道路
 ※	通行止めの区間		すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	駐車場・SA・PA 情報	記号	駐車場・SA・PA 情報
	駐車場（空車）		SA・PA（空車）
	駐車場（混雑）		SA・PA（混雑）
	駐車場（満車）		SA・PA（満車）
	駐車場（不明）		SA・PA（不明）
	駐車場（閉鎖）		SA・PA（閉鎖）

記号	規制情報	記号	規制情報
	事故		作業
	故障車		通行止め
	路上障害		右折禁止
	注意		左折禁止
	地震警戒警告		直進禁止
	工事		片側交互通行
	火災		チェーン規制
	雨		進入禁止
	凍結		対面通行
	雪		車線規制
	徐行		出口規制
	入口閉鎖		速度規制
	大型車両通行止め		イベント
	入口規制		

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。
- 複数の VICS 情報が代表してひとつの記号で表示されることがあります。

オーディオ&ビジュアル

1 基本操作

- 1. はじめに..... 182
 - 使用できるディスクについて 182
 - プレーヤーについて 186
 - 文字情報の表示について 186
 - 入力端子について 186
 - MP3/WMA について 187
- 2. 基本操作..... 190
 - 操作スイッチ..... 190
 - 電源を入れるには 191
 - 音量を調節するには 191
 - 操作画面を表示するには 191
 - サウンド調整をするには 192
 - DSP の設定をするには 193

2 ラジオ

- 1. ラジオの使い方 195
 - ラジオを聞くには 195
 - 放送局を選ぶには 196
 - 放送局を記憶させるには 197
 - 自動で放送局を記憶させるには 197
 - 交通情報を受信するには 198
 - 局名スイッチについて 198

3 MDプレーヤー

- 1. MDプレーヤーの使い方 199
 - MD を聞くには 199
 - 聞きたいグループを選ぶには 201
 - 聞きたい曲を選ぶには 202
 - 早送り、早戻しするには 203
 - 同じ曲を繰り返し聞くには 203

- 同じグループを繰り返し聞くには.... 203
- 曲の順番をランダム（無作為）に
聞くには..... 203
- 全グループの中からランダム
（無作為）に聞くには..... 203
- 曲を探すには 204
- グループを探すには 204

4 CDプレーヤー

- 1. CDプレーヤーの使い方 205
 - CD を聞くには 205
- 2. 音楽CDを聞く 207
 - 聞きたい曲を選ぶには 207
 - 早送り、早戻しするには 207
 - 同じ曲を繰り返し聞くには 207
 - 曲の順番をランダム（無作為）に
聞くには..... 208
 - 曲を探すには 208
- 3. MP3/WMAディスクを聞く 209
 - 聞きたいフォルダを選ぶには 209
 - 聞きたい曲（ファイル）を
選ぶには..... 209
 - 早送り、早戻しするには 210
 - 同じ曲（ファイル）を繰り返し
聞くには..... 210
 - 同じフォルダを繰り返し聞くには.... 210
 - 再生中のフォルダの中からランダム
（無作為）に聞くには..... 210
 - 全フォルダの中からランダム
（無作為）に聞くには..... 211
 - フォルダの中から曲（ファイル）を
探すには..... 211
 - フォルダを探すには 211

楽曲情報を表示するには 211

5 DVDチェンジャー

1. DVDチェンジャーの使い方 212

ディスクを再生するには 212

ディスクの切り替え方 215

ディスク読み込み中画面について.... 215

2. 音楽CDを聞く 216

操作画面を表示するには 216

聞きたい曲を選ぶには 216

早送り、早戻しするには 217

同じ曲を繰り返し聞くには 217

曲の順番をランダム（無作為）に
聞くには 217

曲を探すには 217

3. MP3/WMAディスクを聞く 218

操作画面を表示するには 218

聞きたいフォルダを選ぶには 218

聞きたい曲（ファイル）を
選ぶには 219

早送り、早戻しするには 219

同じ曲（ファイル）を繰り返し
聞くには 220

同じフォルダを繰り返し聞くには.... 220

再生中のフォルダの中からランダム
（無作為）に聞くには 220

全フォルダの中からランダム
（無作為）に聞くには 220

フォルダの中から曲（ファイル）を
探すには 220

フォルダを探すには 220

楽曲情報を表示するには 221

4. DVDの再生 222

DVD の操作について 222

映像を操作するには 223

見たい場所を選ぶには 224

メニュー画面を操作するには 226

音声を切り替えるには 227

字幕を切り替えるには 227

ディスクに指定された位置まで
戻って見る 227

アングルを切り替えるには..... 228

DVD 再生時の初期設定をする 228

メニュー番号を選ぶには 234

静止画を切り替えるには 234

5. ビデオCDの再生 235

ビデオ CD の操作について 235

映像を操作するには 236

メニュー項目を表示するには 236

見たい場所を選ぶには 236

音声を切り替えるには 237

6. 知っておいていただきたい こと 238

ディスク再生中の操作について 238

DVD ビデオ・DVD オーディオに
ついて 238

6 サウンドライブラリ

1. お使いになる前に 243

サウンドライブラリの概要 243

サウンドライブラリの構成に
ついて 243

データベースについて 245

操作の流れについて 247

2. サウンドライブラリに 録音する 248

録音についての注意 248

録音設定を変更するには 248

音楽 CD を自動で録音するには 249

音楽 CD の中からお好みの曲を
録音するには 249

録音中の作動について 250

3. サウンドライブラリを聞く 251

サウンドライブラリを聞くには 251

聞きたいプレイリストを選ぶには 252

聞きたい曲（トラック）を 選ぶには	253
プレイモードを選ぶには	254
早送り、早戻しするには	255
同じ曲（トラック）を繰り返し 聞くには	255
曲（トラック）の順番をランダム （無作為）に聞くには	255
曲（トラック）を探すには	256
曲（トラック）の情報を 表示するには	256
4. サウンドライブラリの編集	257
サウンドライブラリの編集	257
プレイリスト画面、 トラックリスト画面について	257
プレイリストを作成するには	258
プレイリストの名称を 編集するには	260
プレイリストの再生順番を 変更するには	261
プレイリストを消去するには	262
プレイリストに曲（トラック）を 追加するには	263
再生中の曲（トラック）を プレイリストに登録するには	265
曲（トラック）の情報を 編集するには	265
曲（トラック）の再生順番を 変更するには	269
曲（トラック）を消去するには	270
タイトル情報を再取得するには	271

7 テレビ

1. テレビの使い方	273
テレビを見るには	273
テレビを操作するには	275
チャンネルを選ぶには	276
チャンネルを記憶させるには	276
自動でチャンネルを 記憶させるには	277

マルチ画面を表示するには	277
音声多重放送の音声モードを 切り替えるには	278
局名スイッチについて	278

8 ステアリングスイッチ

1. オーディオを操作する	279
ステアリングオーディオスイッチ	279
電源を入れるには	279
音量を調節するには	279
モードを切り替えるには	280
ラジオ・テレビを操作するには	280
CD プレーヤーを操作するには	280
MD プレーヤーを操作するには	281
DVD チェンジャーを 操作するには	281
サウンドライブラリを 操作するには	281

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

1. はじめに

使用できるディスクについて

CD・DVD について

CD プレーヤーで使用できるディスク

以下のマークのついたディスクが再生できます。

- 記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。



DVD チェンジャーで使用できるディスク

以下のマークのついたディスクが再生できます。

- 記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。

■ CD



■ DVD ビデオ



■ DVD オーディオ



■ ビデオ CD



⚠ 注意

■ ディスクの取り扱いにはご注意ください。

- ディスクには指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ってください。
- ディスクの汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使うと、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使うことができなくなるおそれがあります。

 注意

- 直径 12 cm、または 8 cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となるため、使用しないでください。



- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となるため、使用しないでください。
- 記録部分に透明、または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがあるため、使用しないでください。



- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



- 変形したディスクは機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

MD について

MD プレーヤーで使用できるディスク

以下のマークのついた音楽用 MD のみ使用できます。



- データ用 MD、Hi-MD などは使用できません。
- MDLPの再生に対応しているため、長時間録音されたMDも再生することができます。また、グループ機能にも対応しています。
- LP4 ステレオ録音した MD を再生したとき、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

注意

■ MD の取り扱いにはご注意ください。

- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってある MD を使用しないでください。MD を取り出せなくなるおそれがあります。
- MD は、直射日光を避けて保管してください。MD がひずみ、使用できなくなるおそれがあります。
- シャッターを無理にあげないでください。MD がこわれるおそれがあります。



プレーヤーについて

- プレーヤーの内部を保護するため、異常が発生したときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでレクサス販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動したとき、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

入力端子について

ポータブルオーディオなどの市販の機器を接続して、その音声を車両のスピーカーで聴くことができます。



- 1 キャップを開ける。
- 2 市販のオーディオケーブルを使用してポータブルオーディオを接続する。
- 3 **DISC-AUX** を押す。

- ステレオミニプラグ（3.5φ）が接続できます。オーディオケーブル、接続する機器の取扱書をよくお読みください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリー等を使用してください。車に装着されているアクセサリソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリソケットについては、別冊「IS F 取扱説明書」または別冊「IS350/250 取扱説明書」をご覧ください。）
- AUXモード中に入力端子のプラグを抜いたり、接続する機器側のプラグを抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。

MP3/WMA について

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使うと、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに気を付けてください。

再生できる MP3 ファイルの規格について

- 対応規格
 - ・ MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
- 対応サンプリング周波数
 - ・ MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)
 - ・ MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)
- 対応ビットレート
 - ・ MPEG1 LAYER3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
 - ・ MPEG2 LSF LAYER3 : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
 - ※ VBR に対応しています。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生できる WMA ファイルの規格について

- 対応規格
 - ・ WMA Ver.7、8、9
- 対応サンプリング周波数
 - ・ 32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート
 - ・ Ver.7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
 - ・ Ver.9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
 - ※ 2 ch 再生のみ対応しています。

ID3 タグ / WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 の ID3 タグに対応しています。(文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します。)

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMA の再生に使用できるメディアは CD-ROM および CD-R、CD-RW です。

- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できないことがあります。また、ディスクに指紋や傷がついているとき、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。
- CD-R、CD-RW は紫外線に弱いいため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ディスクフォーマット：CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1
- ファイルフォーマット：ISO9660 レベル 1、レベル 2 (joliet、Romeo)

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は以下のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8 階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：全角 16 文字。半角のみのときは 32 文字。
- 最大フォルダ数：192 (ルート含む)
- ディスク内最大ファイル数：255

ファイル名について

- MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。
- MP3/WMA ファイルには、 “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応し、MP3/WMA ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

- ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 音楽データと MP3、または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。



注意

■ MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3"/".wma" の拡張子をつけないでください。

- MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3" / ".wma" の拡張子をつけると MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損することがあります。
- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128 kbps の固定ビットレート、44.1 kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RW はディスクの特性により読み取れないことがあります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できないことがあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できないことがあります。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. 基本操作

2. 基本操作

操作スイッチ

“エンジンスタートストップ”スイッチがアクセサリモード、またはイグニッション ON モードのとき使用できます。

■ CD プレーヤー装着車



■ DVD チェンジャー装着車



N03LY02

電源を入れるには



、またはそれぞれのオーディオモードスイッチを押す。

-  は押すごとに、電源が ON/OFF します。

携帯電話の使用について

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調節するには



を右（音量大）、または左（音量小）へまわす。



注意

運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

操作画面を表示するには



、または  を押す。

- 選択されているモードの操作画面が表示されます。
- テレビモードのときは、オンスクリーン画面が表示されます。
 - ・ オンスクリーン画面で【設定】にタッチすると
 - ➔ 操作画面が表示されます（→ P.275）。
- 操作画面を表示させて、約 20 秒以上操作しなかったとき、「継続表示しない（自動的にもとの画面に戻る）」、または「継続表示する（操作画面の表示を継続する）」の切り替えをすることができます（→ P.29）。

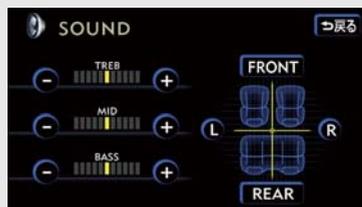
サウンド調整をするには

操作画面で、[SOUND] にタッチする。

〈CD プレーヤー装着車〉



〈DVD チェンジャー装着車〉



- 〈CD プレーヤー装着車〉
[初期状態] にタッチすると ➡ 設定が初期設定の状態に戻ります。

音質を調節する

■ TREB (高音)・MID (中音)・BASS (低音)

[+] (強調)、または [-] (弱める) にタッチする。

音量バランスを調節する

■ 前後音量バランス

[FRONT] (前側を強調)、または [REAR] (後側を強調) にタッチする。

■ 左右音量バランス

[R] (右側を強調)、または [L] (左側を強調) にタッチする。

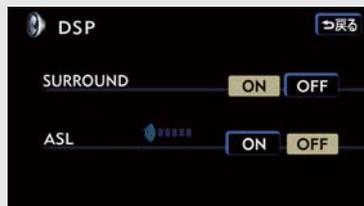
DSP の設定をするには

操作画面で、[DSP] にタッチする。

〈CD プレーヤー装着車〉



〈DVD チェンジャー装着車〉



ACOUSTIC (音質・音場モードの選択)

CD プレーヤー装着車

お好みのモードにタッチする。

- あらかじめ設定されている 4 種類の音質・音場モードから選ぶことができます。

表示	特徴
[VOCAL]	中音を強調、高音をやや強調した音質。スタジオのような音場空間。
[ROCK]	低音と高音を強調した音質。大ホールのような音場空間。
[JAZZ]	低音と高音をやや強調した音質。ライブハウスのような音場空間。
[CLASSIC]	フラットな音質。中ホールのような音場空間。

SURROUND (音場の設定)

DVD チェンジャー装着車

[ON]、または [OFF] にタッチする。

- SURROUND を ON にしておくと、マトリックス 7.1 ch サラウンドにて臨場感のある音場に設定できます。OFF では再生するソースに基づいた方式で再生します。

ASL (音量補正の設定)

[ON]、または [OFF] にタッチする。

- 走行時の室内騒音に応じて音質や音量を自動的に補正する機能です。ASL を ON にしておくと、走行時でも停車時と同様な音質・音量感で音楽を楽しむことができます。
※ ASL は Automatic Sound Levelizer の略

POSITION（リスニングポジションの選択）

■ CD プレーヤー装着車

[CHANGE] にタッチする。

- タッチするごとに、運転席・前席・後席・全席均等の順に切り替わります。
- 乗車位置に合わせて、最も音場感が楽しめる設定に切り替えることができます。

乗車位置	運転席	前 席	後 席	全席均等
表 示				

1. ラジオの使い方

ラジオを聞くには

AM-FM を押します。

- ラジオを聞いているときにスイッチを押すと、AM・FMの切り替えをすることができます。
 - 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
 - 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- ラジオを聞いているときに **オーディオ**、または **AUDIO** を押すと、操作画面が表示されます。

■ CD プレーヤー装着車



■ DVD チェンジャー装着車



放送局を選ぶには

プリセットスイッチから選ぶ

CH スイッチの▲または▼を押す、または操作画面を表示して希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチする。

- プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局をかえたときは ➡ 「放送局を記憶させるには」をご覧ください (→ P.197)。

手動で選ぶ



をまわし、選局する。

自動で選ぶ

SEEK スイッチの▲または▼を押す。

- 途中で止めたいときは ➡ もう一度スイッチを押します。

放送局を記憶させるには

よくお聞きになる放送局の周波数をプリセットスイッチに記憶させておくと、ワンタッチで選局できます。

- 1**  または SEEK スイッチで記憶させたい周波数を選ぶ。



- 2** 記憶させたいプリセットスイッチを「ピー」と音がするまでタッチする。

- バッテリー・ヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときは、記憶されていた周波数はすべて消去されます。

自動で放送局を記憶させるには

旅先などで受信できる放送局を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

操作画面で [AUTO・P] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 画面に AUTO.P が表示されます。
- もう一度スイッチにタッチして、すぐ手を離すと解除されます。
- CD プレーヤー装着車は  でも操作できます。
- 放送局の記憶が終了すると、一番低い周波数の放送局を受信します。

AUTO.P スイッチで記憶させた周波数を変更するには

- 1**  または SEEK スイッチで記憶させたい周波数を選ぶ。



- 2** 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチに「ピー」と音がするまでタッチする。

交通情報を受信するには

 を押す。

- 記憶されている周波数のみ受信します。新車時は 1620 kHz にセットしてあります。
- もう一度スイッチを押すと、解除されます。

記憶されている周波数を変更するには

1  を押して、AM を選ぶ。



2  または SEEK スイッチで記憶させたい周波数を選ぶ。



3  を「ピッ」と音がするまで押す。

- バッテリー・ヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときは、1620 kHz になります。

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数を使用している複数の放送局の放送地域が重なり合っている地域では、お聞きになっている放送局と表示されている放送局名が異なることがあります。そのような地域では、局名スイッチが表示されます。

[局名] にタッチして、お聞きになっている放送局名を選ぶ。

- 最大で 3 つの放送局名から選択することができます。

1. MD プレーヤーの使い方

MD を聞くには

MD を挿入する、または MD が挿入されているときに **MD** を押します。

- MD を聞いているときに **オーディオ**、または **AUDIO** を押すと、操作画面が表示されます。

■ CD プレーヤー装着車



〈グループ録音した MD 再生時〉



NO3LY04

■ DVD チェンジャー装着車



MD の出し入れ

MD をセットするには

1 挿入口に MD を軽く止まる位置まで、挿入する。

- ラベル面を上、MD に表示の矢印を前にして差し込みます。



2 MD の中央部を軽く押す。

- 自動的にセットされ、MD が再生されます。

MD を取り出すには



を押して、MD を取り出します。



注意

■ MD のセットのしかたについて

- 無理に MD を押し込むと、故障の原因となります。MD が自動的にセットされないときは、いったん  を押して、MD を取り出し、MD が軽く止まる位置まで差し込まれていることを確認してから、再度、MD の中央部を軽く押してください。

聞きたいグループを選ぶには

グループ録音されている MD を再生しているときは、聞きたいグループを選ぶことができます。

操作画面で選ぶ

GROUP LIST の▲、または▼にタッチする。

グループリスト画面で選ぶ

グループリスト画面を表示し、聞きたいグループを選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 操作画面で、[GROUP LIST] にタッチするとグループリスト画面が表示される。



- 2 聞きたいグループにタッチする。

聞きたい曲を選ぶには

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの▲、または▼を押す。

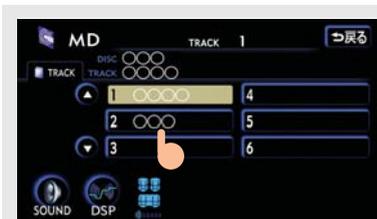
トラックリスト画面で選ぶ

トラックリストを表示し、聞きたい曲を選択して、再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

グループ録音されていない MD を再生しているとき

- 1 操作画面で、[TRACK LIST] にタッチするとトラックリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

グループ録音されている MD を再生しているとき

- 1 グループリスト画面で [TRACK] にタッチするとトラックリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの▲、または▼を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

同じ曲を繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

同じグループを繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- グループ録音されている MD を再生しているとき、選択しているグループを繰り返し再生します。
- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲の順番をランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] にタッチする。

- グループ録音されている MD を再生しているときは、選択しているグループの中からランダムに曲を再生します。
- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

全グループの中からランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- グループ録音されている MD を再生しているとき、MD に録音されている全曲の中からランダムに曲を再生します。
- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲を探すには

操作画面の【SCAN】にタッチする。

- 全曲の始めの部分を約10秒間ずつ再生します。グループ録音されているMDを再生しているときは、選択しているグループ内の全曲を再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。

グループを探すには

操作画面の【SCAN】に「ピー」と音がするまでタッチする。

- グループ録音されている MD を再生しているとき、MD に録音されている全グループの最初の曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望のグループになったら、もう一度スイッチにタッチします。

1. CD プレーヤーの使い方

CD を聞くには

CD をセットする、または CD がセットされているときに **DISC-ALX** を押します。

- CD を聞いているときに **オーディオ**、または **AUDIO** を押すと、操作画面が表示されます。

The diagram illustrates the car stereo's interface for playing CDs and MP3/WMA files. It shows the physical unit with various buttons and a central display screen. Labels in Japanese point to specific features and controls.

CD Playback Screen:

- トラックリストの表示:** Points to the 'TRACK LIST' display at the top right of the screen.
- いろいろな再生:** Points to playback controls like 'RPT', 'RAND', and 'SCAN' at the bottom of the screen.
- CD を挿入する:** Points to the disc tray.
- CD を取り出す:** Points to the 'DISC-ALX' button.
- 選曲 / 早送り・早戻し:** Points to the 'SEEK TRACK' buttons.

MP3/WMA Playback Screen:

- フォルダリストの表示:** Points to the 'FOLDER LIST' display at the top right of the screen.
- いろいろな再生:** Points to playback controls like 'RPT', 'RAND', and 'SCAN' at the bottom of the screen.
- フォルダの選択:** Points to the 'FOLDER' selection buttons.

Physical Unit Labels:

- オーディオ:** Points to the 'AUDIO' button on the left side.
- 操作画面を表示:** Points to the 'AUDIO' button.
- ファイルの選択:** Points to the 'TUNE-FILE' knob on the left.

* : 車両型式などで異なる装備やオプション装備

CD の出し入れ

CD をセットするには

ラベル面を上にして、挿入口へ差し込む。

- CD がセットされると、自動的に再生します。
- 本機のサウンドライブラリは、録音モードがAUTOに初期設定されています。音楽CDを再生すると、自動でサウンドライブラリへ録音します (→ P.248)。

注意

■ CD をセットするときの注意

- 8 cm 音楽用CDを挿入するときはアダプターを使用せずに、そのままCDを挿入してください。アダプターを使用するとCDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDを重ねて挿入しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

CD を取り出すには

 を押して、CD を取り出す。

2. 音楽 CD を聞く

聞きたい曲を選ぶには

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの▲、または▼を押す。

トラックリスト画面で選ぶ

トラックリストを表示し、聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 操作画面で [TRACK LIST] にタッチするとトラックリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの▲、または▼を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

同じ曲を繰り返し聞くには

操作画面で、[RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲の順番をランダム（無作為）に聞くには

操作画面で、[RAND] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲を探すには

操作画面の、[SCAN] にタッチする。

- 全曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。

3. MP3/WMA ディスクを聞く

聞きたいフォルダを選ぶには

操作画面で選ぶ

FOLDER の▲、または▼にタッチする。

フォルダリスト画面で選ぶ

フォルダリスト画面を表示し、聞きたいフォルダを選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 操作画面で [FOLDER LIST] にタッチするとフォルダリスト画面が表示される。



- 2 聞きたいフォルダにタッチする。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶには

TUNE・FILE ツマミで選ぶ



をまわし、選曲する。

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの▲、または▼を押す。

ファイルリスト画面で選ぶ

ファイルリストを表示し、聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 フォルダリスト画面で、[FILE] にタッチするとファイルリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの▲、または▼を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手をはなすと、その位置から再生する。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

同じフォルダを繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

再生中のフォルダの中からランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

全フォルダの中からランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 全フォルダの中からランダムに曲を再生します。
- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

フォルダの中から曲（ファイル）を探すには

操作画面の [SCAN] にタッチする。

- 選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。

フォルダを探すには

操作画面の [SCAN] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 全フォルダの一つめの曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望のフォルダになったら、もう一度スイッチにタッチします。

楽曲情報を表示するには

再生している曲の情報を表示することができます。

フォルダリスト画面、またはファイルリスト画面で、[曲情報] にタッチする。

- 走行中は楽曲情報画面を表示することはできません。

〈MP3 再生時〉



〈WMA 再生時〉



1. DVDチェンジャーの使い方

ディスクを再生するには

ディスクをセットする、またはディスクがセットされているときに **DISC-ALIX** を押します。

- ディスク再生中に **オーディオ**、または **AUDIO** を押すと、操作画面が表示されます。



* : 車両型式などで異なる装備やオプション装備

ディスクの出し入れ

- ディスクがセットされると自動的に再生します。
- 本機のサウンドライブラリは、録音モードがAUTOに初期設定されています。音楽CDを再生すると、自動でサウンドライブラリへ録音します（→ P.248）。

ディスクをセットするには

■ 1枚だけ挿入するとき（単独挿入モード）

- 1  を押し、すぐ手を離す。



- 2 インジケーターがアンバー色の点滅から緑色の点灯にかわり、挿入口のドアが開いてからディスクを挿入する。

■ 数枚続けて挿入するとき（連続挿入モード）

- 1  を「ピッ」と音がするまで押す。



- 2 インジケーターがアンバー色の点滅から緑色の点灯にかわり、挿入口のドアが開いてから、ディスクを挿入する。



- 3 挿入後、点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯（緑色）にかわり、挿入口のドアが開いてから、次のディスクを挿入する。



- 4  を押して、すぐ手を離す、または約 15 秒以上操作しなかったときは、「ピッピッ」と音がして最後に挿入したディスクが再生されます。

- DVDチェンジャー内に6枚目のディスクがセットされると、最後にセットしたディスクが再生されます。

注意

- ディスクを挿入するときは、**LOAD** を押し、必ずインジケーターが緑色に点灯しているのを確認してから挿入してください。
- ディスクを挿入するときは、インジケーターが緑色に点灯し、挿入口のドアが開いているのを確認してから挿入してください。**LOAD** を押さずに挿入したり、インジケーターがアンバー色で点滅しているときに、ディスクを挿入すると、機器の故障の原因となるおそれがあります。
- 8 cm CD を使用するときは、「レクサス純正 8 cm ディスクアダプター」が必要です。レクサス純正品以外の 8 cm ディスクアダプターを使用すると、故障の原因になります。レクサス純正 8 cm ディスクアダプターについては、レクサス販売店にご相談ください。

ディスクを取り出すには

■ 選択中のディスクを取り出すとき（単独取り出しモード）

1  を押す。

- インジケーター（アンバー色）が点滅し、ディスクが排出されます。



2 点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯にかわったら、ディスクを取り出します。

■ すべてのディスクを取り出すとき（連続取り出しモード）

1  を「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- インジケーター（アンバー色）が点滅し、ディスクが排出されます。



2 点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯にかわったら、ディスクを取り出します。

- 点灯中のインジケーター（アンバー色）が点滅し、次のディスクが排出されます。
- 約 15 秒以内にディスクを取り出さないと、連続取り出しモードが解除されます。

ディスクの切り替え方

ディスクを再生しているときに、、または  スイッチを押すと、操作画面が表示されます。



DISC スイッチの 、または  を押すか、操作画面を表示して、再生したいディスクにタッチする。

- ディスクを切り替えるときに、ディスクの種類を判別するために、切り替えに時間がかかることがあります。
- 操作画面の表示の継続は、「する」・「しない」に設定することができます (→ P.29)。

ディスク読み込み中画面について

DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD を選ぶと、ディスク読み込み中の画面が表示されます。



「知識」が表示されたときは【了解】にタッチすると、画面上の「知識」の表示が消去されます。

- ディスクによっては読み込み中の画面の表示時間が長いことがあります。
- 読み込み中の画面に「知識」が表示されるのは、“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモードまたはイグニッションONモードにしてから最初に映像を表示したときのみです。一度、【了解】にタッチすると、2回目以降は表示されません。

2. 音楽 CD を聞く

操作画面を表示するには

CDを聞いているときに、、または  を押すと、操作画面が表示されます。



- 本機のサウンドライブラリは、録音モードが AUTO に初期設定されています。音楽 CD を再生すると、自動でサウンドライブラリへ録音します (→ P.248)。
- 再生している CD にタイトル情報が収録されていない場合、本機のデータベースに該当する情報があるときは、タイトルを表示します (→ P.245)。

聞きたい曲を選ぶには

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの 、または  を押す。

トラックリスト画面で選ぶ

トラックリストを表示し、聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 操作画面で [TRACK LIST] にタッチするとトラックリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの \blacktriangle 、または \blacktriangledown を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

同じ曲を繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲の順番をランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲を探すには

操作画面の [SCAN] にタッチする。

- 全曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。

3. MP3/WMA ディスクを聞く

操作画面を表示するには

MP3/WMA ディスクを聞いているときに、、または  を押すと、操作画面が表示されます。



聞きたいフォルダを選ぶには

操作画面で選ぶ

FOLDER の▲、または▼にタッチする。

フォルダリスト画面で選ぶ

フォルダリスト画面を表示し、聞きたいフォルダを選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 操作画面で [FOLDER LIST] にタッチする。



- 2 聞きたいフォルダにタッチする。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶには

TUNE・FILE ツマミで選ぶ



をまわし、選曲する。

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの▲、または▼を押す。

ファイルリスト画面で選ぶ

ファイルリスト画面を表示し、聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 フォルダリスト画面で、[FILE] にタッチするとファイルリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの▲、または▼を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

同じフォルダを繰り返し聞くには

操作画面の [RPT] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

再生中のフォルダの中からランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

全フォルダの中からランダム（無作為）に聞くには

操作画面の [RAND] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 全フォルダの中からランダムに曲を再生します。
- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

フォルダの中から曲（ファイル）を探すには

操作画面の [SCAN] にタッチする。

- 選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。

フォルダを探すには

操作画面の [SCAN] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 全フォルダの一つめの曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望のフォルダになったら、もう一度スイッチにタッチします。

楽曲情報を表示するには

再生している曲の楽曲情報を表示することができます。

フォルダリスト画面、またはファイルリスト画面で、**[楽曲情報]** にタッチする。

- 走行中は楽曲情報画面を表示することはできません。

〈MP3 再生時〉



〈WMA 再生時〉



4. DVD の再生

DVD の操作について

ディスクの映像は、安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

DVD ビデオ・DVD オーディオを操作する画面には、操作画面とオンスクリーン画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

操作画面

ディスクを再生させているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、

、または  を押すと表示されます。



映像を表示
画面モードの切り替え
(→ P.27)

オンスクリーン画面

ディスクの映像をご覧になっているときに、画面にタッチすると表示されます。

- オンスクリーン画面には 2 つの画面があります。[次ページ]、または [前ページ] にタッチして、2 つの画面を切り替えます。
- スイッチにタッチし、画面に  が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを表していますので、その操作を行うことはできません。
- スイッチを消すときは  [ボタン消] にタッチ

〈DVD ビデオ再生時〉



[次ページ]

[前ページ]



〈DVD オーディオ再生時〉



[次ページ]



[前ページ]



警告

DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎる場合がありますので、気を付けてください。音量が大きすぎると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ドルビーデジタル、DTS、マルチチャンネル音声再生に対応しているため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。

映像を操作するには

映像を一時停止する

オンスクリーン画面の **||** にタッチする。

- **▶** にタッチする、またはもう一度 **||** にタッチすると、通常再生します。

映像止める

オンスクリーン画面の **■** にタッチします。

- **▶** にタッチすると、通常再生します。

早送り、早戻しする

オンスクリーン画面の **▶▶**、または **◀◀** にタッチし続け、希望の位置で手を離すか、TRACK スイッチの **▲**、または **▼** を「ピツ」と音がするまで押し続け、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

スロー再生する

オンスクリーン画面の **||** にタッチし、**▶▶** にタッチする。

- **▶▶** にタッチしている間、スロー再生します。

見たい場所を選ぶには

タイトル／グループから選ぶ

- 1 オンスクリーン画面で、**[サーチ]** にタッチする。



- 2 タイトル／グループ番号を入力し **[完了]** にタッチする。

〈DVD ビデオ再生時〉



〈DVD オーディオ再生時〉



- **[修正]** にタッチすると → 最後に入力した数字が消えます。
- **[<< OFF]** にタッチすると → サーチ画面を一時的に消すことができます。

▶ 再びサーチ画面を表示するには

→ **[>> ON]** にタッチ



ボーナスグループの再生

〈DVD オーディオ再生時〉

■ キー番号入力画面

再生しているディスクにボーナスグループがあるとき、ボーナスグループを再生するときに使用します。

- ボーナsgループやキー番号についてはディスクに付属の取扱書などをご覧ください。

- 1 グループサーチ画面でボーナスグループのグループ番号を入力して、[完了] にタッチする。



- 2 数字を 1 番号ずつタッチして、キー番号を入力し、[完了] にタッチする。

- [修正] にタッチすると ➡ 最後に入力した数字が消えます。

チャプター／トラックから選ぶ

TRACK スイッチの ▲、または ▼ を押す。

メニュー画面を操作するには

ディスクのメニュー項目を操作することができます。

1 オンスクリーン画面で **[メニュー]**、または **[トップメニュー]** にタッチする。

- メニュー画面を表示しているときに、操作スイッチが表示されていないときは **[◆表示]** にタッチします。



2 **△・▽・◀・▶** にタッチして、メニュー項目を選択する。



3 **[決定]** にタッチする。

- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクに付属の取扱書をご覧ください。(説明中の画面は一例です。)
- ディスクによっては **[決定]** にタッチしてもスイッチが消えないことがあります。そのときは、**[戻る]** にタッチし、オンスクリーン画面で **[ボタン消]** にタッチします。
- **[移動]**・**[移動]** にタッチすると
 - ➔ タッチスイッチの表示位置を画面の上側や下側にかえることができます。
- **[OFF]** にタッチすると ➔ スイッチを一時的に消すことができます。

▶ 再びスイッチを表示するには

- ➔ **[ON]** にタッチ



音声を切り替えるには

- 1 オンスクリーン画面で、[音声] にタッチする。



- 2 [音声切替] にタッチする。

- 音声言語／音声フォーマットが切り替わります。

〈DVD ビデオ再生時〉



〈DVD オーディオ再生時〉



字幕を切り替えるには

- 1 オンスクリーン画面で、[字幕] にタッチする。



- 2 [字幕切替] にタッチする。

- [字幕消] にタッチすると → 字幕を表示させないようにできます。

ディスクに指定された位置まで戻って見る

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

オンスクリーン画面で、[リターン] にタッチする。

アングルを切り替えるには

複数のアングルが収録されているときに切り替えが可能です。マルチアングル収録されているときは、マルチアングルマークが表示されます (→ P.230)。

- 1 オンスクリーン画面で、[アングル] にタッチする。



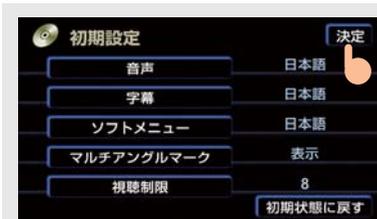
- 2 [アングル] にタッチする。

DVD 再生時の初期設定をする

あらかじめお好みの設定にしておく、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

初期設定画面を表示する

- 1 オンスクリーン画面で、[設定] にタッチする。



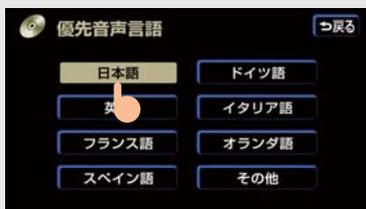
- 2 設定が終了したら [決定] にタッチする。

- [初期状態に戻す] にタッチすると ➡ すべての項目が初期の状態に戻ります。

音声言語を設定する

ディスクを再生するときに優先する音声言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で、[音声] にタッチする。



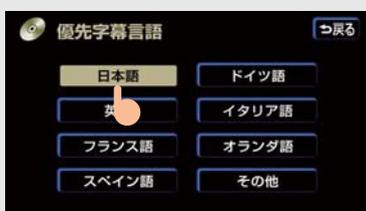
- 2 出力させる音声言語にタッチする。

- 表示以外の言語を選びたいときは
→ [その他] にタッチ。言語コードの入力のしかた (→ P.232)。

字幕言語を設定する

ディスクを再生するときに優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で、[字幕] にタッチする。



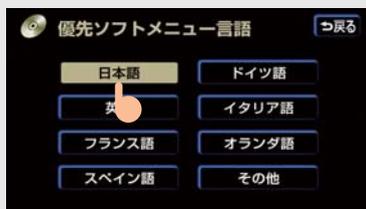
- 2 表示させる字幕言語にタッチスイッチにタッチする。

- 表示以外の言語を選びたいときは
→ [その他] にタッチ。言語コードの入力のしかた (→ P.232)。

ソフトメニュー言語を設定する

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

1 初期設定画面で、[ソフトメニュー] にタッチする。



2 表示させるソフトメニュー言語にタッチする。

- 表示以外の言語を選びたいときは
➡ [その他] にタッチ。言語コードの入力のしかた (→ P.232)。

マルチアングルマーク表示の設定をする

マルチアングルマークの表示、非表示を切り替えることができます。



← マルチアングルマーク

初期設定画面で、[マルチアングルマーク] にタッチすることに表示 ⇄ 非表示が切り替わる。

視聴制限レベルを設定する

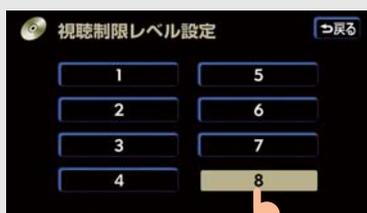
視聴制限レベルの設定をすることができます (→ P.240)。

1 初期設定画面で、[視聴制限] にタッチする。



2 暗証番号を入力し [完了] にタッチする。

- 暗証番号が未設定のとき (「----」が表示されているとき) は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- [修正] にタッチすると → 最後に入力した数字が消えます。
- 暗証番号入力画面で、[修正] に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を未設定の状態にすることができます。



3 視聴制限レベルにタッチする。

3

オーディオ&ビジュアル

言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、**【その他】**を選択したときは、言語コードを入力することにより、選択することができます。



言語コードを入力し **【完了】** にタッチする。

- **【修正】** タッチすると ➡ 最後に入力した数字が消えます。

■ 言語コード一覧

コード	言語名	コード	言語名	コード	言語名
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンティ語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌビアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イティッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフラカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストウ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スダダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チグリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタール語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウイ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ベルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベク語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オロモ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

メニュー番号を選ぶには

〈DVD オーディオ再生時〉

1 オンスクリーン画面で、[番号] にタッチする。



2 メニュー番号を入力し [完了] にタッチする。

- [修正] にタッチすると → 最後に入力した数字が消えます。
- ディスクにより、操作できなかつたり、作動が異なることがあります。
- [<< OFF] にタッチすると → 番号入力画面を一時的に消すことができます。

▶ 再び番号入力画面を表示するには
→ [>> ON] にタッチ



静止画を切り替えるには

〈DVD オーディオ再生時〉

オンスクリーン画面で、[ページ戻し] または [ページ送り] にタッチする。

5. ビデオ CD の再生

ビデオ CD の操作について

ディスクの映像は、安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

ビデオ CD を操作する画面には、操作画面とオンスクリーン画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- PBC 機能は ON 固定になります。

※Play Back Control (プレイバックコントロール) の略です。PBC が内蔵されているディスクを再生させているときに、ディスク独自のメニュー項目を表示させ、操作することができます。

操作画面

ディスクを再生させているとき (音声のみを聞いているときを含む) に、

オーディオ、または **AUDIO** を押すと表示されます。



映像を表示
画面モードの切り替え
(→ P.27)

オンスクリーン画面

ディスクの映像をご覧になっているときに、画面にタッチすると表示されます。

- オンスクリーン画面には2つの画面があります。[次ページ]、または[前ページ]にタッチして、2つの画面を切り替えます。
- スイッチにタッチしたとき、画面に が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを表していますので、その操作を行うことはできません。
- スイッチを消すときは にタッチ



[次ページ]



[前ページ]



映像を操作するには

映像を一時停止する

オンスクリーン画面の **||** にタッチする。

- ▶ にタッチする、またはもう一度 **||** にタッチすると、通常再生します。

早送り、早戻しする

オンスクリーン画面の **▶▶**、または **◀◀** にタッチし続け、希望の位置で手を離すか、TRACK スイッチの **⬆**、または **⬇** を「ピッ」と音がするまで押し続け、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

スロー再生する

オンスクリーン画面の **||** にタッチし、**▶▶** にタッチする。

- **▶▶** にタッチしている間、スロー再生します。

メニュー項目を表示するには

ディスクのメニュー項目を表示することができます。

オンスクリーン画面の [リターン] にタッチする。

- メニュー項目については再生しているディスクに付属の取扱書をご覧ください。

見たい場所を選ぶには

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの **⬆**、または **⬇** を押す。

オンスクリーン画面で選ぶ

希望のトラックになるまで [ページ送り]、または [ページ戻し] にタッチする。

- ディスクにより、操作できなかつたり、作動が異なることがあります。

番号入力画面で選ぶ

1 オンスクリーン画面で、[番号] にタッチする。



2 メニュー番号を入力し [完了] にタッチする。

- [修正] にタッチすると ➡ 最後に入力した数字が消えます。
- ディスクにより、操作できなかつたり、作動が異なることがあります。
- [<< OFF] にタッチすると ➡ 番号入力画面を一時的に消すことができます。

▶ 再び番号入力画面を表示するには

➡ [>> ON] にタッチ



音声を切り替えるには

オンスクリーン画面で【主/副】にタッチするごとに、以下の順に切り替わる。



6. 知っておいていただきたいこと

ディスク再生中の操作について

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

"Dolby", "Pro Logic" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」、「Dolby」、「Pro Logic」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

"DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

DTS 及び DTS Digital Surround は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

ディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作したとおりに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせてご覧ください。

DVD ビデオ・DVD オーディオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。NTSC 方式以外のカラーテレビ方式 (PAL・SECAM) 対応のディスクは再生させることができません。
- ドルビーデジタル / DTS デジタルサラウンドデコーダーをアンプに内蔵しており、DVD ビデオのマルチチャンネル再生に対応しています。(DVD オーディオは 2ch 再生となります。)

再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード) について

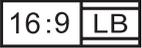
ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域 (国) を表す地域番号が表示されているものがあります。

地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」(日本を示す番号) が含まれていない、または「ALL」(全世界向け) と表示されていないディスクは、本機で再生させることができません。このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、本機で再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、以下のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式
 (5.1 ch) (2 ch)	音声のトラック数 • 数字が収録されている音声数
	字幕の言語数 • 数字が収録されている言語数
	アングルの数 • 数字が収録されているアングル数
 	選択することができる画面モード • 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面
 	再生可能な地域番号 • ALL は全世界向け、数字は地域番号 (「2」は日本を示します。)

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

DVD ビデオ

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

DVD オーディオ

グループ 1		グループ 2			グループ 3
トラック 1	トラック 2	トラック 1	トラック 2	トラック 3	トラック 1

タイトル/グループ

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りが一番大きい単位です。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚 (あるいは 1 曲) にあたります。それぞれのタイトル/グループに順につけられた番号をいいます。

CHAPTER / TRACK

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルやグループより小さい単位です。1つのタイトル／グループは、複数のCHAPTER／TRACKで構成され、それぞれのCHAPTER／TRACKに順につけられた番号をいいます。

- ディスクによって、再生中にタイトル／グループ番号・CHAPTER／TRACK番号・再生時間が表示されないものもあります。

DVD ビデオ・DVD オーディオの用語

より正しく有効に DVD ビデオ・DVD オーディオを利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD オーディオ

最大 CD の約 1000 倍もの情報量を持ち、マルチチャンネル音楽にも対応した、高音質オーディオ信号を再生可能な DVD です。また、DVD オーディオは高音質だけでなく、動画、静止画にも対応しマルチメディアエンターテイメントを最高の音質で楽しむことができます。視聴制限や地域番号指定はありません。

視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- レベル 1..... 子ども向けのディスクのみを再生させることができます。（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 2～7 子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8..... すべてのディスクを再生させることができます。

マルチアングル

DVD ビデオ・DVD オーディオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選ぶことができます。

マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオ・DVD オーディオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声（DVD ビデオのみ）や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選ぶことができます。

地域番号（リージョンコード）

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていないときは、ディスクを再生させることはできません（→ P.239）。

音声について

このDVD チェンジャーでは、ディスクを再生するときの音声は、リニア PCM・バックド PCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6 ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1 ch で表現するため、5.1 ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

ドルビーサラウンド（ドルビープロロジック）

4 ch（フロント LR、センター、サラウンド（リヤ））の信号を 2 ch で記録しそれを、ドルビープロロジックデコーダーにより再度 4 ch に出力する方式です。（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります。）

DTS

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をすることができます。

サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたものが、サンプリング周波数でそのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

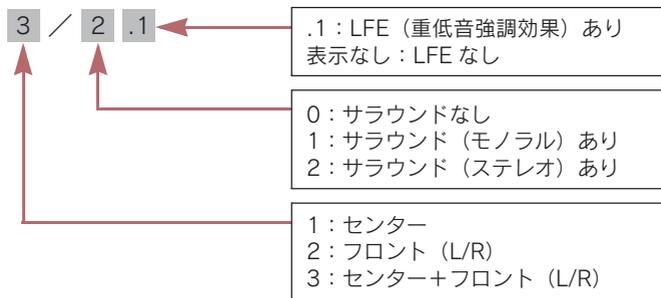
リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 44.1 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bit で記録されているため、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

チャンネル (ch) 表示について

画面に表示されるチャンネル数は、再生しているディスクに記録されているチャンネル数を表しています。



例えば、5.1 ch のときは「3/2.1 ch」と表示されます。

1. お使いになる前に

サウンドライブラリの概要

音楽 CD をハードディスクに録音することができます。録音した楽曲には自動でアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などが付けられます。選曲時にはリスト表示し、アルバム名やアーティスト名、ジャンル名などから簡単に選ぶことができます。

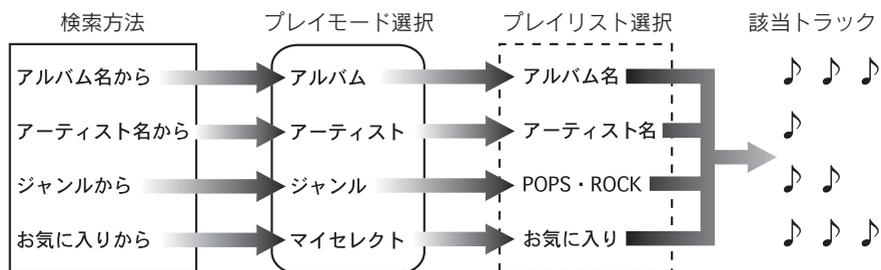
なお、新車時の設定では、音楽 CD を再生すると、自動で録音を始めます。

- 設定を変更すると、お好みの曲のみを録音することができます (→ P.248)。
- SCMS (シリアルコピーマネジメントシステム) に対応しているため、音楽 CD などをデジタル録音した CD-R などから録音することはできません。

サウンドライブラリをお使いになる前に「データベースについて」を確認の上ご利用ください (→ P.245)。

サウンドライブラリの構成について

サウンドライブラリは、録音された音楽を 4 種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索します。



プレイモード・プレイリストについて

音楽 CD を録音すると、種類や録音条件によってグループ分けされ、ハードディスクに保存します。録音した音楽は 3 種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト名別、ジャンル別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	<ul style="list-style-type: none"> 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。自動でアルバム名が付与されたとき、アルバム名がプレイリスト名に、自動で付与されなかったときは、録音した日時がプレイリスト名になります。
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> 自動で録音された曲のアーティスト名が付与されたとき、アーティスト名でプレイリストを作成します。 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 アーティストモードでは録音日時の新しい曲から順に再生されるため、アルバムの曲順とは逆になります。
ジャンル	<ul style="list-style-type: none"> 自動で録音された曲のジャンルが付与されたとき、ジャンルでプレイリストを作成します。
マイセレクト	<ul style="list-style-type: none"> お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。 オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。

- サウンドライブラリには、2000 曲[※]録音することができます。(1 曲約 5 分換算)
- マイセレクトには、999 個[※]のプレイリストを作成できます。また、ひとつのプレイリストには 99 曲[※]登録することができます。
- ※ 録音時間や録音設定、ハードディスクの空き容量によって、作成可能なプレイリスト数や録音・登録可能な曲数は異なります。
より多くの曲を録音するには、次の操作をする必要があります。
 - ・録音設定のビットレートを 128 kbps に設定して録音する (→ P.248)
 - ・ハードディスクに保存されている G-SOUND、AUTOLIVE カラオケ、AUTOLIVE BGM の各コンテンツを削除する (→ P.555、578、594)

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースのデータベース情報を使用しています。

Gracenote® メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000 - 2007 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：

#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate



- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

Gracenote® メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使することに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

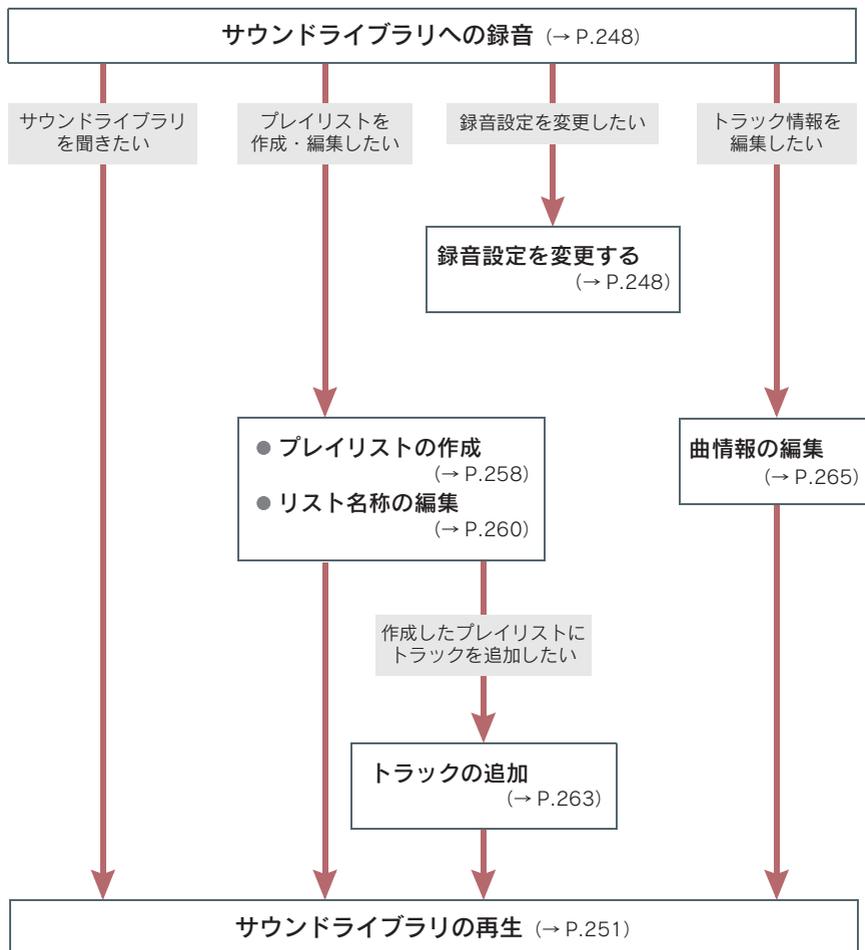
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

操作の流れについて

サウンドライブラリへの録音やプレイリスト・トラック情報の編集、サウンドライブラリの聞き方などの操作を説明します。



6. サウンドライブラリ

2. サウンドライブラリに録音する

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- 録り直しのきかない録音のときは、必ず事前に試し録りをし、正しく録音されていることを確かめてください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音設定を変更するには

音楽 CD を再生すると同時に自動的に録音を開始する「AUTO (オートモード)」と、希望の曲を録音する「SELECT (セレクトモード)」の切り替えと、録音時のビットレートを設定することができます。

<DVD チェンジャー装着車の画面例>



- 1 操作画面で、[設定] にタッチする。



- 2 録音モードとビットレートを並び [完了] にタッチする。

- ビットレートは、「128 kbps」に設定すると、ファイルサイズが小さくなり、音質も低下します。

音楽 CD を自動で録音するには

〈DVD チェンジャー装着車の画面例〉



録音モードが「オートモード」のときに音楽 CD を再生する。

- 新車時の設定は「オートモード」になっています。
- 録音中は、操作画面上部に「REC」と赤字で表示されます。
- [高速 REC] にタッチすると
 - ➔ 最大 4 倍速で録音でき、操作画面上部には「REC FAST」と赤字で表示されます。もう一度タッチすると、通常録音に戻ります。



- 高速 REC が ON のときは、[RPT]、[RAND]、[SCAN]、[設定]、[TRACK LIST] の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しやリスト画面での選曲もできません。

音楽 CD の中からお好みの曲を録音するには

- 1 録音モードを「セレクトモード」に設定する (→ P.248)。

〈DVD チェンジャー装着車の画面例〉



- 2 操作画面で、[REC] にタッチする。





3 録音したい曲にタッチし [完了] にタッチする。

- リストにあるすべての曲を録音したいときは → [全て選択] にタッチ
- [全て解除] にタッチすると、選択が解除されます。



4 録音を中止したいときは、操作画面の [REC 中止] にタッチする。

- 最大 4 倍速で録音します。
- SELECT 録音中は、[RPT]、[RAND]、[SCAN]、[設定]、[TRACK LIST] の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しやリスト画面での選曲もできません。
- SELECT 録音中は、操作画面上部に「REC FAST」と赤字で表示されます。

録音中の作動について

- CDプレーヤーまたはDVDチェンジャー以外のモードに切り替えても録音は継続しています。ただし以下のときは、録音を中止し、録音途中の曲を削除します。
 - ・録音中に“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにしたとき
 - ・録音中にオーディオの電源をOFFにしたとき
 - ・録音中のCDを取り出したとき
 - ・DVDチェンジャー装着車で録音中のCD以外のディスクに切り替えたとき
 - ・録音モードを [AUTO] (オートモード) から [SELECT] (セレクトモード) に切り替えたとき
 - ・AUTO LIVEに切り替える、または操作ガイドを使ったとき
 - ・通常録音時に、[RPT]・[RAND]・[SCAN] を操作したときや、早送り・早戻ししたり、別の曲に切り替えたとき
 - ・ファイルサイズが上限をオーバーしたとき
- 高速録音中のCDの再生音は、サウンドライブラリ (ハードディスク) に録音された音になります。以下のとき、再生音源がサウンドライブラリ (ハードディスク) からCDに切り替わるため、切り替わるまでの間、再生音が停止します (約 1 ~ 2 秒)。
 - ・高速録音が終了したとき
 - ・セレクトモードでの録音を中止したとき
 - ・高速録音を通常録音に戻したとき (録音に影響はありません。)

3. サウンドライブラリを聞く

サウンドライブラリを聞くには

DISC-AUX を押します。

- サウンドライブラリを聞いているときに **オーディオ**、または **ALIDIO** を押すと、操作画面が表示されます。

■ CD プレーヤー装着車



■ DVD チェンジャー装着車



- **[G-SOUND]** は、G-Link 利用契約をされているときに使用することができます (→ P.548)。

聞きたいプレイリストを選ぶには

DISC スイッチで選ぶ

DISC スイッチの▲、または▼を押す。

操作画面で選ぶ

PLAY LIST の▲、または▼にタッチする。

プレイリスト画面で選ぶ

プレイリスト画面を表示し、聞きたいプレイリストを選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

1 操作画面で [PLAY LIST] にタッチするとプレイリスト画面が表示される。



2 聞きたいプレイリストにタッチする。

聞きたい曲（トラック）を選ぶには

TUNE・FILE ツマミで選ぶ



をまわし、選曲する。

TRACK スイッチで選ぶ

TRACK スイッチの▲、または▼を押す。

トラックリスト画面で選ぶ

トラックリスト画面を表示し、聞きたい曲を選択して再生することができます。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

- 1 プレイリスト画面で、[TRACK] にタッチするとトラックリスト画面が表示される。



- 2 聞きたい曲にタッチする。

プレイモードを選ぶには

- 1 プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、[PLAY MODE] にタッチする。



- 2 聞きたい曲を検索する方法（プレイモード）を選択する。

- [G- テーマ] は、G-Link 利用契約をされているときに使用することができます（→ P.554）。



〈アルバム選択時の画面例〉



- 3 聞きたい曲が含まれているプレイリストにタッチする。

- 選択したプレイリストに登録されている先頭の曲を再生します。



- 4 聞きたい曲にタッチする。

早送り、早戻しするには

TRACK スイッチの▲、または▼を「ピツ」と音がするまで押し、希望の位置で手を離すと、その位置から再生する。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞くには

再生中の曲を繰り返し聞く

操作画面の [RPT] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

再生中のプレイリストを繰り返し聞く

操作画面の [RPT] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲（トラック）の順番をランダム（無作為）に聞くには

再生中のプレイリストの中からランダムに聞く

操作画面の [RAND] にタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

現在のプレイモードの中からランダムに聞く

操作画面の [RAND] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- もう一度スイッチにタッチすると、解除されます。

曲（トラック）を探すには

再生中のプレイリストの中から曲を探す

操作画面の【SCAN】にタッチする。

- プレイリスト内にある全曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望の曲になったら、もう一度スイッチにタッチします。
- プレイリスト内にある全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

現在のプレイモードの中からプレイリストを探す

操作画面の【SCAN】に「ピー」と音がするまでタッチする。

- プレイモード内にある全プレイリストの 1 曲目に収録されている曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ再生します。
- 希望のプレイリストになったら、もう一度スイッチにタッチします。
- プレイモード内にある全プレイリストの再生が終わったら、自動的に解除されます。

曲（トラック）の情報を表示するには

再生している曲の情報を表示することができます。

- 走行中は曲の情報を表示することはできません。

プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、【曲情報】にタッチする。

- 【次ページ】、または【前ページ】にタッチして、2 つの画面を切り替えます。
- 【編集】はアルバムモードで再生しているときのみ表示されます。



4. サウンドライブラリの編集

サウンドライブラリの編集

サウンドライブラリに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、その他に、お好みの曲（トラック）を集めたプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並べ替えなどを行うことができます。

プレイリスト画面、トラックリスト画面について

サウンドライブラリの編集をするときは、プレイリスト画面、トラックリスト画面から行います。

- 走行中はリスト画面を表示することはできません。

操作画面で、[PLAY LIST] にタッチすると、プレイリスト画面が表示される。プレイリスト画面で [TRACK] にタッチすると、トラックリスト画面が表示される。

- トラックリスト画面で、[PLAY LIST] にタッチすると
→ プレイリスト画面が表示されます。
- アルバムモード、マイセレクトモードのプレイリスト画面、トラックリスト画面にはそれぞれ2つの画面があります。[前ページ]、または[次ページ]にタッチして、2つの画面を切り替えます。

〈アルバムモード時の画面例〉



- マイセレクトモード時の「」には【曲追加】が表示されます（→ P.263）。
- プレイリスト次ページ画面のHDD残量表示は、残容量が10%未満になると表示されます。

プレイリストを作成するには

お好みの曲を集めたプレイリストを作成することができます。作成したプレイリストは、プレイモードのマイセレクトから簡単に呼び出すことができます。

- 1 プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、**[マイセレクト新規作成]** にタッチする。



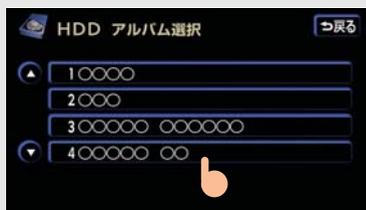
- 2 プレイリスト名を入力し **[完了]** にタッチする (→ P.14)。



- 3 登録したい曲を検索する方法 (プレイモード) を選択する。

- **[G-テーマ]** は、G-Link 利用契約をされているときに使用することができます (→ P.554)。

〈アルバム選択時の画面例〉



- 4 登録したい曲が含まれているプレイリストにタッチする。



5 登録したい曲にタッチし【登録】にタッチする。

- リストにあるすべての曲を登録したいときは → 【全て選択】にタッチ
- 【全て解除】にタッチすると、選択が解除されます。
- 選択されている曲にタッチすると、選択が解除されます。



6 【完了】にタッチする。

- 【曲追加】にタッチすると
 - ➔ 3の画面が表示され、同様の手順で追加することができます。
- 【削除】にタッチすると
 - ➔ 曲を削除することができます。以後の操作は、「曲（トラック）を消去するには」2以降と同様です（→ P.270）。
- 【移動】にタッチすると
 - ➔ 曲を並べかえることができます。以後の操作は、「曲（トラック）の再生順番を変更するには」2以降と同様です（→ P.269）。
- 同じ曲は重複して登録できません。

プレイリストの名称を編集するには

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストの名称を編集することができます。

- 1 プレイリスト画面で、**[名称編集]** にタッチする。



- 2 編集したいプレイリストにタッチする。



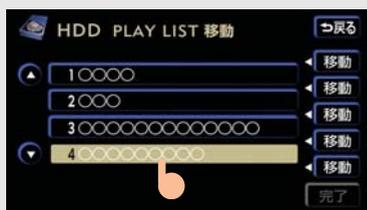
- 3 名称を入力し **[完了]** にタッチする (→ P.14)。

- マイセレクト内のプレイリストには、同じ名称は重複して登録できません。

プレイリストの再生順番を変更するには

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストは、再生する順番をかえることができます。

- 1 プレイリスト画面で、**【移動】** にタッチする。



- 2 移動したいプレイリストにタッチする。



- 3 移動したい場所の **【移動】** にタッチする。



- 4 **【完了】** にタッチする。

プレイリストを消去するには

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが異なります。

- CD を録音中は、プレイリストを消去できません。

選択したプレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択したプレイリストおよびそのプレイリストに含まれる曲。
マイセレクト	選択したプレイリスト。 ● そのプレイリストに含まれる曲は消去されません。

- 1 プレイリスト画面で、**【削除】** にタッチする。



- 2 削除したいプレイリストにタッチし **【削除】** にタッチする。

- リストにあるすべてのプレイリストを削除したいときは ➡ **【全て選択】** にタッチ
- **【全て解除】** にタッチすると、選択が解除されます。



- 3 **【はい】** にタッチする。

プレイリストに曲（トラック）を追加するには

マイセレクト内のプレイリストに曲を追加することができます。その他のプレイモード内のプレイリストには追加できません。

- 1 プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で【曲追加】にタッチする。



- 2 曲を追加したいプレイリストにタッチする。



- 3 追加したい曲を検索する方法（プレイモード）を選ぶ。

- 【G- テーマ】は、G-Link 利用契約をされているときに使用することができます（→ P.554）。



〈アルバム選択時の画面例〉



- 4 追加したい曲が含まれているプレイリストにタッチする。





5 追加したい曲にタッチし [登録] にタッチする。

- リストにあるすべての曲を追加したいときは ➡ [全て選択] にタッチ
- [全て解除] にタッチすると、選択が解除されます。
- 選択されている曲にタッチすると、選択が解除されます。



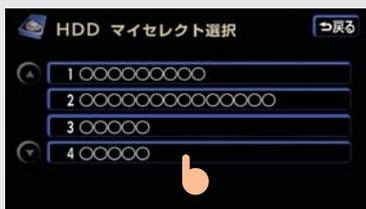

6 [完了] にタッチする。

- [曲追加] にタッチすると
 - ➡ **3**の画面が表示され、同様の手順で追加することができます。
- [削除] にタッチすると
 - ➡ 曲を削除することができます。以後の操作は、「曲（トラック）を消去するには」**2**以降と同様です（→ P.270）。
- [移動] にタッチすると
 - ➡ 曲を並べかえることができます。以後の操作は、「曲（トラック）の再生順番を変更するには」**2**以降と同様です（→ P.269）。

再生中の曲（トラック）をプレイリストに登録するには

再生している曲をマイセレクト内のプレイリストに登録することができます。その他のプレイモード内のプレイリストには登録できません。

- 1 プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、**[再生曲を登録]** にタッチする。



- 2 曲を登録したいプレイリストにタッチする。

曲（トラック）の情報を編集するには

アルバムモードで再生中の曲のアーティスト名やタイトル、ジャンルを編集することができます。

プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で **[曲情報]** にタッチする。



[次ページ]

[前ページ]



- [次ページ]、または [前ページ] にタッチして、ページを切り替えます。
- [編集] はアルバムモードで再生しているときに表示されます。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

1 曲情報画面で、トラック、またはトラック読みの【編集】にタッチする。

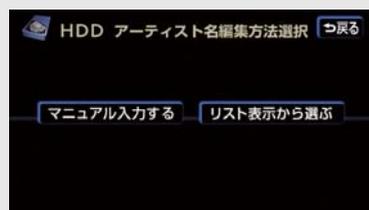


2 トラックまたはトラック読みを入力し【完了】にタッチする (→ P.14)。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

アーティスト名を変更する

1 曲情報画面で、アーティストの【編集】にタッチする。



2 編集方法を選ぶ。

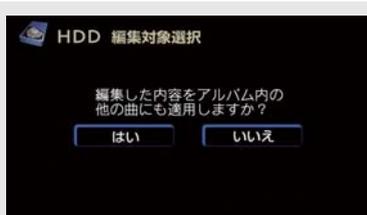
▶ マニュアル入力するときは

1 【マニュアル入力する】にタッチする。





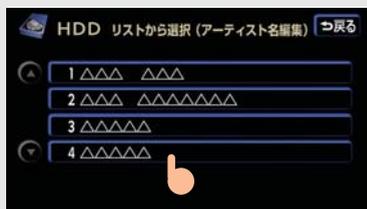
- 2 アーティスト名を入力し [完了] にタッチする (→ P.14)。



- 3 [はい]、または [いいえ] にタッチする。

▶ リストから選ぶときは

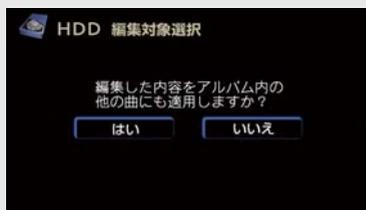
- 1 [リスト表示から選ぶ] にタッチする。



- 2 変更するアーティストにタッチする。

- リストに表示されるアーティストはプレイリストに登録されているアーティストのみです。





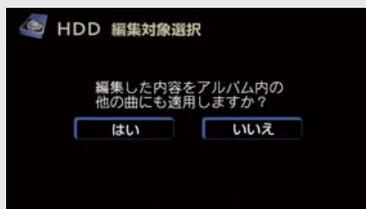
3 [はい]、または [いいえ] にタッチする。

アーティスト読みを変更する

1 曲情報画面で、アーティスト読みの [編集] にタッチする。



2 アーティスト読みを入力し [完了] にタッチする (→ P.14)。



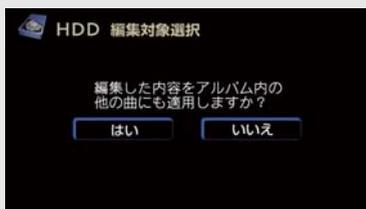
3 [はい]、または [いいえ] にタッチする。

ジャンルを変更する

- 1 曲情報画面で、ジャンルの【編集】にタッチする。



- 2 ジャンルを選びタッチする。



- 3 【はい】、または【いいえ】にタッチする。

曲（トラック）の再生順番を変更するには

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリスト内の曲は再生する順番を変更することができます。

- 1 トラックリスト画面で、【移動】にタッチする。



- 2 移動したい曲にタッチする。



3 移動したい場所の **[移動]** にタッチする。



4 **[完了]** にタッチする。

曲（トラック）を消去するには

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されている曲を消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが異なります。

- CD を録音中は、曲を消去できません。

選択したプレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択した曲。 ● 選択した曲がマイセレクトにも登録されているときは、マイセレクト内の曲も同時に消去されます。
マイセレクト	マイセレクト内の選択した曲。 ● その他のプレイモードに含まれる同一の曲は消去されません。

1 トラックリスト画面で、**[削除]** にタッチする。



2 削除したい曲にタッチし **[削除]** にタッチする。

- リストにあるすべての曲（トラック）を削除したいときは ➡ **[全て選択]** にタッチ
- **[全て解除]** にタッチすると、選択が解除されます。



3 **[はい]** にタッチする。

タイトル情報を再取得するには

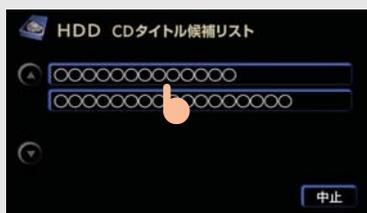
録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 1 プレイリスト画面、またはトラックリスト画面で、**[曲情報]** にタッチする。



- 2 **[HDDで検索]** にタッチする。

- **[Gで検索]**は、G-Link 利用契約をされているときに使用することができます。G-Link サービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます (→ P.557)。



- 3 複数候補があるときは、タイトルにタッチする。

- CD タイトル検索画面が表示されます。





- 再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

CD タイトル検索画面

CD タイトルを検索しているときに表示されます。



- 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
- [中止] にタッチすると検索を中止します。

1. テレビの使い方

テレビを見るには

TV を押します。

テレビの映像は、安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。(テレビモードを選択していても、走行中は音声だけになります。)

■ CD プレーヤー装着車



■ DVD チェンジャー装着車



アナログテレビ放送について

2011年 アナログテレビ
放送終了(総務省)

アナログテレビ放送は、2011年7月に終了し、地上デジタルテレビ放送に移行します。アナログテレビ放送終了後はアナログテレビを視聴することができなくなります。

地上デジタルテレビ放送を視聴するには販売店装着オプションの地上デジタルTVチューナーが必要です。

詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

- テレビの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。この関係の主な例を次に説明します。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
 - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 地上デジタルテレビジョン放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域において UHF 放送のチャンネル変更が行われています。そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
 - ・ 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
 - ・ 今まで見ていたチャンネルが急に別の放送局の映像にかわる。
 - ・ チャンネルと放送局名が一致しない。
 - ・ プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
 - ・ プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- バッテリー・ヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときには、記憶されていたチャンネルはすべて消去されます。

テレビを操作するには

テレビを操作する画面には、オンスクリーン画面と操作画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

オンスクリーン画面

テレビをご覧になっているとき(音声のみを聞いているときを含む)に 、

または  を押すと表示されます。



操作画面

オンスクリーン画面で、[設定] にタッチすると表示されます。



チャンネルを選ぶには

プリセットスイッチから選ぶ

CH スイッチの▲または▼を押す、またはオンスクリーン画面を表示して希望のプリセットスイッチにタッチする。

- プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルをかえたいときは、「チャンネルを記憶させるには」をご覧ください。

手動で選ぶ



で選択するか、オンスクリーン画面を表示して▲または▼にタッチする。

自動で選ぶ

SEEK スイッチの▲または▼を押すか、オンスクリーン画面を表示して▲または▼に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 途中で止めたいときは、もう一度スイッチを操作します。

チャンネルを記憶させるには

よくご覧になる放送局のチャンネルをプリセットスイッチに記憶させておくことにより、ワンタッチで選択することができます。



- 1 、または SEEK スイッチで選ぶか、オンスクリーン画面の▲または▼で記憶させたいチャンネルを選択する。



- 2 記憶させたいプリセットスイッチに「ピー」と音がするまでタッチする。

- バッテリー・ヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときには、記憶されていたチャンネルはすべて消去されます。

自動でチャンネルを記憶させるには

旅先などで、受信できるチャンネルを、一時的にプリセットスイッチへ記憶させることができます。

オンスクリーン画面で [AUTO・P] に「ピー」と音がするまでタッチする。

- 画面に AUTO.P が表示されます。
- もう一度スイッチにタッチして、すぐ手を離すと解除されます。
- CD プレーヤー装着車は **AUTO-P** でも操作できます。
- チャンネルの記憶が終了すると、一番小さいチャンネルを受信します。

AUTO・P スイッチで記憶させたチャンネルを変更するには

- 1 、または SEEK スイッチで選ぶか、オンスクリーン画面の▲または▼で記憶させたいチャンネルを選択する。



- 2 かえたいチャンネルが記憶されているプリセットスイッチに「ピー」と音がするまでタッチする。

マルチ画面を表示するには

プリセットスイッチに表示されているチャンネルの映像を、8 局まで同時に見ることができます。

- 1 オンスクリーン画面で [マルチ画面] にタッチする。



- 2 放送局名または映像にタッチすると、その放送局を受信します。

音声多重放送の音声モードを切り替えるには

操作画面の【MAIN/SUB】にタッチするごとに、以下の順に切り替わる。



- 副音声、または主・副音声を選択しているとき、受信状態によって主音声・副音声がひんばんに切り替わることがあります。

局名スイッチについて

テレビを受信したとき、同じチャンネルを使用している複数の放送局の放送地域が重なり合っている地域では、ご覧（お聞き）になっている放送局と表示されている放送局名が異なることがあります。そのような地域では、局名スイッチが表示されます。

【局名】にタッチして、ご覧（お聞き）になっている放送局の放送局名を選ぶ。

- 最大で3つの放送局名から選択することができます。

1. オーディオを操作する

ステアリングオーディオスイッチ



電源を入れるには

MODE を押す。

- スイッチを「ピツ」と音がするまで押すと、オーディオの電源が OFF になります。

音量を調節するには

← + の+側または-側を押す。

- スイッチを押し続けると、音量を連続して調整できます。

注意

運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

モードを切り替えるには

電源がオンのとき、**MODE** を押すごとに、
「FM → サウンドライブラリ → (CD プレーヤー) → (MD プレーヤー) → (DVD
チェンジャー) → テレビ → AUX → AM → FM」の順にモードが切り替わる。

- () 内のモードは、車両に装着されていない、またはディスクがセットされていないときには選択できません。
- AUX は入力端子に機器が接続してあるときに選ぶことができます。(→ P.186)

ラジオ・テレビを操作するには

プリセットスイッチに記憶している放送局から選ぶ

 のへ側または▽側を押す。

自動で選ぶ

 のへ側または▽側を「ピツ」と音がするまで押す。

- 途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数（チャンネル）の受信感度が悪いとき、自動で選択できないことがあります。

CD プレーヤーを操作するには

聞きたい曲を選ぶ

 のへ側または▽側を押す。

聞きたいフォルダーを選ぶ (MP3/WMA ディスク再生時)

 のへ側または▽側を「ピツ」と音がするまで押す。

MD プレーヤーを操作するには

聞きたい曲を選ぶ

 のへ側または∨側を押す。

聞きたいグループを選ぶ（グループ録音されている MD 再生時）

 のへ側または∨側を「ピツ」と音がするまで押す。

DVD チェンジャーを操作するには

曲／ファイル、チャプター／トラックを選ぶ

 のへ側または∨側を押す。

ディスクを選ぶ

 のへ側または∨側を「ピツ」と音がするまで押す。

サウンドライブラリを操作するには

聞きたい曲を選ぶ

 のへ側または∨側を押す。

聞きたいプレイリストを選ぶ

 のへ側または∨側を「ピツ」と音がするまで押す。

エアコン・デフォッガー

1 エアコン・デフォッガー

1. オートエアコン 284
 操作スイッチ 284
 オート設定を使うとき 284
 お好みの設定で使うとき 285
 風向き調整・吹き出し口の開閉 ... 288
 エアコンの作動について 289
 エアフィルターについて 290
2. プラズマクラスター® 292
 プラズマクラスター® の使い方 292
3. リヤウインドウデフォッガー&
 ミラーヒーター 293
 リヤウインドウデフォッガー&
 ミラーヒーターの使い方 293
4. 熱線入りフロントウインドウ
 ガラス 294
 熱線入りフロントウインドウガラス
 の使い方 294

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

1. オートエアコン

操作スイッチ

、または  を押すと、エアコン操作画面が表示されます。



※ イラストは排ガス検知式内外気自動切り替えシステム装着車

N04LY03

オート設定を使うとき

1  を押す。

- エアコンが作動し、吹き出し口と風量を自動で調整します。



2 〔排ガス検知式内外気自動切り替えシステム装着車〕

AUTO モードになるまで  を押す。

- 外気導入と内気循環を自動で切り替えます。

**3** TEMP スイッチの  (温度を上げる) または  (温度を下げる) を押して温度を調整する。

- 運転席と助手席の温度を別々に調整できます。

お好みの設定で使うとき

設定温度をかえるには

TEMP スイッチの  または  を押す。

- PASSENGER TEMP スイッチの  または  を押すと、運転席と助手席の温度を別々に設定できます (独立モード)。
- 再び運転席と助手席の温度を同じにするには
 ➔ 操作画面で [DUAL] にタッチ (連動モード)
- [DUAL] にタッチするごとに、独立モードと連動モードが切り替わります。

風量をかえるには

操作画面で [LO] [・] [・] [M] [・] [・] [HI] (風量弱⇄風量強) のいずれかにタッチする。

- 送風を止めるには、 を押します。

フロントガラスの曇りを取るには

1  を押す。

- ファンとエアコンが作動します。

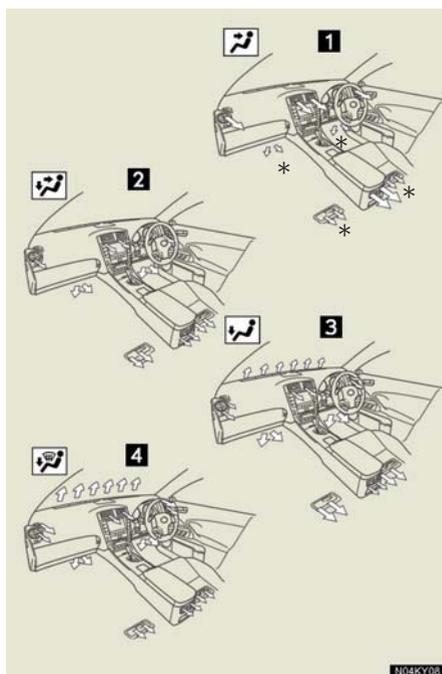
**2**  (外気導入) になるまで 、または  を押す。

- 外気温が低いときは、自動的に  (外気導入) に切り替わります。

吹き出し口を切り替えるには



エアコン操作画面でいずれかのモードにタッチする。



1 上半身に送風

2 上半身と足元に送風

3 足元に送風

4 足元に送風・ガラスの曇りを取る

* AUTO 設定のとき

外気導入／内気循環を切り替えるには

、または  を押しごとに  (内気循環) → AUTO※ →  (外気導入) に切り替わる。

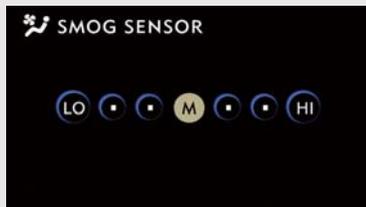
※ は排ガス検知式内外気自動切り替えシステム装着車のみ

センサーの感度調整

〈排ガス検知式内外気自動切り替えシステム装着車〉

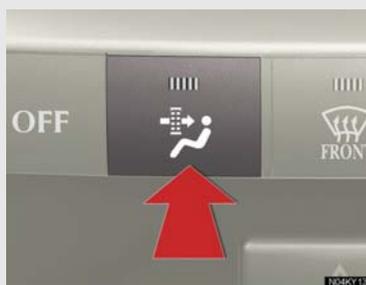
内外気切り替えの AUTO は、センサーにより外気導入と内気循環の切り替えを自動で行います。センサーの感度は調整できます。

1 停車時に、SMOG SENSOR 画面が表示されるまで  を押す。



2 [LO] [・] [・] [M] [・] [・] [HI] (感度弱⇔感度強) のいずれかを選ぶ。

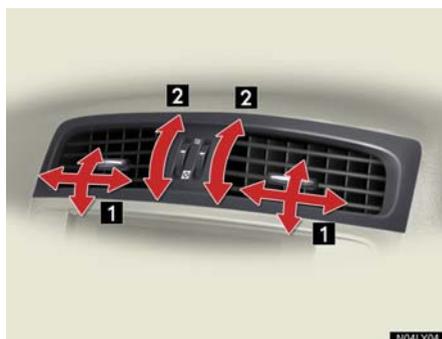
花粉除去モード



 を押す。

-  (内気循環) に切り替わり、上半身付近に送風して花粉を除去します。
- 通常約 3 分後に、外気温が低いときは約 1 分後に自動的に元の状態に戻ります。
- 途中で作動を解除するときは → もう一度  を押す。

風向きの調整・吹き出し口の開閉



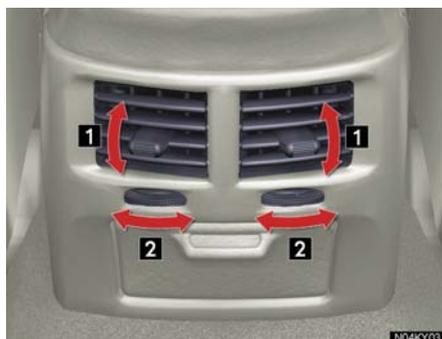
■ 中央吹き出し口

- 1 風向きの調整
- 2 吹き出し口の開閉



■ 左右吹き出し口

- 1 風向きの調整
- 2 吹き出し口の開閉



■ 後席吹き出し口

- 1 風向きの調整
 - 2 風向きの調整と吹き出し口の開閉
- 外側いっぱいまで回すと閉じることができます。

エアコンの作動について

■ オート設定の作動について

設定温度や周囲の状況に合わせて風量などが調整されるため、以下のようなことがあります。

- 真夏の最大冷房時、内気循環に切り替わる
- 作動直後、温風または冷風が準備できるまでしばらくの間ファンが停止する
- 暖房時、冷風を上半身付近に送風する

■ 長時間、 (内気循環) にするとガラスが曇りやすくなります。

■ ガラス曇り防止機能

ガラス曇り防止が必要な状態になると、自動的に  (外気導入) に切り替わることがあります。

■ 外気温が0℃近くまで下がったとき

[A/C] にタッチしてもエアコンが作動しないことがあります。

■ [A/C] の表示灯が点滅したとき

[A/C] にタッチしてエアコンの作動をいったん停止し、もう一度 [A/C] にタッチしてください。点滅が続くときは、システムの異常が考えられます。エアコンの作動を停止し、レクサス販売店で点検を受けてください。

■ 内外切り替えの AUTO モードについて

〈排ガス検知式内外気切り替えシステム装着車〉

AUTO モードでは排気ガスなどの有害成分を検知し、自動で外気導入と内気循環を切り替えます。

- エアコンがOFFでファンが作動中にAUTOモードにすると、エアコンがONになります。

■ 花粉除去モードについて

- 外気温が低いときは、以下のようなことがあります。

- ・  (内気循環) に切り替わらない。
- ・ エアコンが自動で作動する。

- 雨天に使ったとき、ウィンドウが曇ることがあります。 を押してください。

⚠ 警告

■ フロントウィンドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを作動させているときは、 を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界を妨げることがあります。

 注意

■ バッテリーあがりを防止するために

- エンジンが停止中は必要以上にエアコンを作動させないでください。

エアフィルターについて

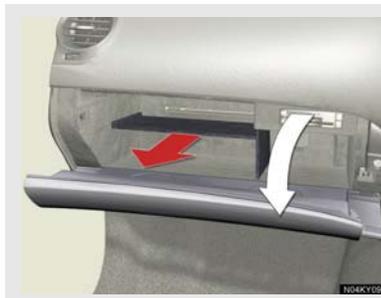
快適にお使いいただくためエアフィルターの定期的な清掃・交換を行ってください。

清掃の目安 …… 15,000 km (多じん地区のとき 7,500 km) ごと

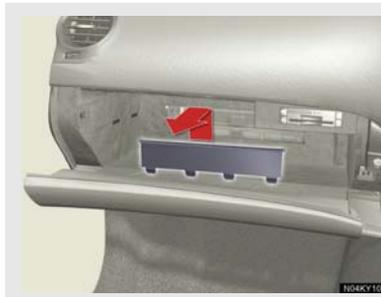
交換の目安 …… 30,000 km (多じん地区のとき 15,000 km) ごと

エアフィルターの脱着

- 1 、または  を押して、 (内気循環) にし、“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにする。

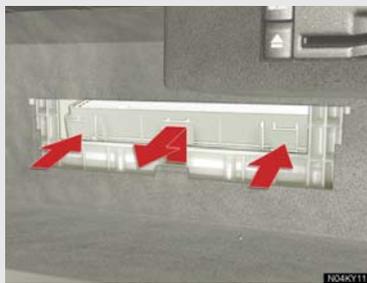


- 2 グローブボックスを開き、仕切り板をはずす。

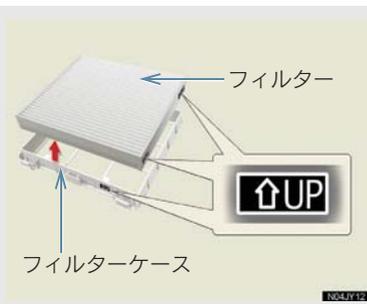


- 3 フィルターカバーを取りはずす。





- 4 ツメ (2ヶ所) を押してロックをはずし、フィルターケースを取りはずす。



- 5 〈フィルター交換するとき〉
フィルターケースからフィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する。

- フィルターは、「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

⚠ 注意

■ エアコンを使用するとき

- 必ずエアフィルターを取り付けてください。フィルターをはずしてエアコンを使用すると、故障の原因になります。
- エアコンの風量が著しく減少したときは、エアフィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを清掃、または交換してください。

■ フィルターを清掃・交換するとき

- エアフィルターについてはレクサス販売店にご相談ください。
- エアフィルターはお客さまご自身で清掃・交換できますが、脱着の際に破損のおそれがあるため、レクサス販売店での実施をおすすめします。
- エアフィルターの脱着は、“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにしてからおこなってください。
- エアフィルターの清掃は必ず下面側から、エアを吹き付けておこなってください。水洗いやブラシでこすっての清掃はしないでください。
- エアフィルターの上と下を間違えないように、フィルターケースに確実に取り付けてください。

2. プラズマクラスター[®]

プラズマクラスター[®] の使い方

プラズマクラスター[®] イオンとマイナスイオンを自動的に切り替えて発生させることにより、車室内を清潔に保ちつつ、自然に近いイオンバランスに整えます。

1 、または  を押し、エアコン操作画面を表示する。



2 エアコン操作画面の [ イオン] にタッチする。

プラズマクラスター[®] について

モードの切り替えは自動で行われます。 マークがプラズマクラスター[®] イオンモードのときは青、マイナスイオンモードのときは緑で表示されます。

- 中央吹き出し口付近で静電気を感じたり、小さな作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- プラズマクラスター、プラズマクラスターイオンおよび Plasmacluster はシャープ株式会社の商標です。

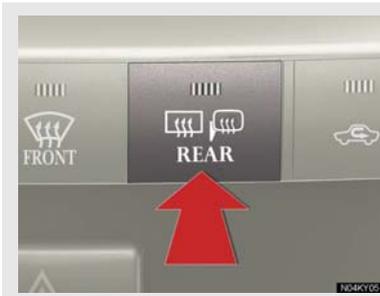
警告

- プラズマクラスター[®] は、高電圧を利用しています。危険ですので、修理などは必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 中央吹き出し口付近にスプレーを噴霧したり、棒などの異物を挿入したりしないでください。故障や感電の原因となります。

3. リヤウィンドウデフォッガー&ミラーヒーター

リヤウィンドウデフォッガー&ミラーヒーターの使い方

リヤウィンドウの曇りや、ドアミラーの霜、露、雨滴などを取り除きます。



 を押す。

- 押すごとに ON・OFF する。
- 約 15 分後、自動的に OFF になります。

警告

■ 作動中の警告

- ドアミラーの鏡面が熱くなっています。やけどをするおそれがあるため触れないでください。

4. 熱線入りフロントウィンドウガラス*

熱線入りフロントウィンドウガラスの使い方

フロントウィンドウガラスの下部を暖め、ワイパーとの凍結を防ぎます。



- “エンジンスタートストップ”スイッチがイグニッション ON モード、またはエンジン回転中に使用できます。
- 約 15 分後、自動的に OFF になります。

! 警告

■ 作動中の警告

- フロントウィンドウガラスの下部、およびフロントピラー横の表面が熱くなっています。やけどをするおそれがあるため触れないでください。

*：車両型式などで異なる装備やオプション装備

音声操作システム

1 音声操作システム

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. はじめに..... | 296 |
| 音声操作システムについて | 296 |
| 2. 基本操作..... | 297 |
| 基本操作を覚える..... | 297 |
| ヘルプ機能を使う..... | 298 |
| 音声操作の使用例（標準モード）..... | 299 |
| 3. 拡張モードで使う | 304 |
| 拡張モードでの操作..... | 304 |
| 音声操作の使用例（拡張モード）..... | 305 |
| 4. 音声認識コマンド一覧 | 314 |
| ナビ操作 | 314 |
| ルート案内 | 319 |
| 目的地設定 | 320 |
| VICS | 323 |
| G-Link..... | 326 |
| オーディオ | 326 |
| エアコン | 328 |
| TEL..... | 329 |
| その他 | 329 |
| ジャンル名コマンド一覧 | 331 |

1. はじめに

音声操作システムについて

音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどを操作できます。

- 音声操作システムには、「標準モード」と「拡張モード」があります。音声操作に慣れるまでは、「標準モード」をご利用ください。

使用できるコマンドは、以下の方法で確かめることができます。

- 車載機の画面で見る (→ P.298)。
- 取扱書で見る (→ P.314)。

音声認識コマンドを発声するときは

音声認識コマンドは、以下の内容に留意して正しく発声しないと認識されないことがあります。

- 発声する前に、トークスイッチを短く押してください。
 - ・ 「ピッ」という音の後にお話してください。
 - ・ 「ピッ」という音の前、または同時に発声したときは、正しく認識されません。
 - ・ 「ピッ」と音がしてから約 6 秒以内に、発声してください。
- ハッキリと発声してください。
- 声色によっては、認識されないこともあります。
- 外部の騒音やエアコンのファンの音などにより正しく認識されないことがあります。発声するときは、外部の騒音を避けるため、できるだけ窓を閉めてください。
- 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
- 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

各部の名称



1 音声認識用マイク

音声認識コマンドの音声を認識します。

2 トークスイッチ

スイッチを操作することにより、音声認識モードの開始/中止ができます。

2. 基本操作

基本操作を覚える

「標準モード」で、音声操作システムの基本操作を説明します。

- 「標準モード」は、使用できるコマンドをよく使うコマンドに限定してあります。そのため、音声操作が初めての方でも、画面の指示や音声ガイドに沿って簡単にご利用いただけます。
- 初期設定は、「標準モード」です。「標準モード」と「拡張モード」を切り替える（→P.304）。

音声認識モードを開始する

音声操作の始め方と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

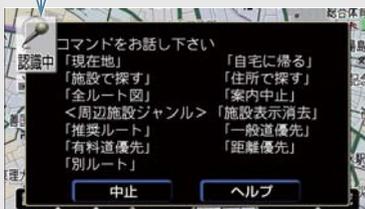
1 トークスイッチを短く押す。

- コマンドリストが表示されます。
- 音声ガイドのあと、「ピッ」と音がして、音声認識モードになります。



2 操作したいコマンドを発声する。

認識中マーク



- 「ピッ」と音がしてから約6秒以内に、発声してください。



3 コマンドの実行。



- 認識結果やメッセージが表示されると同時に音声ガイドが出力され、認識されたコマンドが実行されます。
- 地図を呼び出すときなど、操作によっては連続して音声操作をする必要があります（→P.299）。
- コマンドを間違えたり、認識結果が違うときは、音声ガイドが出力されている途中でトークスイッチを押してください。コマンドを言い直すことができます。

音声認識モードを中止する

以下の操作で、音声認識モードを中止できます。

- トークスイッチを押し続ける。
- 音声認識モード時に[中止]にタッチする。
- 「中止」と発声する。

音声認識ガイド音声を中止する

音声操作に慣れ、トークスイッチを押した後にすぐに発声したいとき、音声認識ガイド音声を中止することができます。（→P.149）

ヘルプ機能を使う

ヘルプ機能を使うと、現在使うことができるコマンドや操作のしかたを確かめることができます。ここでは「拡張モード」の画面で説明していますが、「標準モード」も同じです。

コマンドリストを見る

現在使うことができるコマンドリストを表示させることができます。

- 1 音声認識モード時に、[ヘルプ] にタッチする、または「ヘルプ」と発声する。



- 走行中はヘルプ画面を表示させることができません。



- 2 コマンドリスト表示。



ジャンル切り替えスイッチ

- ジャンルをかえるときは
➡ ジャンル切り替えスイッチにタッチ
- ページを送るときは
➡ ▲、または▼にタッチ
- ヘルプ画面を終了したいときは
➡ [終了] にタッチ

- ▶ 音声認識操作ヘルプ画面が表示されたときは

- ➡ [コマンドリスト] にタッチ

操作ガイドを見る

操作のしかたがわからないとき、画面に操作ガイドを表示させることができます。

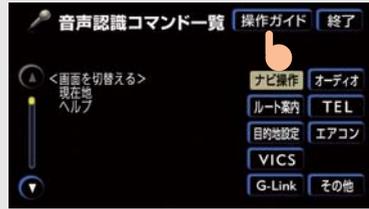
- 1 音声認識モード時に、[ヘルプ] にタッチする、または「ヘルプ」と発声する。



- 走行中はヘルプ画面を表示させることができません。



- 2 [操作ガイド] にタッチする。

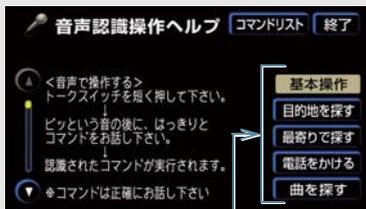


- 以下の方法で地図を検索しているときは、[ヘルプ] にタッチする、または「ヘルプ」と発声するだけで音声認識操作ヘルプ画面が表示されます。

- ・ 施設
- ・ 住所
- ・ ジャンル
- ・ 電話番号
- ・ 郵便番号
- ・ マップコード



3 音声認識操作ヘルプ画面の表示。



ジャンル切り替えスイッチ

- ジャンルをかえるときは
➡ ジャンル切り替えスイッチにタッチ
- ページを送るときは
➡ ▲、または▼にタッチ
- 音声認識コマンド一覧画面に切り替えるときは ➡ [コマンドリスト] にタッチ
- ヘルプ画面を終了したいときは
➡ [終了] にタッチ

音声操作の使用例 (標準モード)

「標準モード」での音声操作の使い方を説明します。

例にしたがって、操作してみてください。

- 周辺施設を表示する
- 自宅を目的地に設定する
- 施設名で検索する
- 住所で検索する

周辺施設を表示する

地図に周辺施設の記号を表示させてみましょう。

例

「コンビニエンスストア」を表示させる。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2 「コンビニ」と発声する。
車載機：「コンビニエンスストアを検索して表示します」



- 「標準モード」で音声操作できる施設は、周辺施設画面に表示されている 6 項目の施設です (→ P.69)。



3 コンビニエンスストアの記号表示。

- 「拡張モード」では、周辺施設の全施設を音声操作で表示できます（→ P.304）。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

1 トークスイッチを押す。

車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



2 「自宅に帰る」と発声する。

車載機：「自宅を目的地にセットできます」



3 トークスイッチを押す。

車載機：「目的地をセットするには“セット”とお話してください」「ピツ」



4 「セット」と発声する。

車載機：「自宅を目的地にセットします」



5 ルート探索開始。

- すでに目的地が設定されているときは、操作方法が異なります（→ P.303）。
- 自宅が登録されていないときは、自宅を目的地に設定できません。
 - ・自宅の登録（→ P.42）

施設名で検索する

施設名から地図を検索してみましょう。

例

「東京都のとしまえん」を検索する。

1 トークスイッチを押す。

車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



2 「施設で探す」と発声する。 車載機：「施設を名称で探します」



- 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設名を認識することができますのでご確認ください。
 - ・「施設で地図を呼び出す」(→ P.85)
 - ・「立体ランドマークの表示」(→ P.70)
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。



3 トークスイッチを押す。 車載機：「都道府県名と施設名を続けてどうぞ」「ピツ」



4 「東京都 としまえん」と発声する。 車載機：「東京都 としまえんを表示します」

- 施設名で検索するときは、都道府県名と施設名を分けて発声することもできます。
- 以下の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。
 - ・現在の都道府県の施設
 - ・立体ランドマークが表示される施設
 - ・都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名の施設 (例：東京ディズニーランド)



5 「東京都 としまえん」の周辺地図表示。



- 発声を間違えたときは (→ P.303)。
- 目的地に設定するには (→ P.303)。
- 検索したかった結果が違うときは (→ P.303)。

施設名で検索するときのポイント

以下の施設は、都道府県名がわからないとき、他の名称で指定することもできます。

施設	発声方法
販売店 レンタリース ジェームス	系列名 + 店名 例) レクスス + △△店 ※ ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。
駅	鉄道会社名 + 路線名 + 駅名 例) JR + 東海道新幹線 + 東京駅
高速IC・SA・PA 有料IC	道路名 + 施設名 路線名 + 施設名 道路名 + 路線名 + 施設名 例) 首都高速 + 新宿インター 4号新宿線 + 新宿インター 首都高速 + 4号新宿線 + 新宿インター

住所で検索する

住所で地図を検索してみましょう。

■ 例

「東京都文京区後楽一丁目 1-2」を検索する。

- 1** トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」 「ピッ」



- 2** 「住所で探す」と発声する。
車載機：「住所で探します」



- 3** トークスイッチを押す。
車載機：「住所を都道府県名からどうぞ」 「ピッ」



- 4** 「東京都文京区後楽一丁目」と発声する。
車載機：「東京都文京区後楽一丁目を表示します」

- 住所は「住所で地図を呼び出す」を参照して、正確に発声してください。
- 住所は、途中で区切って発声してもかまいません。
- 大字・字・番地・号は、省略して発声することもできます。
- 「-」は「の」または「はいふん」と発声してください。



- 5** トークスイッチを押す。
車載機：「東京都文京区後楽一丁目の続きの住所をどうぞ」 「ピッ」



- 6** 「1-2」と発声する。
車載機：「東京都文京区後楽一丁目 1-2を表示します」



- すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。
- 発声を間違えたときは (→ P.303)。
- 目的地に設定するには (→ P.303)。
- 検索したかった結果が違うときは (→ P.303)。

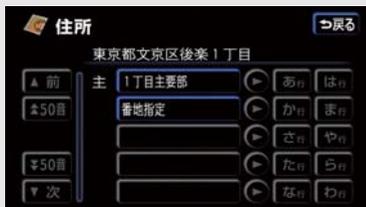
リストを表示して住所を検索する

住所の続きがわからないときは、リストを表示させて検索することができます。

- 1** 「リスト表示」にタッチする、または「リスト表示」と発声する。



2 住所を選び、タッチする。



- リストは音声操作できません。

発声を間違えたとき

都道府県名や施設名などを間違えたときは、以下のように操作します。

1 トークスイッチを押す。



- 2 音声ガイドのあと「ピッ」と音がしたら、約 6 秒以内に「戻る」と発声する。



- 3 直前に発声した内容を言い直す。

目的地を設定する

【セット】にタッチする、または「セット」と発声する。



▶すでに目的地が設定されているときは



- 【追加目的地】にタッチする、または「追加目的地」と発声すると、一番手前の目的地として追加されます。
- 【新規目的地】にタッチする、または「新規目的地」と発声すると、新しく目的地が設定されます。設定されていた目的地は消されます。
- 目的地は 5 か所まで設定することができます。

検索した結果が違うとき

【次候補】にタッチする、または「次候補」と発声する。



- 次候補は、最初に表示した候補を除いて、5 件まで表示させることができます。
- 希望の検索結果がないときは、最初から操作をやり直してください。

3. 拡張モードで使う

拡張モードでの操作

「拡張モード」では、以下の操作ができるようになります。

- すべてのコマンドを使うことができる
- 「ジャンル」「電話番号」「郵便番号」「マップコード」「メモリ地点の名称読み」で、地図を検索する
- 一番近い周辺施設を探す
- ナビ以外の機器を音声で操作する

メニューまたは MENU

各種設定

音声設定

拡張

「拡張モード」に切り替わる

初期設定は、「標準モード」です。「拡張モード」に切り替えてください。

- 1 各種設定画面で、[拡張] にタッチする。



- よく使うコマンドだけで音声操作したいときは → [標準] にタッチ (→ P.299)



- 2 「拡張モード」に切り替わる。

- 音声認識のガイド音声を設定するには (→ P.149)。
- 「拡張モード」ではトークスイッチを押してもコマンドリストが表示されません。

- ▶ 「拡張モード」でコマンドリストを表示させるには

→ [ヘルプ] にタッチ、または「ヘルプ」と発声



- コマンドリストの詳細について (→ P.298)。

音声操作の使用例 (拡張モード)

「拡張モード」での音声操作の使い方を説明します。

例にしたがって、操作してみてください。

- 周辺施設を表示する
- 周辺施設で検索する
- ジャンルで検索する
- 数字（電話番号、郵便番号、マップコード）で検索する
- メモリ地点で検索する
- 知れたインフォ機能
- オーディオを操作する
- サウンドライブラリの楽曲を検索する
- エアコンを操作する

周辺施設を表示する

「周辺施設」と発声すると、すべての周辺施設の中から記号を表示させることができます。

例

「遊園地」を表示させる。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2 「周辺施設」と発声する。
車載機：「周辺施設をジャンル名で探します」



- 音声操作で表示できるジャンルは、「施設の表示」(→ P.66) で選択できる周辺施設のジャンルになります。発声するジャンル名は、表示されるジャンル名称をそのまま発声してください。



- 3 トークスイッチを押す。
車載機：「周辺施設のジャンル名をお話しくささい」「ピッ」



- 4 「遊園地」と発声する。
車載機：「遊園地を検索して表示します」



- 5 遊園地の記号表示。



周辺施設で検索する

以下の周辺施設を検索することができます。

- 表示中の地図の中心から一番近い施設
- 案内ルート上で一番近い施設
- 最終目的地周辺で一番近い施設

例

表示中の地図の中心から一番近い「コンビニエンスストア」を探す。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



- 2 「周辺施設」と発声する。
車載機：「周辺施設をジャンル名で探します」



- 3 トークスイッチを押す。
車載機：「周辺施設のジャンル名をお話しください」「ピツ」



- 4 「近くのコンビニ」と発声する。
車載機：「近くのコンビニエンスストアを検索して表示します」



- 案内ルート上で一番近いコンビニエンスストアを探すときは
➔ 「この先のコンビニ」と発声
- 最終目的地周辺で一番近いコンビニエンスストアを探すときは
➔ 「目的地周辺のコンビニ」と発声



- 5 一番近いコンビニエンスストアの地図表示。

- 発声を間違えたときは (→ P.303)。
- 目的地に設定するには (→ P.303)。

次に近い施設を呼び出す

検索した施設の次に近い施設を呼び出したいときは、以下のいずれかの方法で呼び出すことができます。

音声操作で地図を表示する

トークスイッチを押し、「次の施設」と発声する。



■ リストを表示する

- 1 [リスト表示] にタッチする、または「リスト表示」と発声する。



- 2 施設を選ぶ。



- リストは音声操作できません。

ジャンルで検索する

いろいろなジャンルから地図を検索することができます。

■ 例

「和食で、東京都豊島区〇〇〇（施設名）」を検索する。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



- 2 「ジャンルで探す」と発声する。
車載機：「施設をジャンル名で探します」



- 3 トークスイッチを押す。
車載機：「ジャンル名をどうぞ」「ピツ」



- 4 「和食」と発声する。
車載機：「和食を探します」



- 5 トークスイッチを押す。
車載機：「和食の都道府県と市区町村名をどうぞ」「ピツ」



- 6 「東京都豊島区」と発声する。
車載機：「東京都豊島区のと食を探します」

- 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。



- 7 トークスイッチを押す。
車載機：「和食の施設の名称をどうぞ」「ピツ」



8 「〇〇〇（施設名称）」と発声する。
 車載機：「〇〇〇を表示します」



- 施設の名称を発声するときは、「名称で地図を呼び出す」（→ P.83）でリストに表示される名称を発声してください。
- ジャンル名がわからないときは（→ P.331）。
- 発声を間違えたときは（→ P.303）。
- 検索した結果が違うときは（→ P.303）。
- 目的地に設定するには（→ P.303）。

数字（電話番号、郵便番号、マップコード）で検索する

電話番号、郵便番号、マップコードから地図を検索することができます。

■ 例

電話番号「03-1234-5678」を検索する。

1 トークスイッチを押す。
 車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



2 「電話番号で探す」と発声する。
 車載機：「電話番号で探します」



3 トークスイッチを押す。
 車載機：「市外局番からどうぞ」「ピツ」



4 「03」と発声する。
 車載機：「03」



5 トークスイッチを押す。
 車載機：「市内局番からどうぞ」「ピツ」



6 「1234」と発声する。
 車載機：「1234」



7 トークスイッチを押す。
 車載機：「残りの電話番号をどうぞ」「ピツ」



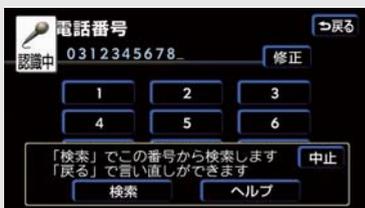
8 「5678」と発声する。
車載機：「5678」



9 トークスイッチを押す。
車載機：「目的地を検索するには「検索」とお話しください」「ピツ」



10 「検索」と発声する。



- 入力したすべての数字を消去するには
➔ 「全消去」と発声
- 発声を間違えたときは (→ P.303)。
- 目的地に設定するには (→ P.303)。

▶ 検索して地図を呼び出すには
➔ 【検索】にタッチ、または「検索」と発声



音声操作で入力するときのポイント

電話番号を発声するときには、局番ごとの区切る位置に注意して発声してください。また、「-」は省略して発声してください。

■ 例

「03-1234-5678」を発声するとき

一度にすべて発声するとき	「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
分けて発声するとき	「ゼロ、サン」 + 「イチ、ニ、サン、ヨン」 + 「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」 「ゼロ、サン」 + 「センニヒャクサンジュウヨン」 + 「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」

郵便番号を発声するときには、上 3 桁 + 下 4 桁の区切る位置に注意して発声してください。また、「-」は省略して発声してください。

■ 例

「570-0057」を発声するとき

一度にすべて発声するとき	「ゴ、ナナ、ゼロ、ゼロ、ゼロ、ゴ、ナナ」
分けて発声するとき	「ゴ、ナナ、ゼロ」 + 「ゼロ、ゼロ、ゴ、ナナ」

マップコードを発声するときには、一度にすべて発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。

■ 例

「735002 * 55」を発声するとき

「ナナ、サン、ゴ、ゼロ、ゼロ、ニ、アスタリスク、ゴ、ゴ」

メモリ地点で検索する

登録してあるメモリ地点の名称読みで地図を検索することができます。

- メモリ地点の名称読みについて(→P.134)。

■ 例

メモリ地点の名称読みが「トヨタビル」の施設を検索する。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機:「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2 「トヨタビル」と発声する。
車載機:「トヨタビルを表示します トークスイッチを押して“セット”でここを目的地にセットします」



- 登録されている名称読みが短かすぎるときや、ほかのコマンドと似ているときは、認識されないことがあります。
- 目的地に設定するには(→P.303)。

知りたいインフォ機能

さまざまな情報を音声認識で質問して、音声で案内させることができます。

■ 例

今日の日付を質問する。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機:「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2 「今日は何日?」と発声する。
車載機:「今日は1月1日 日曜日です」



オーディオを操作する

オーディオを音声認識で操作することができます。

- 操作できる項目や実行される内容については(→P.326)。

■ 例

オーディオの電源が OFF のときに、電源を ON にする。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機:「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2** 「オーディオ」と発声する。
車載機：「オーディオをオンします」



音声認識で操作するときのポイント

音声認識で使うことができるコマンドは、スイッチで操作する場合と同様、ラジオ、CD など該当モードのときだけ使用できます。

■ 例

ナビゲーション画面を表示しているときに、FM 放送の〇〇〇 (放送局名) にする。

- 1** トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 2** 「FM ラジオ」と発声する。
車載機：「FM ラジオにします」



- 3** トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



- 4** 「〇〇〇 (放送局名)」と発声する。
車載機：「〇〇〇 (放送局名) にします」



- 放送局名のコマンドは、現在地がその放送局の放送地域内にあるときだけ認識します。

サウンドライブラリの楽曲を検索する

サウンドライブラリ (HDD オーディオ) を聞いているとき、音声操作で希望の楽曲を検索して再生することができます。

■ 例

△△△ (アーティスト名) の〇〇〇 (曲名) を再生する。

- 1** トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」「ピッ」



2 「HDD（ハードディスク）オーディオ」と発声する。

車載機：「HDD オーディオにします」



3 トークスイッチを押す。
車載機：「ピッと鳴ったらお話ください」 「ピッ」



4 「曲を探す」と発声する。
車載機：「聴きたい曲を探します」



5 トークスイッチを押す。
車載機：「アーティスト名と曲名を続けてどうぞ」 「ピッ」



6 「△△△（アーティスト名）」と発声する。
車載機：「△△△（アーティスト名）の曲をさがします」



7 トークスイッチを押す。
車載機：「曲名をどうぞ」 「ピッ」



8 「○○○（曲名）」と発声する。
車載機：「△△△（アーティスト名）の○○○（曲名）を再生します」



9 曲が再生される。



- アーティスト名と曲名を続けて発声するときは「△△△（アーティスト名）の○○○（曲名）」と発声します。
- 以下のとき、検索されたアーティストの曲が再生されます。
 - ・ 曲名を発声しなかったとき
 - ・ アーティスト名が検索されたあと、音声操作で「再生」と発声したとき
- アーティスト名と曲名で検索したときは、プレイモードを「アルバム」に切り替えて、ご希望の楽曲を再生します。（→ P.244）
- アーティスト名だけで検索したときは、プレイモードを「アーティスト」に切り替えて、ご希望のアーティストの楽曲のみを再生します。（→ P.244）
- 音声操作で検索する際、サラウンドライブラリに録音した時に登録される曲情報（→ P.256）のアーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）を発声してください。

- 一部の楽曲では、アーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、トラックの名称と読みが異なることがあります。
この場合、サウンドライブラリ操作画面（→P.251）に表示されるアーティスト名、トラック名を発声しても読みが異なるため、音声認識で楽曲の検索ができません。HDD曲情報画面（→P.256）でアーティスト読み、トラック読みをご確認ください。
- HDD曲情報画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
 - ・「タイトル情報を再取得する」の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。（→P.271）
 - ・「曲（トラック）の情報を編集する」の操作で、希望の読みに変更する。（→P.265）

▶ 違うアーティスト名が検索されたときは

- ➡ 「次候補」にタッチ、または「次候補」と発声



- 聴きたい曲のアーティスト名が検索されないときは、最初から操作をやり直してください。

エアコンを操作する

エアコンを音声認識で操作することができます。

- 操作できる項目や実行される内容については（→P.328）。

例

エアコンが OFF のときに、ON にする。

- 1 トークスイッチを押す。
車載機：「ピツと鳴ったらお話しください」「ピツ」



- 2 「エアコン」と発声する。
車載機：「エアコンを入れます」

4. 音声認識コマンド一覧

- 車両に装着されていない機器のコマンドは使用できません。
- 標準モード、拡張モードの切り替え方 (→ P.304)。

ナビ操作

画面を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	現在地	げんざいち	現在地の地図画面を呼び出す。
標準	ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。

音声認識を中止する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	中止	ちゆうし	音声認識モードを中止する。

地図の縮尺を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	広域	こーいき	地図を1段階広域に切り替える。
拡張	詳細	しょーさい	地図を1段階詳細に切り替える。
拡張	市街図	しがいず	地図を市街図に切り替える。
拡張	リアル市街図	<ul style="list-style-type: none"> ● りあるしがいず ● すりーでいーしがいず 	地図をリアル市街図に切り替える。
拡張	50メートル スケール	ごじゅーめーとるすけーる	地図を50 mスケールに切り替える。
拡張	100メートル スケール	ひゃくめーとるすけーる	地図を100 mスケールに切り替える。
拡張	200メートル スケール	にひゃくめーとるすけーる	地図を200 mスケールに切り替える。
拡張	400メートル スケール	よんひゃくめーとるす けーる	地図を400 mスケールに切り替える。
拡張	800メートル スケール	はっぴゃくめーとるす けーる	地図を800 mスケールに切り替える。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	1.6キロメートル スケール	いってんろつきろめーと るすけーる	地図を 1.6 km スケールに切り替 える。
拡張	3キロメートルス ケール	さんきろめーとるすけーる	地図を 3 km スケールに切り替 える。
拡張	7キロメートルス ケール	ななきろめーとるすけーる	地図を 7 km スケールに切り替 える。
拡張	13キロメートル スケール	じゅーさんきろめーとる すけーる	地図を 13 km スケールに切り替 える。
拡張	26キロメートル スケール	にしゅーろつきろめーと るすけーる	地図を 26 km スケールに切り替 える。
拡張	50キロメートル スケール	ごじゅつきろめーとるす けーる	地図を 50 km スケールに切り替 える。
拡張	100 キロメー トルスケール	ひゃつきろめーとるす けーる	地図を 100 km スケールに切り 替える。
拡張	200 キロメー トルスケール	にひゃつきろめーとるす けーる	地図を 200 km スケールに切り 替える。

右画面の地図の縮尺を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面広域	みぎがめんこーいき	右画面地図を 1 段階広域に切り 替える。
拡張	右画面詳細	みぎがめんしょーさい	右画面地図を 1 段階詳細に切り 替える。
拡張	右画面市街図	みぎがめんしがいず	右画面地図を市街図に切り替 える。
拡張	右画面リアル 市街図	<ul style="list-style-type: none"> みぎがめんりあるしが いず みぎがめんすりー でいしがいず 	右画面地図をリアル市街図に切 り替える。
拡張	右画面 50 メー トルスケール	みぎがめんごじゅーめー とるすけーる	右画面地図を 50 m スケールに切 り替える。
拡張	右画面 100 メー トルスケール	みぎがめんひやくめーと るすけーる	右画面を地図を 100 m スケール に切り替える。
拡張	右画面 200 メー トルスケール	みぎがめんにひやくめー とるすけーる	右画面を地図を 200 m スケール に切り替える。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面 400 メートルスケール	みぎがめんよんひやくめーとるすけーる	右画面を地図を 400 m スケールに切り替える。
拡張	右画面 800 メートルスケール	みぎがめんはっぴやくめーとるすけーる	右画面を地図を 800 m スケールに切り替える。
拡張	右画面 1.6 キロメートルスケール	みぎがめんいつてんろつきろめーとるすけーる	右画面を地図を 1.6 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 3 キロメートルスケール	みぎがめんさんきろめーとるすけーる	右画面を地図を 3 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 7 キロメートルスケール	みぎがめんななきろめーとるすけーる	右画面を地図を 7 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 13 キロメートルスケール	みぎがめんじゅーさんきろめーとるすけーる	右画面を地図を 13 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 26 キロメートルスケール	みぎがめんにしゅーろつきろめーとるすけーる	右画面を地図を 26 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 50 キロメートルスケール	みぎがめんごじゅつきろめーとるすけーる	右画面を地図を 50 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 100 キロメートルスケール	みぎがめんひゃつきろめーとるすけーる	右画面を地図を 100 km スケールに切り替える。
拡張	右画面 200 キロメートルスケール	みぎがめんにひゃつきろめーとるすけーる	右画面を地図を 200 km スケールに切り替える。

地図の向きを変更する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	地図向き変更	ちずむきへんこー	地図の向きを切り替える。
拡張	ノースアップ	のーすあつぷ	地図の向きをノースアップに切り替える。
	北向き	きたむき	
拡張	ヘディングアップ	へでいんぐあつぷ	地図の向きをヘディングアップに切り替える。
	進行方向	しんこーほうこー	

右画面の地図を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面地図向き 変更	みぎがめんちずむきへん こー	右画面地図の向きを切り替える。
拡張	右画面ノース アップ	みぎがめんの一すあつぷ	右画面地図の向きをノースア ップに切り替える。
	右画面北向き	みぎがめんきたむき	
拡張	右画面ヘディング グアッパ	みぎがめんへでいんぐ あつぷ	右画面地図の向きをヘディング アップに切り替える。
	右画面進行方向	みぎがめんしんこーほー こー	

地図を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	2D	つーでいー	地図を 2D 表示に切り替える。
拡張	3D	すりーでいー	地図を 3D 表示に切り替える。
拡張	2D ツイン	つーでいーついん	地図を 2D ツイン表示に切り替 える。
拡張	3D ツイン	すりーでいーついん	地図を 3D ツイン表示に切り替 える。
拡張	2 画面表示	にがめんひよーじ	地図を 2 画面表示に切り替える。
拡張	2 画面表示解除	にがめんひよーじかい じよ	地図を 1 画面表示に切り替える。
	1 画面表示	いちがめんひよーじ	

右画面の地図を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面 3D	みぎがめんすりーでいー	右画面地図を 3D 表示に切り替 える。
拡張	右画面 3D 解除	みぎがめんすりーでいー かいじよ	右画面地図を 2D 表示に切り替 える。
	右画面 2D	みぎがめんつーでいー	

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面施設表示	みぎがめんしせつひょーじ	右画面地図上に周辺施設を表示する。
拡張	右画面施設表示 消去	みぎがめんしせつひょーじしよーきよ	右画面地図上の周辺施設表示を消去する。

地点を登録する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	地点登録	ちてんとーろく	地図画面の中心位置にメモリ地点を登録する。
	メモリ地点	めもりちてん	
	ここを登録	ここおとーろく	
拡張	方向付きメモリ地点	ほーこーつきめもりちてん	現在地画面の中心位置に進行方向に合わせ、方向付きメモリ地点を登録する。
拡張	音声付きメモリ地点	おんせーつきめもりちてん	地図画面の中心位置に、音声付きメモリ地点を登録する。

目的地を表示する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	目的地 1	もくてきちいち	1 番目に設定されている目的地を表示する。
拡張	目的地 2	もくてきちに	2 番目に設定されている目的地を表示する。
拡張	目的地 3	もくてきちさん	3 番目に設定されている目的地を表示する。
拡張	目的地 4	もくてきちよん	4 番目に設定されている目的地を表示する。
拡張	目的地 5	もくてきちご	5 番目に設定されている目的地を表示する。
拡張	次の目的地	つぎのもくてきち	次の目的地を表示する。
拡張	最終目的地	さいしゆーもくてきち	最終目的地を表示する。

目的地を削除する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	次の目的地削除	つぎのもくてきちさくじょ	次の目的地を削除する。
拡張	最終目的地削除	さいしゅーもくてきちさくじょ	最終目的地を削除する。
拡張	全ての目的地削除	すべてのもくてきちさくじょ	すべての目的地を削除する。

ルート案内

案内・地図表示を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	高速略図表示	こーそくりやくずひょーじ	ハイウェイモードを表示する。
拡張	都市高マップ表示	としこーまっぴひょーじ	都市高速マップ表示モードにする。
拡張	都市高マップ表示解除	としこーまっぴひょーじかいじょ	都市高速マップ表示モードを解除する。
拡張	ターンリスト	たーんりすと	ターンリスト図を表示する。

5

音声操作システム

ルートを変更する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	推奨	すいしょー	推奨ルートでルートを探査する。
標準	有料優先	<ul style="list-style-type: none"> • ゆうりょーゆーせん • こーそくゆーせん 	有料道優先でルートを探査する。
標準	一般優先	いっばんゆーせん	一般道優先でルートを探査する。
標準	距離優先	きよりゆーせん	距離優先でルートを探査する。
標準	別ルート	べつるーと	別ルートでルートを探査する。

ルート案内をさせる

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	案内再開	あんないさいかい	ルート案内を再開する。
標準	案内中止	あんないちゅーし	ルート案内を中止する。
拡張	案内音声	あんないおんせー	案内音声を出力する。
拡張	ナビ音量アップ	<ul style="list-style-type: none"> • なびおんりょーあつぷ • なびほりゅーむあつぷ 	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階アップする。
拡張	ナビ音量ダウン	<ul style="list-style-type: none"> • なびおんりょーだうん • なびほりゅーむだうん 	ナビゲーションのナビ音量設定を1段階ダウンする。

ルートを表示する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	全ルート図	ぜんるーとず	全ルート図を表示する。
	ルート全体図	るーとぜんたいず	

目的地設定

目的地を探す

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	施設で探す	しせつでさがす	施設で検索する。
拡張	ジャンルで探す	じゃんるでさがす	ジャンルで検索する。
標準	住所で探す	じゅーしょでさがす	住所で検索する。
拡張	電話番号で探す	でんわばんごーでさがす	電話番号入力で検索する。
拡張	マップコードで探す	まっぷごーどでさがす	マップコード入力で検索する。
拡張	郵便番号で探す	ゆーびんばんごーでさがす	郵便番号入力で検索する。
拡張	○○○ (メモリ地点名称)	○○○ (メモリ地点名称読み)	登録されたメモリ地点を検索する。

周辺の施設を探す

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	○○○ (施設ジャンル)	○○○ (施設ジャンル読み)	指定されたジャンルの施設の記号を地図上に表示する。
拡張	近くの○○○ (施設ジャンル)	ちかくの○○○ (施設ジャンル読み)	地図画面の中心から最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
拡張	この先の○○○ (施設ジャンル)	このさきの○○○ (施設ジャンル読み)	現在地から目的地までの案内ルート上で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
拡張	目的地周辺の○○○ (施設ジャンル)	もくてさちしゅーへんの○○○ (施設ジャンル読み)	最終目的地周辺で最も近い指定されたジャンルの施設の地点地図を表示する。
拡張	周辺施設	しゅーへんしせつ	周辺施設をジャンル別で検索する。
標準	施設表示消去	しせつひょーじしょーきよ	地図画面上の周辺施設表示を消去する。

検索後、次の周辺の施設を探す

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	次の施設	つぎのしせつ	候補にある次の施設(次に近い施設)の地点地図を表示する。

登録した地点に設定する／登録した地点を呼び出す

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	自宅に帰る	<ul style="list-style-type: none"> • じたくにかえる • うちにかえる • いえにかえる 	自宅へのルートを探索する。
拡張	特別メモリ1へ行く	とくべつめもりいちえいく	特別メモリ 1 へのルートを探索する。
拡張	特別メモリ2へ行く	とくべつめもりにえいく	特別メモリ 2 へのルートを探索する。
拡張	特別メモリ3へ行く	とくべつめもりさんえいく	特別メモリ 3 へのルートを探索する。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	特別メモリ4へ行く	とくべつめもりよんえいく	特別メモリ 4 へのルートを探索する。
拡張	特別メモリ5へ行く	とくべつめもりごえいく	特別メモリ 5 へのルートを探索する。

地図に目的地を設定する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	目的地セット	<ul style="list-style-type: none"> もくてきちせつと いきさき 	地図画面の中心位置に目的地を設定し、探索を開始する。

メッセージ表示時に有効

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	セット	せつと	目的地を設定する。
標準	新規目的地	しんきもくてきち	既存の目的地をすべて消去して新規に目的地を設定する。
標準	追加目的地	ついかもくてきち	直近（現在地から一番近い）目的地として追加設定する。
標準	中止	ちゅーし	音声認識モードを中止する。
標準	ヘルプ	へるぷ	ヘルプ画面を表示する。
標準	はい	はい	質問の内容を実行する。
標準	いいえ	いいえ	質問の内容をとりやめる。
標準	戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。
標準	リスト表示	りすとひょーじ	検索結果に対応したリストを表示する。
標準	設定する	せつてーする	音声ガイドにしたがって目的地を設定する。
標準	他の道路	たのどーろ	他の道路上に目的地を設定する。

数字入力中に有効

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	戻る	もどる	直前に発声した内容を取り消し、言い直すことができるようにする。
標準	全消去	ぜんしょーきよ	入力したすべての数字を消去する。
標準	検索	けんさく	音声認識した結果で地図を呼び出す。

次候補スイッチ表示中に有効

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	次の候補	つぎのこーほ	次の候補を表示する。

VICS

VICS の情報を見る

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	VICS 表示	びつくすひょーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を表示するよう設定を切り替える。
拡張	VICS 表示消去	びつくすひょーじしょーきよ	地図上に表示している VICS レベル 3 情報を消去する。
拡張	FM 文字	えふえむもじ	VICS FM 文字情報表示画面に切り替える。
拡張	FM 図形	えふえむずけー	VICS FM 図形情報表示画面に切り替える。
拡張	割込情報	わりこみじょーほー	最新の割り込み図形表示画面に切り替える。

情報表示する道路を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	VICS 全て表示	びつくすすべてひよーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を全道路に表示するよう設定を切り替える。
拡張	VICS 高速道表示	びつくすこうそくどーひよーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を高速道のみ表示するよう設定を切り替える。
拡張	VICS 一般道表示	びつくすいっばんどーひよーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を一般道のみ表示するよう設定を切り替える。

右画面で VICS の情報を見る

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	右画面 VICS 表示	みぎがめんびつくすひよーじ	右画面地図上に VICS レベル 3 情報を表示するよう設定を切り替える。
拡張	右画面 VICS 表示 消去	みぎがめんびつくすひよーじしよーきよ	右画面地図上に表示している VICS レベル 3 情報を消去する。

割り込み情報を設定する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ビーコン文字情報	びーこんもじじよーほー	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	ビーコン文字情報解除	びーこんもじじよーほーかいじよ	割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“しない”に切り替える。
拡張	ビーコン図形情報	びーこんずけーじよーほー	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	ビーコン図形情報解除	びーこんずけーじよーほーかいじよ	割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“しない”に切り替える。
拡張	注意警戒情報	ちゅういけーかいじよーほー	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“する”に切り替える。
拡張	注意警戒情報解除	ちゅういけーかいじよーほーかいじよ	割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“しない”に切り替える。

地図上の情報を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	VICS 駐車場表示	びつくすちゅうしゃ じょひょーじ	VICS 表示設定の“駐車場”を “ON”に切り替える。
拡張	VICS 駐車場表示 解除	びつくすちゅうしゃ じょひょーじかいじょ	VICS 表示設定の“駐車場”を “OFF”に切り替える。
拡張	VICS 渋滞・混雑 表示	びつくすじゅーたいこん ざつひょーじ	VICS 表示設定の“渋滞・混雑” を“ON”に切り替える。
拡張	VICS 渋滞・混雑 表示解除	びつくすじゅーたいこん ざつひょーじかいじょ	VICS 表示設定の“渋滞・混雑” を“OFF”に切り替える。
拡張	VICS 空き道表示	びつくすあきみちひょーじ	VICS 表示設定の“空き道”を “ON”に切り替える。
拡張	VICS 空き道表示 解除	びつくすあきみちひょー じかいじょ	VICS 表示設定の“空き道”を “OFF”に切り替える。
拡張	VICS 規制情報表示	びつくすきせーじょー ほひょーじ	VICS 表示設定の“規制情報”を “ON”に切り替える。
拡張	VICS 規制情報表 示解除	びつくすきせーじょー ほひょーじかいじょ	VICS 表示設定の“規制情報”を “OFF”に切り替える。

5

音声操作システム

渋滞を避けるルートにする

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	渋滞考慮探索	じゅーたいこーりよたん さく	ナビゲーションの各種設定の“渋 滞考慮探索”を“する”に切り替 える。
拡張	渋滞考慮探索解除	じゅーたいこーりよたん さくかいじょ	ナビゲーションの各種設定の“渋 滞考慮探索”を“しない”に切り 替える。

- VICS に関するコマンドは、VICS 情報が受信できないとき、または受信しても情報がないときは、コマンドを発声しても表示させることができません。

G-Link

以下のコマンドは、G-Link 利用契約後に使用できます。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	My リクエスト	まいりくえすと	My リクエスト画面を表示する。
標準	G-BOOK.com	じーぶつくとつとこむ	G-BOOK センターに接続する。
標準	〇〇〇 (コマンドは G-BOOK センターが指定)	〇〇〇 (コマンドは G-BOOK センターが指定)	G-BOOK センターが指定するコマンドの動作を実行する。

- G-BOOK センターが指定するコマンドについては、【ヘルプ】にタッチして、音声認識コマンド一覧画面の【G-Link】で確認できます (→ P.298)。

オーディオ

オーディオを切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	TV	てれび	テレビに切り替える。
拡張	ラジオ	らじお	ラジオに切り替える。
拡張	AM ラジオ	ええむらじお	AM ラジオに切り替える。
拡張	FM ラジオ	えふえむらじお	FM ラジオに切り替える。
拡張	交通情報	こーつーじょーほー	(OFF 時) 交通情報に切り替える。 (ON 時) 交通情報を終了する。
拡張	CD	しーでいー	CD プレーヤーに切り替える。
拡張	MD	えむでいー	MD プレーヤーに切り替える。
拡張	DVD チェンジャー	でいーぶいでいーちえんじャー	DVD チェンジャーに切り替える。
拡張	HDD オーディオ	はーどでいすくおーでいお	サウンドライブラリに切り替える。

- このコマンドは、再生する機器を切り替えるものです。例えば、DVD チェンジャー内の CD を再生する場合は、「DVD チェンジャー」と発声してください。

オーディオを ON・OFF する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	オーディオ	おーでいお	(OFF時)オーディオをONにする。 (ON時)オーディオをOFFにする。

テレビ・ラジオを操作する

以下のコマンドは、ラジオ、またはテレビの音声が出力されているとき使用できます。

- 現在のモードの放送局だけ認識できます。AM ラジオを受信しているときは AM の放送局だけ認識できます。
- 放送局名称は、現在地がその放送局の放送地域内にある場合だけ認識できます。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	○○○ (放送局名称)	○○○ (放送局名称)	○○○を選局する。
拡張	シークアップ	しーくあつぷ	周波数、またはチャンネルが高い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。
拡張	シークダウン	しーくだうん	周波数、またはチャンネルが低い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。

ディスクを操作する

以下のコマンドは、CD、MD、DVD またはサウンドライブラリの楽曲を再生しているとき使用できます。

- 機種や再生するメディアにより、使用できるコマンドは異なります。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	トラックアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● とらっくあつぷ ● つぎのきよく 	次の曲を頭出しする。
拡張	トラックダウン	<ul style="list-style-type: none"> ● とらっくだうん ● あたまだし 	再生中の曲を頭出しする。
拡張	前の曲	<ul style="list-style-type: none"> ● まえのきよく ● いっきよくまえ 	前の曲を頭出しする。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	ディスクアップ	<ul style="list-style-type: none"> • でいすくあつぷ • つぎのでいすく 	次のディスクに切り替える。
拡張	ディスクダウン	<ul style="list-style-type: none"> • でいすくだうん • まえのでいすく 	前のディスクに切り替える。

HDD オーディオの楽曲を検索する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	曲を探す	きよくおさがす	曲を探す。

AUTOLIVE を操作する

以下のコマンドは、G-Link 利用契約後に使用できます。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	AUTOLIVE カラオケ	おーとらいふからおけ	AUTOLIVE カラオケに切り替える。
拡張	AUTOLIVE BGM	おーとらいふびーじーえむ	AUTOLIVE BGM に切り替える。
拡張	チャンネルアップ	ちゃんねるあつぷ	次のチャンネルに切り替える。
拡張	チャンネルダウン	ちゃんねるだうん	前のチャンネルに切り替える。
拡張	曲を探す	きよくおさがす	曲を探す。

エアコン

エアコンを ON・OFF する

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	エアコン	えあこん	(OFF 時) エアコンを ON にする。
			(ON 時) エアコンを OFF にする。

エアコンの温度を切り替える

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	温度を上げる	おんどおあげる	エアコンの温度の設定を2℃上げる。
拡張	温度を下げる	おんどおさげる	エアコンの温度の設定を2℃下げる。
拡張	温度を少し上げる	おんどおすこしあげる	エアコンの温度の設定を1℃上げる。
拡張	温度を少し下げる	おんどおすこしさげる	エアコンの温度の設定を1℃下げる。
拡張	温度 20.5℃	おんどにじゅってんごと	エアコンの温度を 20.5℃にする。

- 温度を直接指定するときは、18℃から32℃まで0.5℃ごとに指定することができます。

TEL

電話帳認識モードにする

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	電話をかける	でんわおかける	電話画面を表示する。

電話帳の名前が検索されたら

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
標準	発信	はっしん	電話をかける。
標準	次候補	じこーほ	次の候補を表示する。

その他

現在の情報を聞く

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	今日は何日？	きょーわなんにち	今日の日付を音声で案内する。
	今日は何曜日？	きょーわなんよーび	
拡張	今何時ですか？	いまなんじですか	現在の時刻を音声で案内する。

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	今日は何の日？	きょーわなんのひ	地図データベースに登録されている今日の記念日を音声で案内する。
拡張	今走っている道路は？	いまはしっているどーろわ	現在走っている道路名を音声で案内する。
拡張	どっち向いているの？	どっちむいているの	現在走っている方向を音声で案内する。

ルートの情報を聞く

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	あとどれくらい？	あとどれくらい	現在地から最終目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
拡張	あと何キロ？	あとなんきろ	現在地から最終目的地までの残距離を音声で案内する。
拡張	あと何分？	あとなんぶん	現在地から最終目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
	あと何時間？	あとなんじかん	
拡張	何時に着くの？	<ul style="list-style-type: none"> • なんじにつくの • なんじにつきますか 	最終目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであとどれくらい？	つぎのもくてきちまであとどれくらい	現在地から次の目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであと何キロ？	つぎのもくてきちまであとなんきろ	現在地から次の目的地までの残距離を音声で案内する。
拡張	次の目的地まであと何分？	つぎのもくてきちまであとなんぶん	現在地から次の目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
	次の目的地まであと何時間？	つぎのもくてきちまであとなんじかん	
拡張	次の目的地に何時に着くの？	<ul style="list-style-type: none"> • つぎのもくてきちになんじにつくの • つぎのもくてきちにいつつきますか 	次の目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
拡張	どこから乗るの？	どこからのるの	現在地が高速道路以外のときに、目的地までのルート上にある次に乗る高速道路のIC名と、ICまでの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
	どこのインターチェンジから乗るの？	どこのいんたーちえんじからのるの	

標準／拡張 コマンド	コマンド名称	認識語	動作
拡張	どこで降りるの？	どこでおりのの	目的地までのルート上にある次に降りる高速道路のIC名と、ICまでの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
	どこのインターチェンジで降りるの？	どこのいんたーちえんじでおりのの	
拡張	この先の渋滞情報は？	このさきのじゅーたいじょーはわ	現在地から目的地までのルート上の渋滞・規制情報を音声で案内する。
	この先の規制情報は？	このさきのきせーじょーはわ	
拡張	次に通る施設は？	つぎにとおるしせつわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するSA/PA/ICまでの残距離を、次々に音声で案内する。
拡張	次のサービスエリアは？	つぎのさーびすえりあわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由するSA/PA名と、SA/PAまでの残距離を、次々に音声で案内する。
	次のパーキングエリアは？	つぎのぱーきんぐえりあわ	

- ルートの情報コマンドは、ルートからはずれたときに、認識されないコマンドがあります。

ジャンル名コマンド一覧

ジャンル名	認識語
ファミリーレストラン	ふぁみりーれすとらん／ふぁみれす
ファーストフード	ふぁーすとふーど
うどん・そば	うどんそば／うどん／そば
寿司	すし
ラーメン	らーめん
カレー	かれー
パスタ	ぱすた／すばげてい
お好み焼・たこ焼	おこのみやきたこやき／おこのみやき／たこやき
イタリア料理	いたりありょうり／いためし
フランス料理	ふらんすりょうり／ふれんち
中華料理	ちゅうかりょうり／ちゅうか
各国料理	かつこくりょうり

ジャンル名	認識語
割ぼう・懐石	かつぼうかいせき／かつぼう／かいせき／かいせきりょうり／りょうてい
和食	わしょく
肉料理	にくりょうり／やきにく／すていき／とんかつ／やきとり
海鮮料理	かいせんりょうり／さかなりょうり
鍋料理	なべりょうり／しゃぶしゃぶ／すきやき／ちゃんこ／もつなべ
弁当	べんとう
コーヒー・喫茶	こーひーきっさ／こーひー／きっさ／きっさてん
バー・酒場	ばーさかば／ばー／さかば／いざかや／すなっく
コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ／こんびにえんす／こんびに
スーパーマーケット	すーぱーまーけっと／すーぱー
ディスカウントストア	でいすかうんとすとあ／でいすかうんと
デパート	でぱーと／ひやっかてん
ショッピングモール	しょっぴんぐもーる／しょっぴんぐ
アウトレットモール	あうとれっともーる
ホームセンター	ほーむせんたー
CD・ビデオ	しーでいーびでお／しーでいー／びでお／しーでいーれこーどてん／しーでいーびでおれんたる
レンタルショップ	れんたるしょっぷ／れんたる
リサイクルショップ	りさいくるしょっぷ／りさいくる
ケーキ・菓子・パン	けーきかしばん／けーき／かし／ばん／あいすくりーむ
花・園芸	はなえんげい／はな／えんげい／うえき／せいか
雑貨	ざっか／にちようざっか
化粧品	けしょうひん
文具・事務用品	ぶんぐじむようひん／ぶんぐ／ぶんぐじむ／ぶんほうぐ／じむようひん
おもちゃ	おもちゃ／がんぐ
菓	くすり／やつきよく／やつきよくやくてん／やくてん
衣服	いふく／いりょう／いりょうひん／いりょうひんてん
スポーツ用品	すぱーつようひん／すぱーつようひんてん
靴・鞆	くつかばん／くつ／かばん／かばんくつ

ジャンル名	認識語
宝石・貴金属	ほうせきききんぞく／ほうせき／ききんぞく
カメラ・時計	かめらとけい／かめら／とけい
眼鏡・コンタクト	めがねこんたくと／めがね／こんたくと
電化製品	でんかせいひん
情報機器	じょうほうきき／ぱそこん／ぱそこんしょつぶ／けいたいでんわ／けいたい
食料品	しょくりょうひん
本	ほん／ほんや／しょてん／しょせき／ふるほん
家具・インテリア	かぐいんてりあ／かぐ／いんてりあ
ガラス・陶磁器	がらすとうじき／がらす／とうじき／がらすしょつき
チケット	ちけつと／ぶれいがいど／ちけつとばいばい
その他買う・借りる	そのたかうかりる／そのたかう／そのたかりる
ホテル	ほてる
旅館	りよかん
ビジネスホテル	びじねすほてる
公共宿舎	こうきょうしゆくしゃ
民宿	みんしゆく
ペンション	べんしょん
カプセルホテル	かぶせるほてる
その他泊まる	そのたとまる／しゆくはくそのた
旅行	りょこう／かんこう／かんこうあんない／りよかんよやく／りょこうだいいてん
温泉	おんせん
サウナ・風呂	さうなふろ／さうな／ふろ／せんとう／けんこうらんど
スポーツ施設	すぽ一つしせつ
カラオケ	からおけ
ゲームセンター	げーむせんたー／げーせん
動・植物園	どうしょくぶつえん／どうぶつえん／しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん／すいぞつかん
ゴルフ場	ごるふじょう

ジャンル名	認識語
遊園地	ゆうえんち
キャンプ場	きゃんぷじょう
ビーチ	びーち/かいすいよくじょう
マリナー	まりーな
娯楽	ごらく
劇場	げきじょう
映画館	えいがかん
ライブハウス	らいぶはうす
趣味	しゅみ
ガソリンスタンド	がそりんすたんど/じーえす
駐車施設	ちゅうしゃせつ/ちゅうしゃじょう
ゲームス	じえーむす
カー用品	かーようひん
レクサス販売店	れくさすはんばいてん/れくさす/れくさすでいーらー
トヨタ販売店	とよたはんばいてん
ダイハツ販売店	だいはつはんばいてん/だいはつ
トヨタ販売店 (U-Car)	とよたはんばいてんゆーかー/とよたゆーかー/とよたちゅうこしゃ /とよたはんばいてんちゅうこしゃ/かーろつ
トヨタレンタリース	とよたれんたりーす
自転車・バイク	じてんしゃばいく/じてんしゃ/ばいく/おーとばい
中古車買取	ちゅうこしゃかいとり
自動車整備	じどうしゃせいび
钣金・塗装	ばんきんとそう/ばんきん/とそう
洗車	せんしゃ
ロードサービス	ろーどさーびす
役所	やくしょ/やくば
警察署	けいさつしょ/けいさつ
消防署	しょうぼうしょ
図書館	としょかん
公園	こうえん

ジャンル名	認識語
裁判所	さいばんしょ
保健所	ほけんじょ
郵便局	ゆうびんきょく
医療機関	いりょうきかん／びょういん
駅	えき
空港	くうこう／ひこうじょう
港	みなと
高速 IC	こうそくいんたーちえんじ／こうそくいんたー／こうそくあいしー
有料 IC	ゆうりょういんたーちえんじ／ゆうりょういんたー／ゆうりょうあいしー
SA・PA	さーびすえりあばーきんぐえりあ／さーびすえりあ／ ばーきんぐえりあ／さば
道の駅	みちのえき
一般道 IC・SA・PA	いっばんどうあいしーさば／いっばんあいしーさば／ いっばんどうあいしー／いっばんどうさば／ いっばんどういんたーちえんじ
ハイウェイオアシス	はいうえいおあしす
名所・旧跡	めいしよきゆうせき／めいしよ／きゆうせき
神社	じんじゃ
寺	てら
教会	きょうかい
城・城跡	しろしろあと／しろ／しろあと／しろじょうせき／じょうせき
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
資料館	しりょうかん
ホール	ほーる
プラネタリウム	ぶらねたりうむ
天文台	てんもんだい
カルチャーセンター	かるちゃーせんたー
教室	きょうしつ
道場	どうじょう

ジャンル名	認識語
金融機関	きんゆうきかん／ぎんこう
教育施設	きょういくしせつ／がっこう
理容・美容・アロマ	りようびようあろま／りようてん／びよういん／あろま／あろまてらぴー
クリーニング	くりにんぐ
コインランドリー	こいんらんどりー
写真	しゃしん／しゃしんかん／しゃしんげんぞう
式場	しきじょう／けっこんしきじょう／さいじょう／せれもに一ほーる／さいじょうせれもに一ほーる
トヨタホーム	とよたほーむ
住宅展示場	じゅうたくてんじじょう
不動産	ふどうさん
車いす・ 足の不自由な方へ	くるまいすあしのふじゆうなかつたへ／くるまいすのかた／あしのふじゆうなかつたへ／くるまいすしせつ／ぱりあふりーといれ

- 掲載のジャンル名は、地図データの更新により、ジャンル名や認識語は追加・変更されることがあります。

6

情報

1 情報

- 1. 情報画面 338
 - 情報画面について 338
- 2. FM多重放送 340
 - FM 多重放送について 340
 - 放送局を切り替えるには 340
 - 番組を切り替えるには 341
 - 独立情報番組のページ送りの
しかた 341
 - 連動情報番組の文字情報を繰り返し
見るには 342
 - 文字情報の記録・呼び出し・消去 ... 342
- 3. メンテナンス機能 344
 - メンテナンスメニュー画面に
ついて 344
 - メンテナンス時期の設定 344
 - メンテナンス案内の設定 346
 - メンテナンス設定の消去 346
 - メンテナンス設定の更新 347
 - 販売店の設定 348
 - 販売店の修正・入力 348
- 4. カレンダー機能 349
 - カレンダー画面について 349
- 5. 施設の情報の検索 350
 - 情報付き施設の検索について 350
 - ナビブラウザ画面の操作 350
 - ブックマークに登録する 351
 - ブックマークしたコンテンツを
見る 351
 - ブックマークのタイトルを
変更する 352

ブックマークを削除する 352

- 6. 電話帳 353
 - 電話帳について 353

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

1. 情報画面

情報画面について

、または  を押すと、情報画面が表示されます。



表示順序／項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
1 メインメニュー	G-Link メインメニューの表示	509
2 アミューズメント	G-Link アミューズメントメニューの表示	540
3 オーナーズデスク	G-Link 利用契約をされているときに使用可能	469
4 情報確認		
5 FM 多重	FM 多重放送の表示	340
6 TEL	施設の電話番号の検索	353
	ハンズフリー画面の表示	428
7 周辺モニター	バックガイドモニターの設定	383
8 クリアランスソナー*	クリアランスソナーの設定	392
9 操作ガイド	アプリケーションの操作説明の表示	12

表示順序／項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
10 メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・消去	344
	販売店の設定・修正・消去	348
11 カレンダー	カレンダーの表示	349
12 情報付施設	情報付き施設の検索	350
13 ETC	ETC メニュー画面の表示	406
14 設定	個人情報消去	33
	電話設定	438
	操作画面継続表示の ON・OFF	29
	スイッチ色の変更	28
	音像制御の ON・OFF	31
	起動音の選択	30
	起動音音量の設定	30
15 BEEP 消	応答音の ON・OFF	31
16 前ページ、次ページ	ページの切り替え	—

*：装備の有無により表示されないことがあります。

2. FM 多重放送

FM 多重放送について

FM 多重放送は 1 つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は、連動情報番組と独立情報番組の 2 つがあります。

■ 連動情報番組

FM 音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

■ 独立情報番組

FM 音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

情報・G または INFO

FM 多重

FM 多重放送の表示

- 1 情報画面 (→ P.338) で、[FM 多重] にタッチする。



- 2 FM 多重放送の表示。



- 走行中は表示させることができない番組があります。FM 多重放送局によっては、走行中に表示される番組が限られる場合があります。

- FM 多重放送を表示中、FM 多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。(放送局側にて緊急情報を連続して更新しているときは、次ページに送ることができません。)
- 文字情報を表示させている FM 多重放送局とは別の FM 放送局の番組の音声を聞くことはできません。
- テレビの音声を聞いているときに、FM 多重放送を表示させると、テレビの音声が雑音をはいることがあります。

放送局を切り替えるには

[自動選局] にタッチする。



- FM 多重放送を表示させている放送局の音声を聞いているときは、オーディオのスイッチでも、切り替えることができます。

番組を切り替えるには

- 1 [目次] にタッチする。



- [番組連動] にタッチすると
→ 連動情報番組に切り替わります。



- 2 番組の番号にタッチする。



独立情報番組のページ送りのしかた

- ▲・▼、または [自動送り] にタッチする。



- ▲・▼にタッチすると
→ 文字情報のページを 1 ページずつ送ることができます。
- [自動送り] にタッチすると
→ 文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
・ 文字情報の自動送りを中止するときは
→ [停止]、または▲・▼にタッチ
- 走行中、および緊急情報を受信しているときは、自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を 繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは、情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときや、もう一度見たいときなど、過去に発信された情報を見ることができます。

▲・▼にタッチする。



- 文字情報の自動切り替えは中止されます。
- 自動切り替えを中止したとき、[最新情報]にタッチすると
 ➔ 最新の文字情報に戻り、もとの状態になります。

文字情報の記録・呼び出し・ 消去

記録するには

記録する文字情報を表示させて、[メモ記録]にタッチする。



- 記録項目は 20 個までです。記録する内容によっては、20 個記録できないことがあります。

呼び出すには

- 1 [メモ呼出] にタッチする。



- 2 ▲・▼にタッチして、表示させる文字情報を切り替える。

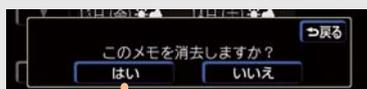
消去するには

- 1 消去する文字情報を表示させる。



2 [消去] にタッチする。

- すべての文字情報を消去するときは
➡ [全消去] にタッチ

**3** [はい] にタッチする。

- [いいえ] にタッチすると
➡ もとの画面に戻ります。

3. メンテナンス機能

メンテナンスメニュー画面
について

メンテナンス機能とは、GPS (→ P.153) のカレンダー機能と车速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内をする機能です。

- メンテナンス機能の内容・時期の設定は、レクサス販売店にご相談ください。

情報・G または INFO

メンテナンス

メンテナンスメニュー画面の表示

- 1 情報画面 (→ P.338) で、[メンテナンス] にタッチする。



- 2 メンテナンスメニュー画面の表示。



- パーソナル項目  は5つまで設定できます (→ P.345)。
- 未設定の項目は  (黒色)、すでに設定されている項目は  (緑色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は  (橙色) で表示されています。

メンテナンス時期の設定

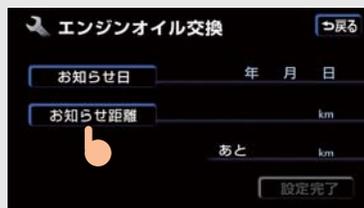
- 1 設定する項目にタッチする。



- 表示されている項目以外の項目を設定したいときは  にタッチ (→ P.345)



- 2 [お知らせ日]、または [お知らせ距離] にタッチする。



- 3 日付、距離を入力し、[完了] にタッチする。



- 間違えたときは → [修正] にタッチ
- 日付入力画面で、一桁の日付を入力するときは → [年]・[月]・[日] にタッチ
・ 2～9月と 4～9日は [月]・[日] にタッチする必要はありません。



- 4 [設定完了] にタッチする。



- メンテナンスメニュー画面で自動通知を [する] に設定すると、設定した時期にメンテナンス案内が行われます(→P.346)。

パーソナル項目の設定のしかた

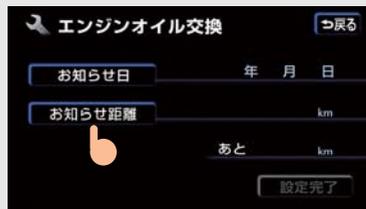
- 1 メンテナンスメニュー画面で、 にタッチする。



- 2 設定する項目にタッチする。



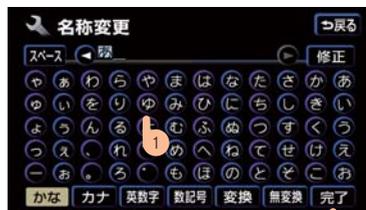
- 3 「メンテナンス時期の設定」と同様に [お知らせ日]、または [お知らせ距離] を入力する。



6

情報

- ▶  (パーソナルリマインダー) にタッチしたときは
→ パーソナル項目の名称を入力する。



- 入力のしかた (→ P.132)。

メンテナンス案内の設定

設定した日がすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が立ち上がる時、メンテナンスの案内をさせることができます。

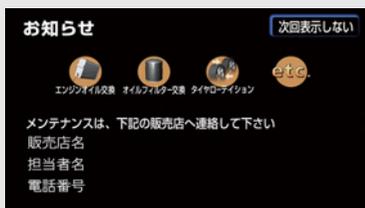
1 自動通知の【する】にタッチする。



- 案内をOFFするには →【しない】にタッチ



2 メンテナンスの案内。



- 同時に 4 つまで案内させることができます。
 - ・ 5 つ以上の項目があるときは、**etc.**が表示されます。
- 名称を入力した項目のときは、入力した名称が表示されます。
- 【次回表示しない】にタッチすると → 次にナビゲーション画面が立ち上がる時は、案内されません。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。
- 計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンス設定の消去

1 設定を消去する項目にタッチする。



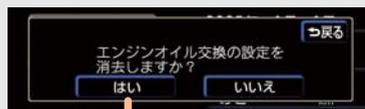
- すべての項目を消去するときは →【設定全消去】にタッチ



2 【設定消去】にタッチする。



3 【はい】にタッチする。



- 【いいえ】にタッチすると → もとの画面に戻ります。

メンテナンス設定の更新

1 設定を更新する項目にタッチする。



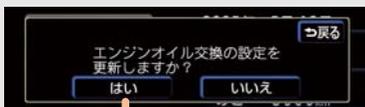
- すべての項目を更新するときは
➔ [自動全更新] にタッチ
- メンテナンス案内が行われる時期の項目
🔴 (橙色) がないときは、[自動全更新]
は表示されません。



2 [自動更新] にタッチする。



3 [はい] にタッチする。



- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
- [いいえ] にタッチすると
➔ もとの画面に戻ります。
- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。

▶ パーソナル項目の免許証更新のときは

➔ [3年後]、または [5年後] にタッチ



4 [設定完了] にタッチする。



販売店の設定

1 [販売店設定] にタッチする。



2 地図の呼び出し方法を選ぶ (→ P.81)。

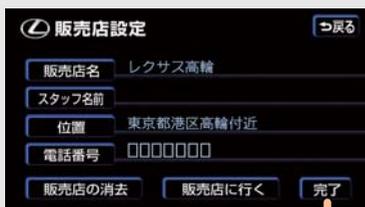


3 呼び出した地図上で、[セット] にタッチする。

- 「施設で地図を呼び出す」 (→ P.85) で販売店の地図を呼び出したとき、地図を動かさずに [セット] にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。



4 [完了] にタッチする。

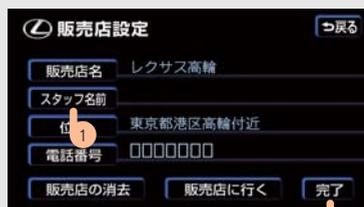


販売店の修正・入力

1 [販売店設定] にタッチする。



2 修正、入力する項目にタッチする。修正・入力が終わったら、[完了] にタッチする。



- 修正、入力方法については以下のページをご覧ください。
 - ・ 販売店名 (→ P.132)
 - ・ スタッフ名前 (→ P.132)
 - ・ 位置 (→ P.134)
 - ・ 電話番号 (→ P.134)
- 販売店の地図を表示させるには
⇒ [販売店に行く] にタッチ
- 販売店を消去するには
⇒ [販売店の消去] にタッチ

4. カレンダー機能

カレンダー画面について

カレンダーは、2005 年から 2024 年まで表示させることができます。GPS (→ P.153) の時刻表示を利用して、日時が表示されます。

情報・G または INFO



カレンダー



カレンダー画面の表示

- 1 情報画面 (→ P.338) で、[カレンダー] にタッチする。



- 2 カレンダー画面の表示。



- [▲月]・[▼月] にタッチすると
➡ 月が切り替わります。
- [▲年]・[▼年] にタッチすると
➡ 年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、[今月] にタッチすると
➡ 今月のカレンダーが表示されます。
- GPS からの時刻情報が受信されているときは、「GPS」が表示されます。
- 表示される時刻は、数秒程度誤差が生じることがあります。

5. 施設の情報の検索

情報付き施設の検索について

登録されている施設の情報を表示させることができます。

情報・G または INFO

情報付き施設

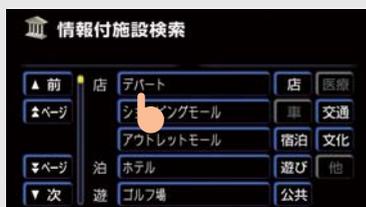
施設の選択

ナビブラウザ画面の表示

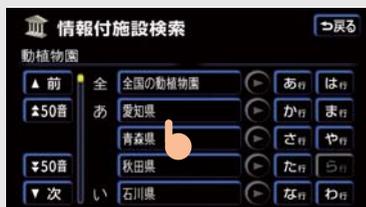
- 1 情報画面 (→ P.338) で、[情報付き施設] にタッチする。



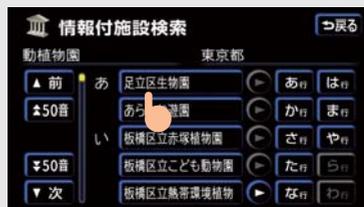
- 2 施設のジャンルにタッチする。



- 3 都道府県名、または路線名にタッチする。



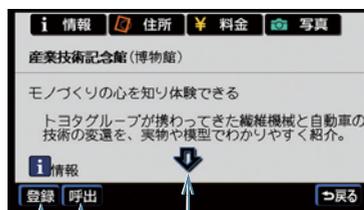
- 4 施設名称にタッチする。



- 5 ナビブラウザ画面の表示。

ナビブラウザ画面の操作

ナビブラウザは、ハードディスクに保存されている情報付き施設の表示や操作を行います。



- [住所]・[写真]などにタッチすると
→ それぞれの項目の情報が表示されます。

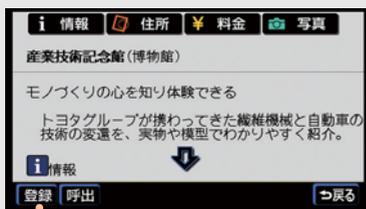
1 登録 スイッチ	表示中のページをブックマークに登録。ブックマークは50件まで登録できます。
2 呼出 スイッチ	ブックマーク画面を表示。
3 スクロール スイッチ	表示中のページが画面に収まらないとき表示されます。↓にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

ブックマークに登録する

- 1 ナビブラウザ画面で、ブックマークに登録したいページを表示させる。

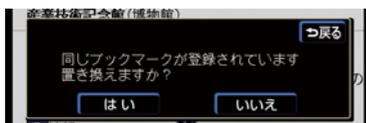


- 2 [登録] にタッチする。



- ブックマークは 50 件まで登録できます。

- ▶ 同じブックマークが登録されているときは
- ➔ 置き換えてよければ [はい] にタッチ、置き換えなときは [いいえ] にタッチ。

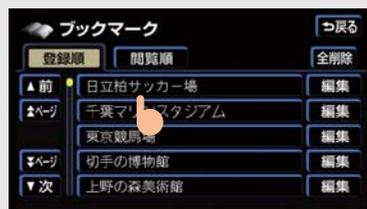


ブックマークしたコンテンツを見る

- 1 ナビブラウザ画面で、[呼出] にタッチする。



- 2 ブックマークのタイトルを選ぶ。

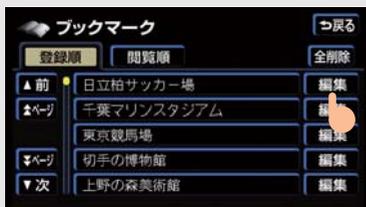


- 登録した順にリストを並べ替える
➔ [登録順] にタッチ
- 閲覧した順にリストを並べ替える
➔ [閲覧順] にタッチ
- ブックマークを削除、または変更するには
➔ [編集] にタッチ (→ P.352)

ブックマークのタイトルを変更する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

1 [編集] にタッチする。



2 [タイトル] にタッチする。



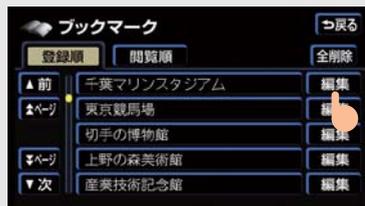
3 タイトルを入力し、[完了] にタッチする。



- 入力のしかた (→ P.132)。

ブックマークを削除する

1 [編集] にタッチする。



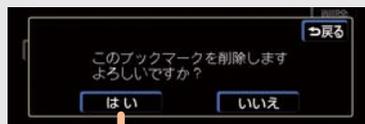
- すべてのブックマークを削除するときには
➡ [全削除] にタッチ



2 [削除] にタッチする。



3 [はい] にタッチする。



6. 電話帳

電話帳について

以下の項目の電話番号を表示させることができます。

- JAF
- 道路交通情報センター
- メモリ地点
- 目的地

情報・G または INFO

TEL

電話番号を表示させたい項目を選択

電話番号の表示

- 1 情報画面 (→ P.338) で、[TEL] にタッチする。



- 2 [交通・ナビ] にタッチする。



- 3 電話番号を表示させたい項目を選ぶ。



- [目的地] にタッチすると
 - ➔ 現在設定されている目的地の名称や電話番号を表示させることができます。
- [メモリ地点] にタッチすると
 - ➔ 登録されているメモリ地点の名称や電話番号を表示させることができます。
- ・ [地図] にタッチすると、選択された地点の地図が表示されます。

- ▶ 都道府県名を選ぶ画面が表示されたときは
- ➔ 都道府県名を選ぶ



- 4 施設名称を選ぶ。



- 5 電話番号の表示。

1 バックガイドモニター

- 1. バックガイドモニターとは 356
バックガイドモニターとは 356
- 2. 並列駐車のみしかた
（進路表示モード） 358
画面の見方 358
操作のみしかた 359
- 3. 並列駐車のみしかた
（駐車ガイド線表示モード） 361
画面の見方 361
操作のみしかた 362
- 4. 縦列駐車のみしかた
（縦列ガイドモード） 364
車の動きと画面・音声案内の流れ ... 364
操作のみしかた 367
- 5. 縦列駐車のみしかた
（駐車ガイド線表示モード） 374
画面の見方 374
操作のみしかた 375
- 6. バックガイドモニターの
注意点 377
運転時の注意 377
画面に映る範囲 378
カメラ 379
画面と実際の路面との誤差 380
立体物が近くにあるとき 381
システム初期化中画面が表示された
ときは 382

7. バックガイドモニターの設定 383

- バックガイドモニターの
設定をする 383

2 クリアランスソナー

- 1. クリアランスソナーとは 384
クリアランスソナーとは 384
- 2. クリアランスソナーが
作動したとき 388
表示距離・音声案内・ブザー音 388
障害物を感知する範囲 391
- 3. クリアランスソナーの設定 392
画面表示とブザーの設定 392
- 4. 異常時の画面表示 393
クリアランスソナー異常時の
画面表示 393
- 5. クリアランスソナーの注意点 394
使用時の警告と注意 394

1. バックガイドモニターとは

バックガイドモニターとは

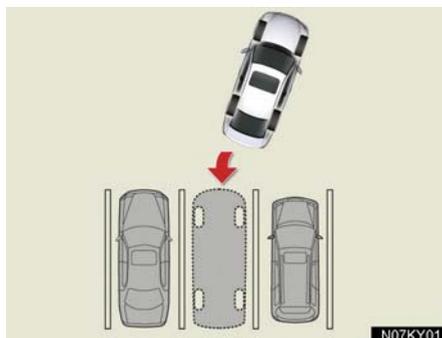
車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線や音声案内で、駐車時の後退操作を補助する装置です。

バックガイドモニターは、以下の2通りの駐車方法について補助します。

- 車庫入れのような並列駐車。進路表示モードか駐車ガイド線表示モードを使います。
- 路側などに止める縦列駐車。縦列ガイドモードか駐車ガイド線表示モードを使います。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

並列駐車



■ 進路表示モード (→ P.358)

ハンドル操作に連動した予想進路線が表示されるモードです。

■ 駐車ガイド線表示モード (→ P.361)

ハンドルの切り返し点 (駐車ガイド線) が表示されるモードです。車両感覚になれた方や、進路表示モードを必要とせず、に駐車できる方はご使用ください。

縦列駐車



■ 縦列ガイドモード (→ P.364)

画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

■ 駐車ガイド線表示モード (→ P.374)

ハンドルの切り返し点 (駐車ガイド線) のみが表示されるモードです。車両感覚になれた方や、縦列ガイドモードが使用できないときにご使用ください。

ガイド画面の出し方

“エンジンスターストップ”スイッチがイグニッション ON モードのとき、シフトレバーを R にすると、バックガイドモニターの画面になります。

バックガイドモニターの解除

シフトレバーを R 以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

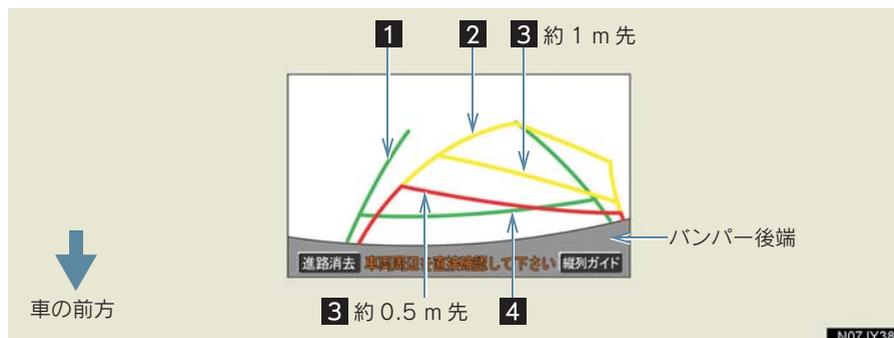
- シフトレバーを R にして、、または ・ などの各モードのスイッチを押したときは
➔ バックガイドモニターは解除され、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

クリアランスソナー装着車は

クリアランスソナーが障害物を感知すると、ガイド画面右上に割り込み表示がされます (→ P.386)。

2. 並列駐車のかた（進路表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • 実際の車幅より広く表示。 • 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。
2 予想進路線	ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す。
3 距離目安線	ハンドル操作と連動して、車の後方の距離を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • 予想進路線と連動する。 • バンパー後端の中心位置から約 0.5 m 先 (赤色)・約 1 m 先 (黄色) を示す。
4 距離目安線	車の後方の距離を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

予想進路線・車幅延長線の解除のかた

- [進路消去] にタッチすると
 ➔ 予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。このとき、距離目安線はハンドル操作と連動しなくなります。
- [進路表示] にタッチすると
 ➔ ふたたび表示されます。

⚠ 警告

■ 後退するときは

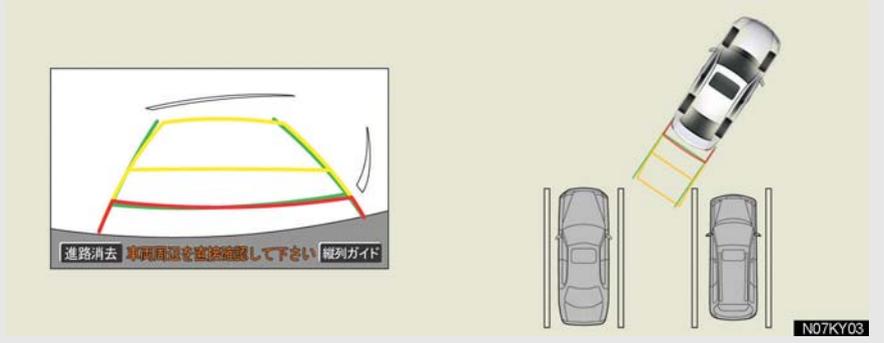
必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

■ 直進状態で車幅延長線と予想進路線がずれているときは

約 5 分以上直進してください。直進しても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

操作のしかた

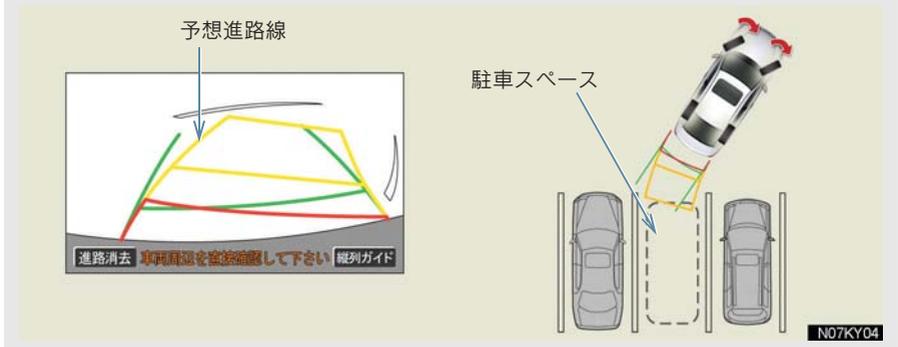
- 1 シフトレバーを R にする。



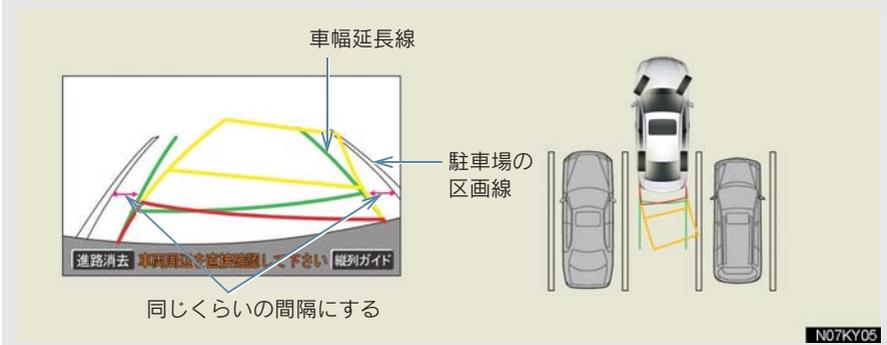
- 進路表示モードになっていないときは、進路表示モードにします (→ P.383)。



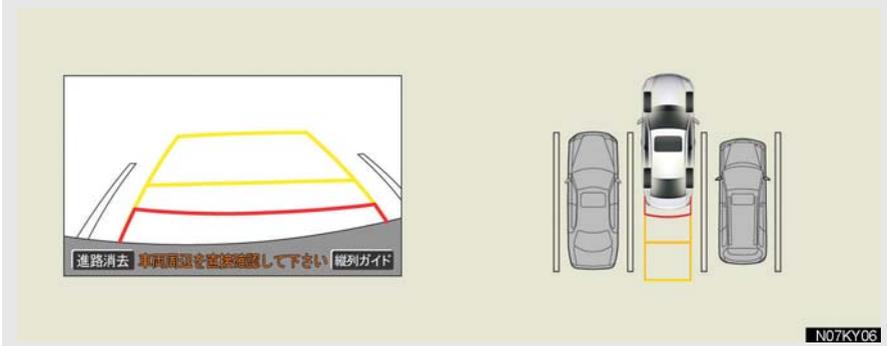
- 2 予想進路線が駐車スペースの中に入るように、ゆっくり後退する。



- 3** 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、同じくらいになるようにハンドルを操作する。



- 4** 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

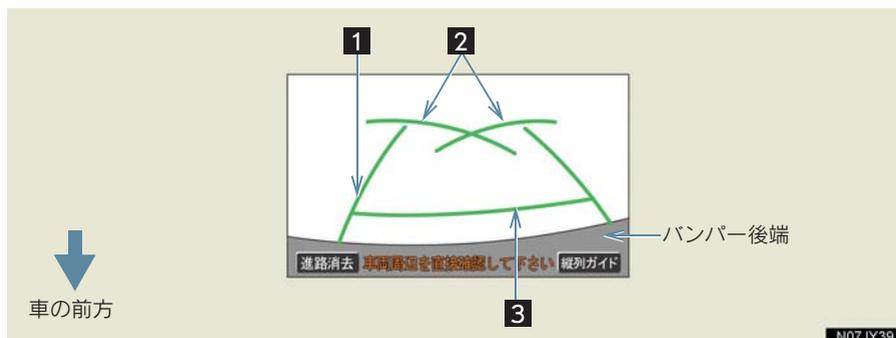


駐車するときは

- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても、実際は平行でないことがあります。必ず直接確かめてください。

3. 並列駐車のかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



N07JY39

表示	内容
1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示。
2 駐車ガイド線	もともと後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。 ●駐車時にハンドルを操作する位置の目安。
3 距離目安線	車の後方の距離を示す。 ●バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

車幅延長線の解除のかた

- [進路消去] にタッチすると ➡ 車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。
- [進路表示] にタッチすると ➡ ふたたび表示されます。

⚠ 警告

■ 後退するときは

必ず後方や周囲の安全を直接確かめてください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

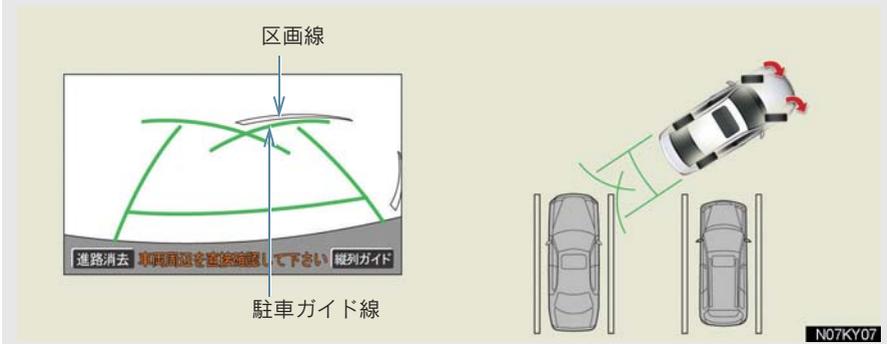
操作のしかた

1 シフトレバーを R にする。

- 駐車ガイド線表示モードになっていないときは、駐車ガイド線表示モードにします (→ P.383)。



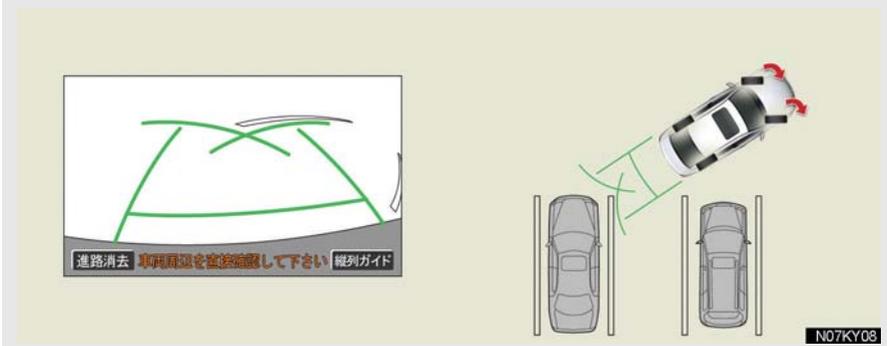
2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



- 駐車スペースの幅が約 2.2 m のときを基準にしています。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。



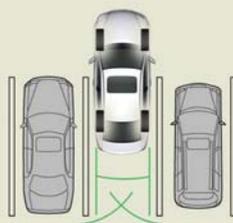
3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。



- 逆方向から駐車するときは、ハンドル操作が逆になります。



- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

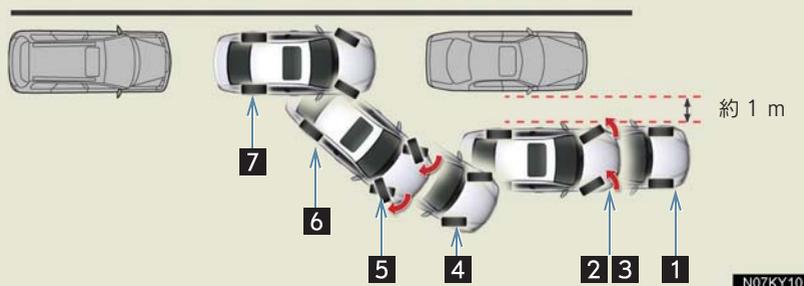


N07KY09

4. 縦列駐車のかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

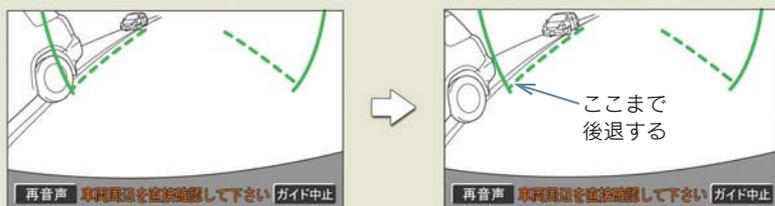
操作と画面・音声案内の流れは、手順の**1**～**7**をご覧ください。



- 1** 道路と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置で止まる。



- 2** 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。

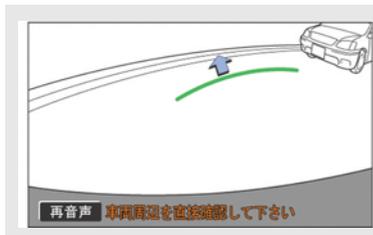
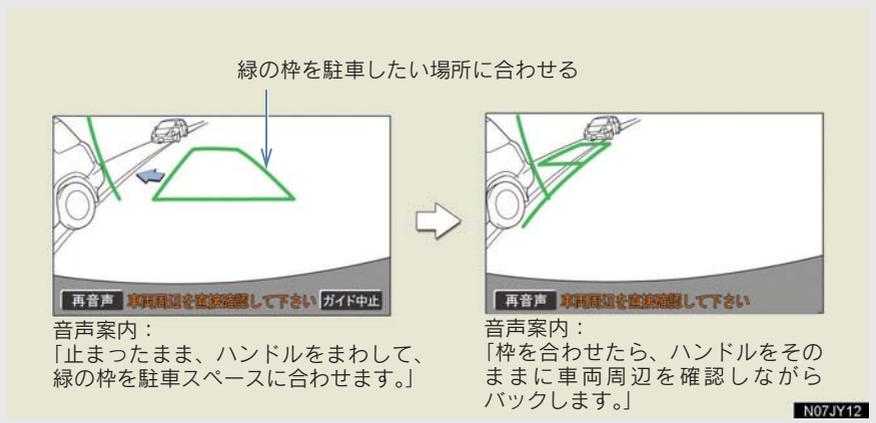


音声案内：「ボン」 緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

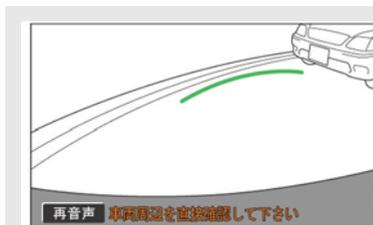
N07JY11



- 3** 車を止めたまま、ハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。



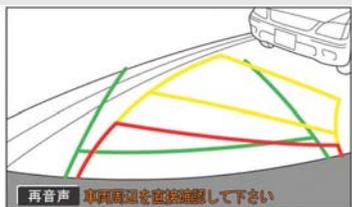
- 4** 緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。



- 5** 駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。

音声案内：
「“ボン” 緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」





音声案内：
「ハンドルをそのままに、車両周辺を
確認しながらバックします。」

- 6 ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確かめ後退する。



- 7 車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。

音声案内を中止するには

【ガイド中止】にタッチします。シフトレバーを R にしたときの画面に戻ります。

- 音声案内をもう一度聞きたいときは ➡ 【再音声】にタッチ

クリアランスソナー装着車は

- 縦列ガイド音声出力中にクリアランスソナーが障害物を感知したとき、クリアランスソナーの音声案内（→ P.390）を優先して出力します。
- 【再音声】にタッチすると
➡ 縦列ガイド音声を優先して出力します。このとき、縦列ガイド音声出力中にクリアランスソナーが障害物を感知すると、クリアランスソナーの音声案内を優先して出力します。

警告

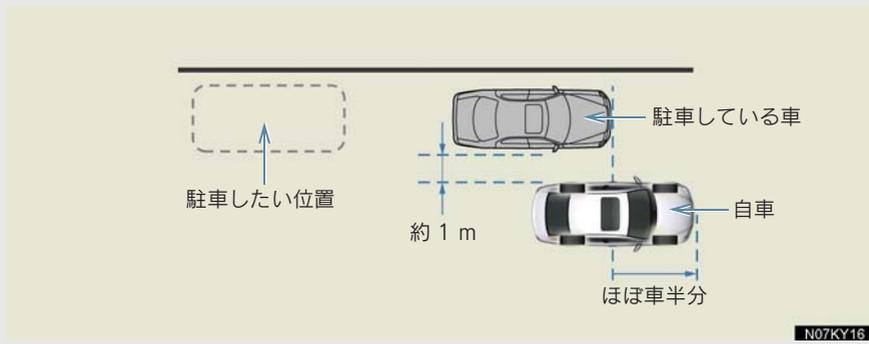
■ 縦列ガイドモードを使うときは

- カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では、使わないでください。
- 必ず車を止めてハンドル操作をしてください。

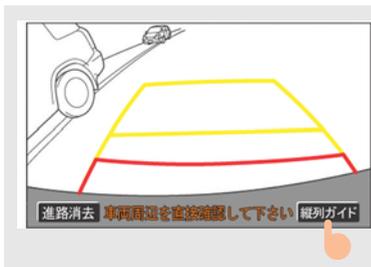
操作のしかた

1 以下の位置に車を止め、ハンドルをまっすぐにする。

- 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置
- 駐車している車より車半分ほど前の位置



2 シフトレバーを R にする。



3 駐車している車のリヤタイヤより後方が映っていることを確かめ、[縦列ガイド] にタッチする。

- 映っていないときは車を前進させ位置を調整します。





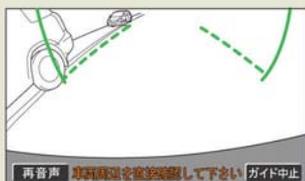
4 画面と同じ位置に、車が止まっていることを確かめ、[次へ] にタッチする。

- 前の画面に戻るには → [ガイド中止] にタッチ
- [次回からこの表示を省略] にタッチすると
→ この画面は表示されなくなります。ふたたび表示させるには (→ P.383)。

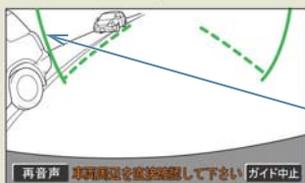


5 ハンドルをまっすぐにしたまま、音声案内にしたがい緑の縦線が隣の駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。

音声案内：
「“ポン” 緑の縦線が隣の車のうしろに
合うまでバックして止まります。」

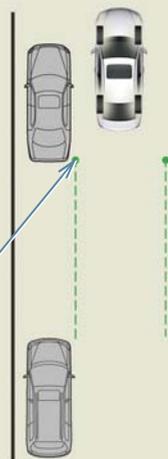


後退



ここまで後退し
止まる

緑の縦線



N07KY18

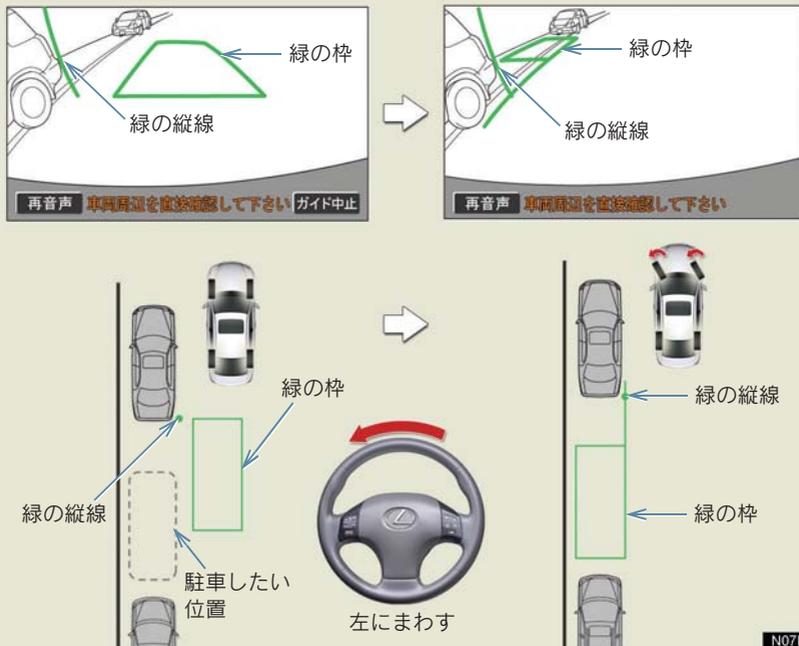
- ハンドルをまっすぐにしなくて後退すると、次の音声案内まで進むことがあります。そのときは、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、操作しなおしてください。



- 6 緑の枠が表示されます。音声案内にしたがい、止まったまま、ハンドルをまわして緑の枠を駐車したい位置に合わせる。

音声案内：

「止まったまま、ハンドルをまわして、
緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

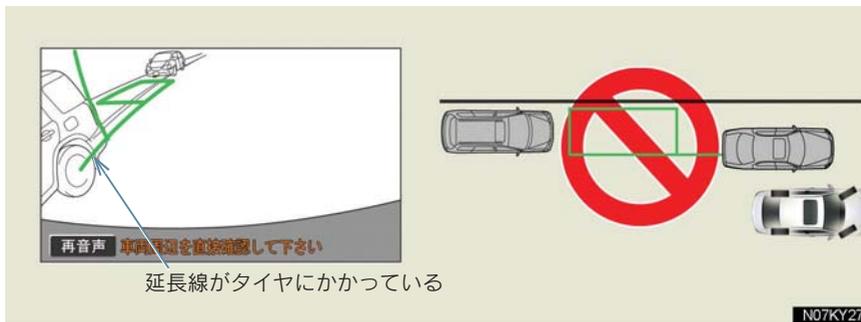


- 左側の駐車スペースに駐車するときは左へ、右側の駐車スペースに駐車するときは右へハンドルをまわします。

⚠ 注意

■ 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確かめてください。緑の枠の中に障害物があるときは、縦列ガイドモードを使うことはできません。
- 必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると、前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



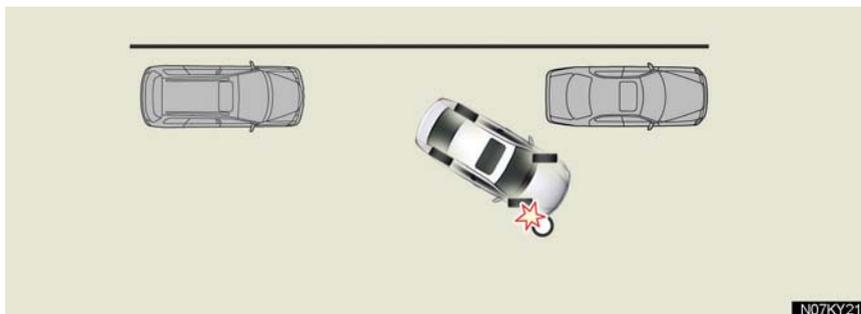
- 7** 音声案内にしたがい、ハンドルをそのままの状態にして後退する。
音声案内：「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

- 後退中にハンドルを操作すると、ガイドが中断します。シフトレバーをR以外にして、最初から操作しなおしてください。

⚠ 注意

■ 後退するときは

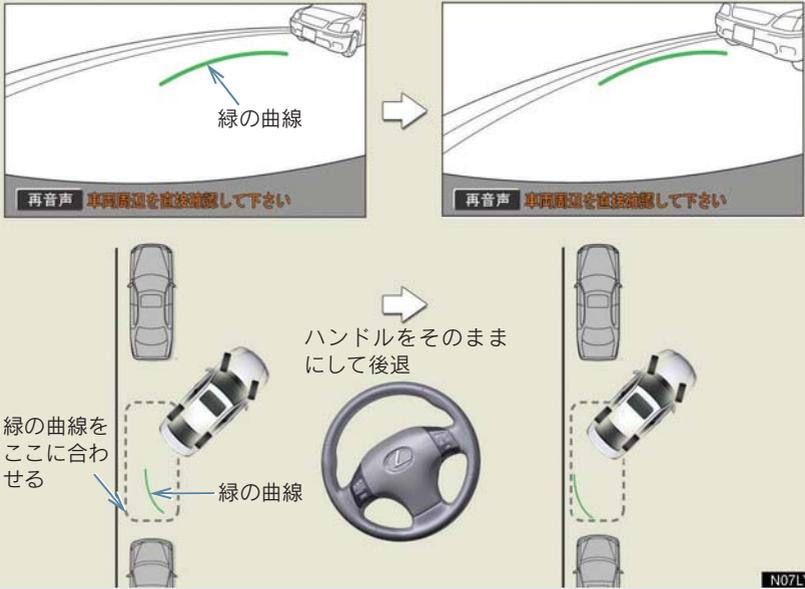
車の前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



- 8** 緑の曲線が表示されたら、音声案内にしたがい、ハンドルをそのままの状態にして、後退する。緑の曲線が駐車したい位置に合ったら止まる。

音声案内：

「“ボン” 緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」



- 左側の駐車スペースに駐車するときは左端の地点へ、右側の駐車スペースに駐車するときは右端の地点に合わせます。

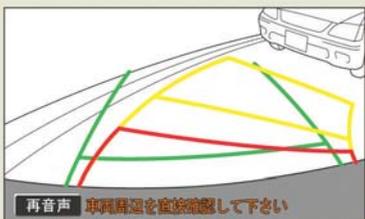


- 9** 車を止めたまま、ハンドルをいっぱいまでまわす。

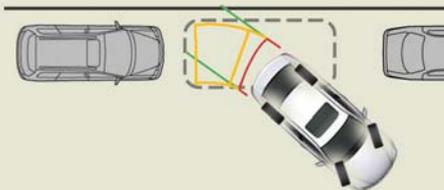
- 左側の駐車スペースに駐車するときは右へ、右側の駐車スペースに駐車するときは左へハンドルをまわします。



- 10** 画面が切り替わったら、音声案内にしたがいハンドルをそのままの状態にして、後退する。



音声案内：
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

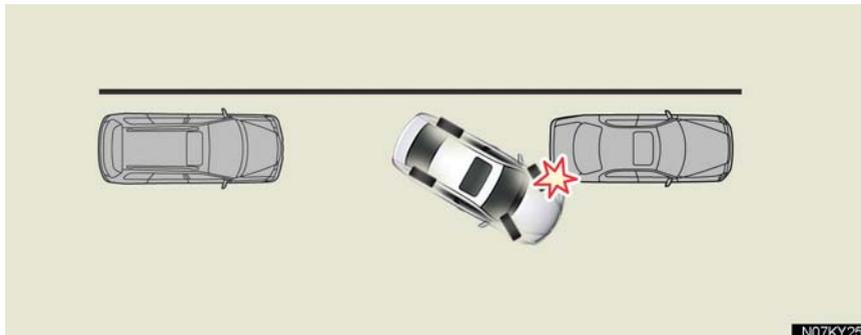


N07KY24

! 注意

■ 後退するときは

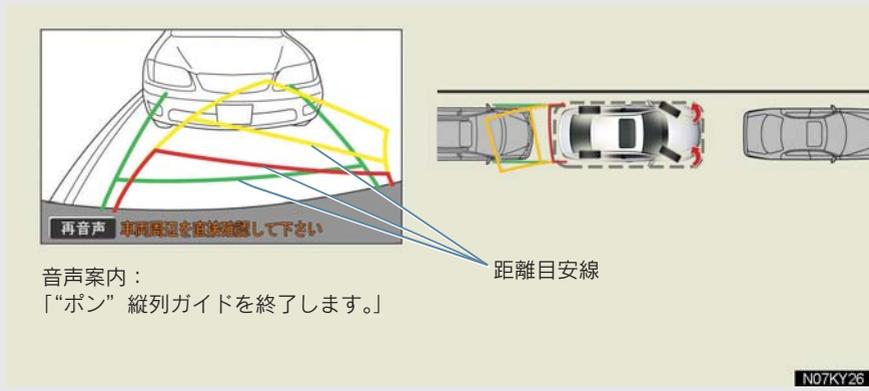
車の前端を前方に駐車している車に接触しないよう注意して、ゆっくり後退してください。



N07KY25



- 11** 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐに戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確かめてゆっくり後退し止まります。



- 車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了します。

クリアランスソナー装着車は

右側の駐車スペースに駐車するときに、クリアランスソナーが障害物を感知すると、緑の縦線がクリアランスソナーの画面表示に隠されてしまうことがあります。このようなときはクリアランスソナースイッチをOFFにし(→P.385)、周囲の安全を直接確かめながら車を操作してください。操作終了後、スイッチをONにしてください。

「ガイドできません ハンドルを戻して下さい」が表示されたときは

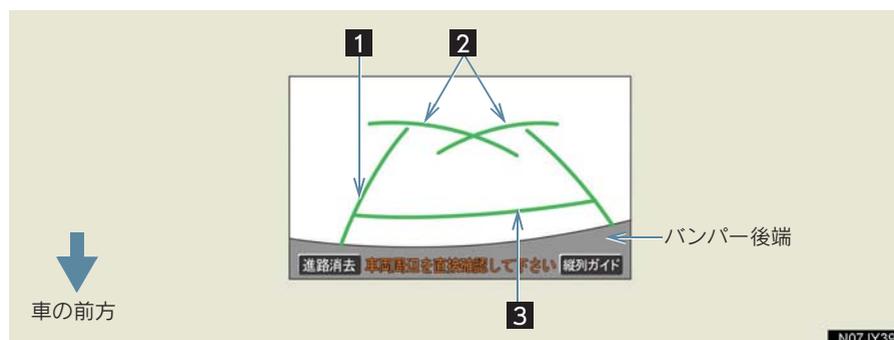
- 縦列ガイドが中断されます。ハンドルを戻してください。
- 枠が正しい駐車位置に合っているにもかかわらず、メッセージが表示されたとき、車が路肩より離れすぎていることが考えられます。隣に駐車している車との間隔(約1m)を確認してください。

後退するときは

- ごく低速で後退すると、次の案内がないことがあります。
- 後退を始めると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確かめながら運転してください。
- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

5. 縦列駐車のかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 <ul style="list-style-type: none"> 実際の車幅より広く表示。
2 駐車ガイド線	もっとも後方へ小回りしたときの進路の目安を示す。 <ul style="list-style-type: none"> 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。
3 距離目安線	車の後方の距離を示す。 <ul style="list-style-type: none"> バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

車幅延長線の解除のかた

- [進路消去] にタッチすると ➔ 車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。
- [進路表示] にタッチすると ➔ ふたたび表示されます。

! 警告

■ 後退するときは

必ず後方や周囲の安全を直接確かめてください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

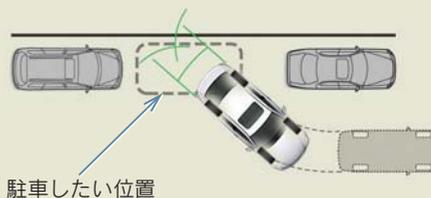
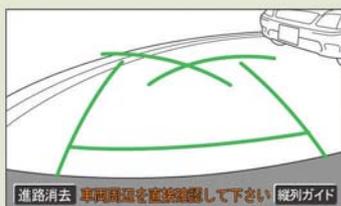
操作のしかた

1 シフトレバーを R にする。

- 駐車ガイド線表示モードになっていないときは、駐車ガイド線モードにします (→ P.383)。



2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。

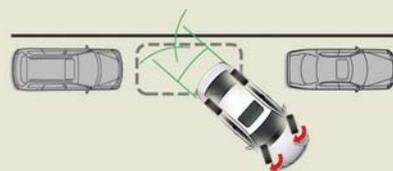
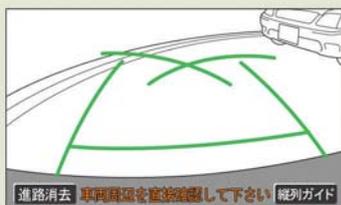


N07KY28

- 右側の駐車スペースへ駐車するときは、右端に合わせます。



3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。



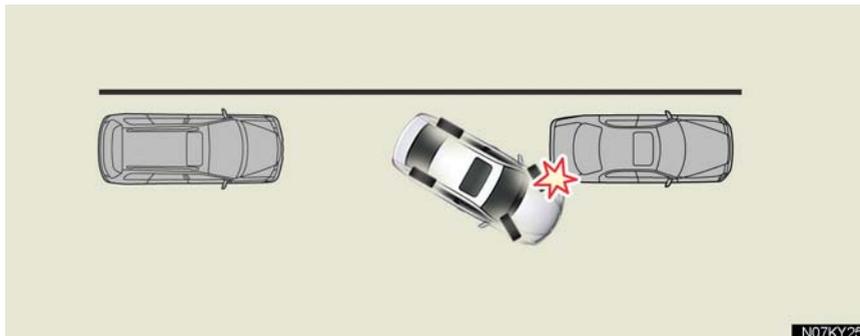
N07KY29

- 右側の駐車スペースへ駐車するときは、左へまわします。

 注意

■ 後退するときは

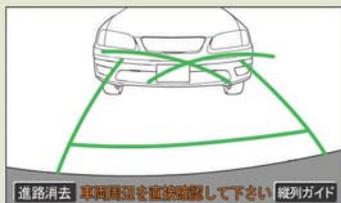
車の左前端を、前方に駐車している車に接触しないよう注意してください。



N07KY25



- 4** 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、最適な位置までゆっくり後退し、駐車を終える。



N07LY01

6. バックガイドモニターの注意点

運転時の注意

後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

 警告

■ バックガイドモニターを使用してはいけない状況

- 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
- タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- トランクが完全に閉まっていないとき
- 坂道など平坦でない道路

■ バックガイドモニターを使用するときは

- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例です。道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるか確認してから操作してください。
- バックガイドモニターを過信しないでください。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

■ 外気温が低いときは

画面が以下になることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認してください。

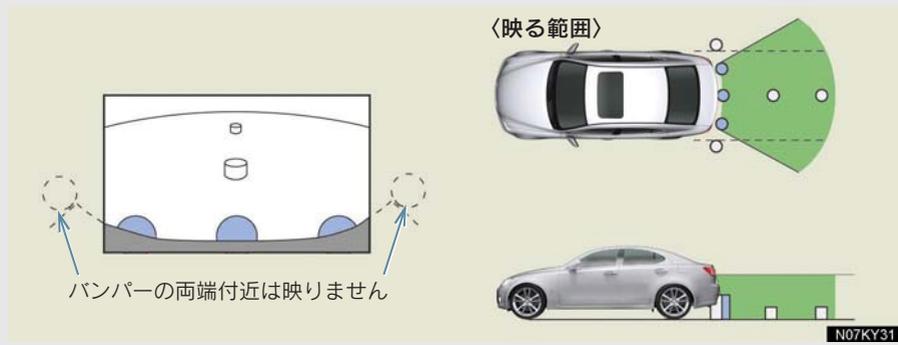
- 画面が暗くなる、映像が薄くなる
- 動いているものの映像が歪む、見えなくなる

■ タイヤを交換するときは

画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがありますので、レクサス販売店にご相談ください。

画面に映る範囲

バックガイドモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

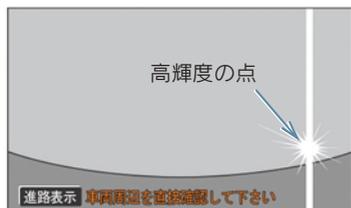


画面に映る範囲について

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面について

- 以下のような状況では画面が見にくいことがありますが、異常ではありません。
 - ・ 夜間など暗いところ
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低い
 - ・ カメラに水滴がついた
 - ・ 雨天時など湿度が高い
 - ・ カメラ付近に泥などの異物がついた
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった



- ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、その点の上下（縦方向）に尾を引く現象が発生することがあります

- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです（→ P.25）。

カメラ



バックガイドモニターのカメラはナンバープレートの上側にあります。

カメラのお手入れ

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることはできません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

注意

■ カメラの取り扱いについて

バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことを必ずお守りください。

- カメラ部に強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりしないでください。レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラカバーは樹脂でできています。カメラのカバーに有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

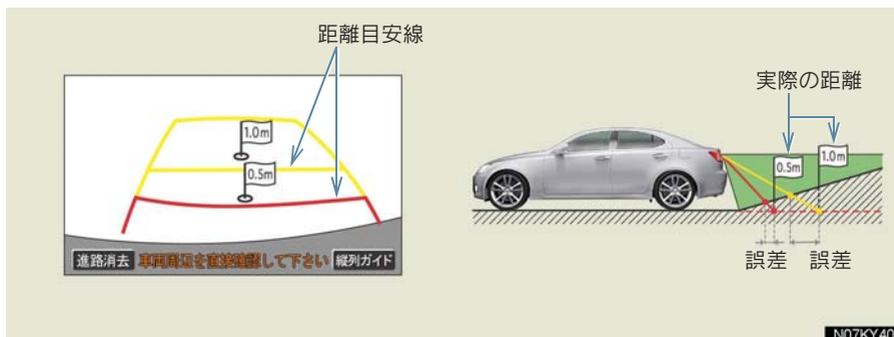
カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障のおそれがあります。お早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

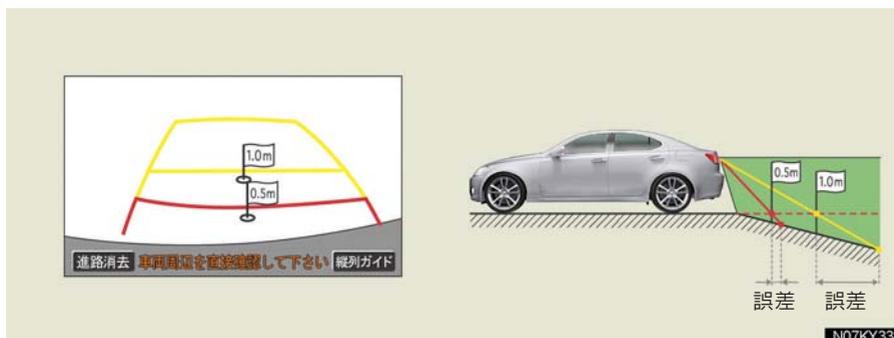
急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



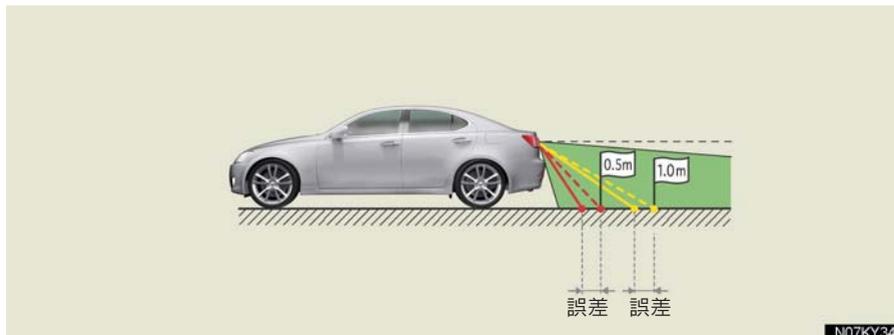
急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



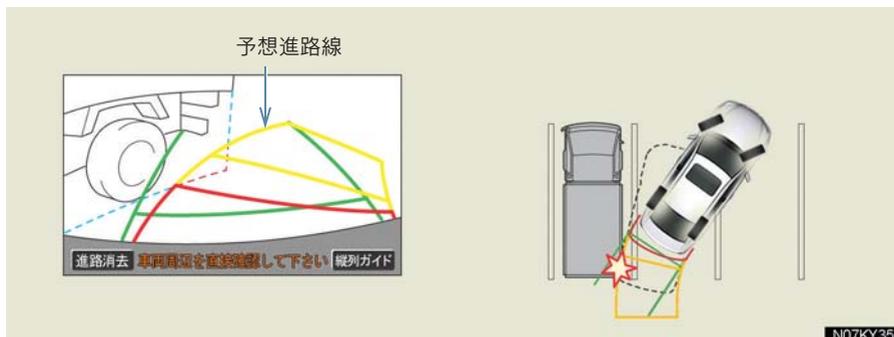
N07KY34

立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

予想進路線が障害物の近くを通るときは

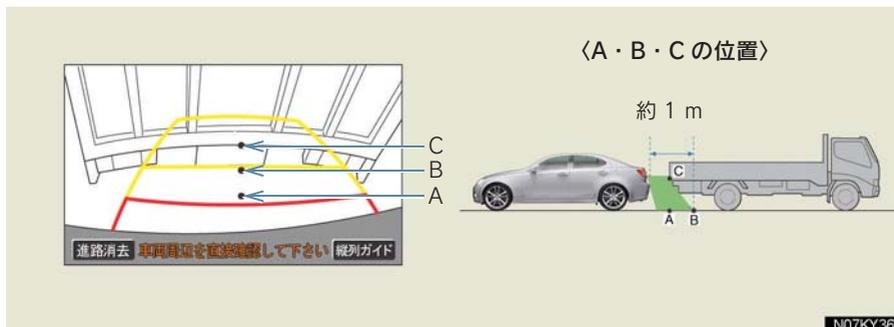
後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



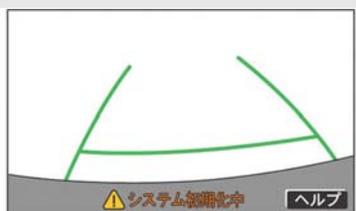
N07KY35

距離目安線が障害物の近くにあるときは

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。



システム初期化中画面が表示されたときは



バッテリーの取りはずし・取り付け作業・バッテリー能力が低下したときなどに「システム初期化中」が表示されます。このとき、以下の処置が必要です。

以下のいずれかの操作をしてください。

- 車を止め、ハンドルを左（または右）いっぱいにまわしたあと、右（または左）にまわす。
- 曲り角・カーブのない道路を前進で約 5 分以上走行する。
操作終了後通常の画面に戻れば、設定完了です。システム初期化中画面が表示されたままのときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

ヘルプ画面



- システム初期化中画面で、[ヘルプ] にタッチすると
➡ ヘルプ画面が表示されます。画面に表示されている操作終了後、通常の画面に戻れば、設定完了です。ヘルプ画面が表示されたままのときは、レクサス販売店で点検を受けてください。
- [了解] にタッチすると
➡ もとの画面に戻ります。

7. バックガイドモニターの設定

バックガイドモニターの設定をする

バックガイドモニターは、以下の設定ができます。

- 縦列ガイド音量設定
- はじめのコツ表示
- 駐車ガイド線表示

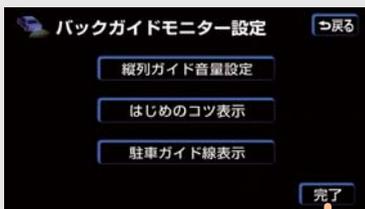
1 、または を押す。



2 [周辺モニター] にタッチする。



3 設定する項目を選び、設定が終わったら [完了] タッチする。



▶ [縦列ガイド音量設定] にタッチしたときは

➔ [消音 小 ・ ・ 大] のいずれかにタッチ



- 音声案内の音量を調整できます。
- [消音] にタッチしたときは
➔ 音声案内されません。

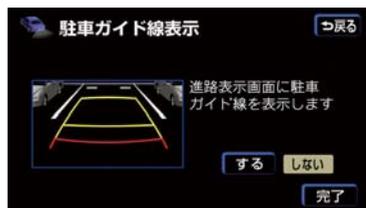
▶ [はじめのコツ表示] にタッチしたときは

- [する] にタッチすると
➔ 縦列ガイドモードで「はじめのコツ」が表示されます。
- [しない] にタッチすると
➔ 縦列ガイドモードで「はじめのコツ」が表示されません。



▶ [駐車ガイド線表示] にタッチしたときは

- [する] にタッチすると
➔ 駐車ガイド線表示モードになります。
- [しない] にタッチすると
➔ 進路表示モードになります。



1. クリアランスソナーとは

クリアランスソナーとは

クリアランスソナーは、車両前後のソナーで測定した障害物とお車の距離を、メーター内のマルチディスプレイとモニター画面の表示、音声案内、ブザー音でお知らせします。

必ず周囲の安全を確かめ正しくお使いください。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

クリアランスソナーの種類



1 フロントコーナーソナー

- フロントコーナー部周辺の障害物を感知します。

2 リヤコーナーソナー

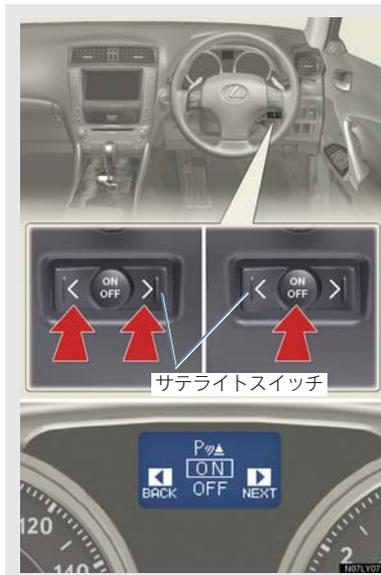
- リヤコーナー部周辺の障害物を感知します。

3 バックソナー

- リヤバンパー後方の障害物を感知します。

* : 車両型式などで異なる装備やオプション装備

クリアランスソナー ON・OFF の切り替え方



サテライトスイッチ

- 1 サテライトスイッチの<、または>をクリアランスソナーモードになるまで押す。
- 2 ON・OFF スイッチを押すごとに ON・OFF が切り替わる。
 - “エンジンスタートストップ” スイッチがイグニッション ON モードのとき使用できません。
 - クリアランスソナーがONで以下の条件のときに作動します。
 - ・フロントコーナースォナーはシフトレバーがP以外の位置で作動します。
 - ・リヤコーナースォナー、バックソナーはシフトレバーがRの位置で作動します。
 - ・フロントコーナースォナー、リヤコーナースォナーは、車速が約 10 km/h 以下のときに作動します。

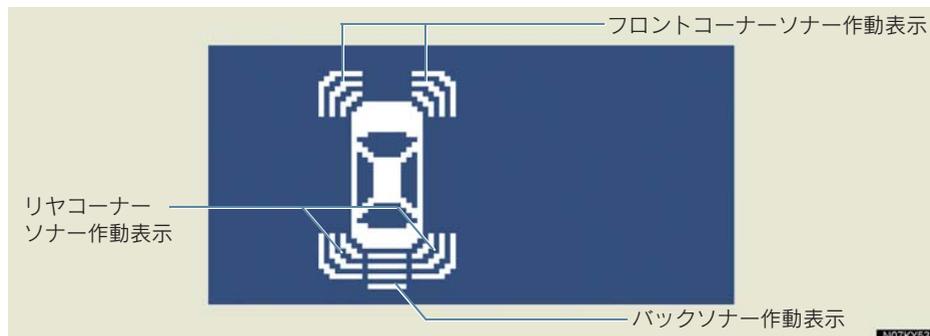


作動中はメーター内にインジケーターが点灯します。

マルチディスプレイとモニター画面の表示

障害物と接触のおそれがあるときは、メーター内のマルチディスプレイ、およびモニター画面でお知らせします。

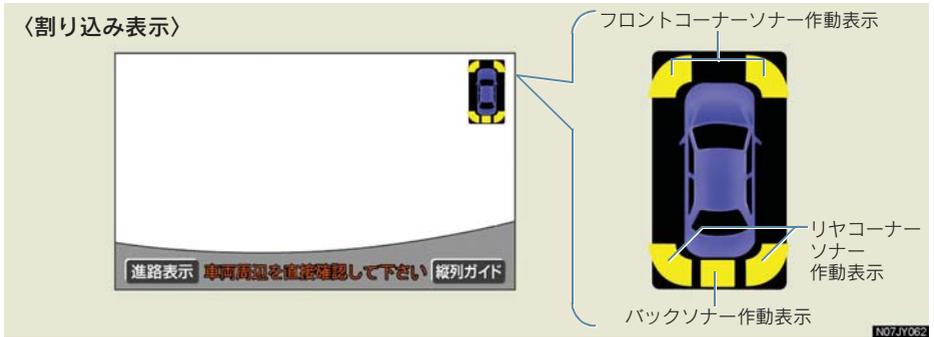
マルチディスプレイの表示



モニター画面の表示

〈通常表示〉





バックガイドモニター表示中にクリアランスソナーが作動すると、モニター画面の右上に割り込み表示します。

2. クリアランスソナーが作動したとき

表示距離・音声案内・ブザー音

クリアランスソナーが作動したとき、障害物とのおよその距離を画面に表示するとともに音声とブザーでお知らせします。

フロントコーナーソナー作動表示と障害物との距離

障害物までの距離	マルチディスプレイ	モニター画面 (通常表示)	モニター画面 (割り込み表示)
約 50 cm から 37.5 cm	 (点灯)	 (点灯)	 (点滅)
約 37.5 cm から 25 cm	 (点灯)	 (点灯)	 (速い点滅)
約 25 cm 以下	 (点滅)	 (点灯)	 (点灯)

リヤコーナーソナー作動表示と障害物との距離

障害物までの距離	マルチディスプレイ	モニター画面 (割り込み表示)
約 50 cm から 37.5 cm	 (点灯)	 (点滅)
約 37.5 cm から 25 cm	 (点灯)	 (速い点滅)
約 25 cm 以下	 (点滅)	 (点灯)

バックソナー作動表示と障害物との距離

障害物までの距離	マルチディスプレイ	モニター画面（割り込み表示）
約 150 cm から 60 cm	 (点灯)	 (ゆっくり点滅)
約 60 cm から 45 cm	 (点灯)	 (点滅)
約 45 cm から 35 cm	 (点灯)	 (速い点滅)
約 35 cm 以下	 (点滅)	 (点灯)

音声案内

障害物を感知すると、障害物の位置が音声案内されます。

障害物を感知したセンサー	音声案内
右前 1カ所 (フロントコーナーソナー右側)	「右前です」
左前 1カ所 (フロントコーナーソナー左側)	「左前です」
右後 1カ所 (リヤコーナーソナー右側)	「右後です」
左後 1カ所 (リヤコーナーソナー左側)	「左後です」
前 2カ所 (フロントコーナーソナー 2カ所)	「前です」
バックソナー 1カ所、または 後 2カ所以上 (リヤコーナーソナー、バックソナー 2カ所以上)	「後です」
右前後 2カ所 (フロントコーナーソナー右側とリヤコーナーソナー右側)	「右前後です」
左前後 2カ所 (フロントコーナーソナー左側とリヤコーナーソナー左側)	「左前後です」
<ul style="list-style-type: none"> ● 対角 2カ所 (フロントコーナーソナー右側とリヤコーナーソナー左側、またはフロントコーナーソナー左側とリヤコーナーソナー右側) ● コーナー部 3カ所以上 ● フロントコーナーソナーとバックソナー 	「前後です」

- 音声案内の音量は変更、または消すことができます (→ P.392)。
- 障害物の感知箇所が増えたときは、増えた状態で音声案内されます。たとえば、右前に障害物が感知されているときに、あらたに左前に障害物を感知したときには「前です」と案内します。感知箇所が減ったときには、音声案内されません。
- 音声案内は障害物を感知し始めたときに 1 回案内します。(障害物・条件によっては何度か案内することがあります)。

ブザーの作動と障害物の距離

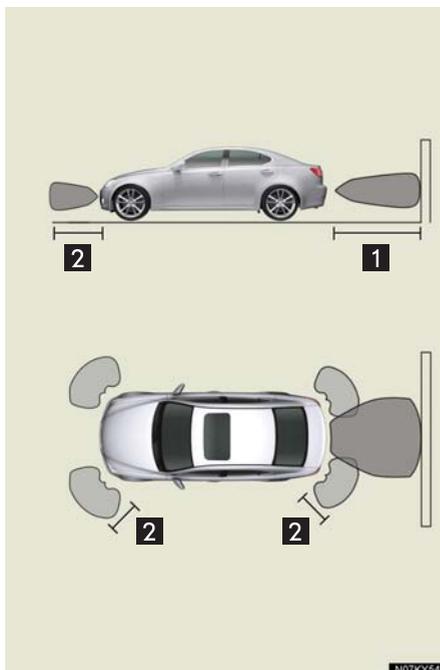
ブザーは障害物を感知したときに鳴ります。障害物との距離が近づくと、ブザーの断続時間が短くなります。

- 障害物との距離が以下のとき、ブザーは断続音「ピピピ」から連続音「ピー」になります。
 - ・ フロントコーナーソナーとリヤコーナーソナーが感知した障害物との距離が 25 cm 以下
 - ・ バックソナーが感知した障害物との距離が 35 cm 以下
- 複数のソナーが同時に障害物を感知しているときは、もっとも近い障害物との距離に合わせたブザー音が鳴ります。

- 障害物を車両前後の複数箇所で同時に感知したときは、以下のようにブザー音がかわります。
 - ・ 車両前方、または後方で障害物を約 25 cm 以内に感知している状態（ブザー連続音作動中）で、もう一方の部位で新たに障害物を感知すると、ブザー音は「ピピピ ピー」を繰り返します。
 - ・ 車両前方または後方で障害物を約 25 cm 以内に感知している状態（ブザー連続音作動中）で、もう一方の部位も約 25 cm 以内に障害物を感知すると、ブザー音は「ピピ ピー」を繰り返します。
- ブザーの音量・出カタイミングは、かえることができます（→ P.392）。

障害物を感知する範囲

各センサーの感知範囲



1 約 150 cm (1.5 m)

2 約 50 cm (0.5 m)

- センサーが感知できる範囲は左図の範囲のみです。障害物がセンサーに近づきすぎると感知できません。

2. クリアランスソナー

3. クリアランスソナーの設定

画面表示とブザーの設定

- 1 情報、または INFO を押す。

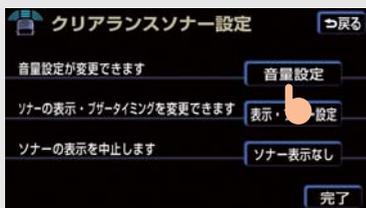


- 2 [クリアランスソナー] にタッチする。



音声案内・ブザーの音量をかえるには

- 1 [音量設定] にタッチする。



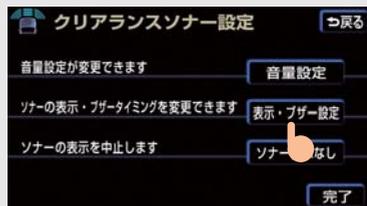
- 2 ブザーの音量・音声案内の音量の設定をして、[完了] にタッチする。



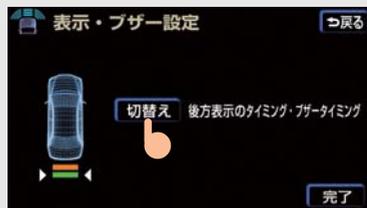
- [消音] にタッチしたときは
➔ 音声案内されません。

バックソナー検知表示・ブザー出力タイミングをかえるには

- 1 [表示・ブザー設定] にタッチする。



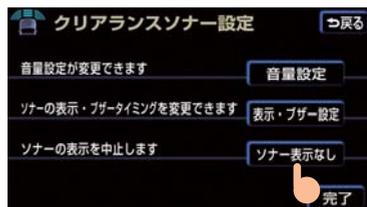
- 2 [切替え] にタッチするごとに、バックソナー検知表示・ブザー出力のタイミングを切り替えることができます。設定が終わったら [完了] にタッチする。



- 車両近くに設定したときは
➔ 約 60 cm 以内で出力
- 車両遠くに設定したときは
➔ 約 1.5 m 以内で出力

クリアランスソナーの画面表示をなくすには

[ソナー表示なし] にタッチするごとに、表示・非表示の設定ができます。



4. 異常時の画面表示

クリアランスソナー異常時の画面表示

- 障害物を感知していないときに、ソナーの異常が発生した場合は、表示と同時に異常を知らせるブザーが約7秒間鳴ります。
 - ・ 障害物を感知しているときは感知報知を優先します。続けて別のソナーの異常が発生したときには異常を知らせるブザーが約7秒間鳴ります。
- 異常を知らせる表示が出ていても、以下のときは表示されなくなります。
 - ・ 他のモードに画面を切り替えたとき
 - ・ クリアランスソナーを OFF にしたとき

センサー部に雪氷や泥などが付着しているとき

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉



- 障害物を正常に感知することができないソナーの位置が表示されます。ソナー部に付着している異物を取り除いてください（画面は左前側のときです）。
- ソナー部の汚れを取り除いても表示が出るとき、またはソナー部が汚れていなくても表示が出るときはソナーの異常が考えられます。レクサス販売店で点検を受けてください。

7

周辺監視

センサーが故障しているとき

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉



- 異常のあるソナーの位置が表示されます。レクサス販売店で点検を受けてください（画面は左前側のときです）。

5. クリアランスソナーの注意点

使用時の警告と注意

警告

■ 使用時の警告

- ソナーの感知範囲、作動速度には限界があります。車を前進・後進するときは、必ず車両周辺（特に車両側面など）ソナー感知範囲外の安全を確認し、ブレーキで車速を十分に制御し、ゆっくり運転してください。
- ・ ソナーの感知範囲は車両コーナー部と後部のバンパー周辺に限られます。
- ・ 障害物の形状・条件によっては感知できる距離が短くなることや、感知できないことがあります。
- ・ 障害物を感知してから、表示やブザーが出るまでに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも表示やブザーが出る前に、障害物まで約 25 cm 以内に接近するおそれがあります。
- ・ 路面状況（雨、砂利など）により、制動距離が変化します。
- ソナーが感知する範囲にはアクセサリ用品などを取り付けしないでください。クリアランスソナーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 以下のとき、クリアランスソナーが正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。注意して運転してください。
- ・ ソナーに氷、雪、泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）。
- ・ ソナー部が凍結したとき（溶ければ、正常に復帰します）。とくに低温時には凍結などにより異常表示が出たり、障害物があっても感知しないことがあります。
- ・ 車両姿勢が大きく傾いたとき
- ・ 炎天下や寒冷時
- ・ 凸凹道、坂道、砂利道、草むら走行時など
- ・ 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、他車のクリアランスソナーなどの超音波を発生するものが近づいたとき
- ・ どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- ・ 市販のフェンダーポール、無線機アンテナを車につけたとき
- ・ 牽引フックを取り付けたとき
- ・ 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
- ・ 標識等の物体によっては感知距離が短くなります
- ・ バンパー真下付近は感知しません
センサーより低い物体や細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知しなくなることがあります。
- ・ ソナーに障害物が近づきすぎたとき

■ 正確に感知できないことがある障害物

- 以下のような物は感知しないことがあります。注意して運転してください。
- ・ 針金、フェンス、ロープなどの細いもの
- ・ 綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
- ・ 鋭角的な形のもの
- ・ 背が高く上部が張り出しているもの
- ・ 背の低いもの

 注意

■ 使用時の注意

- 以下のとき、ソナーの異常などにより装置が正常に作動しなくなっているおそれがあります。レクサス販売店で点検を受けてください。
- ・ スイッチを ON にしてもブザーが鳴らないとき
- ・ 障害物を感知していない状態で、クリアランスソナーの作動表示が点滅し、ブザーが鳴ったとき
- ・ ソナー部付近に物をぶつけたときや、たたくなどの強い衝撃をあてたとき
- ・ バンパーをぶつけたとき
- ・ ブザー音がしないのに表示が点灯したままのとき

■ 洗車時の注意

- 高圧洗車機を使用して洗車するときは、ソナー部に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

ETC システム

1 ETC

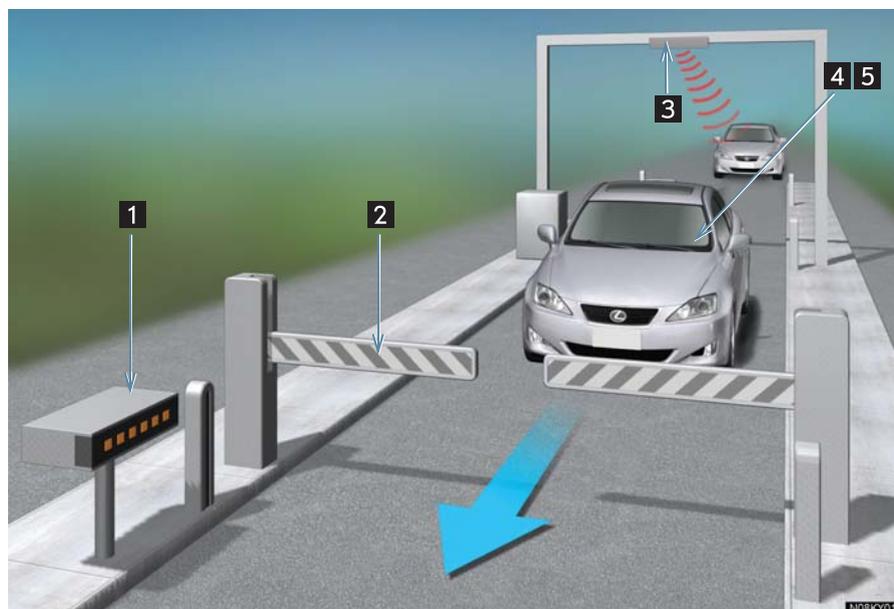
- | | |
|---------------------------------------|------------|
| 1. ETCシステムについて | 398 |
| ETC システムの概要 | 398 |
| ETC を利用する前に | 399 |
| 2. ETCユニットの使い方 | 400 |
| ETC ユニットを使う | 400 |
| ETC カードを挿入するには..... | 401 |
| ETC カードを抜くには | 402 |
| 車両走行中の ETC ユニットの表示と
音声案内について | 403 |
| ETC ユニットでの利用履歴の
確認について | 404 |
| ETC ユニットの音量調整について... | 405 |
| 統一エラーコードの確認方法 | 405 |
| 3. ETC画面の操作 | 406 |
| ETC メニュー画面 | 406 |
| ETC カードメッセージについて | 406 |
| 履歴表示 | 407 |
| ETC の設定 | 407 |
| ETC 登録情報の表示 | 408 |
| 4. エラーコードについて | 409 |
| 統一エラーコード | 409 |

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置と車両の ETC ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



項目	内容
1 路側表示器	料金所の ETC 車線に設置されています。進入車両に対し、メッセージが表示されます。
2 発進制御装置 (ゲート)	料金所の ETC 車線に必要なに応じて設置されています。通信が正常に行われるとゲートが開きます。
3 路側無線装置	料金所の ETC 車線に設置されています。車両の ETC ユニットとの通信を行うためのアンテナです。
4 ETC ユニット	ETC カードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
5 ETC カード	IC チップを搭載した、ETC ユニット用カードです。ETC ユニットに装着し、料金精算に必要なデータが保持されます。

ETC を利用する前に

ETC を利用する前に、以下の内容をよく読んで安全にご利用ください。

警告

安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットの操作を極力しないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

その他、ETC ユニットを用いたサービス（スマート IC など）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

カードを入れる前に

ETC カードの有効期限を確認してください。

- ETC カードの有効期限が切れていると、料金所のゲートが開きません。
- お手持ちの ETC カードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

カードを入れた後に

ETC カードを確実に挿入し、正常作動を確認してください。

- ETC を利用するときは、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットに挿入されていることと、ETC ユニットが正しく作動していることを確認してください。
- ETC ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所直前での ETC カードの挿入はエラーの原因となることがあります。

ETC 料金所を通過するときは

ETC 料金所を通過するときは、十分な車間距離と 20 km/h 以下の安全な速度で通過してください。

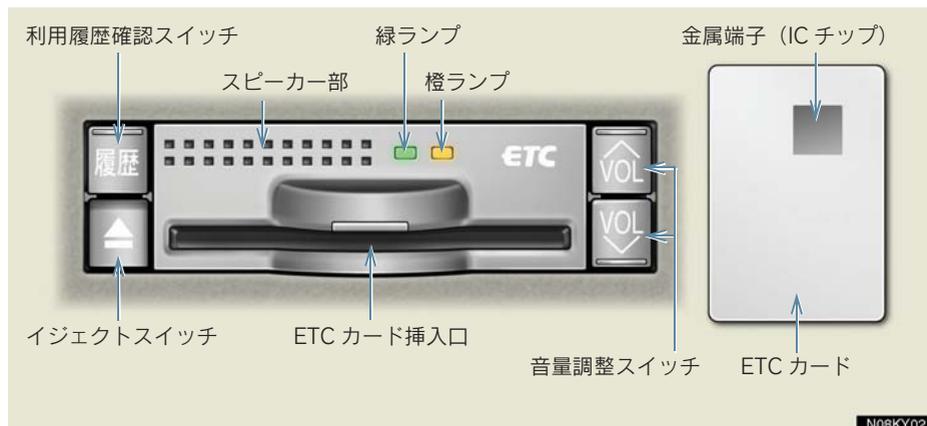
- ETC レーンを通行するときは、以下のことを十分に確認して通行してください。
 - ・ 車間距離（前の車と近づきすぎない）
 - ・ 速度（ゲート手前で安全に停止できる速度）
 - ・ ゲート（開閉バーが確実に開いていること）
- ETC が設置されている料金所では、ETC ユニットとアンテナとの間の通信、または ETC ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。開閉バーが開いていることを確認して通過してください。

2. ETC ユニットの使い方

ETC ユニットを使う

“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモード、イグニッション ON モードにする、またはエンジンを始動すると、ETC ユニット電源が ON します。

- 初めてETCシステムをご利用されるときは、ETCユニットがセットアップされていることを確認してください。セットアップされていないときは、レクサス販売店にご相談ください。(セットアップ手続きには別途費用が発生します。)
- ETCカードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



- 本製品は電波法の基準に適合しています。製品に貼りつけられているシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- お車のナンバープレートが変更になったときは、ETCユニットの変更手続きが必要です。その際は、レクサス販売店にご相談ください。

N08KY02

⚠ 注意

- 通信の妨げにならないよう、インストルメントパネル中央付近に内蔵されている ETC ユニットのアンテナ上方には物を置かないでください。また、フロントガラスのよごれや積雪がひどいときは、取り除いてください。
- ETC ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC ユニットに衝撃を与えないでください。ETC ユニットが故障、破損するおそれがあります。
- 濡れた手で ETC ユニットに触れたり、水や液体などを付着させないでください。ETC ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。
- よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。ETC ユニットが変形・故障する場合があります。
- ETCカードの取り扱い、ETCカード発行会社の指示する注意事項にしたがってください。

⚠ 注意

- ETCカードには有効期限があります。ETCユニットに有効期限切れのETCカードを挿入してもエラー表示などはされません。有効期限切れのETCカードでは、ETCゲートの開閉カバーが開きませんので、ETC車線を通行できません。あらかじめETCカードの有効期限を確かめてください。
- ETCカードのICチップによごれなどが無いことを確かめてください。
- ETCカードの盗難・紛失にご注意ください。万一、盗難・紛失されたときは、ETCカード発行会社に至急連絡してください。
- 複数のETCユニットを取り付けると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

ETCカードを挿入するには

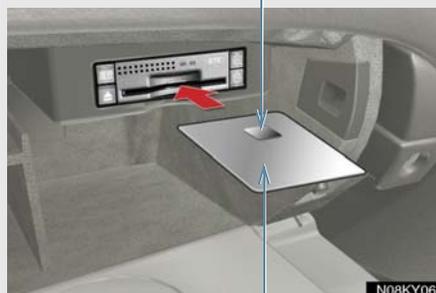
1 エンジンを始動する。

- ETCユニットの電源が入ると、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。



2 グローブボックスを開けて、ETCカードを、ETCユニットに正しい挿入方向でしっかり差し込む。

金属端子 (ICチップ)



ETCカード

- 「ピッ」と音声が出力され、緑ランプが点滅します。

▶ ETCカードが正しく認証されたときは

→ 「ボン ETCカードが挿入されました」と音声出力、緑ランプ点灯

- 緑ランプ点灯中は ETC システムを利用することができます。
- エンジン始動後すぐに ETC カードを挿入すると、音声案内されないことがあります。

▶ ETCカードが正しく認証されなかったときは

→ 橙ランプが点滅、統一エラーコードが画面に表示されます (→ P.409)。



3 グローブボックスを閉める。

 注意

- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 正規に発行された ETC カード以外は使用しないでください。

ETC カードは正しい挿入方向でしっかり差し込んでください。エラーが発生（橙ランプが点滅）したときは、状況に応じて、以下のように対応してください。

- 統一エラーコードが画面に表示されたときは（→ P.409）
- エンジン始動時にエラーが発生したときは、いったんエンジンを停止させ、再度始動してください。それでもエラーが続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。
- ETC カード挿入時にエラーが発生したときは、いったん ETC カードを抜き、挿入方向を確かめて再度差し込んでみてください。それでもエラーが続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

ETC カードを抜くには

1 車を停車させて、ETC ユニットのイジェクトスイッチを押す。

- ETC カードを抜く前にエンジンを停止すると、カードの抜き忘れをお知らせする音声案内が出力されます（→このページ）。

**2** ETC ユニットから ETC カードを抜く。

- ETC カードを放置してお車から離れないでください。ETC カードが盗難にあうおそれがあります。
- ETC カードを紛失してしまったときは、すみやかに ETC カード発行会社に連絡してください。

 注意

ETC カードを放置してお車から離れないでください。
車内の温度上昇により、ETC カードが変形したり、ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

カード抜き忘れ警告

ETC カードを抜く前にエンジンを停止すると、ETC ユニットから「ピー カードが残っています」と音声出力されます。

- ETC ユニットの音声案内の音量を0に設定したときは、ブザー音だけが出力されません。
- カード抜き忘れ警告は、以下のようにする、しないを設定できます。

1 車を停車する。

- ETC ユニットにETCカードが挿入され、緑ランプが点灯していることを確かめてください。

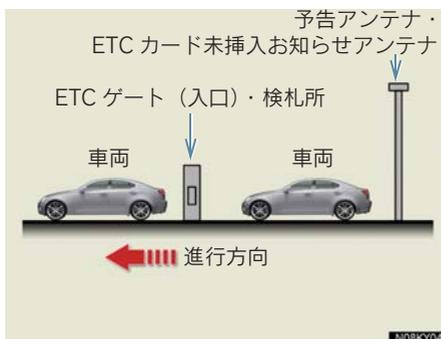
**2**  と  スイッチを同時に2秒間押し続ける。

- 操作をすることにする、しないが切り替わります。
- ETC 設定画面でも切り替えることができます（→ P.407）。

車両走行中の ETC ユニットの表示と音声案内について

走行中、ETC ユニットのランプ表示と音声案内が行われますが、運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。

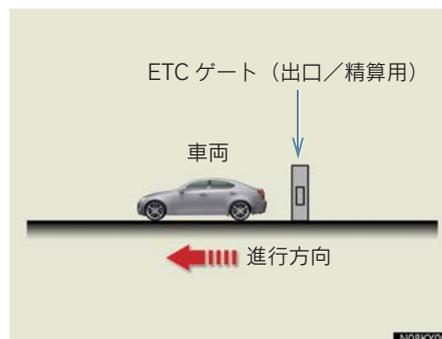
ETC ゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したときは



- 通信が正常に行われたときは
➡ ランプに変化なし
- 通信が正常に行われなかったときは
➡ 橙ランプが点滅、統一エラーコードが画面に表示される
- 必ず、ETC ゲート（入口）で使用した ETC カードで、ETC ゲート（出口／精算用）、または検札所を通過してください。
- 予告アンテナは、料金所の手前に設置されています。予告アンテナは、ETC ユニットと通信し、ETC ゲートを利用できるかどうかを運転者にあらかじめ通知するためのものです。
- 予告アンテナは設置されていないことがあります。

- ETC カードを挿入していないときに予告アンテナや ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過すると、橙ランプが点滅し、以下のいずれかの案内音声が出力されません。
 - ・「ポーン ETC ゲートを通過できません」
 - ・「ポーン ETC カードが挿入されていません」
- ETC カード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ETC ユニットと通信し、正しく ETC カードが挿入されていない場合に、ETC ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのものです。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナは、設置されていないことがあります。

ETC ゲート（出口／精算用）を通過したときは



- 通行料金の画面表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われません。
- 通信が正常に行われたときは
➡ ランプに変化なし、通行料金が音声で案内される
- 通信が正常に行われなかったときは
➡ 橙ランプが点滅、統一エラーコードが画面に表示される

 注意

- ETC ゲート進入時は、十分減速してください。
- ETC ゲート通過時は、ETCゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。
- ETC ゲートの開閉バーが開かないときは、料金所係員の指示にしたがってください。
- 道路事業者の発行する利用方法にしたがってください。
- ETC ゲート、検札所、予告アンテナ、ETCカード未挿入お知らせアンテナ付近では、ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- ETC ゲート（入口・出口）、検札所の通信が正常に行われなかったときは、橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます（→ P.409）。

ETC ユニットでの利用履歴の確認について

ETC ユニットの  を使うと、有料道路の利用日および通行料金が音声で確認できます。

- 1 ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、停車中に  を押す。



- 2 最新の利用履歴が音声で案内される。

-  を押すごとに、古い利用履歴に切り替わります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切り替わります。
- 利用履歴案内終了後、約 1 秒以上  を押さないと、次に押したときは最新の利用履歴から案内されます。
- 利用履歴はETCカードに記録されるため、最大記録件数は使用する ETC カードにより異なります。
- 利用履歴の最大記録件数を超えたときは、最も古い利用履歴が消されます。
- 利用履歴がないときは、「利用履歴はありません」と案内されます。
- 利用日の情報が正しくないときは、「利用日付は不明です」と案内されます。
- 通行料金の情報が正しくないときは、「料金は不明です」と案内されます。
- 利用履歴は画面でも確認することができます（→ P.407）。

 注意

- ETC ゲート付近では、利用履歴の確認をしないでください。路側無線装置と通信ができなくなるおそれがあります。

ETC ユニットの音量調整について

ETC ユニットの ・ で、ETC ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

音量を大きくするときは  を押す。

音量を小さくするときは  を押す。

- 音量は消音、音量1～音量8の9段階で調整することができます。
- ETC ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。
 - ・未セットアップ状態の通知
 - ・エラー発生時のブザー音
 - ・カード抜き忘れ警告
 - ・ETC ユニットでの利用履歴の確認
 - ・ETC ユニットの音量調整時の案内
- 音声案内の音量が0に設定してあっても、エラー発生時には音量1で出力されます。
- 未セットアップ状態の通知は ETC ユニットの消音にすると出力されません。

統一エラーコードの確認方法

ETC ユニットは最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

- 1 ETC カードを抜く。



- 2 ETC ユニットの  を約 2 秒以上押す。



- 3 最後に案内された統一エラーコードが音声で案内される。

- 統一エラーコードの確認は、ETC 画面でも確認することができます (→ P.408)。
- エラーコードの処置のしかた (→ P.409)。

3. ETC 画面の操作

ETC メニュー画面

ETC メニュー画面から、以下のことができます。

- ETC の利用履歴の確認
- ETC の設定をかえる
- ETC ユニットの登録情報の表示

情報・G または INFO

ETC

ETC メニュー画面の表示

- 1 情報画面 (→ P.338) の [ETC] にタッチする。



- 2 ETC メニュー画面の表示。

ETC カードメッセージ



ETC カードメッセージについて

ETCメニュー画面に現在のETCシステムの状態が表示されます。

ETC カードメッセージ	内容
認証中	ETCカードを読み込み中。
ETC カード認証完了	ETC カードを読み込み完了。
システム異常	ETC システムに何らかの異常が発生。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができない。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていない。
未セットアップ	ETC ユニットがセットアップされていない。
セットアップ完了	ETC ユニットのセットアップが完了。

履歴表示

- ETC メニュー画面で、[履歴情報表示] にタッチする。



- 履歴情報の表示。

最新	利用日	料金	
▲ 前	2005年 5月 11日	2000円	詳細
	2005年 5月 11日	3000円	詳細
	2005年 5月 11日	4000円	詳細
	2005年 5月 11日	5000円	詳細
▼ 次	2005年 5月 11日	6000円	詳細

- [▲前]、[▼次] にタッチすると
➔ 履歴を切り替えることができます。
- [最新] にタッチすると
➔ 最も新しい履歴に戻ります。
- [詳細] にタッチすると
➔ 利用区間が表示されます。
- 道路事業者の設定する料金情報に追加、変更があった場合には正しく表示されることがあります。
- 表示させることができる履歴は、100件までです。
- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。
- 道路事業者の設定する料金情報に追加、変更があった場合、利用区間が正しく表示されることがあります。

ETC の設定

- ETC メニュー画面で、[設定] にタッチする。



- 各項目の [する]、[しない] を選び、[完了] にタッチする。

項目	設定
ETC 割込表示	する / しない
ETC 音声案内	する / しない
ACC オン時警告表示	する / しない
ACC オン時警告音声案内	する / しない
カード抜き忘れ警告	する / しない

項目	内容
ETC 割込表示	ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに割込表示されます。
ETC 音声案内	ETC システムを利用するときに、音声が出力されます。
ACC オン時警告表示	“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモード、イグニッション ON モードにする、またはエンジンを始動してから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
ACC オン時警告音声案内	“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモード、イグニッション ON モードにする、またはエンジンを始動してから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。

項目	内容
カード 抜き忘れ警告	“エンジンスターストップ”スイッチをOFFにしたとき、カードの抜き忘れをETCユニットからの音声で警告します。なお、ETCユニットの音声案内の音量を0に設定したときは、「ピー」とブザー音だけで警告します。

- ETC 設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定したとき、統一エラーコードについては、ETC メニュー画面の「登録情報表示」で確かめてください。

ETC 割り込み表示

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。



- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割り込み表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC 登録情報の表示

ETC ユニットに登録された情報が表示されます。

- 1 ETC メニュー画面で「登録情報表示」にタッチする。



- 2 ETC 登録情報の表示。

- エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます（→ P.409）。

4. エラーコードについて

統一エラーコード

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。エラーが発生したときは以下の表にしたがって、処置してください。

コード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード 挿入異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードが通信時に挿入されていない ETC カードの挿入状態が悪い 	ETC カードの挿入状態を確認して、再度挿入してください。
02	データ処理 異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードへの読み出し、書き込みエラー ETC カードとユニットの接点不良や ETC カードアクセス中の瞬断 書き込み中カードのイジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ETC カード挿入時挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。 利用時料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。
03	ETC カード 異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードの故障 IC カード以外のカードが挿入され、通信しない ETC カードの誤挿入 	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などを確認して、再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
04	ETC ユニット 故障	自己診断結果により、ETC ユニットが故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
05	ETC カード 情報の異常	<ul style="list-style-type: none"> ETC カードとの認証エラー ETC カード以外の IC カードが挿入されている 認証中 ETC カードのイジェクト 未セットアップ状態での ETC カードの挿入 	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などを確認して、再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
06	ETC ユニット 情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
07	通信異常	<ul style="list-style-type: none"> 路側無線装置との通信が途中で終了 ETC アンテナの接続異常 	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。

- 以下のときは、ETC ユニットからブザー音での案内になります。
 - ・ ETC 設定画面で、ETC 音声案内を「しない」に設定した
 - ・ ナビゲーションの音量設定画面で、「消音」に設定した
- ETC カード未挿入お知らせアンテナ等と通信したときに、統一エラーコード (07) と通知されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・料金案内、**【登録情報表示】**で確認できる統一エラーコードが (01) もしくは (07) と表示されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。

▶ 最後に発生した統一エラーコードを確認したいときは

- ➡ ETC メニュー画面の **【登録情報表示】** にタッチ、または ETC カードが挿入されていない状態で ETC ユニットの **履歴** を約 2 秒以上押す。

ハンズフリー

1 お使いになる前に

- 1. ハンズフリーについて 413
 - ハンズフリーとは 413
 - 各部の名称 415
 - 音声について 416
 - 各種表示について 416
 - お車を手放すとき 418
 - Bluetooth 機器使用上の注意事項 418

2 ハンズフリーの基本操作

- 1. ハンズフリーの準備をする 419
 - 携帯電話を登録する 419
 - 携帯電話を接続する 420
 - Bluetooth 接続の再接続について 421
 - 通信モジュールを選択する 422
- 2. ステアリングスイッチを使う 423
 - 各種ステアリングスイッチの
使い方 423
- 3. 電話をかける 424
 - ダイヤル発信する・電話を切る 424
- 4. 電話を受ける 426
 - 電話を受ける 426
- 5. 通話中に操作する 427
 - 通話中に 10 キー入力する 427

3 ハンズフリーの便利な使い方

- 1. 電話をかける 428
 - 電話画面を表示する 428
 - 電話帳発信する 429

- 履歴発信する 430
- ワンタッチ発信する 431
- 音声認識発信する 432
- ナビから発信する 434
- 携帯電話本体から発信する 434

- 2. 電話を受ける 435
 - 着信中画面で操作する 435
- 3. 通話中に操作する 436
 - 通話中画面で操作する 436
- 4. 簡易画面で操作する 437
 - 簡易画面で操作する 437

4 ハンズフリーの設定

- 1. 電話設定画面を表示する 438
 - 電話設定画面を表示する 438
- 2. ワンタッチダイヤルの
設定をする 439
 - ワンタッチダイヤルを登録する 439
 - ワンタッチダイヤルを削除する 440
- 3. 音量的設定をする 441
 - 音量的設定をする 441
- 4. 画面の設定をする 442
 - 画面の設定をする 442
- 5. 電話帳の設定をする 444
 - 電話帳について 444
 - 電話帳の設定をする 444
 - 携帯電話の電話帳データを
転送する 445
 - 電話帳に新規データを追加する 447

電話帳に追加データを登録する	450
電話帳のデータを修正する	451
電話帳のデータを削除する	452
グループ名称を登録する	454
グループ名称を削除する	456
6. 履歴を削除する	457
履歴を削除する	457
7. セキュリティの設定をする	458
セキュリティについて	458
ロック No. を変更する	459
電話帳・発着信履歴制限をする	460
通信モジュールの発信制限をする....	460
設定を初期化する	461
8. 通信機器・Bluetoothの 設定をする	462
携帯電話を登録する	462
使用する通信機器を選択する	462
電話機詳細情報を表示する	463
車載機の Bluetooth 設定を 変更する	465
Bluetooth 電話機の登録を 削除する	466

1. ハンズフリーについて

ハンズフリーとは

携帯電話に触れることなく、「電話をかける・受ける」ができる機能です。動作確認済の Bluetooth 携帯電話(以下「携帯電話」)を、車載機に接続することでご利用できます。

- 動作確認済 Bluetooth 携帯電話について (→ P.418)。

本システムに接続するためには、以下の仕様に対応している携帯電話が必要です。ただし、機種により、一部の機能が制限されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 対応 Bluetooth 仕様
 - ・ Bluetooth Specification Ver. 1.1 以上 (Ver. 1.2 以上を推奨します)
- 対応 Profile
 - ・ HFP (Hands Free Profile) Ver. 1.0
 - ・ OPP (Object Push Profile) Ver. 1.1
 - ・ DUN (Dial-up Networking Profile) Ver. 1.1

G-Link 利用契約でオプションの「ハンズフリー自動車電話」を契約したときは、携帯電話がなくても、ハンズフリー機能を使うことができます。



Bluetooth は、Bluetooth SIG.inc. の登録商標です。

Bluetooth 携帯電話の操作について

携帯電話側の操作は、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

警告

■ 運転中は携帯電話本体の操作禁止

- ハンズフリーを携帯電話で使用するとき、安全のため運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。運転中に電話がかかってきたときは、車を安全な場所に停車してから受けてください。やむをえず、電話を受けなければならないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝えてください。安全な場所に停車し、電話をかけ直してください。

注意

携帯電話は、車室内に置いたままにしないでください。日中など車室内が高温となり、携帯電話が故障するおそれがあります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話とは、車載機と携帯電話を無線 (Bluetooth) で通信する携帯電話です。

例えば、胸ポケットに携帯電話をいれたままでも「電話をかける・受ける」ができます。



- 本システムは、有線 (ケーブル) 接続の携帯電話を使うことはできません。
- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使うと、それぞれの通信状態が悪くなる場合があります。
- Bluetooth 接続をしているときは、携帯電話の電池が早く消耗します。

⚠ 注意

Bluetooth 携帯電話を車載機に近づけて使わないでください。近づけて使うと、音質が悪化したり、接続状態が悪くなる場合があります。

通話料について

ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。

ハンズフリーが使用できないとき

以下のとき、ハンズフリーを使うことができません。

- 通信エリアからはずれている
- 回線が混線している (発信規制中) など
- 緊急通報中

ハンズフリーを携帯電話で使用するとき、以下の場合、ハンズフリーを使うことができません。

- 携帯電話から電話帳データの転送中
- 携帯電話のダイヤルロック中
- データ通信など、携帯電話使用中
- 携帯電話の故障中
- 携帯電話が車載機に接続されていない
- 携帯電話のバッテリー残量不足
- 携帯電話の電源が OFF
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでない
- 車載機側で、データ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替え中
- その他、携帯電話自体が使うことができない

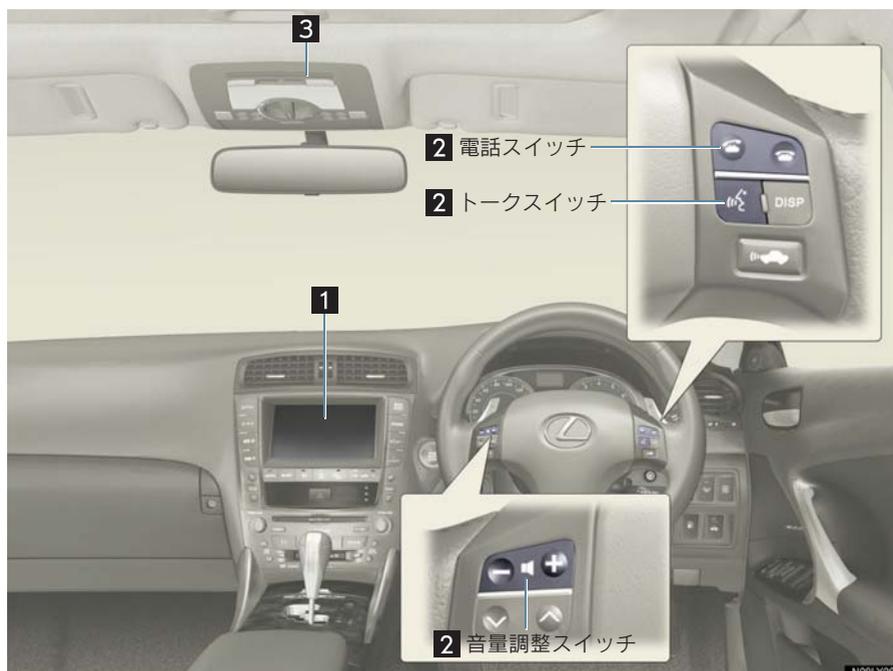
契約している割込通話 (キャッチホン)・三者通話を使うとき

ハンズフリーを携帯電話で使うとき、割込通話・三者通話を携帯電話本体で解除してお使いください。

ヘルプネット利用中の制限

- ヘルプネット動作中は、ハンズフリーを使用できません。
- 以下のときにヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了され、ハンズフリー画面は解除されます。
 - ・ 着信中
 - ・ 応答保留中
 - ・ 通話中画面表示中

各部の名称



名称	機能
1 車載機	画面上のタッチスイッチにタッチすると、ハンズフリーのさまざまな操作ができます。
2 ステアリングスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • 電話スイッチ 「電話を受ける・切る」など、ハンズフリーの基本操作ができます。 • 音量調整スイッチ ハンズフリーの各音量を調整できます。 • トークスイッチ 音声操作で電話をかけることができます。
3 マイク	通話中の音声を認識します。

音声について

発信後・着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話をします。

- 着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声・呼び出し音などが出力されると、オーディオやナビ案内音声などは消音（ミュート）されます。
- 通話は、通話の相手と交互にお話してください。同時に話すと、お互いの音声が聞こえにくいことがあります（故障ではありません）。
- 受話音量はできるだけ小さくしてください。音量を大きくすると、通話の相手側にエコーが聞こえることがあります。
- 音声は大きく、はっきりとお話してください。
- 以下のようなとき、こちらの音声が通話の相手に聞こえにくいことがあります。
 - ・ 悪路走行している
 - ・ 高速走行している
 - ・ 窓を開けている
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクに向けている
 - ・ エアコンのファンの音が大きい
 - ・ 携帯電話をマイクに近づけている
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪くなる（ノイズ・エコー等）ことがあります。

各種表示について

画面に表示される、電波の受信レベルと携帯電話の電池残量の目安、また携帯電話の Bluetooth 接続状態について説明します。

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。



携帯電話使用時

表示	圏外					
レベル	圏外	弱	←————→		強	

通信モジュール使用時

表示	圏外					
レベル	圏外	弱	←————→		強	

- 以下のとき、受信レベル表示はされません（携帯電話使用時）。
 - ・ データ通信中
 - ・ 電話帳データ転送中
- 「圏外」表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にあります。このときは、携帯電話本体も使うことができません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使うときは、以下のことに注意してください。
 - ・ 受信レベルは、携帯電話の表示と一致しないことがあります。

- ・受信レベルの表示ができない機種があります。
- ・「未接続」表示中は、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを使うときは、Bluetooth 接続してからご利用ください。

電池残量表示

携帯電話使用時

携帯電話の電池残量の目安を表示します。

電池残量表示



表示	
残量	無 ← 少 → 多

- 以下のとき、電池の残量表示はされません。
 - ・データ通信中
 - ・電話帳データ転送中
- 電池の残量表示は、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 電池の残量が表示できない機種があります。
- 本システムは、携帯電話の充電機能はありません。

Bluetooth 接続状態表示

携帯電話使用時

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示



表示	Bluetooth 接続の状態
	良好
	通話時に音質が劣化することがある
	接続されていない

- 切断表示中は、携帯電話でのハンズフリーを使うことができません。もう一度、携帯電話の選択を確認してください (→ P.462)。
- 携帯電話を以下の場所や状態で使うと、Bluetooth 接続の状態が悪くなるため、表示が黄色になることや、接続ができないことがあります。
 - ・携帯電話がグローブボックス内などにある。
 - ・携帯電話が金属製のものに接する、または覆われている。
- 携帯電話の省電力モード中は、Bluetooth 接続が自動的に切断されることがあります。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使うと、多くの個人情報登録されます。お車を手放すときは、個人情報の初期化をしてください（→ P.33）。

ハンズフリーの初期化をすると、以下の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴、および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth 電話機の登録情報
- ロック No.

注意

個人情報の初期化をすると、初期化する前の状態に戻すことはできません。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4 GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10 m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店にご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも確認内容が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

1. ハンズフリーの準備をする

携帯電話を登録する

まず、車載機に Bluetooth 携帯電話を登録します。

情報・G または INFO

TEL

設定

Bluetooth

登録

携帯電話から Bluetooth 登録

携帯電話登録完了

- 携帯電話は 5 台まで登録することができます。
- 携帯電話を登録すると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使う携帯電話として選択されます。

1 [TEL] にタッチする。



2 [設定] にタッチする。



3 [Bluetooth] にタッチする。



4 [登録] にタッチする。



- 5** 車載機に表示されている Device Name を携帯電話側で選び、PASS-KEY を入力する。



- この画面表示中に、携帯電話側の登録をしてください。
- 登録をやめたいときは → **[中止]** にタッチ
- PASS-KEY とは、Bluetooth 携帯電話を登録するときのパスワードです。
- PASS-KEY はかえることができます (→ P.465)。

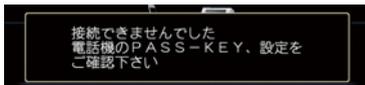


- 6** 接続完了。



- 複数の携帯電話を登録したいときは → 同じ手順を繰り返します。

- ▶ 接続失敗画面が表示されたときは → 画面の案内にしたがい、登録しなおしてください。



携帯電話を接続する

携帯電話と車載機の Bluetooth 接続は、自動と手動の 2 通りがあります。通常は、自動でお使いください。

携帯電話を自動で接続する

自動接続を ON にしておくと、以下のとき、選択されている携帯電話と車載機は自動的に接続します。

- “エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリモード、イグニッション ON モードにする
- エンジン回転中



- **[自動接続]** にタッチするたびに、自動接続の ON・OFF が切り替わります。

- ▶ Bluetooth 接続されたときは → 接続完了確認が表示されます。



- ACC-ON時のBluetooth接続確認表示の表示、非表示を設定できます (→ P.442)。
- Bluetooth接続状態表示でも確認できます (→ P.417)。

携帯電話を手動で接続する

自動接続の失敗や自動接続が OFF のとき、手動で Bluetooth 接続します。

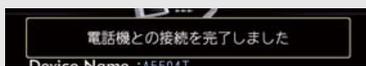
- 1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。



- 2 「接続」 にタッチする。



- 3 接続完了。



Bluetooth 接続の再接続について

“エンジンスタートストップ” スイッチがアクセサリモード、イグニッション ON モードまたはエンジン回転中、一度接続した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などにより切れたとき、自動的に再接続します。

Bluetooth 接続を意図的に切ったとき

携帯電話の Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続した Bluetooth 接続を意図的に切ったときは再接続されません。以下のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動で接続する (→ P.420)。
- あらためて携帯電話を選ぶ (→ P.462)。

通信モジュールを選択する

通信モジュール使用時

G-Link 利用契約でオプションの「ハンズフリー自動車電話」を契約したとき、通信モジュールを使ってハンズフリーを利用することができます。

- ただし、通信モジュールでハンズフリーを選んだときは、次の電話機選択で携帯電話を選ぶまで通信モジュールでのハンズフリーとなるため、携帯電話でのハンズフリーは使うことができません。

情報・G または INFO

TEL

設定

電話機選択

通信モジュール

完了

通信モジュール利用可能

通信モジュールを使用するとき

1 [TEL] にタッチする。



2 [設定] にタッチする。



3 [電話機選択] にタッチする。



4 [通信モジュール] にタッチし、[完了] にタッチする。



1

2

2. ステアリングスイッチを使う

各種ステアリングスイッチの使い方

よく使うハンズフリーの操作は、ステアリングスイッチでも操作できます。

電話スイッチを使う

走行中など、画面を見ることができないとき、電話スイッチを使うと便利です。



- 音声認識発信以外の音声認識中に電話スイッチを押すと、音声認識は中断され、電話スイッチの操作を優先します。

着信時のスイッチ操作

- 電話をとる。→ 電話スイッチを押す。
- 応答保留画面で電話をとる。
→ 電話スイッチを押す。
- 応答保留する。→ 電話スイッチを押す。
- 着信拒否する。
→ 電話スイッチを約2秒間押す。
- 応答保留画面で着信拒否する。
→ 電話スイッチを押す。

発信中、通話中のスイッチ操作

電話を切る。→ 電話スイッチを押す。

発信時のスイッチ操作

電話をかける。→ 電話スイッチを押す。

- 電話が表示されている画面で電話スイッチを押すと電話をかけることができます。

- データ通信中は、電話スイッチを押しても電話をかけることはできません。

ハンズフリー画面表示機能

- ハンズフリー以外の画面表示中に電話スイッチを押すと、ハンズフリー画面になります。
- ハンズフリー画面の表示中に電話スイッチを押すと、ハンズフリー画面が解除されます。

音声認識中止機能

音声認識発信をしているときに電話スイッチを押すと、音声認識発信が中止されます。

音量の調整をする

ハンズフリー音声の受話・着信音量を調整する。→ 音声調整スイッチを押す。



音声認識を起動する



- 音声認識発信を起動する。
→ トークスイッチを押す。
- 音声認識発信を中止する。
→ トークスイッチを約2秒間押す。

3. 電話をかける

ダイヤル発信する・電話を切る

電話番号を直接入力して電話をかける（ダイヤル発信）ことができます。

- その他の電話のかけ方（→ P.428）。

電話をかける方法を選択

電話番号入力



ダイヤル発信する

- 1 停車中に、以下のいずれかの操作をする。

- 電話スイッチの スイッチを押す。
- [TEL] にタッチする。
- トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声する。



- 2 電話番号を入力し、電話スイッチの を押す、または にタッチする。



- 間違えたときは → [修正] にタッチ
・タッチし続けると、連続して番号を消去できます。
- にタッチすると、最後に発信した電話番号が入力されます。
- 走行を始めると、入力できなくなります。ただし、電話番号が入力済みであれば発信できます。



- 3 発信中画面表示。



- 携帯電話の機種によって、以下のようなことがあります。
 - ・ 発信音・呼出音が出力されない。
 - ・ 発信中画面が表示されない。
 - ・ 通信事業者のサービスにより10キーを入力する必要のあるとき、トーン信号を送ることができない。



- 4 相手が電話に出ると、通話中画面が表示される。



- 通話時間は目安です。

電話を切る

以下のいずれかの操作をすると、発信の中断または通話の終了ができます。

- 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - 発信中、または通話中画面で  にタッチする。
 - 携帯電話の電源を切る（携帯電話接続時）。
- 電源が切れると、ハンズフリー画面は解除されます。

4. 電話を受ける

電話を受ける

電話を受ける方法は、以下の2通りあります。

- スイッチ操作をして受ける。
- スイッチ操作をしないで受ける(自動)。

電話を受ける

表示中の画面にかかわらず、電話がかかってくると音と表示で着信をお知らせします。

以下のいずれかの操作をすると、通話中の画面に切り替わり通話できます。

- 電話スイッチの  スイッチを押す。
-  にタッチする。



着信について

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声を消音（ミュート）します。ただし、優先される音声があるときは除きます。
- ドライブモード時などは、着信できないことがあります。
- マナーモード時などは、着信音が聞こえないときがあります。
- 機種によっては、着信時相手の電話番号が表示されないことがあります。
- 着信音の鳴り方は、機種によって以下のように異なります。
 - ・ 車両のスピーカーから鳴る
 - ・ 携帯電話から鳴る
 - ・ 車両のスピーカー、携帯電話両方から鳴る

- 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは機種によって異なります。

自動で電話を受ける

電話がかかってきたときに、自動で通話中画面に切り替わり、通話することができます。

- 自動着信応答のする、しないを設定できます（→ P.442）。

5. 通話中に操作する

通話中に 10 キー入力する

通話中に 10 キー画面で、番号を入力することができます。ただし、走行中は操作できません。

トーン

番号の入力

1 [トーン] にタッチする。



2 番号を入力する。



- 以下のいずれかの操作をすると、電話を切ることができます。
 - ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・  をタッチする。
 - ・ 携帯電話で電話を切る（携帯電話接続時）。

1. 電話をかける

電話画面を表示する

停車中に以下のいずれかの操作をすると、ハンズフリー画面に切り替わり電話画面が表示されます。

- 電話スイッチの  スイッチを押す。
- 情報画面で、[TEL] にタッチする。
- トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声する。



- 走行中に操作すると、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- ハンズフリーを携帯電話で使うときは、電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

▶ 電話画面から電話をかける。

発信のしかた	ページ
電話番号を入力(ダイヤル発信)	424
電話帳から	429
発信・着信履歴から	430
ワンタッチダイヤルから	431

▶ 電話画面以外から電話をかける。

発信のしかた	ページ
音声認識を使う	432
ナビまたは G-Link のデータから	434

- 電話をかけるとき、データ通信中はメッセージが表示されます。
 - ・ データ通信を終了するとき
➡ [はい] にタッチ
 - ・ データ通信を終了しないとき
➡ [いいえ] にタッチ

電話帳発信する

登録してある電話番号から電話をかけることができます。

- 電話番号の登録のしかた (→ P.444)。

電話帳

かけたい相手を検索

かけたい相手を選択



- 1 「電話帳」 にタッチする。



- 2 電話をかけたい相手をさがす。

音声認識アイコン



- 50音順に並び替える。
→ [50音] にタッチ
- 英数字リストを表示する。
→ [その他] にタッチ
- 英数字の切り替え方。
・ (例) B のリストを表示する。
→ [ABC] を 2 回タッチ

- 音声認識が設定されている名称は、アイコンが表示されます。



- 3 かけたい相手にタッチする。

- ▶ 電話番号が2件登録してあるときは
→ かけたい電話番号にタッチ



- 4 電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチする。

電話帳の表示を切り替える

電話帳は50音順とグループ別のどちらかです。50音画面は、すべての名称を、グループ画面は、グループ内の名称を50音順に並べて表示します。

〈50音画面〉



〈グループ画面〉



- [50音] 検索にタッチすると
➡ 50音画面に切り替わります。

▶ グループの選択のしかた



- 50音画面表示中は
➡ [グループ検索] にタッチし、希望のグループにタッチ
- グループ画面表示中は
➡ [グループ選択] にタッチし、希望のグループにタッチ

履歴発信する

過去に発信、または着信した電話番号から電話をかけることができます。

- それぞれの記憶されている電話番号は5件までです。5件以上になると、古い順に削除されます。



1 [履歴] にタッチする。



- 2 [発信履歴]、または[着信履歴]を選び、かけたい相手にタッチする。

(発信履歴画面)



(着信履歴画面)

不在着信アイコン



着信拒否アイコン

- 着信履歴画面は、以下のアイコンが表示されます。
 - ・ 不在着信
 - ・ 着信拒否



- 3 電話スイッチの  スイッチを押す、または  にタッチする。



- 履歴を削除したいときは (→ P.457)。
- 「通知不可」と着信履歴に登録されているときは、相手先の電話番号情報がありません。

ワンタッチ発信する

ワンタッチダイヤルを使うと、簡単に電話をかけることができるため、よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくとう便利です。

- ワンタッチダイヤルは走行中でも使うことができます。
- ワンタッチダイヤルの登録のしかた (→ P.439)。

ワンタッチダイヤル

かけたい相手を選択

電話の発信

- 1 [ワンタッチダイヤル] にタッチする。



- 2 かけたい相手の番号にタッチすると、発信されます。



- [ワンタッチ 1 ~ 3] にタッチすると
➔ 電話番号のリストが切り替わります。

▶ 走行中に電話をかけたいときは

- 以下のいずれかの操作をすると、ワンタッチダイヤル画面になるためワンタッチ発信できます。
 - ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・ 情報画面で [TEL] にタッチする。
 - ・ トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声する。

音声認識発信する

音声認識を設定してある電話番号から、電話をかけることができます。音声認識発信は、走行中でも使うことができます。

- 音声認識の設定のしかた (→ P.449)。
- 音声認識の操作のしかた (→ P.295)。



■ (例) 伊藤さんに電話をかける

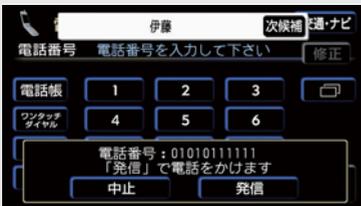
1 以下のいずれかの操作をして、ハンズフリーの画面に切り替える。

- 電話スイッチの  スイッチを押す。
- トークスイッチを押して、「電話をかける」と発声する。
- [TEL] にタッチする。



2 以下のように発声して電話をかける。

- お客様： トークスイッチを押す。
 車載機： 「電話帳に登録されている名称をお話してください」 ピッ
- お客様： 「伊藤」
 車載機： 「伊藤が検索されました」
- お客様： トークスイッチを押す。
 車載機： 「“発信”で電話をかけます」 ピッ
- お客様： 「発信」
 車載機： 「伊藤に電話をかけます」



- 以下のいずれかの操作をすると、音声認識発信を中止することができます。
 - ・ トークスイッチを押し続ける。
 - ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・ [中止] にタッチする（音声認識中を除く）。
 - ・ 「中止」と発声する。
- 以下のとき、認識操作を中止します。
 - ・ 音声認識中に着信したとき
 - ・ ハンズフリー以外の画面に切り替えたとき

▶ [次候補] が表示されたときは

- ▶ あてはまる名称の候補が複数あります。候補を切り替えたいときは、以下のいずれかの操作をします。
 - [次候補] にタッチする。
 - トークスイッチを押して、「次候補」と発声する。

▶ [発信] が表示されたときは

- ▶ [発信] を押すと、発信することができます。
- 電話スイッチの  スイッチを押しても発信できます。

ナビから発信する

ナビ画面から、電話をかけることができます。かけることができるのは、ナビ画面で、または「電話をかける」が表示されているときです。

ナビ画面表示中

 または 「電話をかける」

電話の発信

ナビ画面で、、または「電話をかける」にタッチする。



電話画面からかける

【交通・ナビ】にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示されます。ここからも電話をかけることができます（→ P.353）。



携帯電話本体から発信する

■ 携帯電話使用時

車載機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であればハンズフリー画面は表示されません。

ハンズフリー画面を表示する

以下のいずれかの操作をします。

- 電話スイッチのにタッチする。
- 情報画面で【TEL】にタッチする。
- このとき【通話転送】以外のタッチスイッチは操作できません。タッチスイッチを使いたいときは、通話転送の操作をしてください（→ P.436）。

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

- 携帯電話本体から発信したとき、ハンズフリーの通話になるか、携帯電話本体の通話になるかは機種により異なります。

携帯電話本体から発信したときは

以下の点がハンズフリーと異なります。

- 携帯電話側で直接操作して発信したときは、発信履歴に登録されません。
- 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されたとき、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは機種によって異なります。

2. 電話を受ける

着信中画面で操作する

ここでは、着信中画面で電話を受ける以外にできることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、保留したいときは以下の操作をする。

- 電話スイッチの  スイッチを押す。
-  にタッチする。



- 着信音量を調整するには
→ [小]、または [大] にタッチ
- ステアリングスイッチの音量調整スイッチでも、調整できます。



2 保留を解除して通話したいときは、以下の操作をする。

- 電話スイッチの  を押す。
-  にタッチする。



- 応答保留中、音量を調整するには
→ [小]、または [大] にタッチ

- 以下のいずれかの操作をすると、電話を切り、ハンズフリー画面が解除されます。
 - ・ 電話スイッチの  スイッチを押す。
 - ・  にタッチする。

通話を転送する

■ 携帯電話使用時

応答保留中でも【通話転送】にタッチすると、通話を転送できます。

- 通話転送のしかた（→ P.436）。

ハンズフリーを携帯電話で使用するときは

- 携帯電話によっては、応答保留できない機種があります。
- 機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で以下の操作をすると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
 - ・ 応答保留する。
 - ・ 応答保留を解除する。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信拒否する

着信中画面で、以下のいずれかの操作をすると着信拒否され、ハンズフリー画面が解除されます。

- 電話スイッチの  スイッチを長押しする。
-  にタッチし続ける。
- 携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使うことができます。

3. 通話中に操作する

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、以下の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 送話音の消音（ミュート）
- 通話の転送



受話音量を調整する

通話中画面表示中に、以下のいずれかの操作をすると、調整できます。

- [小]、または [大] にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量調整スイッチを使う。

送話音を消音（ミュート）する

通話中画面で、[ミュート] にタッチすると、お客様の声が、相手に聞こえません。解除したいときは、もう一度タッチします。

通話を転送する

携帯電話使用時

Bluetooth 携帯電話は、車載機と携帯電話の間で、通話を転送できるため、以下の通話を切り替えることができます。

- ハンズフリー通話から、携帯電話本体での通話
- 携帯電話本体の通話から、ハンズフリーでの通話

画面で操作する

通話中画面、または応答保留中画面で、[通話転送] にタッチする。

- 走行中は、ハンズフリー通話から携帯電話本体での通話に切り替えることができません。

携帯電話本体で操作する

発信中・通話中・着信中および応答保留中に通話を転送できます。

- 携帯電話本体の通話から、ハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、電話スイッチおよびタッチスイッチの操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中となり車載機に通話中画面が表示されます。このとき、電話スイッチの  スイッチを押すと、ハンズフリー通話を続けることができます。
- 画面で通話転送の操作をしたとき、転送に失敗して音声がか聞こえなくなることがあります。

ハンズフリーを携帯電話で使用するときは

以下のようなことがあります。

- 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。このとき、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中に“エンジンスタートストップ”スイッチを OFF にする、またはエンジンをかけると、機種によって通話が切断されるときと通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になります。このときの、車載機の操作のしかたは、「通話を転送する」をご覧ください。

4. 簡易画面で操作する

簡易画面で操作する

ナビやオーディオ画面などが、表示されているとき、簡易画面で電話がつながっていることをお知らせします。

電話画面設定の着信割り込み表示（→P.442）で「簡易」を選んでいると、以下の画面が表示されます。

〈オンスクリーン表示画面〉



電話がつながっているとき、オーディオ画面に切り替えようとした場合、以下の画面が表示されます。

〈TEL 音声画面〉



- 画面にタッチスイッチは表示されませんが、電話スイッチや音声調整スイッチの操作はできます。
- 電話が切れる、または電話を切ると、簡易画面は解除されます。

通話中画面で操作したいときは

電話スイッチの  スイッチを押すと、通話中画面が表示され通話中画面での操作ができます。

1. 電話設定画面を表示する

電話設定画面を表示する

電話設定画面での、電話の各種設定について説明します。

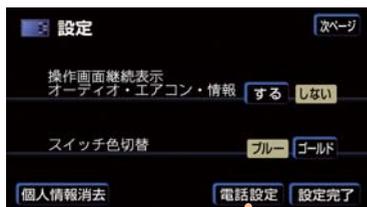
設定

電話の設定項目選択

1 [設定] にタッチする。



▶情報の設定画面で、[電話設定] にタッチしても、電話設定画面を表示できません (→ P.338)。



2 設定する項目を選ぶ。

- [ワンタッチ] ワンタッチダイヤルの登録・削除 (→ P.439、P.440)
- [音量設定] ハンズフリー各音の音量調整・設定 (→ P.441)
- [画面設定] ハンズフリー画面の設定 (→ P.442)
- [電話帳] 電話帳の転送・登録・編集・削除 (→ P.444)
- [セキュリティ] ロック No. の変更・制限機能の設定 (→ P.458)
- [電話機選択] 使用する携帯電話、または通信モジュールの選択 (→ P.462)
- [Bluetooth] 携帯電話の登録・削除・詳細設定 (→ P.462)
- [自動接続]・[接続] Bluetooth 接続 (→ P.420)



2. ワンタッチダイヤルの設定をする

ワンタッチダイヤルを登録する

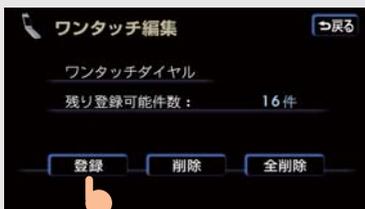
ワンタッチダイヤルは走行中でも使うことができるため、よく使う電話番号を登録しておく便利です。



1 [ワンタッチ] にタッチする。



2 [登録] にタッチする。



3 登録したい名称にタッチする。



4 登録したい電話番号にタッチする。



5 [ワンタッチ 1～3] のいずれかにタッチして、登録先を選ぶ。



▶ 登録済みのスイッチを選択したときは

→ [はい] にタッチ

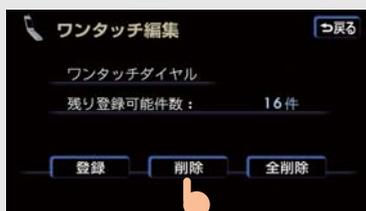


ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの01～17の削除は、個別、またはすべての2通りあります。

個別に削除する

- 1 [削除] にタッチする。



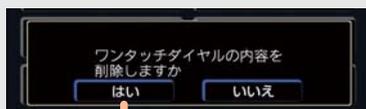
- 2 削除したい名称にタッチする。



- [ワンタッチ 1～3] にタッチすると
➡ リストが切り替わります。

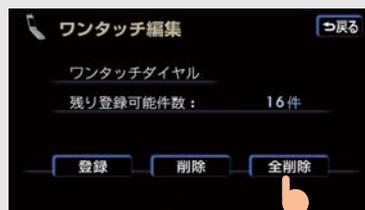


- 3 [はい] にタッチする。

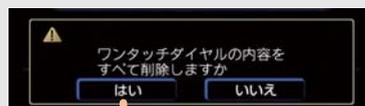


すべて削除する

- 1 [全削除] にタッチする。



- 2 [はい] にタッチする。



3. 音量の設定をする

音量の設定をする

通話の相手の音声の音量（受話音量）、着信音音量などを調整できます。



1 [音量設定] にタッチする。



2 以下の設定をして、[完了] にタッチする。

- 受話・着信音の音量調整
- 高速時の自動音量切替



音量の設定をする

音量設定画面で、[小] または [大] にタッチして、受話音量、着信音音量を調整します。

- 受話音量は以下の画面でも調整できます。
 - ・ 発信中画面
 - ・ 通話中画面
 - ・ 応答保留中画面
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

音量設定画面で、[高速時の自動音量切替] を ON にしておく、車速が約 80 km/h 以上になったとき設定した音量が自動的に 1 段階上がります。

- タッチするたびに、ON・OFF が切り替わります。
- 車速が約 70 km/h 以下になると、もとの音量に戻ります。

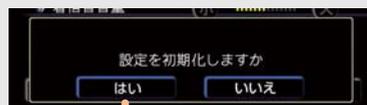
設定を初期化する

1 音量設定画面で [初期化] にタッチする。

- 音量の各設定が、初期設定の状態に戻ります。



2 [はい] にタッチする。



4. 画面の設定をする

画面の設定をする

電話画面について、各種設定のしかたを説明します。

画面設定

各種画面の設定をする

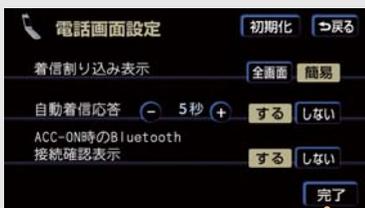
完了

1 [画面設定] にタッチする。



2 以下の設定をして、[完了] にタッチする。

- 着信割り込み表示
- 自動着信応答
- ACC-ON時のBluetooth接続確認表示



着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに着信があったときの画面表示方法を選ぶことができます。

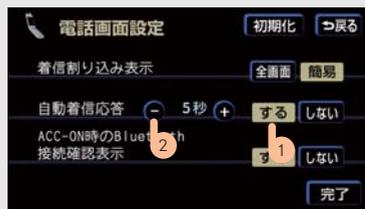
電話画面設定の画面で、着信割り込み表示の【全画面】、または【簡易】にタッチする。

- 【全画面】にタッチすると
 - ➔ 着信中、通話中および応答保留中にそれぞれの画面が表示されます。
 - ・電話スイッチおよびタッチスイッチで操作できます。
- 【簡易】にタッチすると
 - ➔ 着信中、および応答保留中に着信割り込み表示が表示されます。
 - ・タッチスイッチでの操作はできません。

自動着信応答

自動着信応答を設定しておく、電話がかかってきたとき自動で通話中画面に切り替わり、通話することができます。自動応答するまでの待ち時間は、かえることができます。

自動着信応答の【する】にタッチし、【-】または【+】で自動応答するまでの時間を調整する。



- 自動応答の待ち時間の設定は、1～60秒の間です。

ACC-ON 時の Bluetooth 接続確認表示

携帯電話使用時

“エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリモード、イグニッション ON モードにする、またはエンジン回転中にして携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を表示する、しないを設定できます。



電話画面設定の画面で、ACC-ON 時の Bluetooth 接続確認表示の [する] または [しない] にタッチする。

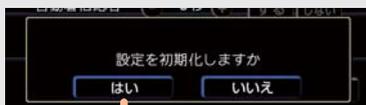
設定を初期化する

1 電話画面設定の画面で [初期化] にタッチする。

- 表示の各設定が、初期設定の状態に戻ります。



2 [はい] にタッチする。



5. 電話帳の設定をする

電話帳について

この電話帳は 1 名につき 2 件まで、最大 1000 名分のデータが登録できます。また、各データは 20 グループまでまとめることができます。

電話帳は、以下の方法で電話番号（電話帳データ）の登録ができます。

- 携帯電話のデータを車載機に転送する（→ P.445）。
- 車載機の電話帳に新規登録する（→ P.447）。
- 発信履歴、または着信履歴から登録する（→ P.450）。
 - ・登録したデータは車載機で編集できません。
 - ・低温時は、登録・編集・転送したデータの保存ができないことがあります。

携帯電話の電話帳データの転送について

OPP に対応していない携帯電話は、車載機へのデータ転送できません。また、携帯電話によって、転送方法が異なります。

- 携帯電話によっては、シークレットメモリの読み出しをする機種があります。
- 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- 携帯電話の機種によっては、暗証番号・認証パスワードの入力を求められることがあります。認証パスワードは“1234”です。
- 車載機の電話帳データは、携帯電話に転送できません。

電話帳の設定をする

電話帳の各種設定を説明します。

電話帳

各種設定項目を選択

1 [電話帳] にタッチする。



2 設定したい項目を選ぶ。

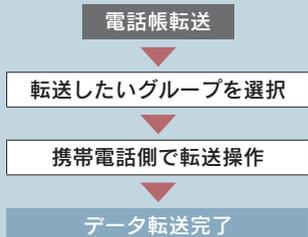


項目	ページ
電話帳データの転送	445
新規データの追加	447
電話帳データの修正	451
電話帳データの削除	452
グループ名称の登録	454
グループ名称の削除	456

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。

- 転送するときには、エンジンをかけた状態にしてください。



- 1 「電話帳転送」 にタッチする。

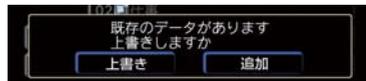


- 2 電話帳データを転送したいグループを選びタッチする。

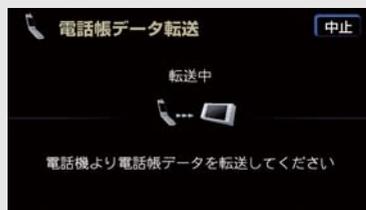


- ▶ すでに電話帳データがあるときは

- 既存のデータに上書きする。
→ 「上書き」 にタッチ
- 既存のデータに追加する。
→ 「追加」 にタッチ



- 3 電話帳データ転送画面表示中に、携帯電話で電話帳の転送操作をする。



- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。
- 転送を中止したいときは
→ 「中止」 にタッチ

- ▶ 1件ずつ転送し、転送が終わると電話帳データ転送画面で待機する機種の場合

- 転送したい電話帳データの数だけ、転送操作を繰り返します。

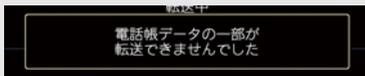
- 4 転送が完了すると、メッセージが表示され、電話画面に戻る。



- ▶ 1 件ずつ転送し、転送が終わるごとに電話画面に戻る機種の場合
- ➔ 転送したい電話帳データの数だけ **1**～**4**の手順を繰り返します。

「転送ができませんでした」が表示されたときは

転送操作を初めからやり直します。



電話帳データの転送について

電話帳データを転送する際、各データについては、以下のような制限があります。

- 携帯電話の電話帳でひとつの名称に 3 件以上の電話番号が登録されているとき、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
- 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません (携帯電話の仕様により可能なこともあります)。
- 車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、以下のような特徴があります。

- 転送には 10 分程度かかることがあります。
- 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。このとき、電話帳データ転送は継続されます。

電話帳データ転送中は、以下のように対応します。

- 電話帳データ転送中に着信があったときは、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先されたとき、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。このときは、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
- 電話帳データ転送中に発信操作をしたときは、転送を継続して発信を中止します。
- 電話帳データ転送中に“エンジンスターストップ”スイッチを OFF にしたとき、転送は中止されます。このときは、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。

以下のとき、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。

- 車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
- 何らかの原因で転送が中断されたとき

電話帳に新規データを追加する

車載機の電話帳に、直接情報を入力して電話帳を作ることができます。

- 電話帳は、名称・名称読み・電話番号・電話番号アイコン・グループ・音声認識・認識読みを登録できます。

新規追加

項目を選択

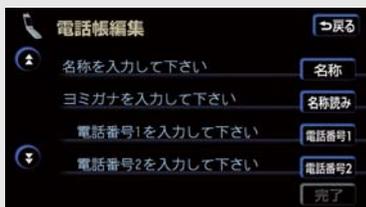
各項目の編集

完了

1 [新規追加] にタッチする。



2 編集したい項目にタッチし、編集する。



- 各項目の編集のしかた (→ P.448)。

3 編集が終わったら、[完了] にタッチする。



- ▶ 電話帳 (50音) 画面から電話帳を編集するには

→ [新規追加] にタッチする (→ P.429)。



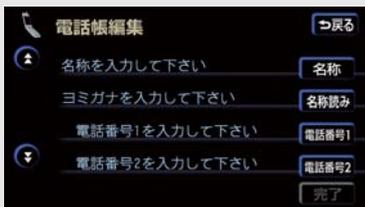
- ▶ 履歴内容画面から電話帳を編集するには

→ [新規登録] にタッチする (→ P.430)。



名称・名称読み・認識読みの編集をする

1 編集したい項目にタッチする。



- 名称・名称読みは省略できます。省略したときは、電話番号が表示されます。
- 音声認識発信をしたいときは
→ 認識読みを必ず入力してください。名称読みが入力されていないと、音声認識の対象になりません。



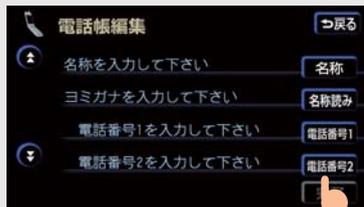
2 名称・読みを入力する。



- 入力のしかた (→ P.14)。

電話番号を編集する

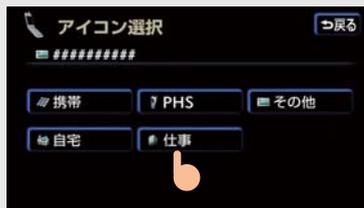
1 [電話番号 1]、または[電話番号 2]にタッチする。



2 電話番号を入力し、[完了]にタッチする。



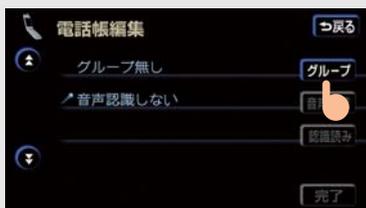
3 電話番号に登録したいアイコンを選び、タッチする。



グループの選択をする

電話番号にグループを設定しておく、グループごとに検索できるため便利です。グループは 20 まで設定できます。設定しないときは「グループ無し」になります。

1 [グループ] にタッチする。



2 グループを選び、タッチする。

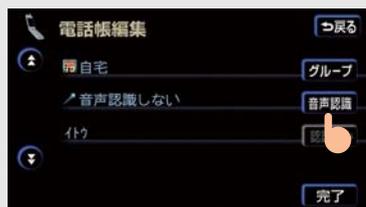


- グループに名称をつけることができます (→ P.454)。

音声認識の設定をする

各情報について、音声認識の対象とする、しないを設定できます。音声認識の対象に設定すると、各情報の認識読みにより音声認識発信ができます (→ P.432)。音声認識の対象は、500 件までです。

1 [音声認識] にタッチする。



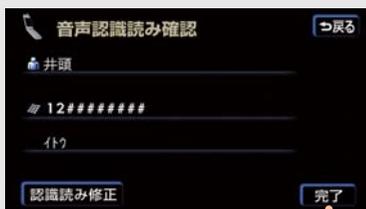
2 音声認識の対象にする電話番号を選び、[電話番号①]、または[電話番号②] にタッチする。



- [音声認識しない] にタッチすると
→ 音声認識の対象になりません。



- 3** 音声認識で使う読みを確かめ、[完了] にタッチする。



- 読みを修正したいときは
➔ [認識読み修正] にタッチ

音声認識の設定について

- 電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したいときは、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- 音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

電話帳に追加データを登録する

すでにある電話帳データに、履歴の内容を追加データとして登録することができます。履歴に登録されている電話番号を、登録済みの電話帳データに追加したいときに便利です。

追加登録

追加登録したいデータを選択

完了

- 1** [追加登録] にタッチする(→P.430)。



- 履歴に登録されている電話番号を新規に電話帳データとして登録したいときは(→P.447) ➔ [新規登録] にタッチ



- 2 追加登録したいデータにタッチする。



- 3 追加されたデータを確認、編集が終わったら [完了] にタッチする。



修正

修正したいデータを選択

各項目の編集

完了

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

- 1 [修正] にタッチする。



- 2 修正したいデータにタッチする。



- 3** 各項目のスイッチにタッチし編集する。編集が終わったら、[完了]にタッチする。



- ▶ 電話帳内容画面 (→ P.429) から電話帳編集画面を表示させ修正する。
 ➔ [修正] にタッチし、編集する。



電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に削除、または一度に削除できます。

- お車を手放すときは、個人情報情報を初期化してください (→ P.33)。

個別に削除する

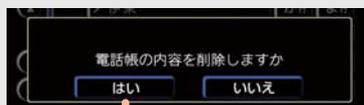
- 1** 電話帳の [削除] にタッチする。



- 2** 削除したいデータを選び、タッチする。



- 3** [はい] にタッチする。



電話画面から削除する

- 1 [電話帳] にタッチする (→ P.428)。



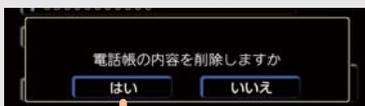
- 2 削除したいデータを選び、タッチする。



- 3 [削除] にタッチする。



- 4 [はい] にタッチする。



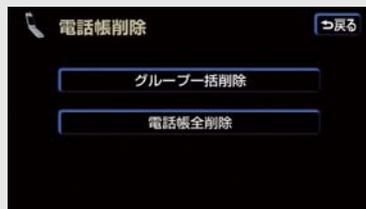
すべて削除する

- 1 電話帳の [全削除] にタッチする。



- 2 削除方法を選び、タッチする。

- [グループ一括削除] グループ内の電話帳データすべてを削除します。
- [電話帳全削除] 電話帳のすべてのデータを削除します。

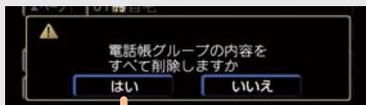


- ▶ [グループ一括削除] を選んだときは

→ 削除したいグループにタッチ



3 [はい] にタッチする。



電話画面から削除する

1 [電話帳] にタッチする (→ P.428)。



2 [全削除] にタッチする。



3 [はい] にタッチする。



グループ名称を登録する

「グループ 01」～「グループ 19」のグループは、名称をつけることができます。

登録

名称をつけたいグループを選択

[アイコン] または [名称]

編集する

完了

1 [登録] にタッチする。



2 名称をつけたいグループを選び、タッチする。



- 3 [アイコン]、または [名称] にタッチして、編集する。



- 4 編集が終わったら、[完了] にタッチする。



- 「グループなし」は、名称の登録・削除ができません。

グループアイコンを選択する

- 1 [アイコン] にタッチする。



- 2 アイコンを選び、タッチする。



グループ名称の編集をする

- 1 [名称] にタッチする。



- 2 名称を入力する。



- 入力のしかた (→ P.14)。

グループ名称を削除する

グループ名称は、個別に削除、または一度にすべて削除できます。

- グループ名称を削除すると、「グループ無し」以外のグループ名称は初期設定の状態に戻ります。

グループ名称を個別に削除する

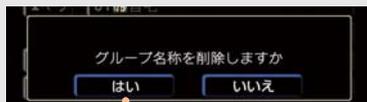
- 1 グループ名称の「削除」にタッチする。



- 2 削除したいグループにタッチする。



- 3 「はい」にタッチする。

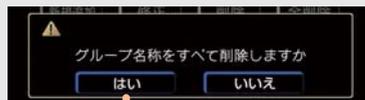


グループ名称をすべて削除する

- 1 グループ名称の「全削除」にタッチする。



- 2 「はい」にタッチする。



6. 履歴を削除する

履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは個別に削除、または一度にすべて削除できます。

- お車を手放すときは、個人情報情報を初期化してください (→ P.33)。

履歴のデータを個別に削除する

- 1 [削除] にタッチする。



- 2 [はい] にタッチする。

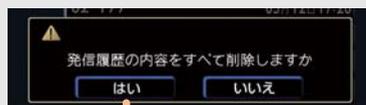


履歴のデータをすべて削除する

- 1 発信履歴、または着信履歴画面で、[全削除] にタッチする。



- 2 [はい] にタッチする。



7. セキュリティの設定をする

セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部の機能を使うことができなくなることがあります。

- ホテルで車を預けるときなど、登録してあるデータを他人に見られたくないときにご利用ください。

ロック No. について

セキュリティの設定および解除は、ロック No. の入力が必要です。セキュリティを使うときは、必ずロック No. をかえてからご使用ください。

- ロック No. は 4 桁の数字です。
- ロック No. の初期設定は「0000」です。
- ロック No. をかえるときは、他人にわかりにくい番号を設定してください。

注意

ロック No. をかえるときは、ロック No. を忘れないでください。ロック No. を忘れるとレクサス販売店でもセキュリティ解除することができません。もしロック No. を忘れてしまったときは、個人情報の初期化を行ってください（→ P.33）。ただし、個人情報の初期化を行うと、電話帳のほかに、ナビの地点情報や録音済みの音楽なども消去されます。

電話帳・発信履歴制限をすると

電話帳・発信履歴制限を設定すると、以下の機能を使うことができなくなります。この機能を設定すると、走行中、ワンタッチダイヤル画面の表示ができません。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時、相手先の名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロック No. の変更

通信モジュールの発信制限をする

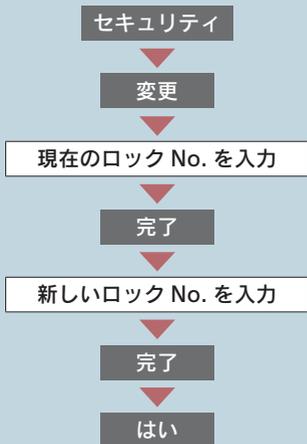
通信モジュール使用時

電話機選択で、通信モジュールを選んでいるときは、通信モジュールの発信制限を設定すると以下の機能を使うことができなくなります。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- 電話機選択（携帯電話から、通信モジュールへ変更をすることができません）

ロック No. を変更する

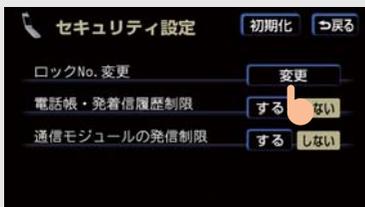
セキュリティの設定および解除は、ロック No. の入力が必要です。



1 [セキュリティ] にタッチする。



2 [変更] にタッチする。



3 現在のロック No. を入力し、[完了] にタッチする。



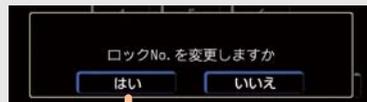
- 番号を修正したいときは
→ [修正] にタッチ



4 新しいロック No. を入力し、[完了] にタッチする。



5 [はい] にタッチする。



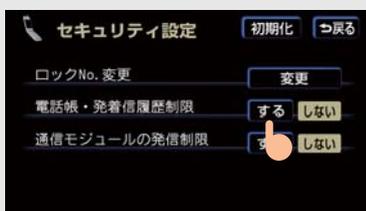
電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、使えなくなる機能があります(→ P.458)。

セキュリティ

する

電話帳・発着信履歴制限の【する】にタッチする。



▶ 設定をかえたときは

➡ ロック No. を入力し、【完了】にタッチ



▶ 設定を解除したいときは

➡ セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の【しない】にタッチし、ロック No. を入力する。

通信モジュールの発信制限をする

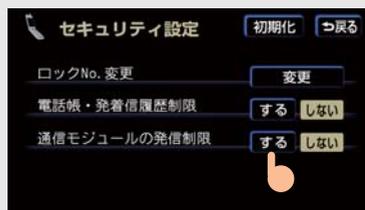
■ 通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選んでいるとき、通信モジュールの発信制限を設定すると、使えなくなる機能があります(→ P.458)。

セキュリティ

する

通信モジュールの発信制限の【する】にタッチする。



▶ 設定をかえたときは

➡ ロック No. を入力し、【完了】にタッチ



▶ 設定を解除したいときは

➡ セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の【しない】にタッチし、ロック No. を入力する。

設定を初期化する

セキュリティの各設定を初期の状態に戻すことができます。

セキュリティ

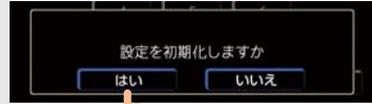
初期化

ロック No. を入力

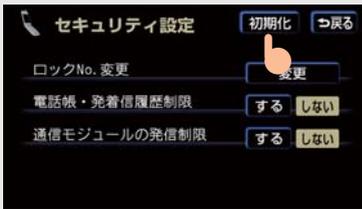
完了

はい

3 [はい] にタッチする。



1 [初期化] にタッチする。



2 ロック No. を入力し、[完了] にタッチする。



8. 通信機器・Bluetooth の設定をする

携帯電話を登録する

携帯電話の登録のしかた(→P.419)。

- 携帯電話の登録をすると、最も新しく登録した携帯電話が車載機側で選ばれます。
- 本機で使うことができる携帯電話は、電話機選択で選んだ携帯電話のみです。

使用する通信機器を選択する

複数の携帯電話や、通信モジュールを利用するときは、使用する通信機器を選ぶ必要があります。



1 [電話機選択] にタッチする。



- ▶ 携帯電話を使うときは
 - ➡ 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にします。



2 使いたい携帯電話、または通信モジュールを選び、タッチする。

Bluetooth マーク



- Bluetooth 接続中の携帯電話は、Bluetooth マークが表示されます。



3 [完了] にタッチする。

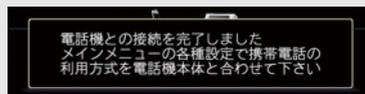


- ここまでの手順が終わったら、通信モジュールは使うことができます。

- ▶ 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは
 - ➡ 確認のメッセージが表示され、切断してもよければ [はい] にタッチ



4 接続完了のメッセージ表示。

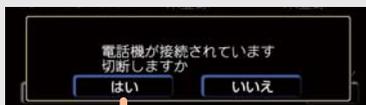


- ここまでの手順が終わったら、携帯電話は使うことができます。

データ通信中のとき

電話機を選ぶと、メッセージが表示されます。

通信を終了するときは、[はい] にタッチします。



- [いいえ] にタッチしたときは
 - ➔ データ通信終了後、手順 **2** からやり直します。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機の選択はできません。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報画面で、車載機に登録してある携帯電話または通信モジュールについての情報を表示させることができます。

機器を選択

詳細情報表示

電話機詳細情報画面の表示

- 1 情報を表示させたい携帯電話、または通信モジュールを選び、[詳細情報表示] にタッチする。



- 2 電話機詳細情報画面の表示。この画面で以下の操作ができます。

- Device Name の変更（携帯電話使用時）
- 自動着信拒否の設定（通信モジュール使用時）



- Device Name (デバイス名称) とは
 - ・ 車載機に表示される携帯電話、または通信モジュールの名称です。携帯電話のときは、名称をかえることができます。
- Bluetooth Device Address とは
 - ・ 機器固有のアドレスです。かえることはできません。通信モジュールのときは表示されません。
- 自局電話番号とは
 - ・ 携帯電話、または通信モジュールの電話番号です。

▶ 設定が終わったら

➡ [戻る] にタッチ



■ Device Name を変更する

■ 携帯電話使用時

車載機に表示される携帯電話の名称を、かえることができます。

1 [変更] にタッチする。



2 Device Name を入力する。



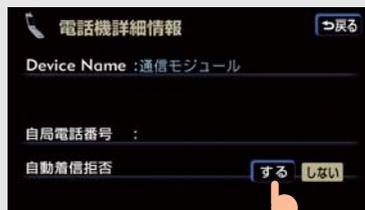
- 入力のしかた (→ P.14)。

■ 自動で着信拒否する

■ 通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選んでいるときは、自動着信拒否をすることができます。ハンズフリーを通信モジュールで使っているとき、電話を受けたくない場合に使います。

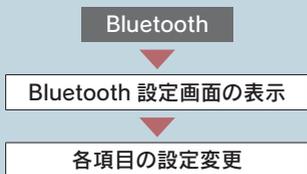
[する]、または[しない]にタッチする。



- [する] に設定すると
 - ➡ 通信モジュールの電話番号に電話がかかってきたとき、自動で着信拒否します。
- ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

車載機の Bluetooth 設定を 変更する

Bluetooth 設定画面で、車載機についての Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。



1 [Bluetooth] にタッチする。



2 Bluetooth 設定画面の表示。 Device Name、または PASS-KEY をかえたいときは [変更] にタッチ する。



- Device Name とは
 - ・ Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。名称をかえることができます。

- PASS-KEY とは
 - ・ 携帯電話を車載機に登録するときのパスワードです。
- Bluetooth Device Address とは
 - ・ 機器固有のアドレスです。変更することはできません。

▶ Device Name をかえる

→ Device Name を入力します。



- 入力のしかた (→ P.14)。

▶ PASS-KEY をかえる

→ 4～8 桁の数字を入力し [完了] にタッチします。



- 修正するときには → [修正] にタッチ

▶ 設定がすべて終わったときは

→ [戻る] にタッチ



Bluetoothの詳細設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態に戻すことができます。

- 1 [初期化] にタッチする。



- 2 [はい] にタッチする。



削除

削除する携帯電話を選択

完了

はい

Bluetooth 電話機の登録を削除する

登録した Bluetooth 電話機の削除のしかたを説明します。

- 1 [削除] にタッチする。

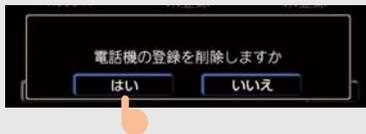


- 2 削除する携帯電話にタッチし、[完了] にタッチする。



2

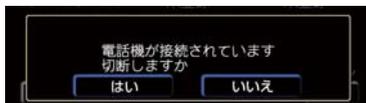


3 [はい] にタッチする。

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

▶ データ通信中のときは

➡ 通信を終了するときは[はい]にタッチ

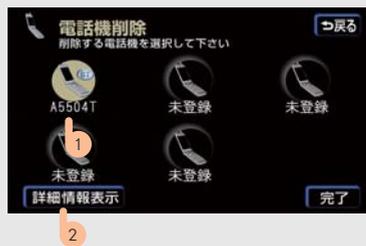


- [いいえ] にタッチしたときは、データ通信終了後、手順**2**からやり直します。

登録を削除する携帯電話の詳細情報を表示する

登録を削除する前に、削除する携帯電話を間違えていないか確かめることができます。

- 1** 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチし、[詳細情報表示]にタッチする。



- 2** 確認が終わったら、[戻る]にタッチする。



G-Link サービス

<p>1 ご利用にあたって</p> <p>1. G-Linkサービスとは 473 G-Link サービスとは..... 473</p> <p>2. 知っておいてください 474 安全上の注意..... 474 お車を手放す際は 474 通信機器について 474 データ通信時の留意事項 476</p> <p>2 利用手続きをする</p> <p>1. 利用手続きについて 478 利用手続きの前に 478 利用手続きをする 478</p> <p>2. サポートアドレスについて 480 サポートアドレスについて 480</p> <p>3. 解約について 481 解約について 481</p> <p>4. 有料コンテンツのご利用に ついて 482 有料コンテンツのご利用について ... 482</p> <p>3 ヘルプネット (エアバッグ連動タイプ)</p> <p>1. はじめに 483 ヘルプネットについて 483 各部の名称とはたらき 484 安全のために 486</p> <p>2. サービス開始操作をする 488 サービス開始操作をする 488</p>	<p>3. 緊急通報をする 490 エアバッグ作動による自動通報 490 ボタン操作による手動通報 492</p> <p>4. 保守点検をする 495 自動保守点検 495 手動保守点検 495</p> <p>5. 知っておいてください 498 表示灯について 498 緊急通報できない場合について 499 故障とお考えになる前に 501</p> <p>4 G-Security (Gセキュリティ)</p> <p>1. G-Securityについて 502 G-Security について 502</p> <p>2. 携帯電話での操作について 506 携帯電話での操作の流れ 506</p> <p>5 メインメニュー</p> <p>1. メインメニュー画面で 操作する 509 メインメニュー画面の使い方 509</p> <p>2. ブラウザを操作する 510 ブラウザ画面で操作する 510 車載機のスイッチで操作する 512 ステアリングスイッチで操作する 513</p> <p>3. ブラウザ閲覧履歴から コンテンツを表示する 514 ブラウザ閲覧履歴の使い方 514</p>
---	--

4. ブックマークを使う	515
ブックマークに登録する	515
ブックマークのタイトルを 編集する	516
ブックマークを削除する	517
5. 音声認識コマンドを使う	518
音声認識コマンドについて	518
6. 各種設定をする	519
各種設定画面を表示する	519
通信ロック解除のための暗証番号を 設定する	520
通信ロックについて	523
通信ロックを使う	524
G-Link 設定を初期化する	525
各種条件を設定する	526

6 Myリクエスト

1. Myリクエストについて	527
My リクエストとは	527
リクエストの登録	528
2. リクエストをする	529
My リクエスト画面で リクエストをする	529
音声認識でリクエストをする	530
コンテンツ読み上げ中の操作	532

7 レクサスオーナーズデスク

1. レクサスオーナーズデスク について	535
レクサスオーナーズデスク について	535
レクサスオーナーズデスクへ 連絡する	535

8 レクサス緊急サポート24

1. レクサス緊急サポート24 について	537
レクサス緊急サポート 24 について	537

9 リモートメンテナンスサービス

1. リモートメンテナンス サービス	538
リモートメンテナンスサービス について	538

10 アミューズメント

1. アミューズメントメニュー	540
アミューズメントメニュー画面の 使い方	540
2. G-ライブラリコピー	541
G-ライブラリコピーについて	541
G-ライブラリコピー画面の 使い方	542
コンテンツをコピーする	543
コンテンツを削除する	545
3. G-SOUNDカタログ	548
G-SOUND について	548
G-SOUND カタログについて	549
G-SOUND カタログ画面の使い方 ...	550
希望のコンテンツを検索する	551
コンテンツを試聴する	552
ライセンスの購入手続きをする	553
G-SOUND コンテンツを再生する ...	554
ライセンスを確認する	554
G-SOUND コンテンツを削除する ...	555
4. CDタイトル情報取得	557
タイトル情報を取得する	557

11 AUTOLIVE

- 1. AUTOLIVEについて** 558
 - AUTOLIVE について 558
 - 音量・音質・音場の調整について ... 559
 - AUTOLIVE の操作手順 560
 - 歌本・チャンネルガイドについて ... 561
 - チケットについて 561
- 2. AUTOLIVEカラオケ画面の使い方** 562
 - AUTOLIVE カラオケ画面の使い方... 562
 - 選曲メニュー画面の使い方 564
- 3. AUTOLIVEカラオケの準備をする** 565
 - AUTOLIVE カラオケの準備をする... 565
- 4. AUTOLIVEカラオケの選曲をする** 567
 - 選曲方法について 567
 - 歌本から選曲する 567
 - Gで選曲する 570
 - 曲番号で選曲する 571
 - 購入済曲から選曲する 572
 - 音声認識で選曲する 573
- 5. AUTOLIVEカラオケの予約をする** 575
 - 予約について 575
 - 予約曲を並べ替える 575
 - 予約を取り消す 576
- 6. AUTOLIVEカラオケのデータを削除する** 577
 - 歌本を削除する 577
 - 曲データを削除する 578
- 7. AUTOLIVE BGM各画面の使い方** 579
 - AUTOLIVE BGM 画面の使い方 579
 - チャンネル追加メニュー画面の使い方 582

- 8. AUTOLIVE BGMの準備をする** 583
 - コースを選択する 583
 - 利用契約をする 584
- 9. チャンネルを選択する** 585
 - チャンネルの選択方法について 585
 - チャンネルガイドから選択する 585
 - Gで選択する 587
 - 購入済チャンネルから選択する 587
- 10. チャンネルを追加する** 589
 - チャンネルリストについて 589
 - チャンネルを追加する 589
 - チャンネルを並べ替える 590
 - チャンネルを取り消す 591
 - チャンネル情報を見る 592
- 11. AUTOLIVE BGMのデータを削除する** 593
 - チャンネルガイドを削除する 593
 - 曲データを削除する 594

12 G-Linkとナビの連携機能

- 1. G-Linkとナビの連携機能** 595
 - ナビ連携機能について 595
- 2. 渋滞予測** 596
 - 渋滞予測情報画面 596
 - 渋滞予測情報を表示する 596
- 3. Gルート探索** 599
 - Gルート探索をする 599
- 4. Gメモリ地点** 601
 - Gメモリ地点について 601
 - Gメモリ地点を登録する 601
 - Gメモリ地点を表示する 601
- 5. 施設情報表示** 602
 - 施設の情報を表示する 602

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

6. G情報マーク表示	603
G 情報マークを表示する	603
7. G情報マーク連動サービス	604
G 情報マーク連動サービス について	604
8. Gで設定	605
G で設定について	605
ドライブプランを利用する	605
G メモリを利用する	606
G メモリを一括ダウンロードする....	607

13 知っておいていただきたいこと

1. 契約を解約する	608
お車を手放すとき	608
契約の解約手続きについて	608
2. こんなメッセージが 表示されたときは.....	610
表示内容とその処置	610

1. G-Link サービスとは

G-Link サービスとは



いつでも、どこでも、お客様のお車をネットワークでサポートするレクサス専用のテレマティクスサービスです。トヨタが開発した「G-BOOK」にレクサス専用サービスである「レクサス緊急サポート 24」をプラス。「レクサスオーナーズデスク」との連携により、最先端のサービスを提供致します。

G-BOOK

トヨタが開発したテレマティクスサービスです。G-BOOKセンターに接続し、以下のようなサービスを提供します。

- ヘルプネット (エアバッグ連動タイプ)
- G-Security
- G ルート探索
- G-SOUND
- AUTOLIVE
- 渋滞予測

レクサスオーナーズデスク

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話をしていただくと、レクサスケアコミュニケーターが G-BOOK と連携し、以下のようなご要望に 24 時間・365 日お答えします。

- ドライブサポート
(ナビゲーションシステムの目的地設定や施設情報案内など)
- 予約サービス
- 各種問い合わせ

レクサス緊急サポート 24

レクサス専用のサービスです。事故や故障など、万一のトラブルに 24 時間対応します。故障の場合には、ドライバーと同乗者の帰宅や宿泊などの費用を、一定の条件で負担したり、以下のようなサービスを提供します。

- 現場緊急修理サポート
- レッカーサポート
- 故障時臨時費用サポート
(臨時交通費・臨時宿泊費・修理後の搬送費)
- 保険会社取り次ぎサービス
- 伝言サービス

2. 知っておいてください

安全上の注意

G-Link サービスをご利用になるときは、以下の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中は、安全のために G-Link サービスの一部の機能を制限します。コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車してください。

お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、契約の解約手続きをしてください（→ P.608）。

通信機器について

G-Link サービスは通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信やハンズフリー通話を行います。

通信モジュールについて

通信モジュールは、通信アンテナを使用します。通信アンテナは、ルーフ後端にあります。

警告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから 22 cm 以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link サービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。データ通信に伴う電波により、ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ライセンス契約など

この製品は下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501
5,506,865	5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239
5,267,261	5,544,196	5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569
5,710,784	5,778,338			

BREWTM および BREWTM に関連する商標は、Qualcomm 社の商標または登録商標です。

The word BREW is a registered trademark of QUALCOMM Incorporated. The BREW[®] Logo, which includes the interlocking circles design, is a trademark (TM) of QUALCOMM Incorporated.

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったリ、それに関与してはなりません。

本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはなりません。

U.S. law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries - Cuba, Iran, Iraq, Libya, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

データ通信時の留意事項

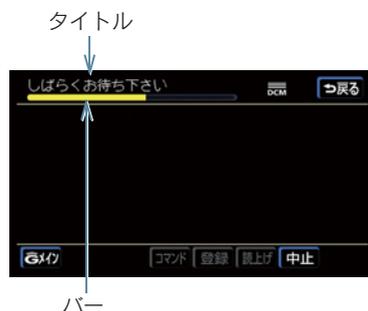
G-Link サービスは、データ取得に通信を使用します。以下の点をご理解の上、正しくお使いください。

通信機器留意事項

- 通信方式は、KDDI 株式会社の CDMA 方式の au 携帯電話と同じです。CDMA 1X WIN サービスエリアでは、最大 2.4 Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。それ以外の CDMA 1X サービスエリアでは、最大 144 kbps データ通信サービスとなります。同社サービスエリア図をご参照ください。なお、通信状況は様々な要因で変動します。サービスエリア内にいれば、つねに通信ができるわけではありません。
- 以下のような状況のときは、データ通信ができません。
 - ・ トンネルの中にいる
 - ・ 地下駐車場にいる
 - ・ 山奥などの通信圏外にいる
 - ・ 回線が混雑しているなど、発信規制中

G-Link サービスはデータ取得に通信を使うため、通信環境の整わない状況ではサービスの利用はできません。

- 通信事業者にて通信に使う電波が変更もしくは打ち切りになったとき、G-Linkサービスが使用できなくなります。そのときには事前にご連絡します。
- ヘルプネット(→ P.483)での緊急通報中は、ほかの G-Link サービスはご利用できません。
- ネットワーク接続中はタイトル(画面上部)に「接続中」、コンテンツ読み込み中は「しばらくお待ち下さい」が表示されます。



- コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面操作をしてください。
 - ・ 走行中のためにコンテンツの表示が制限されているときは、コンテンツの読み込みが終了すると、「ピッ」という音でもお知らせします。

- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

通信中マーク



- 受信レベル表示が「圏外」と表示されているときでも、本機はデータ取得動作を行います。一定時間経過してもデータ取得できないときは、自動的に中止します。中止するまでの時間は、通信状態により異なります。
- GPS 信号を長期間（数ヶ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ P.153）に車を移動し、、または  を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確かめた後、再度試みてください。



GPS マーク

- データ取得までの時間は、車載機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

状態	表示
未接続時	未接続
	接続の検出ができません
接続規制時	規制 DCM
	接続が規制されています
接続時	圏外 DCM DCM DCM DCM DCM
	圏外 弱 ←————→ 強

2. 利用手続きをする

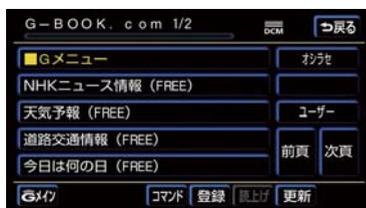
1. 利用手続きについて

利用手続きの前に

G-Link サービスをご利用になられる場合、レクサス販売店で「G-Link 利用申込書」に必要事項を記入してください。申し込み手続き後、1 週間ほどでG-Link車載機から利用手続きが可能となります。

G-BOOK.com のトップ画面が表示されるとき

〈G-BOOK.com トップ画面〉



レクサス販売店にて、新車ご購入と同時にG-Link サービスを申し込みいただくと、すでにレクサス販売店でG-Link 利用手続きが完了されています。上記以外の場合は、G-Link サポートセンターにご連絡ください。

■ G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

☎ 0800-300-3388

受付時間 9 : 00 ~ 18 : 00

月曜～金曜（除く祝日）

利用手続きをする

初めてG-BOOKセンターに接続するときに、通信の初期設定を行った後に利用手続きをします。なお、通信の初期設定が完了しているときは、[G-BOOK.com] にタッチすると、利用手続きが開始されます。

情報・G または INFO

メインメニュー

G-BOOK.com

通信初期設定を行う

利用手続き

1 情報・G、または INFO を押す。

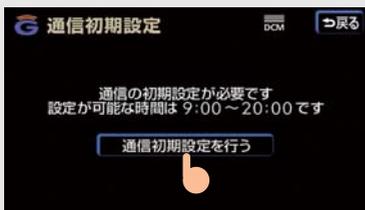


2 [メインメニュー] にタッチする。



3 [G-BOOK.com] にタッチする。

- 通信初期設定が完了しているときは
→ **6**の画面の指示にしたがって申し込み内容を確認してください。

**4** [通信初期設定を行う] にタッチする。**5** 通信の初期設定を開始する。

- 初期設定を中止するときは
→ [中止] にタッチ

**6** 通信の初期設定が終了すると、G-BOOK.com に接続され申し込み内容が表示されます。

- 画面の指示にしたがって申し込み内容を確認してください。

- ▶ 利用の手続きが完了すると
→ G-Link 利用契約が成立します。

**7** 利用の手続きが終了したら、ヘルプネットのサービス開始操作 (→ P.483) をして、車載機が正常に動作するか確かめてください。

- この確認をしないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。
- サービス開始操作は必ず契約者本人がしてください。
- 手続きをするときは、以下の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。
 - ・通信が途中で切れないように、受信感度の良い場所で行ってください。
 - ・手続きの途中で、中止または切断の操作をしないでください。また、エンジンをかけなおすなどの“エンジンスタートストップ”スイッチの操作をしないでください。

■ 利用料金について

- G-Linkサービスは、車両の初度登録から初回車検月末までの3年間無料でご利用いただけます。
- 無料期間終了後は、所定の利用料金をお支払いいただくことで引き続きG-Linkサービスをご利用いただけます。
- 詳しくは、無料期間終了前に別途書面にてご案内いたします。

2. サポートアドレスについて

サポートアドレスについて

サポートアドレスとは、G-Securityで車両の異常を検知した場合などに、お客様へ連絡するための電話番号とEメールアドレスです。G-Link利用申込書へ記入していただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

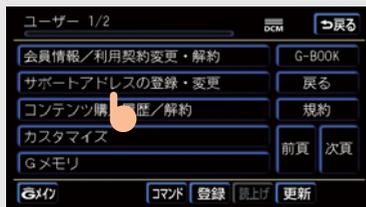
サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、ユーザーページで行います。

- 1 メインメニュー画面で、[G-BOOK.com] にタッチし、[ユーザー] にタッチする。



- 2 [サポートアドレスの登録・変更] にタッチする。



- 3 表示される電話番号を確かめた後、[メール] にタッチしEメールアドレスを確認する。



- 4 Eメールアドレスをかえたいときは、変更する電話番号/Eメールアドレスにタッチし、入力する。

3. 解約について

解約について

G-Link サービスを解約するときは、状況に応じて以下の手続きをしてください。

車載機で解約する

- 1 契約の解約手続きをする
(→ P.608)。



- 2 G-Link の設定を初期化する
(→ P.525)。

解約しないで、車を手放したときなど

G-Link サポートセンターに連絡して解約する。

G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

 0800-300-3388

受付時間 9 : 00 ~ 18 : 00

月曜～金曜（除く祝日）

注意

G-Link を解約すると、ヘルプネットや G-Security を含む G-Link のサービスが利用できなくなります。

4. 有料コンテンツのご利用について

有料コンテンツのご利用について

G-Link サービスのコンテンツには、G-Link 利用手続きを完了すると、すぐに利用できるコンテンツと、別で購入手続きが必要な有料コンテンツがあります。

有料コンテンツの購入・解約

有料コンテンツの購入・解約には、以下の手続きが必要です。また、利用料金はコンテンツごとに異なります。

有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを利用するとき、コンテンツ購入手続き案内が表示される場合には、当該コンテンツの購入がされておられません。画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

- 自動車専用ハンズフリー電話をご利用の場合は、通話料金のお支払い方法と同一方法でのお支払いとなります。

有料コンテンツ解約手続き

G-BOOK.comのユーザーページで、[コンテンツ購入履歴/解約]にタッチした後、[デジタルコンテンツ契約内容の確認]にタッチしてください。その後、「G暗証番号」を入力し解約してください。

- 「G暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを利用するときに入力していただく4桁の番号です。

1. はじめに

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 利用手続後に手動保守点検によるサービス開始操作*が完了すると利用できます（→ P.488）。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 利用契約を解約すると、同時に解約されます。

- ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの商標です。

緊急通報について

緊急通報は、サービス開始操作が完了すると利用できる機能です。

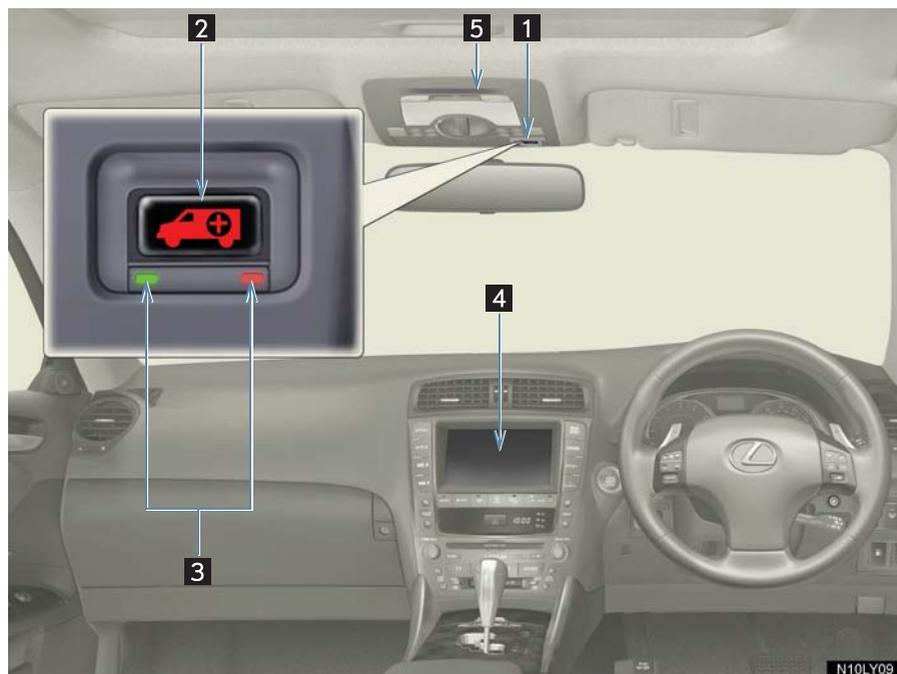
エアバッグ作動による自動通報

- 事故が発生し、エアバッグが作動すると自動的にヘルプネットセンターに通報します。

ボタン操作による手動通報

- 乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき



名 称		機 能
1 ヘルプネット スイッチパネル	2 ヘルプネット ボタン	ボタン操作による手動通報をするとき、また、手動保守点検をするときに押します。
	3 表示灯（赤、緑）	赤、緑表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作をお知らせします。
4 ディスプレイ		緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。
5 マイク		緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に、お客様の声をヘルプネットセンターに伝えます。

 注意

ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合等があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

安全のために



警告

■ 安全運転を心がけてください。

- 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じる時は、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作*は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - ・ 携帯電話サービスエリア外で使用している
 - ・ 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
 - ・ G-Link 利用契約が未契約、または契約期限が切れている
 - ・ サービス開始操作*を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返します。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- G-Link利用契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。緊急通報できないことがあり危険です。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

警告

- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

注意**■ 無理に分解しないでください。**

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。
動作温度範囲：-20℃～+60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりとかけて、“エンジンスターストップ”スイッチをOFFにしてください。

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用についての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが開いたときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの利用契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. サービス開始操作をする

サービス開始操作をする

ヘルプネットは、サービス開始操作*を完了すると利用できます。

G-Link 利用手続後、以下の手順でサービス開始操作*をしてください。また、ヘルプネットスイッチパネルなどが正常に動作するか確かめてください。この確認をしないと、ヘルプネットサービスの利用ができません。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。



2 「手動保守点検」を行い、以下の点を確認する（→ P.495）。

- 通信が正常に始まる。
- 通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。
- 通話ができる。



3 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくてもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯することがあります。このとき、緊急通報できないことがあるため、レクサス販売店にご相談ください。

**警告****■ 正常に動作しないとき、救援困難となる可能性があります。**

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - ・ 通信が始まらない。
 - ・ 通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
 - ・ 通話できない。
- サービス開始操作*は途中で中断せず、最後まで完了してください。“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにして中断したときは、基本的にヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。
- サービス開始操作*時の手動保守点検が正常に動作しなかったときは、緊急通報できないことがあります。手動保守点検時に関連機器が正常に動作しないときや、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しているが、通話ができないときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリーなどが利用できません。このとき、手動保守点検が終了してからご利用ください。

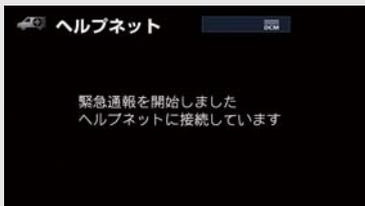
* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. 緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

事故が発生し、エアバッグが作動すると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

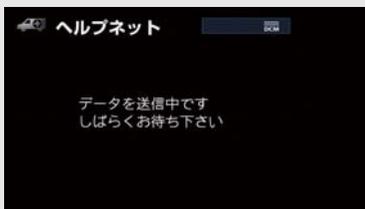
- 1 衝突事故などによりエアバッグが作動すると、緊急通報が開始される。



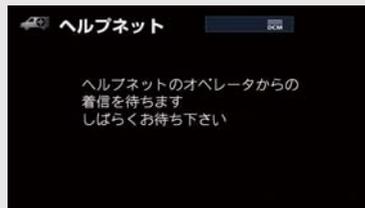
- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。



- 2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信される。



- 3 データ通信完了後、通話モードになる。マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- 4 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。



- お客様からの応答が無い場合には意識不明と判断し、オペレーターがお客様に代わって速やかに救急車の手配を要請します。



- 5 警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。



- 6 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行う。

緊急通報を終了しました
これより着信した場合は
自動的に通話を開始します



- 7 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

ヘルプネット
待機中...
着信した場合は自動的に通話を開始します

警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。



- 8 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。
- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。



- 9 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

警告

- 緊急通報できなかつたときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかつたときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
 - 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除くG-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわせてために、流れを覚えておいてください。

- “エンジンスターストップ” スイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

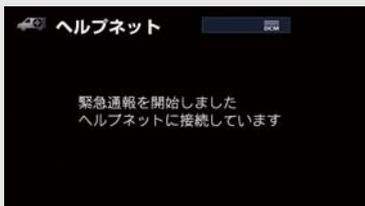
- 1** ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。



- 2** ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開き、ヘルプネットボタンを押す。



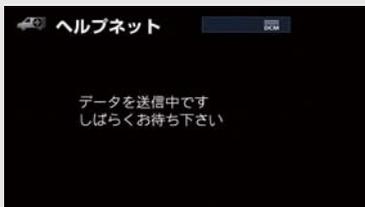
- 3** ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。



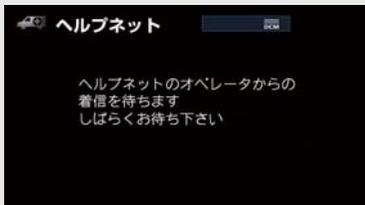
- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。



- 4** ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。



- 5** データ通信完了後、通話モードになる。マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- 6** 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。



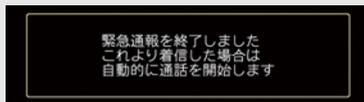
- 手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。



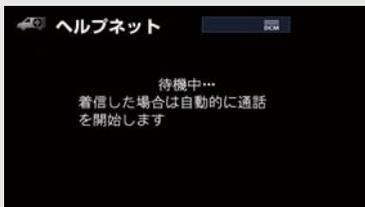
- 7** 警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。



- 8** 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。



- 9** 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。



- 10** 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要ときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。
- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

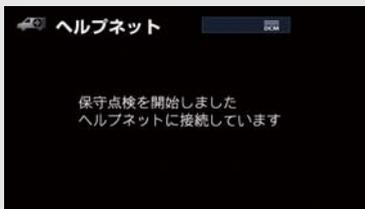
- 4 “エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにする。



- 5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 10 秒間押し続ける。



- 6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

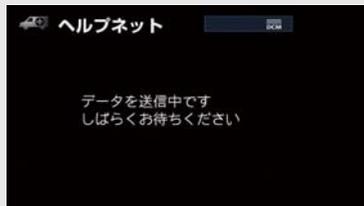


- 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅し始めます。ボタンから指を離してください。
- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

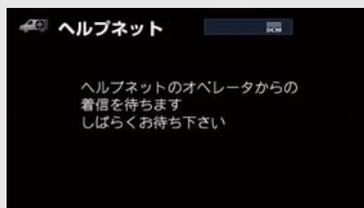


- 7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

- 車両の所在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること



- 8 データ通信完了後、通話モードになります。



9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- ヘルプネットセンターの対応は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。



10 通話の終了後に点検を終了します。

保守点検を終了しました

- 緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

警告

サービス開始操作*で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断したときは、基本的にはヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。

注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときは“エンジンスタートストップ”スイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

5. 知っておいてください

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア内)	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア外)	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき (携帯電話サービスエリア内)	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		ボタン操作による点検中のとき	ボタン操作による点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		何回も連続して自動保守点検に失敗したとき	ボタン操作によって、保守点検をしてください (→ P.495)。それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		ボタン操作による保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
点灯	点灯	“エンジンスターストップ” スイッチをイグニッション ON モードにしたとき (約 5 秒間)	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。
		関連機器が動作していないとき	“エンジンスターストップ”スイッチをアクセサリモードまたはイグニッションONモードにしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。
		サービス開始操作をしていないとき	サービス開始操作を行う。

警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
 - ・ エンジン始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
 - ・ エンジン始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
 - ・ 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
 - ・ エンジン始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

G-Link 利用契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき
- ヘルプネットは、ナビゲーションシステムの GPS から位置情報を取得しています（→ P.153）。

ヘルプネットセンター／G-BOOK センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

その他の要因

- 手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症 状	考えられること	処 置
緑の表示灯が点灯しない	サービス開始操作を完了していますか。	サービス開始操作をする。
緊急通報できない	“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモードまたはイグニッションONモードにした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待つてから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください（→P.492）。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください（→P.495）。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください（→P.495）。
“エンジンスタートストップ”スイッチをOFFにしても赤または、緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を、終了しました」という音声案内が流れてから約30分経過するまで待つて、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 利用契約がされていますか。	G-Link 利用契約をする。

1. G-Security について

G-Security について

万が一のときに、お客様へ E メールや電話でお知らせし、さらに車両の位置を確認したり、警備員を派遣するセキュリティサービスです。また車両の状態も確認できます。

- アラーム通知: お車のオートアラーム作動を検知した場合、E メールや電話でお知らせします。
- エンジン始動通知: 不意のエンジン始動を検知し、ご指定の E メールアドレスに通知します。
- うっかり通知: ドアロックの閉め忘れやハザードランプの消し忘れを、ご指定の E メールアドレスに通知します。
- リモート確認: ドア・トランクの開閉やロックの状態、ハザードランプの点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。
- 車両の位置確認: お客様の要請により、レクサスケアコミュニケーターが盗難車両の位置を追跡します。
- 警備員の派遣: お車が盗難にあつたり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

アラーム通知・エンジン始動通知・うっかり通知の設定を切り替える手順についてご説明します。

■ 通知設定の一覧 ※ 納車時の設定

サービス名	通知方法	設定		
アラーム通知	電話	設定中※	解除中	—
	E メール	設定中※	解除中	—
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中※	—
うっかり通知	E メール	設定中※	解除中	一時停止中

設定中 …………… 異常検知を通知します
 解除中 …………… 異常が通知されません
 一時停止中 …… 通知を 2 時間停止します

解除中→設定中へ切り替える

- 1 、または を押す。



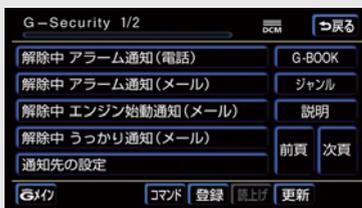
- 2 [メインメニュー] にタッチする。



- 3 [ページ 3] の [セキュリティ] にタッチする。



- 4 設定したい項目にタッチする。



- 設定の説明画面が表示されるときは、内容を確認し [確認] にタッチします。
- スイッチが設定中にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中または一時停止 中へ切り替える

- 一時停止は、「うっかり通知」のみの設定です。

1 、または  を押す。



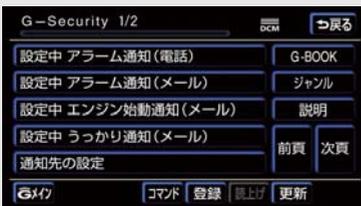
2 [メインメニュー] にタッチする。



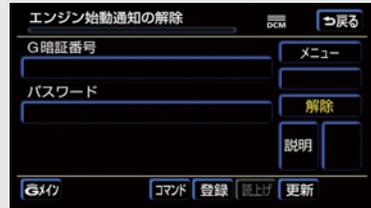
3 [ページ 3] の [セキュリティ] に
タッチする。



4 解除または一時停止したい項目に
タッチする。



- 5 G 暗証番号を登録している場合：
G 暗証番号表示窓スイッチにタッチする。
G 暗証番号を登録していない場合：
パスワード表示窓スイッチにタッチする。



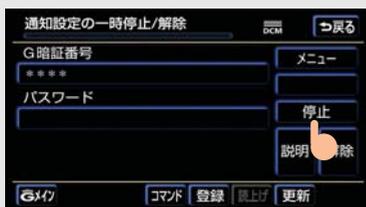
- 「G 暗証番号」は、G-Security の設定を解除するときや、一部のサービスを利用するときに入力していただく 4 桁の番号です。



- 6 G 暗証番号またはパスワードを入力し、[完了] にタッチする。



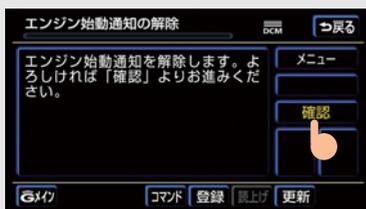
- 7 解除するときは【解除】に、一時停止（2時間）するときは【停止】にタッチする。



- 【停止】は、手順4で「うっかり通知」を選択すると表示されます。



- 8 【確認】にタッチする。



- 設定が解除中にかわり、通知設定が切り替わります。

知っておいていただきたいこと

- アラーム通知・エンジン始動通知・うっかり通知はサポートアドレスに連絡されます。納車時、サポートアドレスは「G-Link 利用申込書」に記入いただいた電話番号とEメールアドレスがあらかじめ登録されています。必要に応じて追加や修正を行ってください(→P.480)。また、アラーム通知・うっかり通知は、サポートアドレスのEメールアドレスが登録されていないと、設定中でも通知されません。
- アラーム通知・エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、位置追跡/警備員派遣サービスをご利用ください。位置追跡/警備員派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください(→P.535)。
- G-Security では車両の位置情報を使用するため、車載機が起動していない状態での車両移動・電波の届かない場所への車両移動などのときは、位置情報の変化を確認することができません。また、Eメールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- “エンジンスタートストップ” スイッチをOFFにして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが送信されます。
 - ・ ドア・トランクがすべて閉まっている
 - ・ 電子キーが車内未検知
 - ・ ドアロックが閉まっていない、ハザードランプが点滅している
- バッテリー脱着後は“エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしないと、うっかり通知メールは通知されません。
- うっかり通知は、電子キーが車内作動範囲(検知エリア)内に無いと判断され、すべてのドアとトランクが閉まっているとき、車両状態により配信されます。
- ・ お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。
- ・ 電子キーが車外にあっても、ウィンドウガラスやドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合はうっかり通知が配信されないことがあります。
- ・ 窓またはムーンルーフから電子キーを車外に出した場合にはうっかり通知が配信されないことがあります。
- ・ トランクスルードア近くに電子キーを置いた後に車外に出した場合はうっかり通知が配信されないことがあります。
- ・ 「スマートエントリー&スタートシステム機能」をキャンセルしているときはうっかり通知が配信されません。
- 電子キーが車内作動範囲(検知エリア)内にあっても、以下のような場合は、うっかり通知が配信されることがあります。
 - ・ すべてのドアとトランクが閉まっている状態で、窓またはムーンルーフから電子キーを車内に入れた場合。
 - ・ 電子キーの置き場所(インストルメントパネル上、トランク内の端)、状況(電池切れ、金属製ケースなどの中)、また周囲の電波環境によっては「スマートエントリー&スタートシステム機能」が正常に働かないおそれがある場合。^{*}
- ※詳細は別冊「取扱説明書」を参照ください。
- 携帯電話でご覧いただける、マイカーインフォメーション画面・リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。
 - ・ 各車両の状態は“エンジンスタートストップ” スイッチがOFFでドアの開閉などが一定時間なかったときに自動的に更新されます。お車の状態の項目は変化が発生することに更新されます。
- バッテリー脱着後は“エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしないと、マイカーインフォメーション画面・リモート確認画面での情報は更新されません。

2. 携帯電話での操作について

携帯電話での操作の流れ

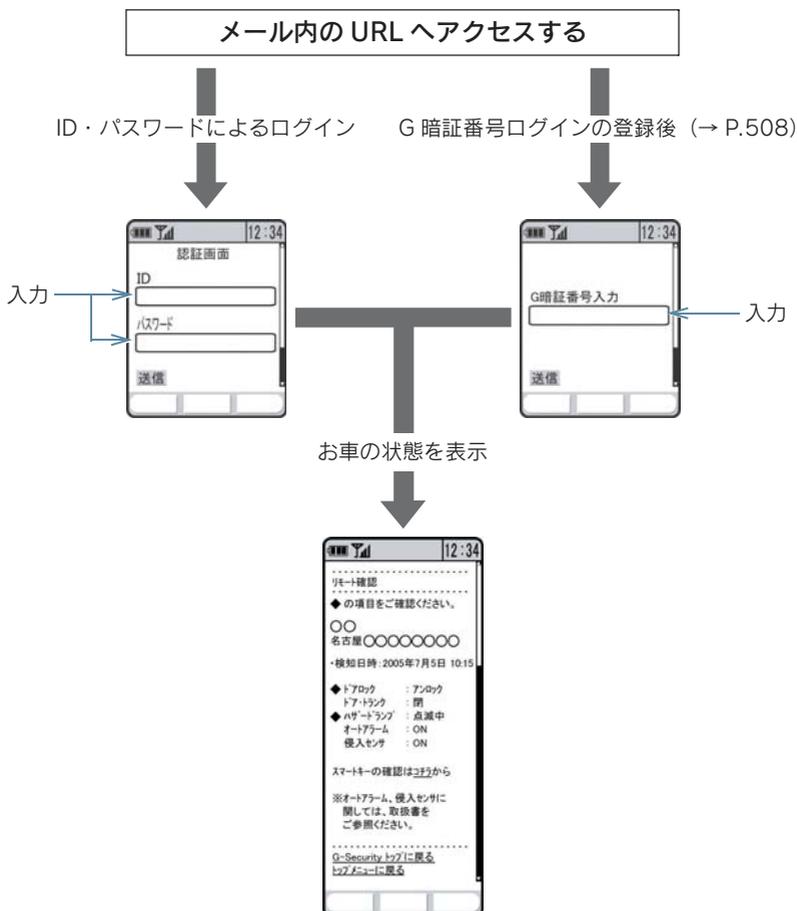
携帯電話でのお車の状態確認（リモート確認・マイカーインフォメーション）と
うっかり通知メール内から Web サイトへのアクセス手順について簡単にご説明
します。

- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。

うっかり通知メールからのアクセス

うっかり通知メールに添付されている URL から Web サイトにアクセスする
とお車の状態を見ることができます。

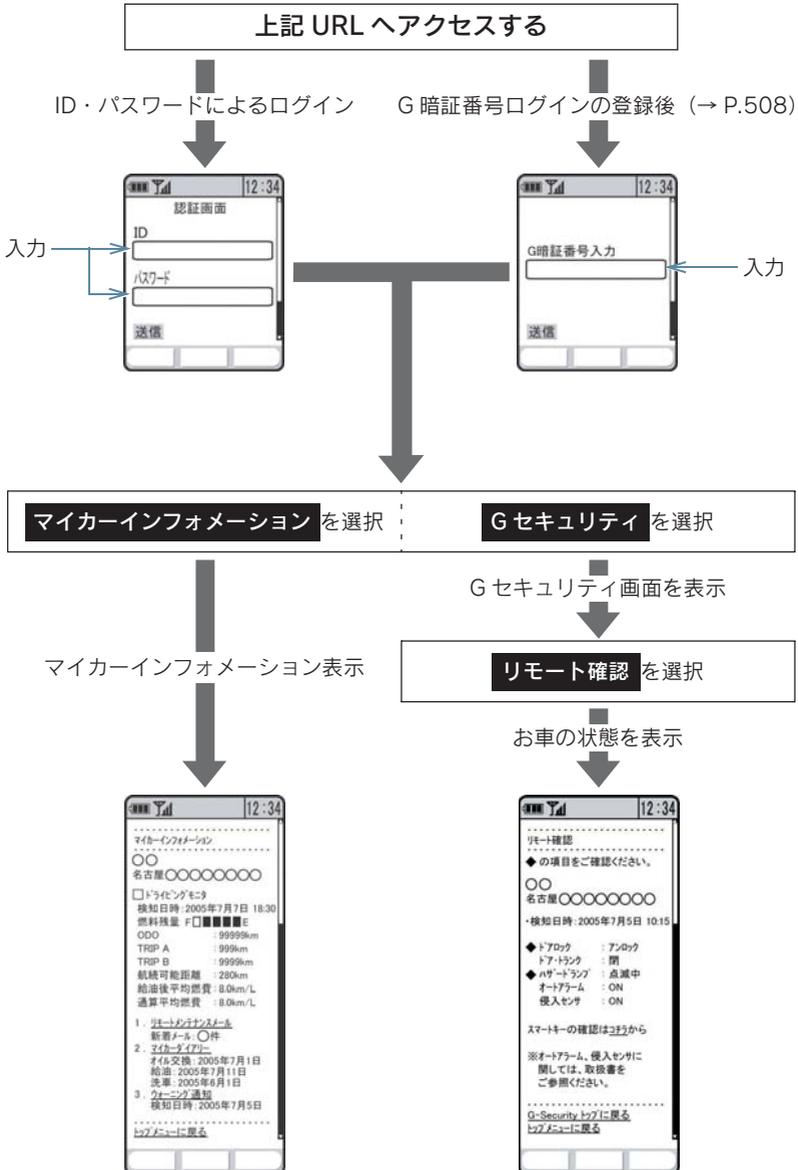
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。



お車の状態を確認する (リモート確認・マイカーインフォメーション)

G-Link のトップページの URL <http://mo.lexus.g-book.com>

- URL をブックマークとして登録しておくことをお勧めします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。



■ G 暗証番号ログインの登録

G-Link のトップページへアクセスする

G 暗証番号ログインの登録 を選択

携帯電話情報を送信しますか? ※1

はい を選択

ID とパスワードを入力

送信 を選択

G 暗証番号を入力 ※2

登録する を選択する

完了

※1：一部機種のみ表示

(メッセージは機種により異なります。)

※2：すでに登録しているときはスキップします。

1. メインメニュー画面で操作する

メインメニュー画面の使い方

メインメニュー画面で、G-Link サービスのアプリケーションを起動します。

メインメニュー画面は、情報画面で [メインメニュー] にタッチすると表示されます。



名称	機能
1 G-BOOK.com スイッチ	G-BOOK センターに接続し、ブラウザ画面を表示 (→ P.510)。
2 G メモリ地点スイッチ	G-BOOK.com コンテンツで保存した、G 地点のリスト画面を表示。
3 G-BOOK センターが追加するスイッチ (※ 上記画面中には表示されていません。)	G-BOOK センターから提供されるサービスにより追加されるスイッチ。 <ul style="list-style-type: none"> 表示されているときに、タッチするとアプリケーションが起動します。 スイッチは G-BOOK センターで追加・削除されます。
4 ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。 <ul style="list-style-type: none"> メニューが複数ページあるときに表示されます。
5 履歴トップスイッチ	ブラウザで最後に閲覧したページを表示。
6 閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面を表示 (→ P.514)。 <ul style="list-style-type: none"> 閲覧履歴は 100 件まで登録されます。
7 ブックマークスイッチ	ブックマーク画面を表示 (→ P.515)。 <ul style="list-style-type: none"> ブックマークは 50 件まで登録できます。
8 各種設定スイッチ	各種設定画面を表示 (→ P.519)。

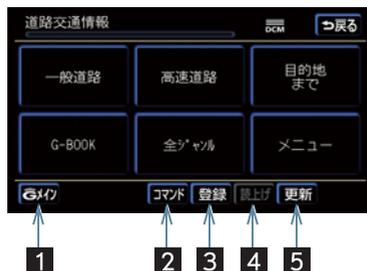
2. ブラウザを操作する

ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-Link サービスの各種コンテンツの表示や操作をします。

閲覧中に操作する

各スイッチはブラウザ表示前の画面より、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称が違います。



名称	機能
1 G メイン/終了スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • [G メイン] メインメニュー画面に戻る。 • [終了] ブラウザ画面を終了し、ブラウザ表示前の画面に戻る。
2 コマンドスイッチ	音声認識コマンドリスト画面の表示 (→ P.518)。
3 登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録。 • 登録は 50 件までです。
4 読上げスイッチ	読み上げ情報があるとき、読み上げを開始。
5 更新/中止スイッチ*	<ul style="list-style-type: none"> • [更新] 表示しているコンテンツを再読み込みし、画面を表示。 • [中止] 読み込み中コンテンツの読み込みを中止。
6 スクロールスイッチ (画面中には表示されていません。)	画面に収まっていないページを見る。 • タッチし続けると、連続して画面がスクロールする。ただし、走行中はスクロール操作できません。

* コンテンツの読み込み中に [中止] にタッチしたり通信が切れたとき、コンテンツが表示されず背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。このときは、以下のいずれかの操作をしてください。

- ・ [更新] にタッチして、コンテンツを再取得する。
- ・ [戻る] にタッチして一度前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、以下の操作ができます。



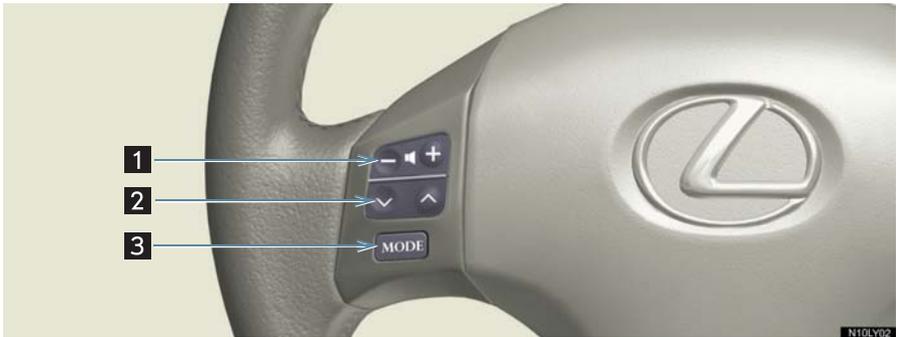
名称	機能
1 G メインスイッチ	メインメニュー画面に戻る。
2 音量調整スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • [▼ VOL] 情報を読み上げるとき、音量を小さくする • [VOL ▲] 情報を読み上げるとき、音量を大きくする
3 前項目/次項目スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • ◀読み上げ中の項目の先頭から読み上げを開始。前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、タッチしてから約 1 秒以内にもう一度タッチする。 • ▶次の項目の先頭から読み上げを開始。
4 停止スイッチ	読み上げを停止。
5 ポーズスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • 読み上げを一時停止。 • ▶読み上げていた項目の先頭から読み上げを再開。

車載機のスイッチで操作する



名 称	スイッチ操作	機 能
1 パワースイッチ/ 音量調整ツマミ	パワースイッチを押す	読み上げを停止する
	音量調整ツマミを右へまわす	音量を大きくする
	音量調整ツマミを左へまわす	音量を小さくする
2 TRACK (トラック) スイッチ	∨側を押す	読み上げ中の項目のはじめから読み上げる
	∧側を押す	次の項目のはじめから読み上げる
	約1秒以内に∨側を2回押す	前の項目のはじめから読み上げる

ステアリングスイッチで操作する



名 称	スイッチ操作	機 能
1 音量調整スイッチ	+側を押す	音量を大きくする
	-側を押す	音量を小さくする
2 TRACK (トラック) スイッチ	∨側を押す	読み上げ中の項目のはじめから読み上げる
	∧側を押す	次の項目のはじめから読み上げる
	約1秒以内に∨側を2回押す	前の項目のはじめから読み上げる
3 MODE(モード切り替え) スイッチ	押す	読み上げの解除
	「ピツ」と鳴るまで押す	オーディオの電源を OFF

3. ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する

ブラウザ閲覧履歴の使い方

ブラウザ閲覧履歴には、これまでに閲覧したコンテンツのタイトルが、新しい日付の順に保存されています。コンテンツをもう一度閲覧したいときに使うと便利です。

閲覧履歴は、100件まで登録されます。100件以上になると、古いものから順に削除されます。

ブラウザ閲覧履歴からコンテンツを表示する

- 1 [閲覧履歴] にタッチする。



- 2 閲覧したいコンテンツ名にタッチする。



- [最新] にタッチすると
➡ 閲覧したいコンテンツがリストの先頭に移動します。

ブラウザ閲覧履歴を削除する

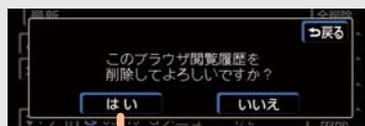
- 1 削除したい履歴の [削除] にタッチする。



- すべての履歴を削除したいときは
➡ [全削除] にタッチ



- 2 [はい] にタッチする。



4. ブックマークを使う

ブックマークに登録する

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。

ブックマークに登録しておくことで簡単にページを表示することができます。

- 登録したタイトルは編集することができます。
- ブックマークは 50 件まで登録できます。
- ブックマークに登録できないページがあります。

登録したいページの表示

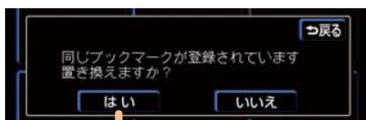
登録

ブラウザ画面で、登録したいページを表示し、[登録] にタッチする。



▶ 同じブックマークが登録されているときは

- ➔ メッセージが表示されます。置き換えるときは、[はい] にタッチします。



ブックマークしたコンテンツを見る

1 [ブックマーク] にタッチする。



2 見たいコンテンツを選び、タッチする。



▶ リストを並べかえたいときは

- [登録順] にタッチすると
 - ➔ 登録した日時の新しいものから順に表示します。
- [閲覧順] にタッチすると
 - ➔ 最後に閲覧した日時の新しいものから順に表示します。

ブックマークのタイトルを編集する

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするための目的でお好みのタイトルにかえることができます。



- 1 編集したいタイトルを選び、[編集] にタッチする。



- 2 [タイトル] にタッチする。



- 3 ソフトウェアキーボードでタイトル名を入力する。



- 入力のしかた (→ P.14)



- 4 [完了] にタッチする。



ブックマークを削除する

50件を超えて登録しようとする
とメッセージが表示されます。この
ときは、不要なブックマークを削除
してください。

編集

[削除] または [全削除]

はい

ブックマークを個別に削除する

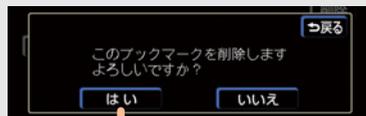
- 1 削除したいブックマークを選び、
[編集] にタッチする。



- 2 [削除] にタッチする。



- 3 [はい] にタッチする。

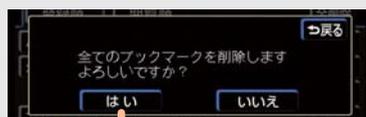


すべてのブックマークを削除する

- 1 [全削除] にタッチする。



- 2 [はい] にタッチする。



5. 音声認識コマンドを使う

音声認識コマンドについて

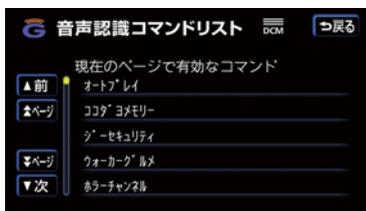
G-Link サービスでは、音声認識コマンドによる音声操作ができます。

音声認識コマンドを使うためには、G-Link 利用契約が必要です。

音声操作システムおよび音声認識コマンドについて (→ P.295)。

各コンテンツのコマンドについて

表示中のコンテンツで使用できるコマンドを確認することができます。



- ブラウザ画面で [コマンド] にタッチすると
➡ 音声認識コマンドリストが表示されます。

6. 各種設定をする

各種設定画面を表示する

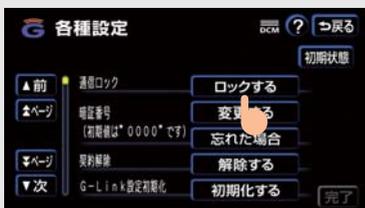
G-Link サービスの設定は、各種設定画面でかえることができます。設定の変更は、G-BOOK センターへ接続していないときに行ってください。



1 [各種設定] にタッチする。

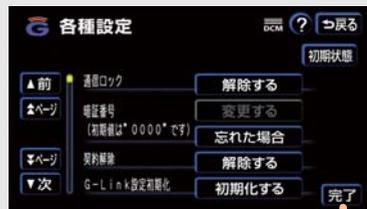


2 以下の設定をかえることができます。



- 通信ロック解除の暗証番号を設定 (→ P.520)
- 通信ロックを使う (→ P.523)
- G-Link 設定の初期化 (→ P.525)
- 各種条件の設定 (→ P.526)
- 契約の解約手続き (→ P.608)

3 [完了] にタッチする。



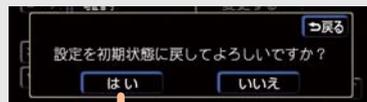
設定を初期状態に戻す

各種設定のすべての内容を初期状態に戻すことができます。

1 各種設定画面で [初期状態] にタッチする。



2 [はい] にタッチする。



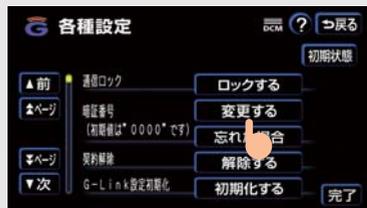
通信ロック解除のための暗証番号を設定する

通信ロックの解除には暗証番号が必要です。通信ロックを使用する前に、暗証番号を設定してください。また、暗証番号を忘れたときの質問とその回答も設定してください。

- 暗証番号は4桁の数字で、初期設定は「0000」です。
- 暗証番号は、自分にしかわからない番号にしてください。
- 質問とその回答は、お客様にしかわからない内容にしてください。
- 暗証番号の変更も、同じ手順でできます。



1 暗証番号の「変更する」にタッチする。



2 現在の暗証番号を入力し、「完了」にタッチする。



- はじめて設定するときには
→ 「0000」を入力します。
- 変更するときには
→ 設定してある暗証番号を入力します。
- 間違えたときは → 「修正」にタッチ
- 暗証番号を忘れたときの暗証番号の確かめ方 (→ P.521)。



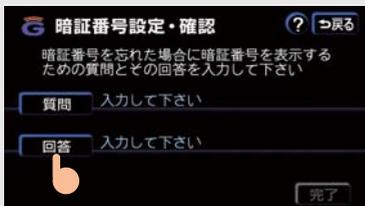
3 新しい番号を入力し、「完了」にタッチする。



- 4 もう一度新しい番号を入力し、[完了] にタッチする。



- 5 [質問] または [回答] にタッチする。



- 6 質問または回答を入力し、[完了] にタッチする。

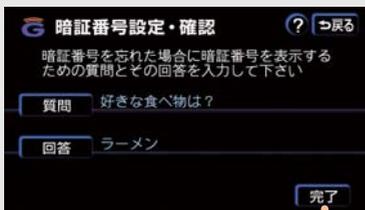


2

- 入力のしかた (→ P.14)

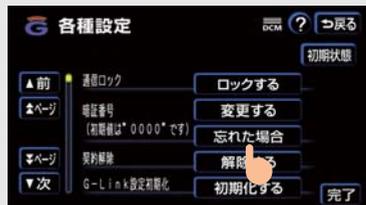


- 7 [完了] にタッチする。

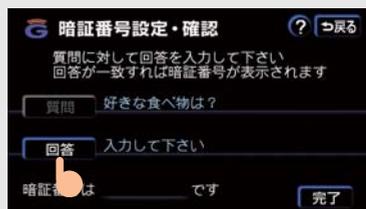


暗証番号を忘れたとき

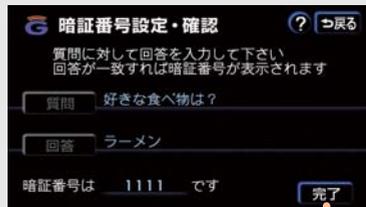
- 1 暗証番号の [忘れた場合] にタッチする。



- 2 [回答] にタッチする。



- 3 回答を入力し、[完了] にタッチする。



- 回答が一致すると、暗証番号が表示されます。



- 4 暗証番号を確かめて、[完了] にタッチする。

 注意

【完了】 にタッチして設定が終わるまでは、以下の操作をしないでください。

- “エンジンスタートストップ” スイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにする。
- エンジンをかけなおす。

通信ロックについて

通信ロックを使うと各機能の動作を制限することができます。

G-Link サービスを他人に使用してほしくない、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

動作が制限される機能について

○：利用できるもの

×：利用できないもの

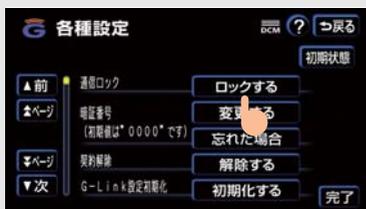
機 能		動 作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	履歴トップ	×
	ブラウザ閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
レクサスオーナーズデスク		×
アミューズメント	G-ライブラリコピー	×
	G-SOUND カタログ	×
	CD タイトル情報取得	×
AUTOLIVE	カラオケ	×
	BGM	×
G-BOOK とナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	×
	G メモリ地点	○（保存済データのみ）
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）
	G で設定	×

- 通信ロックを使用するようなときは、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください（→ P.458）。

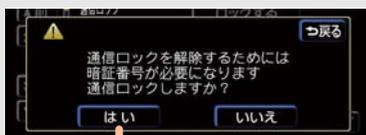
通信ロックを使う

ロックする

- 1 通信ロックの [ロックする] にタッチする。



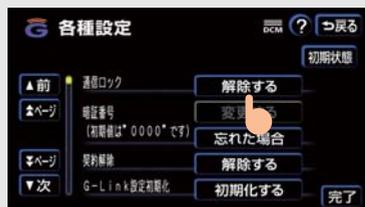
- 2 [はい] にタッチする。



- 通信ロックを解除するときには、暗証番号が必要です (→ P.520)。

解除する

- 1 通信ロックの [解除する] にタッチする。



- 2 暗証番号を入力し、[完了] にタッチする。



- 通信ロックを解除するときには、暗証番号が必要です (→ P.520)。

G-Link 設定を初期化する

お客様の登録した通信設定情報や、お客様が通信を利用して取得したデータなどを初期化できます。

お車を手放すときや、中古で入手されて前のデータが残っていたときなど、車載機に保存されている通信関係のデータを消去したいときにご利用ください。

なお、G メモリ地点は、別の方法で消去します (→ P.135)。

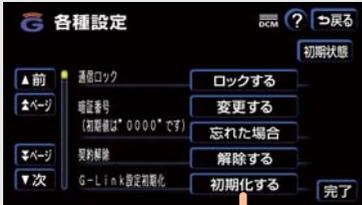
初期化する

はい

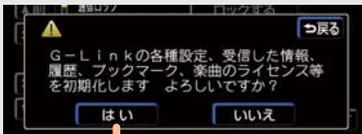
▶ データ通信中のときは

- ➔ 初期化の操作をするとメッセージが表示されます。
- 通信を終了するときには [はい]、終了しないときは [いいえ] にタッチします。
 - ・ [いいえ] にタッチしたときは、データ通信終了後、もう一度やり直します。

- 1 約 10 秒間、G-Link 設定初期化の [初期化する] にタッチし続ける。

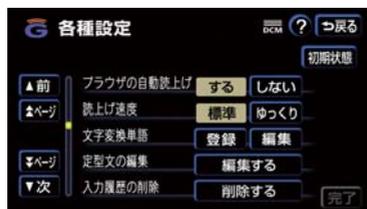


- 2 [はい] にタッチする。



各種条件を設定する

各種設定画面で、G-Link サービスを利用するときの各種条件を設定することができます。各種条件は、初期状態のままで使用していただいてもかまいませんが、初期状態で使いにくいときは、お好みに合わせて設定をかえてください。



ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをするかしないかを選択できます。

【する】：自動で読み上げをする。

【しない】：自動で読み上げをしない（手動操作時のみ読み上げをする）。

読上げ速度

ブラウザで読み上げをするときの速度を選択できます。「標準」で聞き取りにくいときは、「ゆっくり」を選択してください。

【標準】：通常で速度で読み上げをする。

【ゆっくり】：通常よりもゆっくりした速度で読み上げをする。

1. My リクエストについて

My リクエストとは

My リクエストは、よくご利用になるサービスをあらかじめ登録しておくことにより、簡単な操作で情報を取得できる機能です。

My リクエスト画面からタッチスイッチで行う方法と、音声認識で行う方法があり、走行中でも利用することができます。



名 称	機 能
1 【コマンド】	表示中のコンテンツの音声認識コマンドが表示されます (→ P.531)。
2 【登録替】	G-BOOK センターに接続し、My リクエスト内のコンテンツの変更や並べ替えをすることができます (→ P.528)。
3 【中止】	G-BOOK センターとのデータ通信を中止します。

リクエストの登録

地図表示中

G

登録替

コンテンツの登録

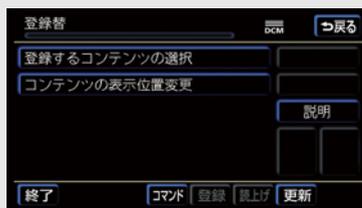
1 地図表示中に [G] にタッチする。



2 [登録替] にタッチする。



3 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録する。



- 20 件まで登録できます。

2. リクエストをする

My リクエスト画面でリクエストをする

コンテンツを選択

データの取得

- 1 リクエストしたいコンテンツにタッチする。



- 走行中はリストを動かすことができません。
- 2 ページ目以降のコンテンツをリクエストするときは
➔ 音声認識でリクエストしてください (→ P.530)。



- 2 データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

通信中マーク



- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。
- コンテンツ読み上げ中に、別の読み上げコンテンツのデータを取得したときは、読み上げを中止して次のコンテンツを読み上げます。

- コンテンツ読み上げ中に、ナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止して音声案内終了後再開します。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されます。
・ただし、運転補助画面 (交差点案内など) が表示されているときは、画面の終了後にメッセージが表示されます。

施設情報を見る

表示されたアイコンの施設情報を見ることができます。

- 1 アイコンにタッチする。



- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図の縮尺の切り替えや地図を動かすとアイコンを確かめることができます。



- 2 [情報] にタッチする。



- アイコンは消去することができます (→ P.603)。

音声認識でリクエストをする

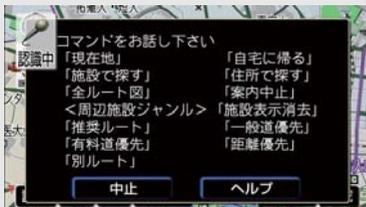
登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

「マイリクエスト」と発声する

認識コマンドを発声する

データの取得

1 音声操作で「マイリクエスト」と発声する。



- 音声操作の説明 (→ P.296)。



2 音声操作で、リクエストしたいコンテンツの認識コマンドを発声する。



3 データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

通信中マーク



- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。
- コンテンツ読み上げ中に、別の読み上げコンテンツのデータを取得したときは、読み上げを中止して次のコンテンツを読み上げます。
- コンテンツ読み上げ中に、ナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止して音声案内終了後再開します。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されます。
 - ・ただし、運転補助画面(交差点案内など)が表示されているときは、画面終了後にメッセージが表示されます。
- 地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます (→ P.529)。

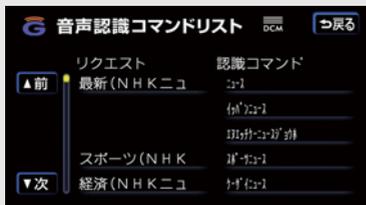
音声認識でリクエストできないとき

認識コマンドが間違っていることがありますので確認してください。

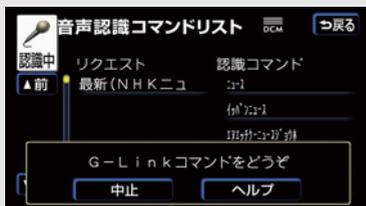
1 [コマンド] にタッチする。



2 認識コマンドを確かめる。



3 音声操作で、確認した認識コマンドを発声する。



コンテンツ読み上げ中の操作

読み上げの頭出しや音量の調整などができます。

- 以下の3通りの操作方法があります。
 - ・ 画面での操作
 - ・ 車載機での操作
 - ・ ステアリングスイッチでの操作

画面で操作する



1 読み上げ中に [G] にタッチする。



2 各スイッチにタッチする。



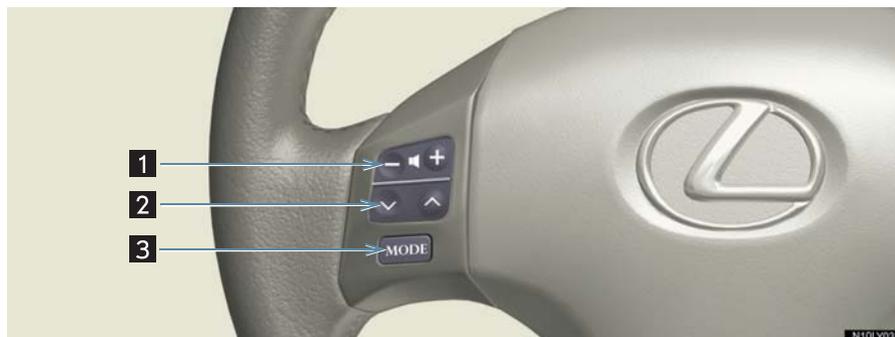
名称	スイッチ操作	機能
1 音量調整スイッチ	[▼ VOL] にタッチする	音量を小さくする
	[VOL ▲] にタッチする	音量を大きくする
2 前項目/ 次項目スイッチ	◀ にタッチする	読み上げ中の項目を頭から読み上げる
	◀ に2回続けてタッチする	前の項目を頭から読み上げる
	▶ にタッチする	次の項目を頭から読み上げる
3 停止スイッチ	■ にタッチする	コンテンツの読み上げを停止する

車載機で操作する



名 称	スイッチ操作	機 能
1 パワースイッチ/ 音量調整ツマミ	パワースイッチを押す	読み上げを停止する
	音量調整ツマミを右へまわす	音量を大きくする
	音量調整ツマミを左へまわす	音量を小さくする
2 TRACK (トラック) スイッチ	▽側を押す	読み上げ中の項目を頭から読み上げる
	▽側を2回続けて押す	前の項目を先頭から読み上げる
	△側を押す	次の項目を先頭から読み上げる

ステアリングスイッチで操作する



名 称	スイッチ操作	機 能
1 音量調整スイッチ	+側を押す	音量を大きくする
	-側を押す	音量を小さくする
2 TRACK (トラック) スイッチ	∨側を押す	読み上げ中の項目を先頭から読み上げる
	∨側を2回続けて押す	前の項目を先頭から読み上げる
	∧側を押す	次の項目を先頭から読み上げる
3 MODE (モード) スイッチ	押す	読み上げを解除する
	「ピツ」と鳴るまで押す	オーディオの電源をOFFにする

1. レクサスオーナーズデスクについて

レクサスオーナーズデスクについて

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話していただくと、レクサスケアコミュニケーター（レクサス専用オペレーター）が24時間365日さまざまなご要望にお答えします（→P.419）。

- 車載機の時刻データが更新されていないと、レクサスオーナーズデスクに接続できません。GPS 信号が受信できる場所に車

を移動し、、または  を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確かめた後、もう一度ためてください。

- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、レクサスオーナーズデスクに接続できません。
- レクサスオーナーズデスクとの接続中は、ヘルプネットおよびセキュリティ以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、レクサスオーナーズデスクへの接続を終了してから、ご使用ください。

レクサスオーナーズデスクへ連絡する

ここでは、ハンズフリーを利用するときの使用例を紹介します。

情報・G または INFO

オーナーズデスク

レクサスケアコミュニケーター
が応答

車内からハンズフリーで電話をかける

ハンズフリーを利用するときは、以下のいずれかの方法でおこなってください。

- 自動車専用ハンズフリー電話を別途契約し、車載機に接続している標準装備の通信モジュール（DCM）で、通話ができるようにする。
- Bluetooth 対応携帯電話を車載機に接続する。

1 、または  を押す。



2 [オーナーズデスク] にタッチする。



- レクサスオーナーズデスクへの接続を中止するとき
→ [中止] にタッチ

携帯電話・固定電話から利用する

携帯電話・固定電話から利用されるときは、レクサスオーナーズデスク専用電話番号にお問い合わせください。

- レクサスオーナーズデスクの「ナビゲーションの目的地設定」や「施設情報案内」、「ニュースの配信」などを車内からハンズフリーでご利用いただくと、回線が切断されたあと G-BOOK センターから情報を取得します。その後、メッセージが表示されるので画面にしたがって操作してください。
携帯電話や固定電話で利用するときは、情報画面の【情報確認】にタッチし、G-BOOK センターから情報を取得してください。
- ご本人であることをレクサスケアコミュニケーターが、ご確認させていただく場合があります。
- G-Linkサービスを申し込まれている方は、レクサスオーナーズデスクにご連絡いただくと、予約サービス・ドライブサポート・レクサス緊急サポート 24 などのサービスを、ご利用いただけます。

1. レクサス緊急サポート 24 について

レクサス緊急サポート 24 について

- ガス欠などの軽微なトラブルが路上で発生した場合、現場での応急サービスを24時間・365日無料で受けることができます。
- お車が自走不可能の場合には、無料でレッカー車を出動いたします。また、ヘルプネットサービス利用時には、オペレーターが緊急サポートデスクに転送し、レッカー車などの出動を要請いたします。
- トラブルが発生しても、目的地までの交通費・宿泊費なども一定条件で補償いたします。

サービス内容

内 容		概 要	備 考
ロードサービス	レッカーサポート	レクサス販売店までの搬送手配と費用を負担	事故・故障を問わず
	現場緊急修理サポート	現場での30分程度の応急修理の手配と費用を負担	JAF会員は油脂・燃料・部品代も費用負担
故障時臨時費用サポート		臨時交通費・臨時宿泊費・修理後搬送費用をサポート	故障時のみ
保険会社取り次ぎサービス		保険会社への事故報告のサポート (転送・番号案内など)	
緊急伝言サービス		ご家族・勤務先等にメッセージを伝言	

1. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて

リモートメンテナンスサービスには、点検・メンテナンスの案内を通知する「リモートメンテナンスメール」や、お車が故障したときなどに車載機へお知らせする「ウォーニング通知」などがあります。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話やネット予約により、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

ウォーニング通知

お車のエンジン・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し G-BOOK センターが異常を検知すると、その内容を車載機にてお客様にご連絡します。

また、電話やネット予約により、レッカー車の手配やレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

- すべてのウォーニングランプの点灯に対し、ウォーニング通知を送信するわけではありません。

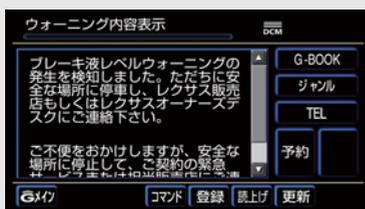
ウォーニング点灯時の操作



- 1 [内容表示] にタッチし、ウォーニング内容表示画面を表示させる。



〈ブレーキ液の不足時の例〉



- 2 [TEL] または [予約] にタッチし、対処方法を選ぶ。

▶ 電話をかけるときは

1 [TEL] にタッチし、連絡先選択画面を表示する。



2 連絡先を選びハンズフリー通話する。

▶ ネット予約するときは

1 [予約] にタッチし、ネット予約画面を表示する。



2 [車検・点検・メンテナンス入庫予約] にタッチし、入庫予約をおこなう。

1. アミューズメントメニュー

アミューズメントメニュー画面の使い方

アミューズメントメニューは、G-Link サービスのアミューズメント系アプリケーションを起動します。

情報画面で【アミューズメント】にタッチすると、アミューズメントメニュー画面が表示されます。



名 称	機 能	ページ
1 AUTOLIVE カラオケスイッチ	AUTOLIVE カラオケ画面を表示	562
2 AUTOLIVE BGM スイッチ	AUTOLIVE BGM 画面を表示	579
3 G-SOUND カタログスイッチ	G-SOUND カタログ画面を表示	548
4 G- ライブラリコピースイッチ	G- ライブラリディスクが車載機に挿入されているときに G- ライブラリコピー画面を表示	541

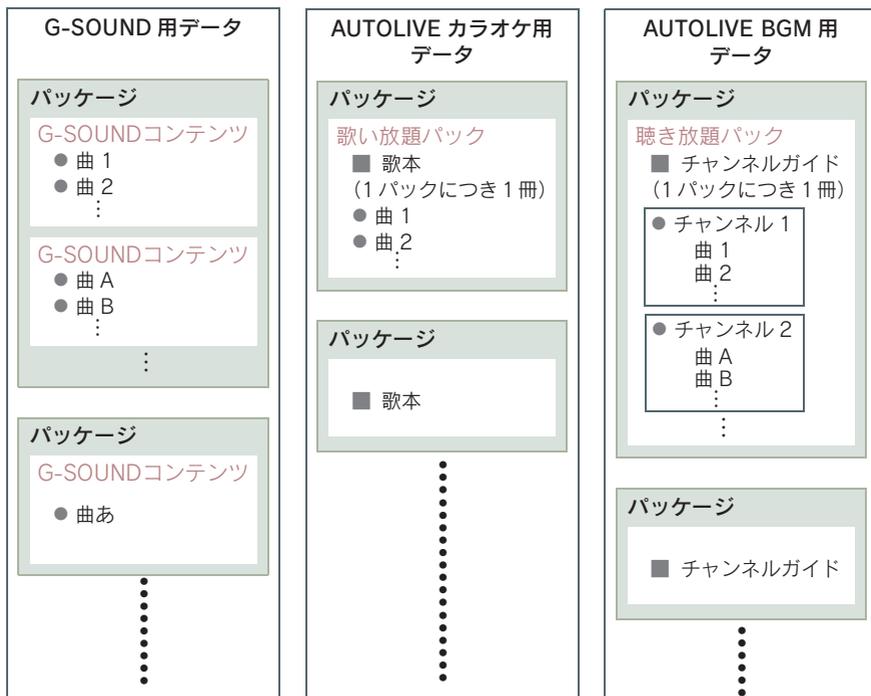
2. G- ライブラリコピー

G- ライブラリコピーについて

G- ライブラリコピーを使い、G- ライブラリディスクに収録されているコンテンツを、車載機のハードディスクにコピーすることができます。

G- ライブラリディスクに含まれる内容は、各データが下の図のように収録されています。

G- ライブラリディスクに含まれる内容



- G- ライブラリディスクのコンテンツは、パッケージ単位でコピーされます。
- 車載機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。そのと

きは、GPS 信号が受信できる場所へ車を移動し、、または  を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確かめてから、もう一度試してみてください。

G- ライブラリコピー画面の使い方

以下のいずれかの操作をすると、G- ライブラリコピー画面が表示されます。

- G- ライブラリディスクを車載機に挿入する。
この場合、G- ライブラリディスクを挿入してから G- ライブラリコピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- G- ライブラリディスクが車載機に入っているとき、アミューズメントメニュー画面で【G- ライブラリコピー】にタッチする。



名称	機能
1 G-SOUND スイッチ	G- ライブラリディスクに収録されている G-SOUND コンテンツを、車載機のハードディスクに保存する。
2 AUTOLIVE カラオケ スイッチ	G- ライブラリディスクに収録されている AUTOLIVE カラオケ歌い放題パックや歌本を、車載機のハードディスクに保存する。
3 AUTOLIVE BGM スイッチ	G- ライブラリディスクに収録されている AUTOLIVE BGM 聴き放題パックやチャンネルガイドを、車載機のハードディスクに保存する。

コンテンツをコピーする

■ 例：G-SOUND のコンテンツをコピーする

G- ライブラリディスクから G-SOUND / AUTOLIVE カラオケ / AUTOLIVE BGM の内容をハードディスクにコピーすることができます。

G- ライブラリディスクをセット

G-SOUND

コピー

はい

- 1 G- ライブラリディスクを車載機にセットする。

- 2 [G-SOUND] にタッチする。

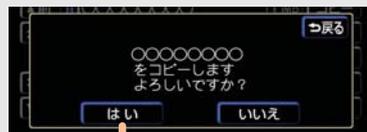


- 3 コピーしたいパッケージの [コピー] にタッチする。

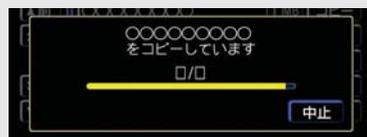


- G- ライブラリディスクの挿入後、G- ライブラリコピー画面から G-SOUND コピー画面を表示するときは、しばらく時間がかかることがあります。
- 収録内容が確認できます (→ P.544)。

- 4 [はい] にタッチする。



- 5 コピー中は進行状況が表示される。



- コンテンツによっては非常に時間がかかることがあります。
- 他の画面に切り替えても、コピーは継続します。
- コピーを中止したいときは
→ [中止] にタッチ

6 コピーが終わるとメッセージが表示されます。

- 通信ロック中はコピーすることができません。通信ロックを解除してから操作してください。
 - 以下のときは、車載機にコンテンツをコピーすることができません。
 - ・ハードディスクの空き容量が不足している
 - ・コンテンツの最大保存数を超えた場合
- ハードディスクの空き容量が不足しているときは、不要な G-SOUND コンテンツや CD から録音した曲で不要な曲を、ハードディスクから削除する必要があります。コンテンツの最大保存数が超過するときは、不要な G-SOUND コンテンツをハードディスクから削除する必要があります。不要な G-SOUND コンテンツについては、「コンテンツを削除する」(→ P.545)をご覧ください。また、CD から録音した曲で不要な曲については、「プレイリストを消去するには」(→ P.262)、または「曲(トラック)を消去するには」(→ P.270)をご覧ください。

- コンテンツによっては、コピーするのに非常に時間がかかる場合があります。(10 MB コピーするのに、約 1 分かかります。)
 - コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、再度 G-ライブラリコピー画面に切り替えれば、コピーの進行状況が確認できます。なお、コピーが終了していれば、進行状況の表示は消えています。
 - コピー中は G-ライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
 - コピー中は“エンジンスタートストップ”スイッチを OFF にしないでください。コピーが中断されます。
 - コピーが正常に終了しなかった場合は、最初からコピー操作をやり直してください。
 - コピーが終了したら G-ライブラリディスクを取り出してください。
- G-ライブラリディスクが挿入された状態で“エンジンスタートストップ”スイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにすると、G-ライブラリコピー画面が表示されます。

- G-SOUND コンテンツをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了したコンテンツは G-SOUND カタログ画面に表示されます。

G-ライブラリディスクの収録内容を確認する

G-ライブラリディスクからコピーする前に、コンテンツの詳細情報を確認することができます。

ここでは、G-SOUND コンテンツの場合で説明します。

1 確認したいパッケージ名にタッチする。



2 収録されているコンテンツが一覧表示されます。



- G-SOUND コンテンツの場合、各コンテンツ名にタッチすると、収録曲が一覧表示できます。
 - ・AUTOLIVE の各パックには、この機能はありません。

コンテンツを削除する

以下のようなときは、不要なコンテンツを削除してください。

- ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- コンテンツの最大保存数が超過するとき

⚠ 注意

- すべてのG-SOUNDコンテンツを削除すると、コンテンツ内の曲はすべて利用できなくなります。
- すべての歌い放題パックを削除すると、パック内の曲と歌本はすべて利用できなくなります。
- すべての聴き放題パックを削除すると、パック内の曲とチャンネルガイドはすべて利用できなくなります。
- G-SOUNDコンテンツを削除した場合、G-ライブラリディスクに収録されているコンテンツ以外はもとに戻すことはできませんのでご注意ください。

ハードディスクの空き容量が不足しているとき

不要なコンテンツを削除して、ハードディスクの空き容量を増やします。

■ 例：G-SOUND のコンテンツを削除するとき

- 1 メッセージ画面で【はい】にタッチする。



- 2 削除したいコンテンツにタッチする。



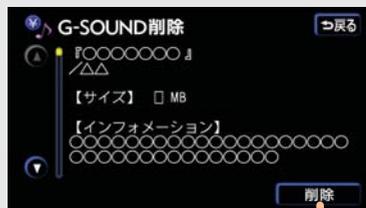
- 3 削除したいコンテンツ名にタッチする。



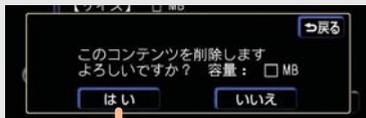
- 【全削除】にタッチすると
➔ すべてのコンテンツが削除されます。
- G-SOUND コンテンツを削除するときは
➔ 【検索条件】にタッチしてから【全削除】にタッチすると、検索されたコンテンツをすべて削除することができます。複数のコンテンツを一度に削除するときには使用すると便利です。



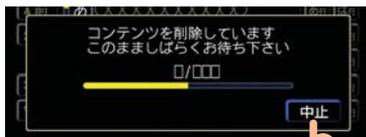
- 4 【削除】にタッチする。



5 [はい] にタッチする。



- ▶ [全削除] を途中で中止するときは
→ [中止] にタッチ



コンテンツの最大保存数が超過するとき

不要なコンテンツを削除します。

各コンテンツの最大保存数は以下のとおりです。

- G-SOUND : 1500 コンテンツ 4000 曲
- AUTOLIVE カラオケ: コースごとに4パック、歌本 200 冊
- AUTOLIVE BGM: コースごとに4パック、チャンネルガイド 200 冊

G-SOUND コンテンツを削除する

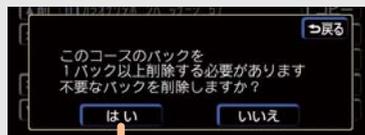
[削除する] にタッチする。



以降は「ハードディスクの空き容量が不足しているとき」の**3**～**5**と同じ手順です (→ P.545)。

AUTOLIVE カラオケの歌い放題パック / AUTOLIVE BGM の聴き放題パックを削除する

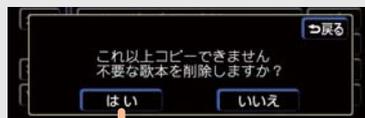
[はい] にタッチする。



以降は「ハードディスクの空き容量が不足しているとき」の**3**～**5**と同じ手順です (→ P.545)。

歌本 / チャンネルガイドを削除する

[はい] にタッチする。



以降は「ハードディスクの空き容量が不足しているとき」の**3**～**5**と同じ手順です (→ P.545)。

 注意

- すべての G-SOUND コンテンツを削除すると、コンテンツ内の曲はすべて利用できなくなります。
- AUTOLIVE カラオケの歌い放題パックを削除すると、パックに含まれるパック用歌本も削除され利用できなくなります。
- AUTOLIVE BGM の聴き放題パックを削除すると、パックに含まれるパック用チャンネルガイドも削除され、利用できなくなります。
- 全削除の途中で中止しても、すでに処理が終了したコンテンツはもとに戻すことはできません。
- ライセンス購入済みのコンテンツは削除できません。サウンドライブラリのプレイリストから削除することで、コンテンツを削除できるようになります。一度削除すると、もとに戻すことはできません。

3. G-SOUND カタログ

G-SOUND について

G-SOUND は、車載機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUND コンテンツ）を再生するサービスです。ご利用になるためには、G-BOOK センターからライセンスを購入する必要があります。

ご利用手順は以下のとおりです。

- 1 G-SOUND カタログで、希望のコンテンツを検索する。



- 2 コンテンツを試聴する（試聴は省略してもかまいません）。

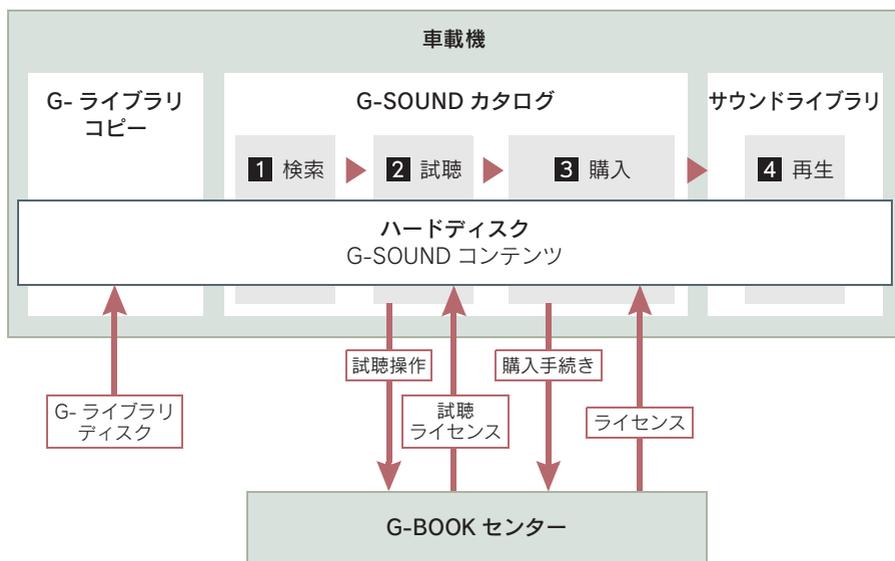


- 3 ライセンスを購入する。



- 4 サウンドライブラリで、コンテンツを再生する。

- G-ライブラリディスクをお持ちでしたら、G-ライブラリコピー機能を使って車載機のハードディスクにコピーすると、同様に再生できます。



G-SOUND カタログについて

G-SOUND カタログを使い、車載機のハードディスクに保存されている G-SOUND コンテンツを試聴・購入できます。

また、以下のようなこともできます。

- 検索条件を設定し、聴きたい G-SOUND コンテンツを絞り込む。
- G-BOOK センターが提供するオススメコンテンツを購入して、サウンドライブラリで再生する。

G-SOUND コンテンツについて

G-SOUND コンテンツは、G-BOOK オンラインサービスが提供する音楽コンテンツです。ひとつのコンテンツには 1 曲または複数の曲が収録されています。車載機のハードディスクにプレインストールされているコンテンツもありますが、以下の方法で入手することもできます。

- G- ライブラリディスクからハードディスクにコピーする。
- G-BOOK センターから購入する。

ライセンスについて

- G-SOUND コンテンツの曲を再生するときは、そのコンテンツのライセンスを購入する必要があります。
- ライセンスには有効期限が設定されています（無期限のライセンスもあります）。
- サウンドライブラリのプレイリストから削除したコンテンツを、もう一度再生したいときは、ライセンスを購入し直してください。

注意

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で以下のようにあつかうことは、法律により禁止されています。

- 無断でコピーする
- 無断で内容を改変する
- インターネットなどで不特定多数の人物に配布する

G-SOUND カタログ画面の使い方

以下のいずれかの操作をすると、G-SOUND カタログ画面が表示されます。

- サウンドライブラリ操作画面で【G-SOUND】にタッチする（→ P.251）。
- アミューズメントメニュー画面で【G-SOUND カタログ】にタッチする。



名 称	機 能
1 ライセンス確認スイッチ	ライセンス確認画面が表示され、以下のことができます（→ P.554）。 <ul style="list-style-type: none"> ● 購入済みライセンス・期限切れライセンスの確認 ● G-SOUND コンテンツの削除 ● 期限切れライセンスの再購入
2 検索条件スイッチ	ハードディスク内の G-SOUND コンテンツの中から、検索条件を変更して希望のコンテンツを検索できます。
3 G オススメスイッチ	以下の 2 つのサービスが利用できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● G-BOOK センターがオススメする検索条件を取得 ● G-BOOK センターから G-SOUND コンテンツの取得とライセンスの購入

希望のコンテンツを検索する

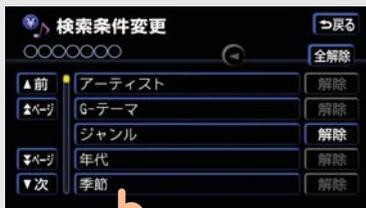
ハードディスクに保存されているG-SOUND コンテンツの中から、条件を設定して希望のコンテンツを検索することができます。



1 [検索条件] にタッチする。



2 検索条件に加えたい項目にタッチする。



- [解除] にタッチすると
➔ 設定した検索条件を解除します。
- [全解除] にタッチすると
➔ すべての検索条件を解除します。

3 検索条件に設定したい詳細項目にタッチする。



4 検索結果の表示。



- 設定した検索条件は、検索条件変更画面の検索条件表示欄に表示されます。◀または▶にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確かめることができます。

コンテンツを試聴する

ライセンス購入前に試聴することができます。コンテンツの検索が終わったら、G-SOUND カタログ画面から聴きたいコンテンツを選んでください。

- 試聴には、「試聴ライセンス」が必要です。
- 試聴ライセンスは、試聴期限または試聴回数の制限があります。

聴きたいコンテンツを選択

試聴 ▶

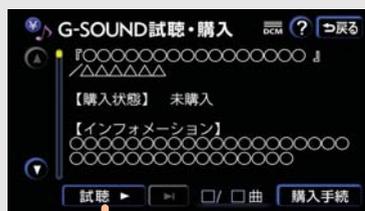
ライセンス取得

試聴再生

1 聴きたいコンテンツにタッチする。



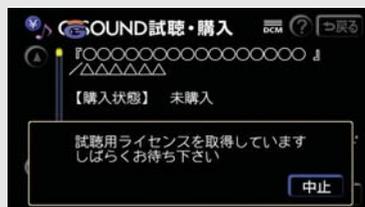
2 [試聴 ▶] にタッチする。



- 試聴は曲／アルバムあたり 3 回までです。
- [試聴 ▶] にタッチすると
→ 試聴は 1 回として数えられます。



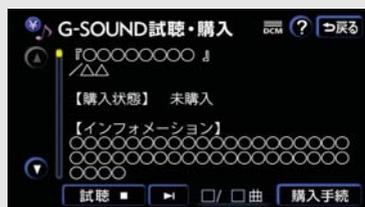
3 ライセンスを取得していないときは、試聴ライセンスの取得を開始します。



- 取得を中止したいとき → [中止] にタッチ



4 試聴再生を開始します。



- [試聴 ■] にタッチすると → 停止します。
- ▶ にタッチすると
→ 次の曲を試聴再生します。
- ほかの画面を表示すると、試聴は停止します。

ライセンスの購入手続きをする

試聴したあと、続けて聴きたいコンテンツであったときは、ライセンスを購入します。ライセンスは 1000 個まで購入することができます。

購入手続

購入操作

ライセンス取得完了

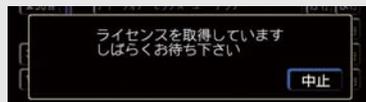
1 [購入手続] にタッチする。



2 G-BOOK センターに接続し、画面の指示にしたがって操作する。



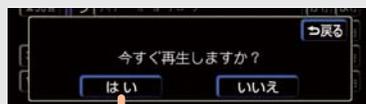
3 ライセンスの取得を開始します。



- 取得を中止したいときは
→ [中止] にタッチ



4 ライセンス取得が完了すると、メッセージが表示されます。[はい] にタッチすると、再生します。



- [いいえ] をタッチして、すぐに再生しなくても、サウンドライブラリのプレイリストには追加されます。

G-SOUND コンテンツを再生する

購入したコンテンツは、サウンドライブラリの各プレイモードで再生することができます (→ P.251)。



- コンテンツを購入すると、サウンドライブラリのプレイモード選択画面で「G- テーマ」が使用できるようになります。G-SOUND コンテンツの操作方法 (→ P.550)。

サウンドライブラリで録音した曲との相違点

G-SOUND コンテンツは、以下の点がサウンドライブラリで録音した曲と異なります。

- 曲調に合わせたテーマやシチュエーションがあらかじめ設定されており、これを「G- テーマ」と呼びます。プレイモードで「G- テーマ」を選ぶと、テーマごとに再生することができます。
- G-SOUND コンテンツは、以下の機能はありません。
 - ・ 曲情報 (トラック、トラック読み、アーティスト、アーティスト読み、ジャンル) の編集
 - ・ タイトル情報の取得
- プレイリストを削除するときは、ライセンスのみ削除されます。コンテンツ自体はハードディスクから削除されません。
- 曲 (トラック) 単位で削除することができません。コンテンツ単位での削除になります。

ライセンスを確認する

購入済みライセンスまたは期限切れライセンスの詳細を確認することができます。

ライセンス確認

確認する

ライセンス名の選択

1 [ライセンス確認] にタッチする。



2 購入済みまたは期限切れライセンスの [確認する] にタッチする。



- 購入済みライセンスは、再生期限が切れると、期限切れライセンスに変更されます。



3 ライセンス名にタッチする。



G-SOUND コンテンツを削除する

不要となった G-SOUND コンテンツは、削除することができます。

削除する

コンテンツ名の選択

削除

はい

1 「削除する」にタッチする。



2 削除したいコンテンツ名にタッチする。



- [全削除] にタッチすると
➔ すべてのコンテンツを削除します。
- [検索条件] にタッチしてコンテンツを絞り込んでから [全削除] にタッチすると
➔ 検索されたコンテンツをすべて削除することができます。

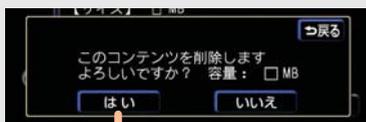
3 [削除] にタッチする。



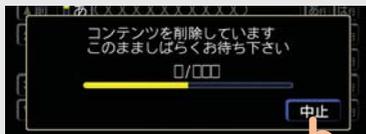
- コンテンツを個別に削除するときは、詳細が表示されます。



4 [はい] にタッチする。



5 [全削除] を途中で中止したいときは、[中止] にタッチする。


注意

- すべての G-SOUND コンテンツを削除すると、コンテンツ内の曲はすべて利用できなくなります。
- ライセンス購入済みのコンテンツは、リストに表示されません。購入済みライセンスをサウンドライブラリのプレイリストから削除することで、コンテンツを削除できるようになります。一度削除すると、G-ライブリディスクに収録されているコンテンツ以外はもとに戻すことはできませんのでご注意ください。
- 全削除の途中で中止しても、すでに削除処理が終了したコンテンツをもとに戻すことはできません。

4. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

サウンドライブラリでは、CD から録音した曲のタイトル情報を、ハードディスク内のデータベースから取得し、表示することができます。ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。

G-Link サービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センターを経由し、Gracenote メディアデータベースから取得することができます。



- 1 プレイリストまたはトラックリスト画面で、[曲情報] にタッチする。



- 2 [Gで検索] にタッチする。



- 3 画面の指示にしたがって、ご希望のタイトルを選択・登録する。

- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. AUTOLIVE について

AUTOLIVE について

AUTOLIVE は、通信または G- ライブラリディスクにより各種データを取得して、カラオケや BGM を楽しむことができるサービスです。

- AUTOLIVE サービスは、別途コンテンツプロバイダーとの契約が必要です。

AUTOLIVE カラオケ (→ P.562)

再生中は、曲に合わせて歌詞が表示されます (停車中のみ)。

利用方法は 2 通りあります。

歌い放題コース

ハードディスクにあらかじめ保存されている 5000 曲のカラオケを月額固定料金で自由に利用できます。

ダウンロードコース

チケットを購入し、曲ごとにダウンロードできます。ハードディスクにあらかじめ保存されていない曲をオンラインでダウンロードできます。

- オンラインでダウンロードできる最新の曲目リストをたしかめたいときは
→ [G で選曲] にタッチ

AUTOLIVE BGM (→ P.579)

AUTOLIVE BGM は、「チャンネル」単位でまとめられています。ひとつのチャンネルには 1 曲もしくは複数の曲が含まれます。

利用方法は 2 通りあります。

聴き放題コース

ハードディスクにあらかじめ保存されている 800 曲の BGM を月額固定料金で自由に聴くことができます。

ダウンロードコース

チケットを購入し、チャンネルごとにオンラインでダウンロードします。

- ハードディスクにあらかじめ保存されていない最新のチャンネルをたしかめたいときは
→ [G で選択] にタッチ

 注意

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で以下のようにあつかうことは、法律により禁止されています。

- 無断でコピーする
- 無断で内容を改変する
- インターネットなどで不特定多数の人物に配布する

- 通信でデータを取得しているとき、他のオーディオに切り替えると、取得中の内容は消えます。

音量・音質・音場の調整について

音量・音質・音場の調整方法は、オーディオと同じです（→ P.190）。

オーディオまたは AUDIO

音質・音場の調整

1 AUTOLIVE 再生中に、、または  を押す。

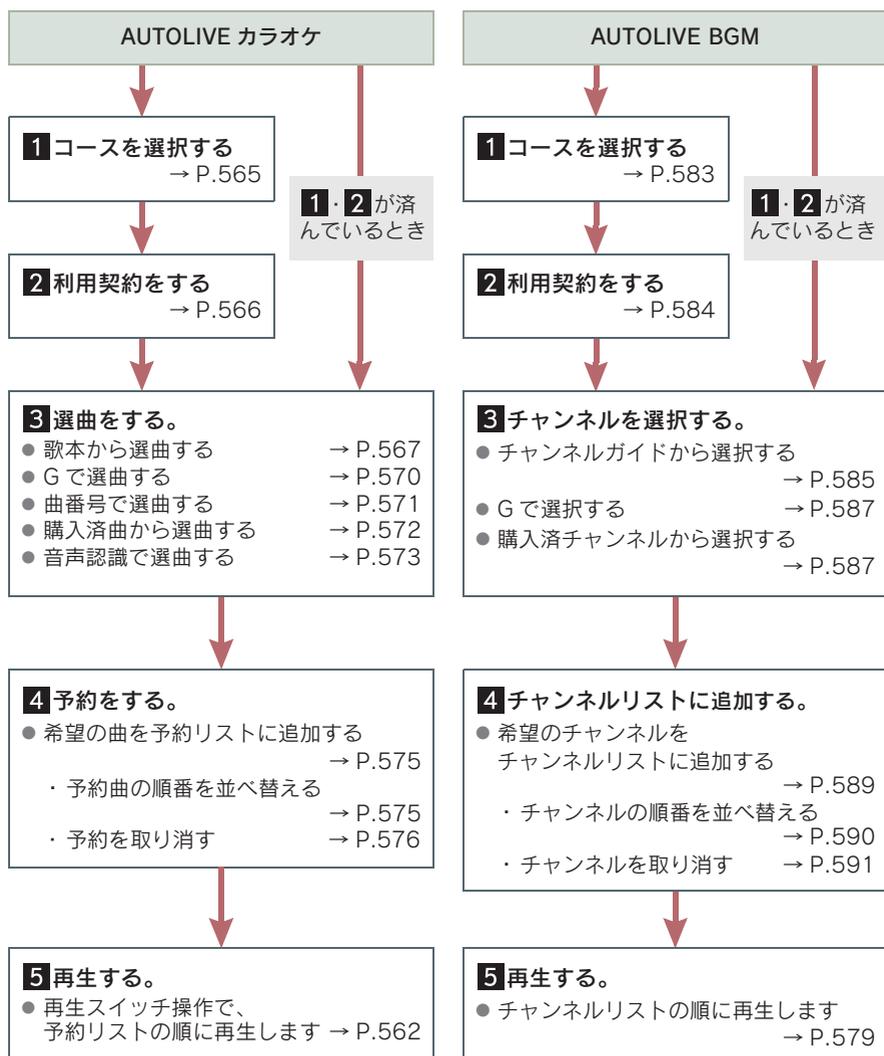


2 音質・音場の調整をする。



- 調整が終わったら、[映像] にタッチします。
- 再生中の AUTOLIVE 画面が表示されません。

AUTOLIVE の操作手順



- コース選択後、歌本／チャンネルガイドの設定をすると、利用契約をする前に、コースの曲タイトルを確認することができます。

歌本・チャンネルガイドについて

車載機のハードディスクには、歌本／チャンネルガイドがインストールされています。

他の歌本／チャンネルガイドなどを使用するときは、G- ライブラリコピーを使い、G- ライブラリディスクからハードディスクへデータをコピーします(→ P.543)。

チケットについて

■ ダウンロードコースをご利用のお客様へ

曲データをダウンロードするときにチケットが必要です。

チケットのいる・いないについては、曲予約画面・チャンネル追加画面のチケット欄に表示されます。「必要」と表示されるときは、曲データをダウンロードするタイミングでチケットを使用します。

- チケットの購入および残り枚数の確認は、選曲メニュー・チャンネル追加メニューの【利用手続】からできます。

2. AUTOLIVE カラオケ画面の使い方

AUTOLIVE カラオケ画面の使い方

アミューズメントメニュー画面で【AUTOLIVE カラオケ】にタッチすると表示されます。

- 走行中には歌詞が表示されません。



名称	機能
1 曲を選ぶスイッチ	選曲メニュー画面を表示 (→ P.564)
2 予約リストスイッチ	予約リスト画面を表示 (→ P.575)
3 曲データ削除スイッチ	購入済みの曲や歌い放題パックを削除
4 KEY (キー) スイッチ	再生中に曲のキーを変更 ● キーを上げるときは [KEY ▲]、キーを下げるときは [▼ KEY] にタッチします。
5 RPT (リピート) スイッチ	再生中の曲を繰り返し再生 ● [RPT] にタッチすることにより、ON・OFF が切り替わります。
6 再生/停止スイッチ	● ▶ にタッチすると曲を再生 ● ■ にタッチすると停止 ● 曲データ取得中に ■ にタッチすると、データ通信が中止
7 次の曲スイッチ	次の曲を再生

車載機のスイッチで操作する



■ パワースイッチ

スイッチを押すごとに、曲の再生/停止を繰り返します。再生は曲の先頭から開始します。

■ 音量調整ツマミ

右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと小さくなります。

ステアリングスイッチで操作する



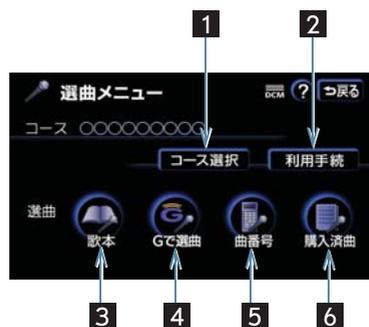
■ 音量調整スイッチ

- 音量を大きくする → +側を押す。
- 音量を小さくする → -側を押す。
- スイッチを 1 秒以上押しつづけると、音量を連続して調整できます。

■ MODE スイッチ

- スイッチを押すと、AUTOLIVE カラオケが終了します。
- 「ピツ」と音がするまで押しつづけると、オーディオの電源を OFF にすることができます。

選曲メニュー画面の使い方



名称	機能	ページ
1 コース選択スイッチ	コース選択画面を表示	565
2 利用手続スイッチ	コンテンツプロバイダーと利用契約 <ul style="list-style-type: none"> 契約状況や残りチケット数の確認をすることもできます。 	566
3 歌本スイッチ	設定した歌本から選曲	567
4 Gで選曲スイッチ	G-BOOK.com から選曲 <ul style="list-style-type: none"> 歌い放題コースを選択しているときは、利用できません。 	570
5 曲番号スイッチ	曲番号を入力して選曲	571
6 購入済曲スイッチ	購入済みの曲から選曲 <ul style="list-style-type: none"> 歌い放題コースを選択しているときは、利用できません。 	572

3. AUTOLIVE カラオケの準備をする

AUTOLIVE カラオケの準備をする

AUTOLIVE カラオケを利用するには、まずコースを選びコンテンツプロバイダーと利用契約をします。曲の再生中は、コース選択や利用契約手続きができません。

コースを選択する

1 [アミューズメント] にタッチする。



2 [AUTOLIVE カラオケ] にタッチする。



3 [曲を選ぶ] にタッチする。



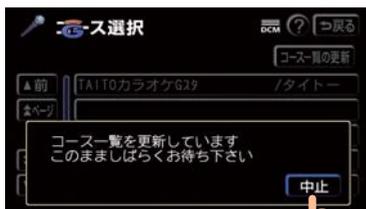
4 [コース選択] にタッチする。



5 [コース一覧の更新] にタッチする。



- ▶ コース一覧の更新を中止したいときは
 → [中止] にタッチ



- 6 希望のコースを選び、タッチする。



利用契約をする

- 1 [利用手続] にタッチする。



- 2 画面の指示にしたがって、利用契約をする。

4. AUTOLIVE カラオケの選曲をする

選曲方法について

コースが決まったら、次は曲を選びます。

選曲のしかたは、以下の 5 通りあります。

- 歌本から選曲 (→ P.567)
- G-BOOK.com 内コンテンツから選曲 (→ P.570)
- 曲番号から選曲 (→ P.571)
- 購入済みの曲から選曲 (→ P.572)
- 音声認識機能での選曲 (→ P.573)

歌本から選曲する

歌本がハードディスクに保存されているとき、歌本から選曲することができます。

- 選曲方法は以下の 3 通りあります。
 - ・ 曲名で探す (→ P.568)
 - ・ 歌手名で探す (→ P.568)
 - ・ リストから探す (→ P.569)

歌本を設定する

1 [歌本] にタッチする。



2 [設定] にタッチする。



3 希望の歌本を選び、タッチする。



選曲する

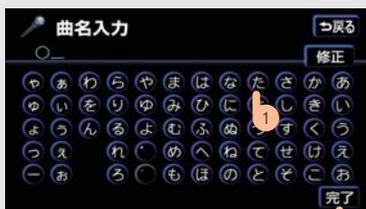
- 予約後、すぐに再生または別の方法で選曲
➔ [プレイ画面へ] にタッチ
- 同じ方法で予約を続けるときは
➔ [戻る] にタッチ

曲名で探す

- 1 [曲名で探す] にタッチする。



- 2 曲名を入力し、[完了] にタッチする。



- 曲名をすべて入力しなくても検索できます。
- 間違えたときは ➔ [修正] にタッチ



- 3 希望の曲を選びタッチする。



- 4 [この曲を予約する] にタッチする。



歌手名で探す

- 1 [歌手名で探す] にタッチする。



- 2 歌手名を入力し、[完了] にタッチする。



- 歌手名をすべて入力しなくても検索できます。
- 間違えたときは → [修正] にタッチ



- 3 希望の曲を選びタッチする。



- 4 [この曲を予約する] にタッチする。



リストから探す

- 1 [リストから探す] にタッチする。



- 2 希望の曲を選びタッチする。



- 歌手名で絞り込む
→ [歌手変更] にタッチ
- ジャンルで絞り込む
→ [ジャンル変更] にタッチ

- ▶ [歌手変更] にタッチしたときは
→ その歌手の曲がリストに表示されま
す。



- 絞り込みをキャンセルしたいときは
→ [全ての歌手] にタッチ

- ▶ **[ジャンル変更]** にタッチしたときは
- ▶ そのジャンルの曲がリストに表示されます。



- 絞り込みをキャンセルしたいときは
- ▶ **[全てのジャンル]** にタッチ



3 [この曲を予約する] にタッチする。



Gで選曲する

G-BOOK.com 内コンテンツの曲リストから選曲することができます。歌い放題コースを選んでいるときは、利用できません。

Gで選曲

曲予約

戻る

再生

1 [Gで選曲] にタッチする。



- 2 画面の指示にしたがって、曲予約をする。



- 3 選曲メニュー画面が表示されたら **[戻る]** にタッチし、AUTOLIVEカラオケ画面で曲を再生する。

曲番号で選曲する

曲番号を直接入力して選曲することができます。



1 【曲番号】にタッチする。



2 曲番号を入力し、【完了】にタッチする。



- 間違えたときは → 【修正】にタッチ
- 曲名および歌手名が表示されないときは、曲番号を間違えて入力した可能性があります。



3 【この曲を予約する】にタッチする。



- 予約後、すぐに再生または別の方法で選曲
→ 【プレイ画面へ】にタッチ
- 同じ方法で予約を続けるときは
→ 【戻る】にタッチ

購入済曲から選曲する

チケットを使ってデータ取得した曲から選曲できます。

- 購入済曲はコースごとに保存されています。
- 購入済曲はコンテンツプロバイダーやG-Link 利用契約を解約した後も、続けて利用できます。

購入済曲

曲を選ぶ

この曲を予約する

3 [この曲を予約する] にタッチする。



- 予約後、すぐに再生または別の方法で選曲
➡ [プレイ画面へ] にタッチ
- 同じ方法で予約を続けるときは
➡ [戻る] にタッチ

1 [購入済曲] にタッチする。



2 希望の曲を選び、タッチする。



音声認識で選曲する

オーディオが AUTOLIVE カラオケで、歌本が選択されているときは、選択している歌本に収録されている曲を音声認識（拡張モード）で選曲および予約することができます。

- 歌本を選択する（→ P.567）。
- 音声認識（拡張モード）の操作のしかた（→ P.304）。

音声認識での操作例



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「ピッと鳴ったらお話しください」 <ピツ>

お客様：「曲を探す」

車載機：「歌いたい曲を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「アーティスト名と曲名を続けてどうぞ」 <ピツ>

▶ アーティスト名と曲名を続けて発声するときは

お客様：「△△△（アーティスト名）の○○○（曲名）」

▶ アーティスト名と曲名を別々に発声するときは

お客様：「△△△（アーティスト名）」

車載機：「△△△（アーティスト名）の曲を探します」

お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「曲名をどうぞ」 <ピツ>

お客様：「○○○（曲名）」

車載機：「△△△（アーティスト名）の○○○（曲名）を表示します」



お客様：（トークスイッチを押す）

車載機：「コマンドをどうぞ」 <ピツ>

お客様：「予約」

車載機：「予約リストに追加します」

- 曲名だけでは選曲できません。
- 必ず先にアーティスト名を発声してください。

アーティスト名や曲名が希望のものと違うとき



[次候補] にタッチするか、「次候補」と発声する。

- 次候補は、最初の候補を含めて、5 件まで検索できます。

5. AUTOLIVE カラオケの予約をする

予約について

選曲する（→ P.567）と、予約リストに追加されます。

■ 歌い放題コース利用時

選択した曲がコンテンツプロバイダーと未契約のときは、契約の手続きをしてから予約してください。

予約リストについて

- 50 曲まで予約することができます。
- 予約リストの順に曲が再生されます。
- 予約曲の並び替えや取り消しをすることができます。

予約曲を並べ替える

予約リストの曲を並び替えると、再生する順番を変更できます。



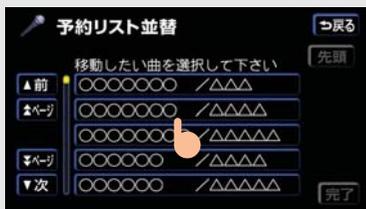
1 [予約リスト] にタッチする。



2 [並替] にタッチする。



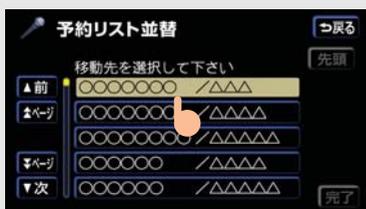
3 移動したい曲にタッチする。



- 選択をキャンセルするときは
➔ 同じスイッチにもう一度タッチしてください。



4 移動先を選び、タッチする。



- [先頭] にタッチすると
➔ リストの先頭に移動します。



5 並び替えが終わったら、[完了] にタッチする。

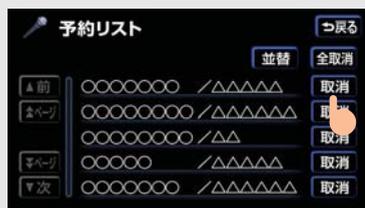
予約を取り消す

予約リスト上で予約された曲を取り消すことができます。

取消

はい

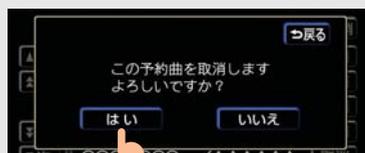
1 予約を取り消したい曲を選び、[取消] にタッチする。



- すべての予約を取り消したいときは
➔ [全取消] にタッチ



2 [はい] にタッチする。



6. AUTOLIVE カラオケのデータを削除する

歌本を削除する

歌本の削除のしかたを説明します。

- 歌い放題パック用の歌本の削除は、別の方法で行ってください (→ P.578)。

[削除] または [全削除]

はい

 注意

- 全削除を途中で中止しても、すでに削除処理が終わった歌本はもとに戻せません。
- 歌い放題パックの歌本は、歌い放題パックを削除することで削除できます。

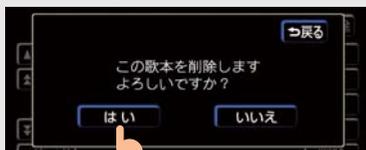
- 1 削除したい歌本を選び、[削除] にタッチする。



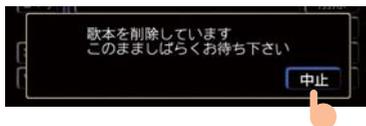
- すべての歌本を削除したいときは
→ [全削除] にタッチ



- 2 [はい] にタッチする。

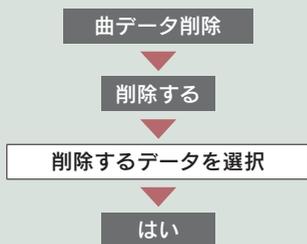


- ▶ 全削除を途中で中止したいときは
→ [中止] にタッチ



曲データを削除する

購入済曲や歌い放題パックを削除することができます。



1 [曲データ削除] にタッチする。



2 削除したいデータを選び、[削除する] にタッチする。



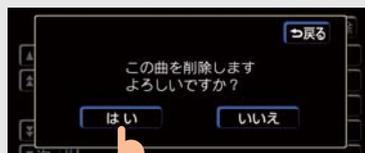
3 削除したい曲または歌い放題パックを選び、タッチする。



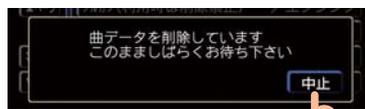
- すべての曲データを削除したいときは
➔ [全削除] にタッチ
- 曲を購入している場合や歌い放題パックがインストールされている場合のみ、リストに曲名・歌手名などが表示されます。



4 [はい] にタッチする。



- ▶ 全削除を途中で中止したいときは
➔ [中止] にタッチ



⚠ 注意

- 全削除を途中で中止しても、すでに削除処理が終わった曲データはもとに戻すことはできません。
- 歌い放題パックを削除すると、パック内の曲と歌本はすべて利用できません。また、利用しているコースの歌い放題パックをすべて削除すると、歌い放題の契約をしていてもそのコースの歌い放題が利用できなくなります。
- 初めから登録している曲は、一度削除するとGライブ러리ディスクを入手しないと、もとに戻せなくなります。

7. AUTOLIVE BGM 各画面の使い方

AUTOLIVE BGM 画面の使い方

AUTOLIVE BGM 画面はアミューズメントメニュー画面で[AUTOLIVE BGM]にタッチすると表示されます。また、チャンネルリストの順に曲を再生します。



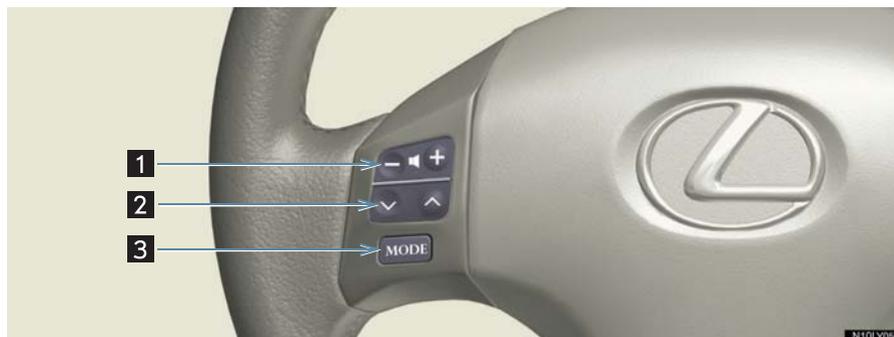
名称	機能
1 チャンネルを追加スイッチ	チャンネル追加メニュー画面を表示 (→ P.582)。
2 チャンネルリストスイッチ	チャンネルリスト画面を表示 (→ P.590)。
3 曲データ削除スイッチ	購入済みのチャンネルや聴き放題パックを削除 (→ P.594)。
4 ch. (チャンネル) スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> • [ch. ▲] 次のチャンネルに切り替え • [▼ ch.] 前のチャンネルに切り替え
5 RPT (リピート) スイッチ	再生中の曲を繰り返し再生。 • タッチするごとに、ON・OFF が切り替わる。
6 ch.RPT (チャンネルリピート) スイッチ	再生中のチャンネルを繰り返し再生。 • タッチするごとに、ON・OFF が切り替わる。

車載機のスイッチで操作する



名称	スイッチ操作	機能
1 パワースイッチ/ 音量調整ツマミ	パワースイッチを押す	曲の再生・停止
	音量調整ツマミを右へまわす	音量を大きくする
	音量調整ツマミを左へまわす	音量を小さくする
2 TRACK (トラック) スイッチ	∧側を押す	次の曲の頭出し再生
	∨側を押す	現在の曲の頭出し再生 (曲の先頭から 5 秒以内に押したときは、前の曲の頭出し再生)
	∧側を「ピツ」と鳴るまで押す	次のチャンネルに切り替え
	∨側を「ピツ」と鳴るまで押す	前のチャンネルに切り替え
3 DISC (ディスク) スイッチ	∧側を押す	次のチャンネルに切り替え
	∨側を押す	前のチャンネルに切り替え

ステアリングスイッチで操作する



名 称	スイッチ操作	機 能
1 音量調整スイッチ	+側を押す	音量を大きくする
	-側を押す	音量を小さくする
	約 1 秒以上押し続ける	連続して音量が変わる
2 TRACK (トラック) スイッチ	∧側を押す	次の曲の頭出し再生
	∨側を押す	現在の曲の頭出し再生 (曲の先頭から 5 秒以内に押したときは、前の曲の頭出し再生)
	∧側を「ピッ」と鳴るまで押す	次のチャンネルに切り替え
	∨側を「ピッ」と鳴るまで押す	前のチャンネルに切り替え
3 MODE (モード切り替え) スイッチ	押す	AUTOLIVE BGM の解除
	「ピッ」と鳴るまで押す	オーディオの電源を OFF

チャンネル追加メニュー画面の使い方

チャンネル追加メニュー画面は、AUTOLIVE BGM 画面で、[チャンネルを追加] にタッチすると表示されます。



名称	機能	ページ
1 コース選択スイッチ	コース選択画面を表示。	583
2 利用手続スイッチ	コンテンツプロバイダーと利用契約。	584
3 チャンネルガイドスイッチ	設定したチャンネルガイドからチャンネルを選択。	585
4 Gで選択スイッチ	G-BOOK.com内のコンテンツからチャンネルを選択。	587
5 購入済チャンネルスイッチ	購入済チャンネルの中から選択。	587

8. AUTOLIVE BGM の準備をする

コースを選択する

AUTOLIVE BGM を利用する前にコースを選びます。



1 [アミューズメント] にタッチする。



2 [AUTOLIVE BGM] にタッチする。



3 [チャンネルを追加] にタッチする。



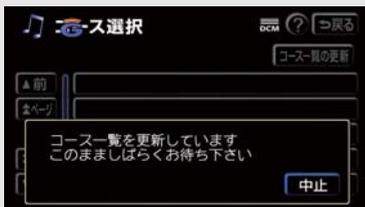
4 [コース選択] にタッチする。



5 [コース一覧の更新] にタッチする。



- 6 G-BOOK センターに接続し、コース一覧を更新します。



- コース一覧の更新を中止したいときは
➔ [中止] にタッチ



- 7 希望のコースを選び、タッチする。



利用契約をする

コースを選んだあとに、コンテンツプロバイダーと利用契約をします。

利用手続

利用契約

- 1 [利用手続] にタッチする。



- 2 画面の指示にしたがい、利用契約する。

- 利用契約する前に、チャンネルガイドの収録曲を確認することができます。コースを選んだあとに、チャンネルガイドの設定をしてください (→ P.585)。

9. チャンネルを選択する

チャンネルの選択方法について

コースを選択したら、次はチャンネルの選択をします。

チャンネルの選択方法は、以下の 3 通りあります。

- チャンネルガイドから選択する (→ P.585)。
- G (G-BOOK.com コンテンツ) で選択する (→ P.587)。
- 購入済チャンネルから選択する (→ P.587)。

チャンネルガイドから選択する

チャンネルガイドからチャンネルを選択するには、あらかじめコンテンツプロバイダーから提供されるチャンネルガイドを車載機のハードディスクに保存する必要があります。

チャンネルガイドを設定する

チャンネルを選択する前に、チャンネルガイドを設定します。

1 [チャンネルガイド] にタッチする。



2 [設定] にタッチする。



- 3** 希望のチャンネルガイドを選び、タッチする。

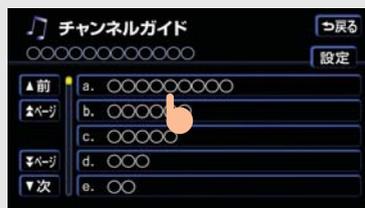


- 別のチャンネルガイドにかえるときも、同じ手順でチャンネルガイドを選び直します。

チャンネルを選択する

設定したチャンネルガイドからジャンルを選び、次にチャンネルを選択します。

- 1** 希望のジャンルを選び、タッチする。



- 2** 希望のチャンネルを選び、タッチする。



- 3** [チャンネルリストに追加] にタッチする。



G で選択する

G-BOOK センターに接続して、G-BOOK.comのコンテンツからチャンネルリストに追加するチャンネルを選択することができます。聴き放題コースを選択しているときは、ご利用できません。

G で選択

チャンネルを選択

- 1 [G で選択] にタッチする。



- 2 画面の指示にしたがい、チャンネルを選ぶ。

- 3 チャンネルリストが追加されると、チャンネル追加メニュー画面が表示されます。

▶AUTOLIVE BGM 画面を表示するときは

→【戻る】にタッチ

購入済チャンネルから選択する

チケットを使って購入した購入済チャンネルからチャンネルを選ぶことができます。

購入済チャンネルはコースごとに保存されるため、購入済チャンネルから選択するときは、必ず選択したコースを確かめてください。

購入済チャンネル

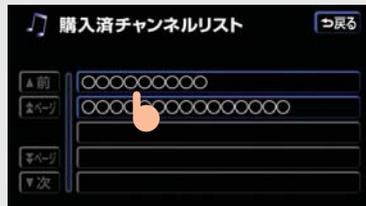
チャンネルを選択

チャンネルリストに追加

- 1 [購入済チャンネル] にタッチする。



- 2 希望のチャンネルを選び、タッチする。



3 [チャンネルリストに追加] にタッチする。



- 購入済チャンネルは、コンテンツプロバイダーとの利用契約や G-Link 利用契約を解約した後も、続けて利用できます。

10. チャンネルを追加する

チャンネルリストについて

チャンネルを選択したら、次にチャンネルリストにチャンネルを追加します。

- チャンネルリストは、200 件までチャンネルを登録できます。

チャンネルはチャンネルリストの順に再生され、再生が終了してもチャンネルリストから削除されません。お客様がチャンネルを取り消さない限り、チャンネルリストにはそのまま登録したチャンネルが残ります。

- チャンネルリストに登録されているチャンネルは、並べ替えや取り消しができません。

チャンネルを追加する

チャンネルリストに追加

はい

- 1 [チャンネルリストに追加] にタッチする。

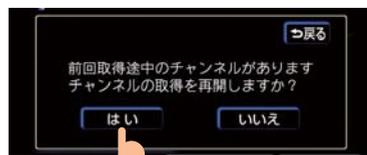


- ▲・▼にタッチすると
→ 収録曲を確認することができます。
- [戻る] にタッチすると
→ ひとつ前の画面に戻ります。
- [プレイ画面へ] にタッチすると
→ AUTOLIVE BGM 画面が表示されます。



- 2 確認メッセージが表示される。

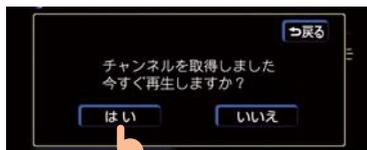
- ▶ チャンネル取得再開のメッセージが表示されたときは
→ [はい] にタッチ



- チャンネルの取得を中止したいときは
→ [いいえ] にタッチ

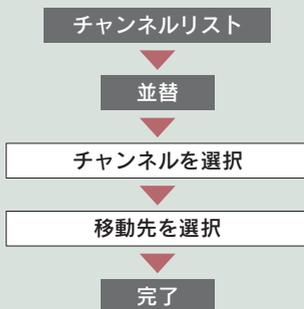
▶チャンネル再生のメッセージが表示されたときは

➔ [はい] にタッチすると、追加したチャンネルの曲が再生されます。



チャンネルを並べ替える

チャンネルリストに追加されたチャンネルは、追加した順に再生されます。



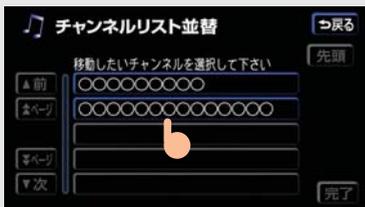
1 [チャンネルリスト] にタッチする。



2 [並替] にタッチする。



- 3** 移動したいチャンネルにタッチする。



- もう一度タッチすると取り消されます。
- チャンネルリストの先頭へ移動する
→ [先頭] にタッチ



- 4** 移動先のチャンネルにタッチすると、チャンネルが移動します。並び替えが終わったら、[完了] にタッチする。



- 並び替えを続けたいときは
→ **3**・**4**の手順を繰り返します。



- 5** [戻る] にタッチする。



チャンネルを取り消す

チャンネルリストに追加したチャンネルをチャンネルリスト画面で取り消すことができます。



- 1** 取り消したいチャンネルの [取消] にタッチする。



- [全取消] にタッチすると
→ すべてのチャンネルが取り消されます。



- 2** [はい] にタッチする。



- 3** 取り消し後のチャンネルリスト画面を確認する。



- AUTOLIVE BGM 画面を表示するときには
→ [戻る] にタッチ
- すべてのチャンネルを取り消したときは、チャンネルリスト画面は表示されません。
- 取り消したチャンネルのうち、通信で取得したチャンネルは、チャンネル追加メニューの [購入済チャンネル] から追加することができます (→ P.587)。

チャンネル情報を見る

チャンネルリストに追加したチャンネルの収録曲の確認と再生ができません。

情報を見たいチャンネルにタッチする。



- ▶ 収録曲を確認する
→ ▲または▼にタッチ



- ▶ 確認したチャンネルをすぐに再生する
→ [再生] にタッチ



11. AUTOLIVE BGM のデータを削除する

チャンネルガイドを削除する

チャンネルガイドの削除のしかたを説明します。

- 聴き放題パック用のチャンネルガイドの削除は、別の方法で行ってください(→ P.594)。

[削除] または [全削除]

はい

 注意

- 全削除を途中で中止しても、すでに削除処理が終わったチャンネルガイドはもとに戻すことはできません。
- 聴き放題パックを削除すると、パック内の曲とチャンネルガイドはすべて利用できなくなります。
- 聴き放題パックのチャンネルガイドは聴き放題パックを削除することで削除されます。

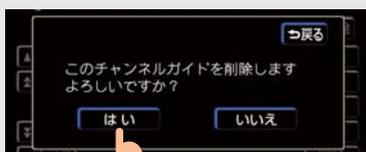
- 1 削除したいチャンネルガイドを選び、[削除] にタッチする。



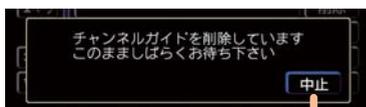
- すべてのチャンネルガイドを削除したいときは
→ [全削除] にタッチ



- 2 [はい] にタッチする。



- ▶ 全削除を途中で中止したいときは
→ [中止] にタッチ



曲データを削除する

購入済チャンネルや聴き放題パックを削除することができます。



1 [曲データ削除] にタッチする。



2 削除したいデータを選び、[削除する] にタッチする。



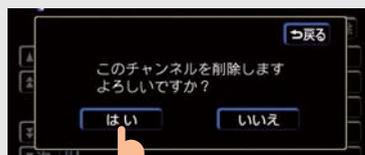
3 削除したいチャンネルまたは聴き放題パックを選び、タッチする。



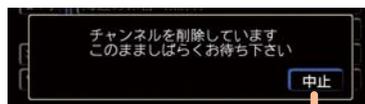
- すべての曲データを削除したいときは
➔ [全削除] にタッチ



4 [はい] にタッチする。



- ▶ 全削除を途中で中止したいときは
➔ [中止] にタッチ



⚠ 注意

- 全削除を途中で中止しても、すでに削除処理が終わった曲データはもとに戻すことはできません。
- 聴き放題パックを削除すると、パック内の曲とチャンネルガイドはすべて利用できなくなります。

1. G-Link とナビの連携機能

ナビ連携機能について

ナビ連携機能とは、ナビゲーションと G-BOOK センターとを通信でつなぐ機能です。ナビ連携機能を使うと、リアルタイムな情報を受けとることができるため、ナビゲーションを更に便利に使うことができます。

ナビ連携機能には、以下の機能があります。

ナビ連携機能	内 容	ページ
渋滞予測	渋滞予測情報を表示	596
G ルート探索	広域の渋滞予測情報をもとに目的地までの最適なルートを探索	599
G メモリ地点	G メモリを G メモリ地点として利用	601
施設情報表示	施設の情報を表示	602
G 情報マーク表示	G 情報マークを表示	603
G 情報マーク連動サービス	G 情報マーク連動サービスを利用	604
G で設定	ドライブプランや G メモリを利用	605

※ リアルタイムの道路交通情報は、財団法人 日本道路交通情報センターです。

2. 渋滞予測

渋滞予測情報画面

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、高速路線マップ上に表示することができます。

表示	内容
	渋滞の区間
	混雑の区間
	通行止めの区間
	交通情報が配信されていない区間

- ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。
- 渋滞予測情報は、現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」・「混雑」は、旅行時間データが提供されている路線のみ表示されます。
- 事故などによる突発的な渋滞や規制の場合は予測できません。

渋滞予測情報を提供する路線

- 都市間高速道路
- 都市内高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路
 - ・ 松永道路
 - ・ 名阪道路
 - ・ 姫路西バイパス
 - ・ 姫路バイパス
 - ・ 保土ヶ谷バイパス
 - ・ 加古川バイパス
 - ・ 米子バイパス
 - など

※情報提供路線は随時変更されます。

渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから、渋滞予測情報を受信できます。

メニューまたは MENU

渋滞予測

渋滞予測情報を受信

- 1 、または  を押す。



- 2 [渋滞予測] にタッチする。



- 3 マップ上に渋滞予測情報が表示され、ルート上の情報が読み上げられる。



- ▶ 情報の取得を中止したいときは

➡ [中止] にタッチ

- 渋滞予測情報はブラウザの設定に関係なく、つねに読み上げられます (→ P.526)。
- 現在地からの距離が遠い地点では、渋滞予測情報が表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

画面左側のアイコンで渋滞予測の設定時間を変更し、今後の予測を見ることができます。



スイッチ	予想内容
[+]	設定時間を進める
[-]	設定時間を戻す
[現在]	現在の渋滞状況を表示

渋滞増減予測を表示する

渋滞増減予測アイコンを地図上に表示させることができます。

1 [設定] にタッチする。



2 [渋滞増減予測表示] にタッチする。



作動表示灯

- アイコン表示が ON のとき
→ 作動表示灯が点灯します。
- アイコン表示を OFF にしたいとき
→ 再度 [渋滞増減予測表示] にタッチ



3 アイコンが表示される。



- アイコンに読み上げ情報があるとき、アイコンにタッチすると渋滞情報が読み上げられます。

アイコン	予想内容
+	表示時間以降に、渋滞が増える
-	表示時間以降に、渋滞が減る
□	表示時間以降に、渋滞に変化がない

- 縮尺によってはアイコンが表示されないことがあります。
- アイコンはルートが設定されているとき、ルート沿いの情報を表示します。
- アイコンはルートが設定されていないとき、現在地周辺の情報を表示します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

[広域] または [詳細] にタッチする。



到着予想時刻

- ルートが設定されているとき、もっとも詳細な縮尺に切り替えると IC の到着予想時刻が表示されます。
- 到着予想時刻は、3 時間以降は到着予想時刻設定 (→ P.109) で設定した车速から計算されます。そのため渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

〈区間所要時間予測表示〉



休憩したときの所要時間予測を行います。ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

渋滞予測画面で、[所要時間] にタッチする。

- 区間所要時間予測が表示され、その情報が読み上げられます。
- 表示をやめるときは
➡ [終了] または [戻る] にタッチ
- 出口 IC までの距離が遠いとき、出口までの所要時間が表示されないことがあります。
- 渋滞予測情報画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される到着予測時間は、それぞれ独自で計算するため異なる表示をすることがあります。

3. G ルート探索

G ルート探索をする

「現在地周辺の交通情報」と G-BOOK センターから提供される「高速道路の渋滞予測情報」をもとに、目的地までの最適ルートを探します。全ルート図表示画面と再探索画面で使うことができます。

全ルート図表示画面から
G ルート探索する

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で [G ルート] にタッチする。



- 通常の探索をしたルートに戻りたいときは ➡ [元ルート] にタッチ
 - ・ 渋滞予測情報が車載機に保存されていれば、[元ルート] にタッチしたあとで [G ルート] にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。
- 事故など突発的に発生した渋滞については、予測できないことがあります。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索ができません。
- 目的地案内開始後は、全ルート図表示画面からの G ルート探索はできません。やりなおしたいときは再探索画面から G ルート探索をしてください。
- G ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などをすると、広域の渋滞予測情報が破棄されます。

再探索画面から G ルート探索する

再探索するとき、G ルート探索することができます。

- 1 現在地画面で [再探索] にタッチする。



- 2 [G ルート探索] にタッチする。

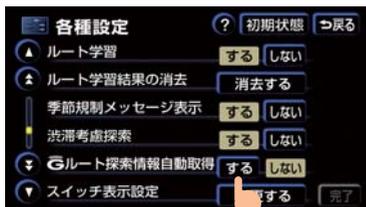


- G ルート探索を中止したいときは ➡ [再探索] にタッチしたあとで [取得中止] にタッチ

G ルート探索情報自動取得の設定をする

JCT や高速道路などの手前で G-BOOK センターに自動で接続し、G ルート探索情報（広域の渋滞予測情報）を取得します。

- G ルート探索情報の自動取得をする・しないを、ナビゲーションの各種設定画面で選ぶことができます（→ P.145）。



4. G メモリ地点

G メモリ地点について

パソコンや携帯電話のレクサスオーナーズサイトで登録したGメモリを、車載機のメモリ地点に登録したものを「Gメモリ地点」といいます。

一度 G メモリ地点に登録すると、G-BOOK センターに接続しなくても、G メモリを呼び出すことができます。

- Gメモリ地点は、100件まで登録できます。

G メモリ地点を登録する

Gメモリを車載機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

G-BOOK.com から登録する

車載機で G-BOOK.com コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で [G メモリ] にタッチします。

- パソコンや携帯電話のレクサスオーナーズサイトの G メモリ、および車載機の G メモリ地点に地点情報が登録されます。

G で設定を使って登録する

G メモリの一括ダウンロードのしかた (→ P.607)

G メモリ地点を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから次の手順で呼び出すことができます。

G メモリ地点

G メモリ地点を選択

G メモリ地点情報表示

1 [G メモリ地点] にタッチする。



2 G メモリ地点名称にタッチする。



- [地図] にタッチすると
→ その地点周辺の地図が表示されます。
- Gメモリ地点リストは3種類の並べ方があります (→ P.129)。
- Gメモリ地点は、メモリ地点が呼び出せるナビゲーション画面からも呼び出すことができます。名称読みが登録してあれば、音声認識機能も使うことができます。

5. 施設情報表示

施設の情報を表示する

Gマークのついた施設アイコンは、その施設の情報を見ることができます。

施設アイコン

情報

施設情報の表示

1 施設アイコンにタッチする。



2 [情報] にタッチするとブラウザ画面に切り替わる。



- 施設情報が表示されるとともに、情報が読み上げられます。

6. G 情報マーク表示

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。通常は、情報を取得すると自動的に G 情報マークが地図に表示されます。



G 情報マークが表示されていないときは、以下の手順でマークを表示させることができます。

- 1 地図表示中に【表示変更】にタッチする。



- 2 【周辺施設】にタッチする。



- 3 【G 情報マーク表示】にタッチすると、G 情報マークが地図に表示されます。



- G 情報マークを非表示にしたいときは
→ もう一度【G 情報マーク表示】にタッチ
- 【G 情報マーク表示】で表示／非表示を切り替えることができる G 情報マークは、以下のいずれかになります。
 - ・パソコンや携帯電話のレクスオナーズサイトの G メモリを表示させた G 情報マーク
 - ・ My リクエストなどで、G-BOOK.com コンテンツを利用して表示させた G 情報マーク
- Gメモリ地点のG情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。

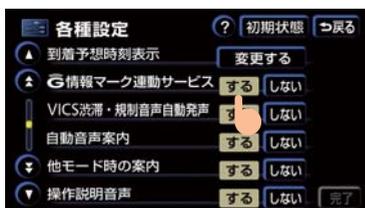
7. G 情報マーク連動サービス

G 情報マーク連動サービスについて

- G 情報マーク連動サービスは、現在ご利用いただけません。サービス提供開始時にはお知らせします。

G 情報マーク連動サービスを使うと、近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設の情報が読み上げられます。情報は、G-BOOK センターから取得されます。

G 情報マーク連動サービスの設定をする



G 情報マーク連動サービスのする・しないを設定できます。設定はナビゲーションの各種設定画面で行います (→ P.145)。

- 近接案内情報の読み上げ中の操作は、My リクエストと同様です (→ P.532)。

8. G で設定

G で設定について

レクサスオーナーズサイトで作成したドライブプランや G メモリを、車載機で利用できます。

- 目的地が設定されているときに [G で設定] で目的地を設定すると、その前に設定されていた目的地は、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
- 設定されていた目的地をもう一度設定したいときは、目的地履歴から設定してください。

ドライブプランを利用する

パソコンのレクサスオーナーズサイトでドライブプランを作成しておく、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。



- 1 [目的地設定]、または [DEST] を押す。

- 2 [G で設定] にタッチする。



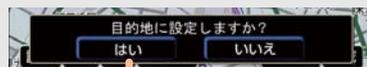
- 3 [ドライブプラン] にタッチする。



- 4 設定したいドライブプランにタッチする。



- 5 [はい] にタッチする。



- ドライブプランがダウンロードされると
➔ 経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。

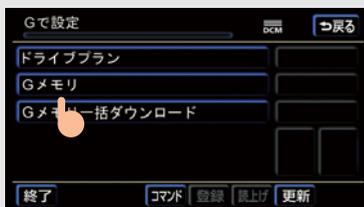
G メモリを利用する

パソコンや携帯電話のレクサスオーナーズサイトで登録した G メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。

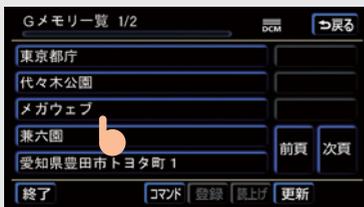


- ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

1 [G メモリ] にタッチする。



2 目的地に設定したい G メモリにタッチする。



3 [はい] にタッチする。



- 目的地が設定されると
➡ ルート探索を開始します。

Gメモリを一括ダウンロードする

パソコンや携帯電話のレクサスオーナーズサイトで登録した G メモリを一度車載機に一括ダウンロードすると、次からは G-BOOK センターに接続しなくてもナビのメモリ地点(Gメモリ地点)として常に利用することができます。

Gメモリ一括ダウンロード

Gメモリのダウンロード

[Gメモリ一括ダウンロード] にタッチする。



- ダウンロード完了の画面が表示されたら、Gメモリ地点として利用できます。

1. 契約を解約する

お車を手放すとき

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、以下の手続きをしてください。

- 契約の解約手続 (→ P.608)
- G-Link 設定の初期化 (→ P.525)
- 個人情報の初期化 (→ P.33)

契約の解約手続きについて

G-Link 利用契約を解約するときやお車を手放すときなどは、契約の解約手続きをしてください。

情報・G または INFO

メインメニュー

各種設定

解除する

契約の解約手続き

- 1 情報・G、または INFO を押す。



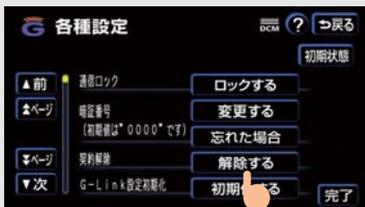
- 2 [メインメニュー] にタッチする。



- 3 [各種設定] にタッチする。



- 4 契約解除の【解除する】にタッチする。



- 5 画面の指示にしたがって解除手続きをする。

G-BOOK.com コンテンツ内からの解約について

解約にはG暗証番号の登録が必要です。登録の際には、オーナーズカードIDとパスワードが必要です。

- G-BOOK.com コンテンツ内の【ユーザー】にタッチする。



- 各種設定の状況、購入コンテンツの履歴などを確認することができます。以下の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。
- ▶ G-Link 利用契約を解約するときは
➔ 【会員情報／利用契約変更・解約】にタッチ

- ▶ 有料コンテンツの解約をするときは
➔ 【コンテンツ購入履歴／解約】にタッチ
● 購入済みコンテンツの確認、および解約ができます。

2. こんなメッセージが表示されたときは

表示内容とその処置

以下の表を確認してください。処置をしても解消されないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

メッセージ	原因	処置
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れたときは、各種設定画面で暗証番号の【忘れた場合】にタッチして確認してください。
時刻データが古いため使用できません GPSを受信して下さい	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリア圏外にいる。 認証に失敗した。 通信環境が悪い。 通信機器の接続状態に異常がある。 	しばらくしてから、できれば場所をかえて、数回試してください。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所をかえて、数回試してください。
通信圏外です 通信圏内に移動してお使い下さい	サービスエリア圏外にいる。	場所をかえて、数回試してください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリア圏外にいる。 認証に失敗した。 通信環境が悪い。 通信機器の接続状態に異常がある。 	しばらくしてから場所をかえて、数回試してください。
通信の初期設定が必要ですが メインメニューのG-BOOK.comから設定できます	通信の初期設定がされていない。	G-Linkサービスの利用手続きを行ってください。
低温のため使用できません しばらくしてからお使い下さい	低温（-20℃以下）であるため。	しばらくしてから再度操作してください。



索引

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

索引

あ

アミューズメント	540
暗証番号設定	520
暗証番号を忘れたとき	521
アンテナ	35
案内道路情報 (ルート情報)	101
案内表示設定	148

い

ETC エラーコード	409
ETC カード	400
カードを挿入するには	401
カードを抜くには	402
ETC システム	397
ETC メニュー画面	406
カード抜き忘れ警告	402
使い方	400
登録情報の表示	408
履歴表示	407
割り込み表示	408
ETC の設定	407
ETC ユニット	400
IC の解除	122
IC の指定	122

う

迂回メモリ地点の修正	137
迂回メモリ地点の消去	138
迂回メモリ地点の登録	136
歌い放題コース	558
歌本	561

え

エアコン	284
エアフィルターの清掃・交換	290
オート設定を使うとき	284

お好みの設定で使うとき	285
英字・数字入力	14
FM 多重放送	340
MD	199
同じグループを繰り返し聞く	203
曲を選ぶ	202
曲を探す	204
繰り返し聞く	203
グループを選ぶ	201
グループを探す	204
再生する	199
使用できるディスク	182
全グループの中から	
ランダムに聞く	203
早送り、早戻し	203
ランダムに聞く	203
MP3 (CD プレーヤー)	209
MP3 について	187
同じフォルダを繰り返し聞く	210
楽曲情報の表示	211
繰り返し聞く	210
再生する	209
全フォルダの中から	
ランダムに聞く	211
早送り、早戻し	210
ファイルを選ぶ	209
フォルダの中からファイルを探す	211
フォルダの中からランダムに聞く	210
フォルダを選ぶ	209
フォルダを探す	211
MP3 (DVD チェンジャー)	218
MP3 について	187
同じフォルダを繰り返し聞く	220
楽曲情報の表示	221
繰り返し聞く	220
全フォルダの中から	
ランダムに聞く	220
操作画面を表示する	218

早送り、早戻し	219
ファイルを選ぶ	219
フォルダの中からファイルを探す ...	220
フォルダの中からランダムに聞く ...	220
フォルダを選ぶ	218
フォルダを探す	220

お

応答音の切り替え	31
応答保留	435
オーディオ&ビジュアル	179
オーディオ操作画面	191
オーディオ電源	191
オートエアコン	284
AUTOLIVE	558
AUTOLIVE カラオケ	562
準備をする	565
選曲をする	567
データを削除する	577
予約をする	575
AUTOLIVE BGM	579
準備をする	583
チャンネルを選択する	585
チャンネルを追加する	589
データを削除する	593
お車を手放すとき	608
音質調整	192
音声案内について	49
音声設定	80
音声操作システム	295
拡張モード	304
標準モード	297
音声多重放送	278
音声認識コマンド一覧	314
音声認識中止機能	423
音声認識の対象設定	449
音声認識発信	432

映像制御の切り替え	31
音量設定 (ナビゲーション)	80
音量調整 (オーディオ)	191
音量バランス調整	192
オンルートスクロール	112

か

解約について	481
各モードの作動条件	7
画質調整	25
カタカナ入力	14
かな・漢字入力	14
画面モード切り替え	27
画面を消す	26
カレンダー機能	349
簡易画面	437
漢字入力 (文字入力)	16

き

聴き放題コース	558
季節規制区間の表示	72
起動音の調整	30
距離の補正	140
緊急通報	490

く

区間所要時間予測	598
クリアランスソナー	384
クリアランスソナーの設定	392
グループ名称の削除	456
グループ名称の登録	454

け

携帯電話の接続	420
携帯電話の登録	419
契約の解約手続き	608
県境案内表示	74

現在地の修正	139
現在地の表示	53

こ

交差点案内	105
交差点拡大図表示	105
ターンリスト図表示	107
レーンリスト図表示	105
交差点拡大図表示	105
交差点拡大図表示の解除	107
高速道路	75
高速分岐案内	78
高速路線マップ	76
ハイウェイモード	75
高速分岐案内	78
高速分岐案内画面の解除	78
高速路線マップ表示	76
高速路線マップ表示の解除	76
交通事故多発区間警告	72
交通情報放送	198
購入済曲	572
購入済チャンネル	587
故障とお考えになる前に	160
個人情報の消去	33
5ルート表示	101
コンテンツのコピー	543
コンテンツの削除	545
コンテンツの読み上げ	510
こんなメッセージが 表示されたときは	158

さ

サウンドライブラリ	243
概要	243
構成	243
操作の流れ	247
データベースについて	245

サウンドライブラリの再生、録音	
曲情報の表示	256
曲を選ぶ	253
曲を探す	256
繰り返し聞く	255
再生する	252
早送り、早戻し	255
プレイリストを選ぶ	252
ランダムに聞く	255
録音する	248
サウンドライブラリの編集	
曲情報の編集	265
曲の再生順番を変更する	269
曲の消去	270
曲の追加	263
タイトル情報の再取得	271
トラックリスト画面	257
プレイリスト画面	257
プレイリストの再生順番を 変更する	261
プレイリストの作成	258
プレイリストの消去	262
プレイリストの名称編集	260
サポートアドレス	480
残距離表示	115

し

G-SOUND カタログ	548
G-SOUND コンテンツ	549
コンテンツの検索	551
コンテンツの削除	555
コンテンツの試聴	552
G-SOUND ライセンス	549
ライセンス確認	554
ライセンス購入手続き	553
G 情報マーク表示	603
G 情報マーク連動サービス	604

G 情報マーク連動サービスの設定	604	G-Link の設定	519
シーズンレジャーランドマークの 表示	74	G ルート探索	599
G-Security (セキュリティ)	502	G ルート探索情報自動取得の設定	600
CD (CD プレーヤー)	205	市街図表示	64
曲を選ぶ	207	市街図表示の解除	64
曲を探す	208	自転車位置マーク	48
繰り返し聞く	207	システム初期化中画面	382
再生する	205	施設情報表示	602
使用できるディスク	182	施設で地図を呼び出す	85
トラックリストの表示	207	施設内容の表示	93
早送り、早戻し	207	施設の情報の検索	350
ランダムに聞く	208	施設の表示	66
CD タイトル情報取得	557	施設表示の消去	67
CD (DVD チェンジャー)	216	自宅の解除	132
曲を選ぶ	216	自宅の登録	131
曲を探す	217	自動音量切り替え	441
繰り返し聞く	217	自動再探索	116
使用できるディスク	182	自動着信応答	442
操作画面を表示する	216	自動着信拒否	464
早送り、早戻し	217	自動表示切替設定	147
ランダムに聞く	217	自動保守点検	495
G で設定	605	車載機の Bluetooth 設定変更	465
GPS	153	車速設定 (平均車速の設定)	109
GPS ボイスナビゲーション	37	車両情報の設定	111
G-BOOK.com	509	ジャンルで地図を呼び出す	90
G メモリ	606	住所で地図を呼び出す	87
G メモリー一括ダウンロード	607	渋滞・規制音声案内	166
G メモリ地点	601	渋滞考慮探索	170
G- ライブラリコピー	541	渋滞増減予測表示	597
G- ライブラリディスク	541	渋滞予測	596
G-Link 利用手続き	478	渋滞予測時間変更	597
G-Link サービス	469	渋滞予測情報表示	596
受信レベル表示	477	周辺施設走行中呼び出しジャンルの 変更	69
設定画面の表示	519	縦列駐車のみかた (縦列ガイドモード)	364
メインメニュー	509	縦列駐車のみかた (駐車ガイド線表示モード)	374
G-Link 設定の初期化	525		

手動保守点検	495
受話音量	441
情報画面	338
情報付き施設の検索	350
知りたインフォ機能	310

す

スイッチ表示	54
数字・記号入力	14
スケール表示	156
ステアリングスイッチ	11
3D 交差点拡大図表示	106
3D 表示	59
角度の調整	59
地図の回転	60
ルート方向アップ表示	61
3D 表示の解除	61

せ

精度について	161
設備マーク表示	75
説明音声（操作説明音声）	80
説明機能	12
選曲メニュー画面	564
全ルート図表示	99

そ

走行軌跡の消去	73
走行軌跡の表示	73
操作ガイド	12
操作画面継続表示の設定	29
ソフトウェアキーボード	14

た

ターンリスト図表示	107
ターンリスト図表示の解除	107
タイムスタンプ	165

ダイヤル発信	424
ダウンロードコース	558
タッチスイッチ色の切り替え	28
タッチスイッチの表示	54
WMA (CD プレーヤー)	209
同じフォルダを繰り返し聞く	210
楽曲情報の表示	211
繰り返し聞く	210
再生する	209
全フォルダの中から ランダムに聞く	211
WMA について	187
早送り、早戻し	210
ファイルを選ぶ	209
フォルダの中からファイルを探す ...	211
フォルダの中からランダムに聞く ...	210
フォルダを選ぶ	209
フォルダを探す	211
WMA (DVD チェンジャー)	218
同じフォルダを繰り返し聞く	220
楽曲情報の表示	221
繰り返し聞く	220
再生する	218
全フォルダの中から ランダムに聞く	220
WMA について	187
早送り、早戻し	219
ファイルを選ぶ	219
フォルダの中からファイルを探す ...	220
フォルダの中からランダムに聞く ...	220
フォルダを選ぶ	218
フォルダを探す	220
単語の登録	19
探索条件の変更	118

ち

近くの施設の検索	67
----------------	----

チケット	561
地図記号・表示	156
地図データの情報を見るには	154
地図データベースについて	155
地図について	154
地図の移動 （ワンタッチスクロール）	55
地図の縮尺切り替え	56
地図の縮尺スケール表示	156
地図の操作	50
地図の表示	53
地図の表示色の切り替え	62
地図の文字サイズの切り替え	64
地図の呼び出し方法	81
施設	85
ジャンル	90
住所	87
電話番号	88
マップコード	92
名称	83
郵便番号	89
履歴	91
地図表示画面の設定	66
地図向きの切り替え	56
地点の登録	127
着信音音量	441
着信拒否する	435
着信中の操作	435
着信割り込み表示	442
チャンネル	558
チャンネルガイド	561
チャンネルの選択をする	585
チャンネルリスト	589
チャンネルを追加する	589
駐車場マップの解除	65
駐車場マップ表示	65

つ

通過道路指定の解除	125
通過道路の指定	123
通過道路の修正	124
通過道路ワンタッチ登録	124
通信機器の設定	462
通信機器の選択	462
通信モジュール	474
通信モジュールの発信制限	460
通信ロック	523
通話中の操作	436
通話転送	436

て

DSP	193
DVD ビデオ、DVD オーディオ （DVD チェンジャー）	212
アングルの切り替え	228
一時停止	223
音声の切り替え	227
字幕の切り替え	227
使用できるディスク	182
スロー再生	224
DVD 再生時の初期設定	228
DVD の再生	222
停止	223
ディスクの切り替え	215
ディスクの指定位置に戻る	227
ディスク読み込み中画面	215
早送り、早戻し	223
見たい場所を選ぶ	224
メニュー画面の操作	226
提携駐車場の検索	93
定型文入力	14
定型文の編集	17
出入口 IC の指定	122
デモンストレーション（デモ）	103

テレビ	273
音声多重モード切り替え	278
局名スイッチ	278
自動でチャンネルを記憶する	277
チャンネルの記憶	276
チャンネルを選ぶ	276
テレビを見る	273
マルチ画面の表示	277
電話	411
画面を表示する	428
電話スイッチ	423
電話を受ける	426
電話をかける	424
電話を切る	425
電話を保留する	435
電話機詳細情報表示	463
電話設定画面表示	438
電話帳（交通・ナビ関連）	353
電話帳（ハンズフリー）	444
データの転送	445
電話帳の削除	452
電話帳の修正	451
電話帳のセキュリティ	458
電話帳の追加	447
表示切り替え	430
電話帳の設定	444
電話帳発信	429
電話番号で地図を呼び出す	88

と

統一エラーコード一覧	409
到着予想時刻の表示	109
道路形状警告	71
特別メモリ地点の解除	132
特別メモリ地点の登録	131
都市高速道路	75
都市高速マップの解除	79

都市高速マップの表示	79
ドライブプラン	605

な

NAVI・AI-SHIFT	152
ナビゲーション画面の調整	25
ナビゲーション画面の見方	48
ナビ設定一覧	145
ナビ設定の記憶	142
ナビ設定の消去	144
ナビ発信	434
ナビブラウザ画面	350
ナビ連携機能	595

に

2画面表示	57
右画面の操作	58
2画面表示の解除	58
入力端子	186
入力履歴の削除	18

ね

熱線入りフロントウィンドウガラス	294
------------------	-----

の

ノースアップ表示	56
----------	----

は

ハートフル音声	80
ハイウェイモード	75
ハイウェイモードの解除	76
バックガイドモニター	356
バックガイドモニターの設定	383
パッケージ	541
発着信履歴制限	460
ハンズフリー	411
音量設定	441

画面設定	442
受信レベル表示	416
ハンズフリーの準備	419
ハンズフリーの設定	438
販売店の修正	348
販売店の設定	348

ひ

ビジュアルシティマップ表示	70
VICS	163
VICS 記号	177
VICS 情報の表示	164
VICS 情報表示の消去	165
VICS 図形情報	166
VICS 文字情報	167
放送局の選択	171
ビデオ CD (DVD チェンジャー)	235
映像を操作するには	236
音声を切り替える	237
見たい場所を選ぶ	236
メニュー項目を表示する	236
昼画表示	26
ヒント機能	13

ふ

フェリー航路の案内	111
ブックマーク (G-Link サービス)	515
ブックマークの削除	517
ブックマークの登録	515
ブックマークの編集	516
ブックマーク (情報付き施設)	
削除する	352
タイトルを変更する	352
登録したコンテンツを見る	351
登録する	351
ブラウザ	510
閲覧履歴	514

閲覧履歴削除	514
閲覧履歴表示	514
プラズマクラスター®	292
Bluetooth 携帯電話	414
Bluetooth 接続確認表示	443
Bluetooth 接続状態表示	417
Bluetooth の設定	462
フロントワイド表示	57

へ

平均車速の設定	109
並列駐車のかかた (進路表示モード)	358
並列駐車のかかた (駐車ガイド線表示モード)	361
ヘディングアップ表示	56
ヘルプ機能を使う	298
ヘルプネット	483
サービス開始操作	488
自動保守点検	495
手動保守点検	495
表示灯	498

ほ

方位マーク	48
補正が必要なとき	139

ま

My リクエスト	527
画面の操作	527
My リクエストの登録	528
リクエストする	529
マップコード	92
マップコードで地図を呼び出す	92
マップマッチング	40

み

右画面の操作（2画面表示時）	58
ミラーヒーター	293

め

名称で地図を呼び出す	83
メニュー画面	50
メモリ地点の修正	129
位置修正	134
自宅、特別メモリ地点に 種別変更	131
自宅、特別メモリ地点の 種別解除	132
電話番号入力	134
マークの変更	130
名称表示	133
名称読み入力	134
メモリ地点の消去	135
メモリ地点の登録	127
メモリ地点ワンタッチ登録	128
メンテナンス機能	344
メンテナンス案内の設定	346
メンテナンス時期の設定	344
メンテナンス設定の更新	347
メンテナンス設定の消去	346
メンテナンスメニュー画面	344

も

目的地案内	95
目的地案内の開始	103
目的地案内の中止	103
目的地の消去	120
目的地の設定	96
目的地の追加	118
目的地の並べ替え	120
目的地方向マーク	48
目的地履歴の消去	126

目的地ワンタッチ設定	97
------------	----

ゆ

郵便番号で地図を呼び出す	89
有料コンテンツ	482

よ

予測変換	19
呼び出した地図の操作	93
予約リスト	575
夜画表示	26

ら

ラジオ	195
局名スイッチ	198
交通情報を聞く	198
自動で放送局を記憶する	197
放送局を選ぶ	196
放送局を記憶する	197
ラジオを聞く	195

り

リアル市街図表示	60
リージョンコード	240
リスト画面	22
立体ランドマーク表示	70
リモートメンテナンスサービス	538
リヤウインドウデフォッガー	293
料金案内	110
履歴で地図を呼び出す	91
履歴入力	14
履歴の削除	457
履歴発信	430

る

ルート学習	98
ルート系設定	150

ルート情報（案内道路情報）	101
ルート探索	97
ルートの再探索	116
自動再探索	116
ルートの変更	118
ルートの変更	118
季節規制区間の迂回ルートの探索 ...	125
探索条件の変更	118
通過道路指定の解除	125
通過道路の指定	123
通過道路の修正	124
出入口 IC の解除	122
出入口 IC の指定	122
目的地の消去	120
目的地の追加	118
目的地の並び替え	120

ワンタッチ目的地設定	97
------------------	----

れ

レーンリスト図表示	105
レーンリスト図表示の解除	107
レクサスオーナーズデスク	535
レクサス緊急サポート 24	537

ろ

ロック No.	459
--------------	-----

わ

割り込み情報（ビーコン即時案内）の 表示	168
ワンタッチスクロール	55
ワンタッチダイヤル	439
ワンタッチダイヤルの削除	440
ワンタッチダイヤルの設定	439
ワンタッチダイヤルの登録	439
ワンタッチ通過道路指定	124
ワンタッチ発信	431
ワンタッチメモリ地点登録	128

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

- 第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

- 第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

- 第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表 視聴料金]

視聴料金 315 円 (うち消費税 15 円)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

※ この契約約款は、2006年6月1日変更時のものを掲載しています。

「個人情報保護方針」については、<http://lexus.jp>にて掲載しております。

